

令和 6 年度
呉 市 民 意 識 調 査 結 果 報 告 書

令和 7(2025)年 2 月

呉 市

< 目 次 >

1	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の内容	1
3	調査の設計	1
4	回収結果	1
5	調査地区	1
6	集計・分析上の注意事項	2
7	回答者属性	3
2	調査結果の詳細	7
I	呉市の住みやすさについて	7
II	呉市の主要課題に対する意識について	41
(1)	健康づくり	41
(2)	少子化対策・高齢化対策	54
(3)	人権尊重	63
(4)	男女共同参画	70
(5)	教育	71
(6)	市民協働	78
(7)	安全・安心	84
(8)	観光・交流	109
(9)	農水産業	112
(10)	商工業	121
(11)	環境	124
(12)	公共施設	130
(13)	空き家対策	137
(14)	高次都市機能	138
III	呉市の政策全般に対する満足度・重要度	145

◇呉市民意識調査 調査票

1 調査の概要

1 調査の目的

市民の呉市に対するイメージや生活にかかわるさまざまな分野についての意見・評価などを探ることにより、今後の市政運営の参考資料とする。

2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 呉市の住みやすさ
- (3) 地域の主要課題

- | | | |
|--------------|--------|---------|
| ①健康づくり | ⑥市民協働 | ⑪環境 |
| ②少子化対策・高齢化対策 | ⑦安全・安心 | ⑫公共施設 |
| ③人権尊重 | ⑧観光・交流 | ⑬空き家対策 |
| ④男女共同参画 | ⑨農水産業 | ⑭高次都市機能 |
| ⑤教育 | ⑩商工業 | |

- (4) 満足度・重要度

3 調査の設計

- | | |
|------------|------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 呉市全域 |
| (2) 調査対象 | 呉市に居住する満18歳以上男女個人 |
| (3) 標本数 | 4,000人 |
| (4) 抽出方法 | 層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出) |
| (5) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収及びインターネットによる回答 |
| (6) 調査実施期間 | 令和6年10月23日(水)(発送)
～11月8日(金)(締切) |

4 回収結果

- (1) 有効回収数 1,664票(うちインターネット回答 285票)
- (2) 有効回収率 41.6%

5 調査地区

市内を市役所支所管轄区域および支所を置いていない中央部の区域により、次の18地区に区分した。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| (1) 中央 | (7) 吉浦 | (13) 音戸 |
| (2) 宮原 | (8) 天応 | (14) 倉橋 |
| (3) 警固屋 | (9) 昭和 | (15) 下蒲刈 |
| (4) 阿賀 | (10) 郷原 | (16) 蒲刈 |
| (5) 広 | (11) 川尻 | (17) 豊浜 |
| (6) 仁方 | (12) 安浦 | (18) 豊 |

6 集計・分析上の注意事項

(1) 図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入したものであり、端数処理のため、合計は必ずしも100%にならない場合がある。

なお、複数回答は100%にはならない。

(2) 対象者の抽出は、各地区ともに同一の抽出率で抽出すると調査対象数が非常に少なくなる地区がある。そのため、各地区ごとに原則100人を調査対象者とし、特に人口が多い地区には人口規模に応じて調査対象者を追加した。このため、回収されたデータと母集団調査対象の構成比をほぼ同じにするため、ウェイトバックによるサンプル補正集計を行った。なお、ウェイトバックした見かけ上の値による集計を行っており、報告書内に記載する集計上のサンプル数と前述4の有効回収数とは異なる。

(3) 統計学上、50サンプル以下の集計（回答者数）は結果の信頼性が低くなるため、本調査における属性別集計の一部は参考値として示す。

■地区別回収数及び補正後サンプル数

地区	18歳以上人口(人)	構成比(%)	配布数(件)	回収数(件)	ウェイト	補正後サンプル数(件)
中央	40,773	22.9	900	374	1.0168	380
宮原	5,742	3.2	130	49	1.0930	54
警固屋	3,466	1.9	100	45	0.7184	32
阿賀	12,056	6.8	250	112	1.0040	112
広	36,188	20.3	800	318	1.0614	338
仁方	5,055	2.8	110	45	1.0477	47
吉浦	8,073	4.5	180	70	1.0757	75
天応	3,139	1.8	100	47	0.6229	29
昭和	26,638	14.9	550	254	0.9781	248
郷原	3,708	2.1	100	47	0.7358	35
川尻	6,682	3.7	140	50	1.2464	62
安浦	8,509	4.8	190	70	1.1337	79
音戸	9,362	5.2	200	73	1.1961	87
倉橋	4,184	2.3	100	38	1.0269	39
下蒲刈	1,103	0.6	35	7	1.4696	10
蒲刈	1,311	0.8	40	17	0.7193	12
豊浜	1,047	0.7	35	12	0.8138	10
豊	1,374	0.8	40	13	0.9858	13
不明				23		
合計	178,410	100.0	4,000	1,664		1,664

(注) 1. ウェイトとは、各地区の母集団（人口）に対する抽出率（回収率）を一律とするため、各地区回収数に重み付けとして乗じる係数のこと。抽出率が一律となるように補正することを、ウェイトバックという。

【計算式】ウェイト＝地区ごとの人口÷地区ごとの回収数×（回収数合計（1,664人）÷人口合計（178,410人））なお、居住地区不明の23件を各地区に按分するため、補正後サンプル数は（回収数）×（ウェイト）とは一致しない場合がある。

2. ウェイトバック後の地区別合計は、端数処理の関係で回収数と一致していない。

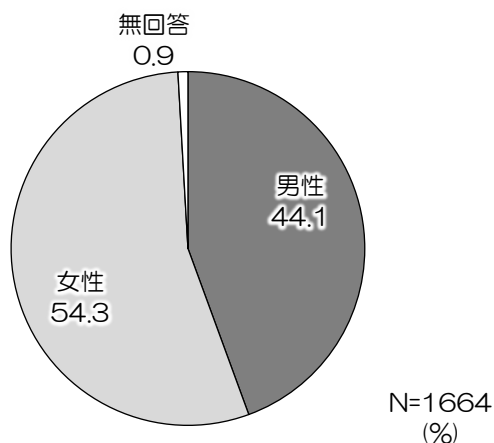
7 回答者属性

以下の件数はウェイトバック後の集計数値を示しているため、端数処理の関係でサンプル数（全体）と内訳の合計が一致しない場合がある。

あなたご自身やご家族のことについて、お聞かせください。

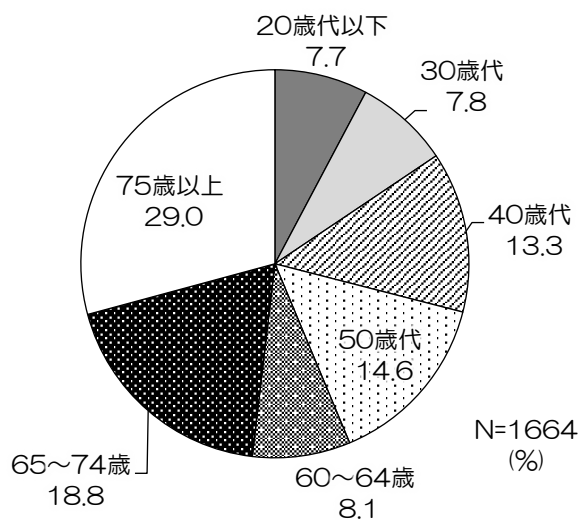
■性別

「女性」54.3%、「男性」44.1%と、女性がやや多くなっている。



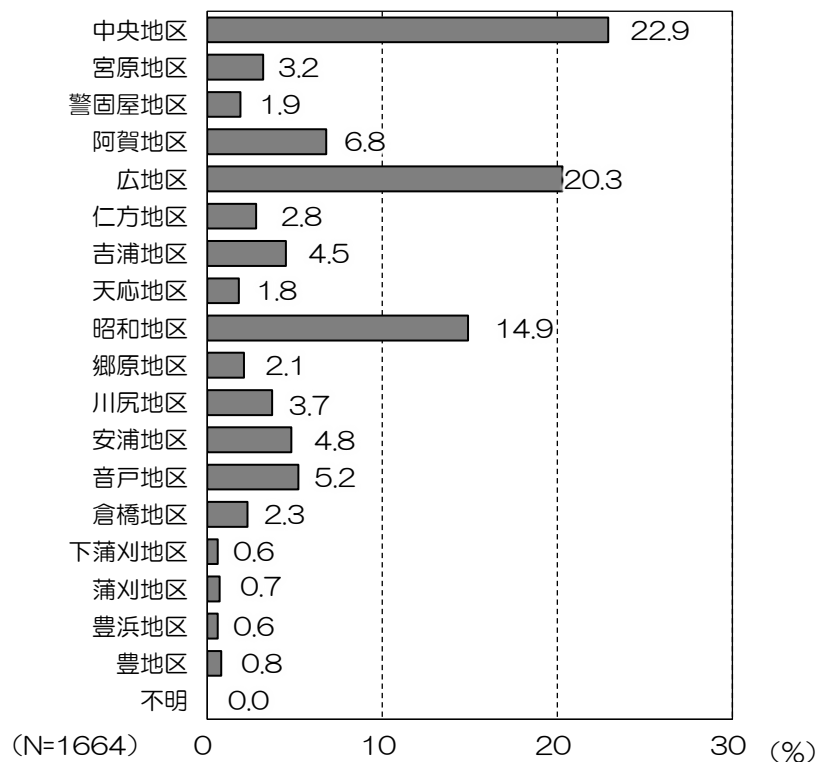
■年齢

「75歳以上」29.0%、「65～74歳」18.8%など、65歳以上が47.8%となっている。



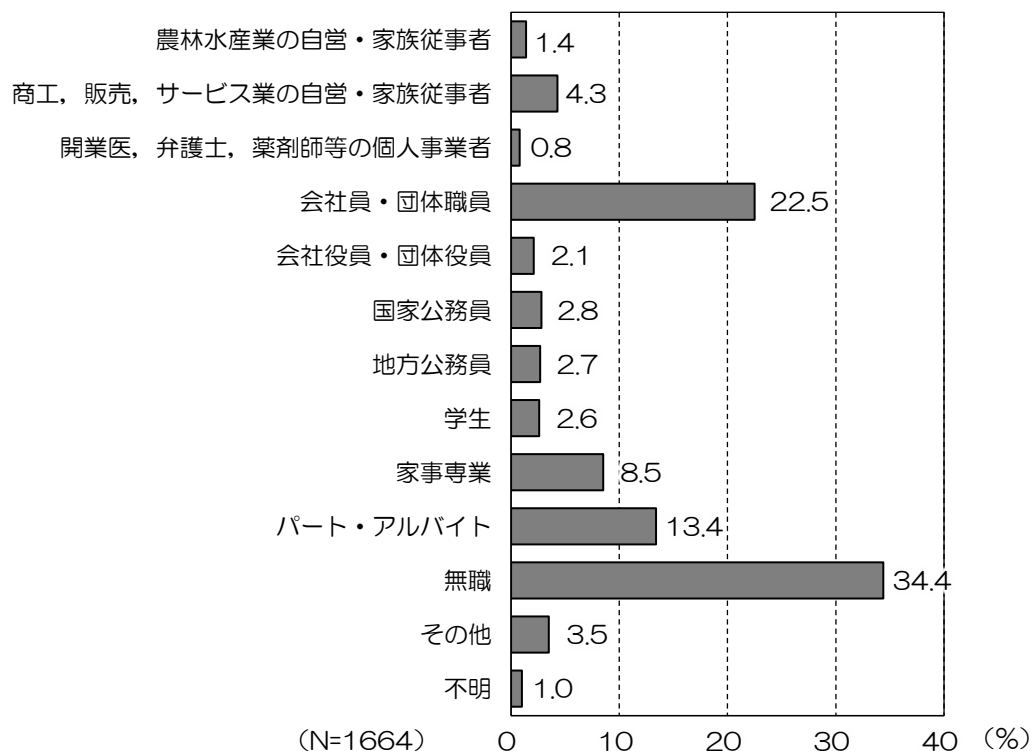
■お住まいの地区

中央地区，広地区，昭和地区が，特に多くなっている。



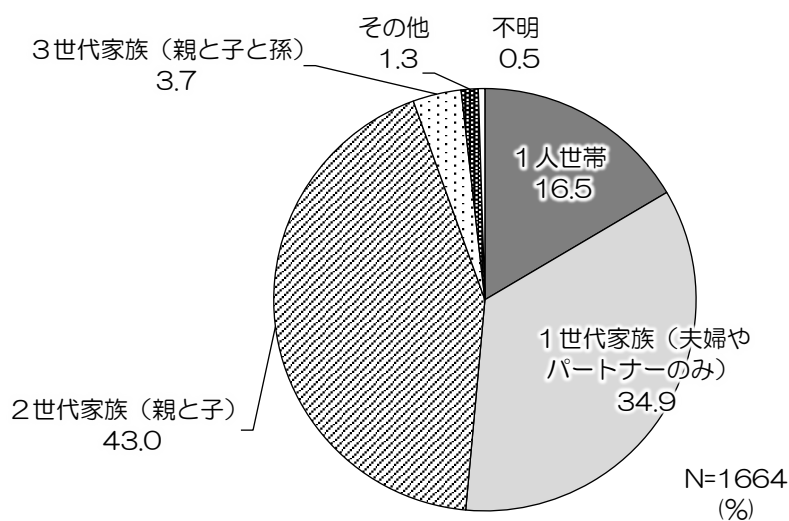
■職業

高齢者が多いため，「無職」が 34.4%，「会社員・団体職員」が 22.5%となっている。



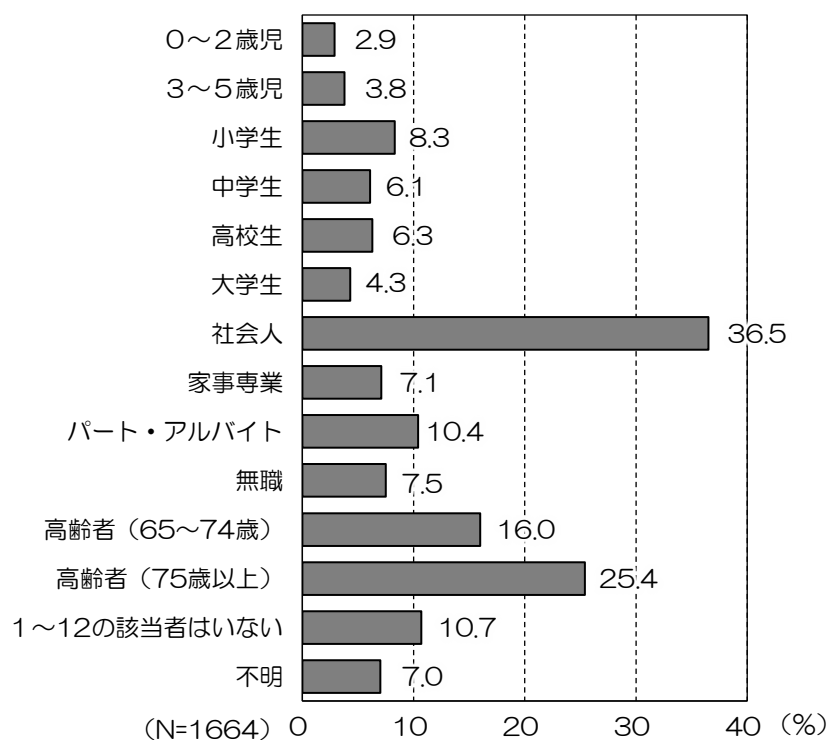
■家族構成

「2世代家族（親と子）」が43.0%と最も多く、「1世代家族」いわゆる2人暮らしが34.9%と多くなっている。



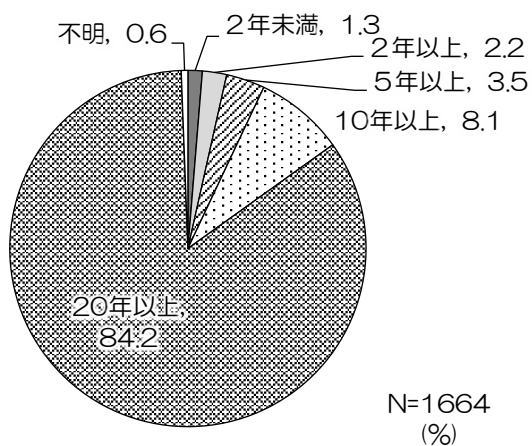
■家族（同居）について（該当するすべてに○）

「社会人」36.5%、「高齢者（75歳以上）」25.4%、「高齢者（65～74歳）」16.0%等となっている。



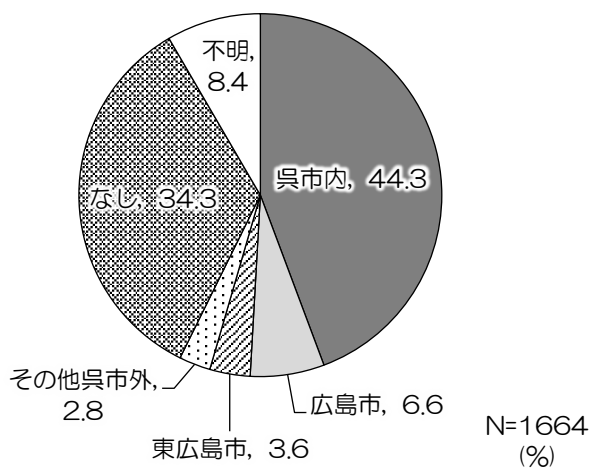
■呉市（合併前の旧町を含む。）に通算して何年、住んでいますか。

20 年以上が 84.2%を占めるなど、地元密着志向が強くなっている。



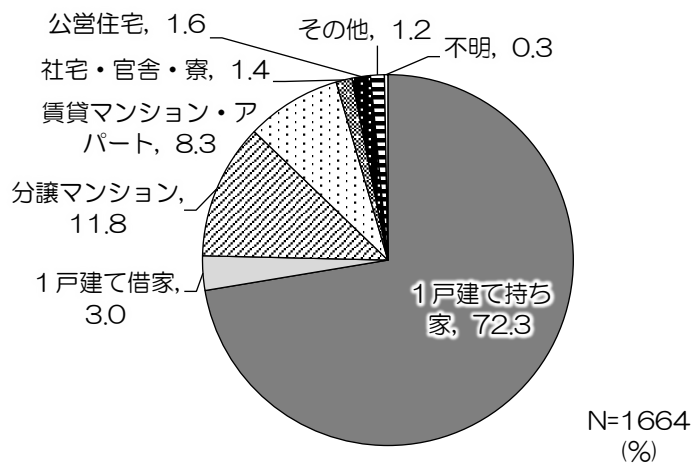
■通勤（職場）、通学（学校）先

通勤、通学先は、「呉市内」44.3%を占め、また、高齢者が多いため「なし」34.3%となっている。



■お住まいの居住形態

住宅所有関係は、「1戸建て持ち家」72.3%と大部分を占めている。



2 調査結果の詳細

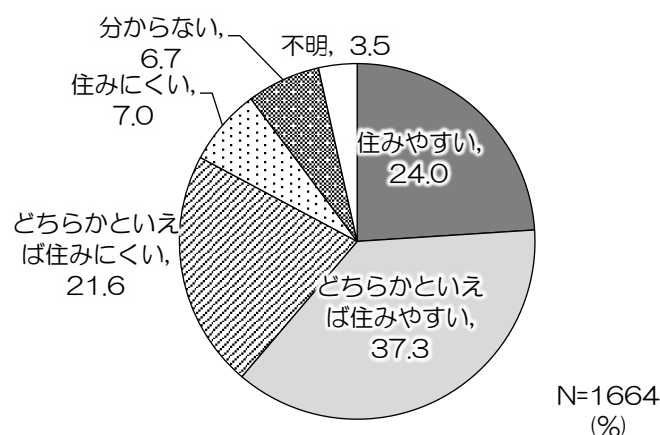
I 呉市の住みやすさについて

問1 呉市を「住みやすい」まちだと思いますか。（○は1つ）

呉市の住みやすさは、「住みやす（24.0%）」と「どちらかといえば住みやすい（37.3%）」を合わせた合計での「住みやすい」が、61.3%となっている。

令和元年度調査の「住みよい（21.9%）」「どちらかといえば住みよい（46.3%）」を合わせた合計での「住みよい（69.5%）」と比べて、8.2ポイント減少している。

図表 呉市の住みよさ

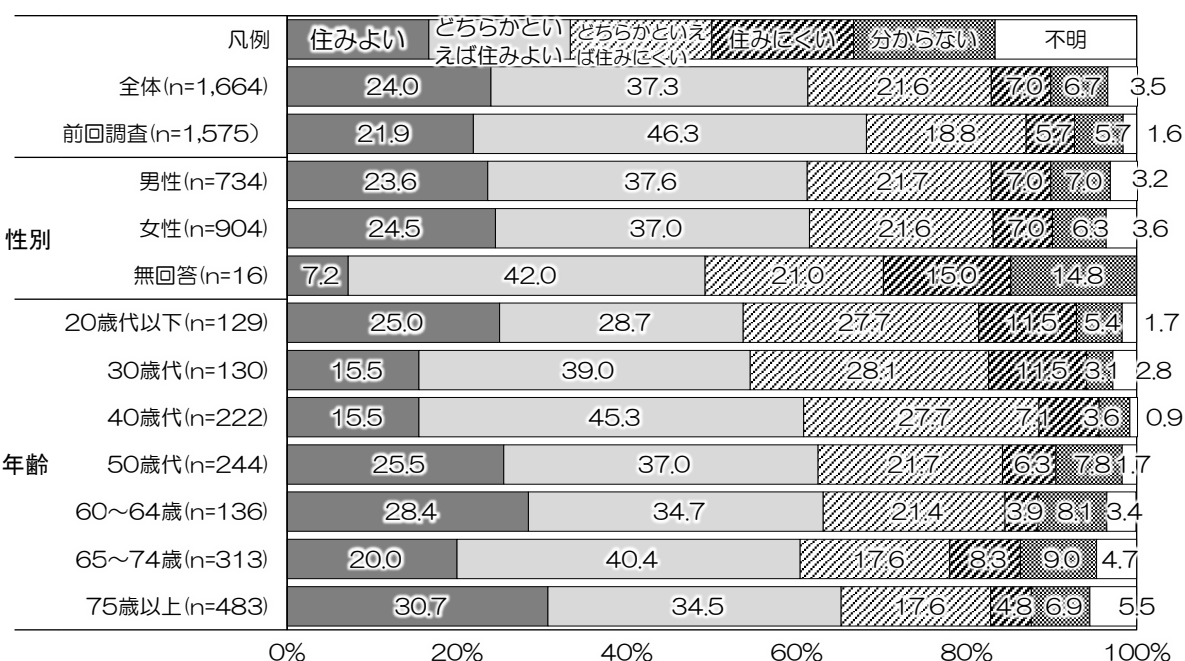


〈性別・年齢別〉

性別でみると、ほとんど差はみられない。

年齢別でみると、年齢が上がるほど、やや「住みよい」が増える傾向がみられ、75歳以上では「住みよい（30.7%）」が、他の年齢に比べて、最も多くなっている。

図表 呉市の住みよさ〈性、年齢別〉

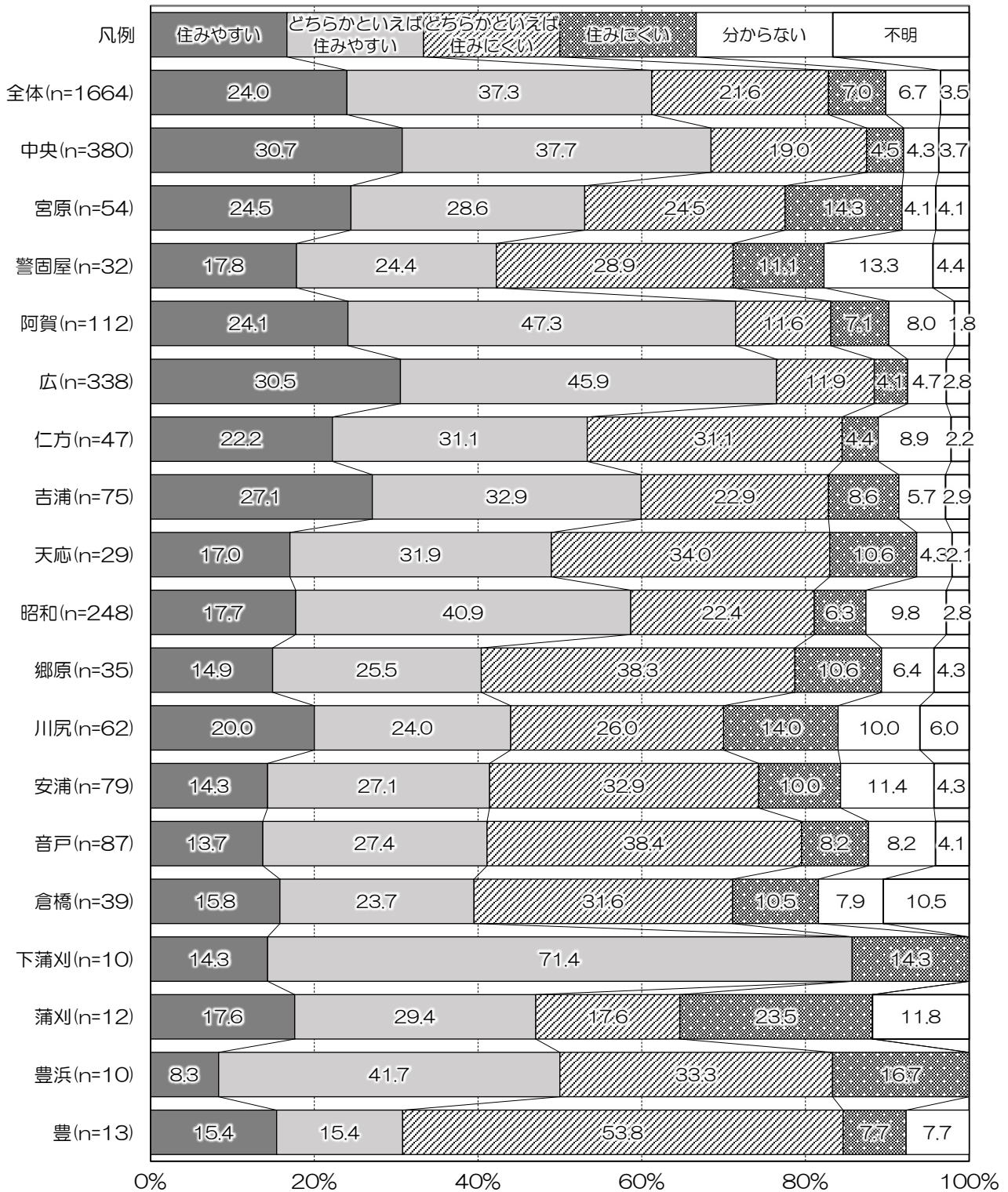


〈地区別〉

下蒲刈地区，広地区，阿賀地区，中央地区で，「住みよい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が60%を超え，多くなっている。

一方，豊地区では，「どちらかといえば住みにくい（53.8%）」「住みにくい（7.7%）」が多くなっている。

図表 呉市の住みよさ〈地区別〉



【類似都市比較】

類似設問について県内他都市と比較すると、呉市では、住みにくいと考えている人の割合がやや高い。

呉市（2024（令和6）年度）

呉市を「住みやすい」まちだと思いますか。（％）

住みやすい	どちらかとい えば住みやす い	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい	分からない
24.0	37.3	21.6	7.0	6.7

広島市（2024（令和6）年度）

全般的にみて、広島市が暮らしやすいまちだと思いますか。（％）

そう思う	ある程度そう 思う	あまり思わな い	思わない	分からない
26.6	57.0	10.1	3.3	2.4

福山市（2015（平成27）年度）

福山市の住みやすさについて、どの程度満足していますか。（％）

満足	やや満足	どちらともい えない	やや不満	不満
19.5	50.2	15.8	9.9	4.0

尾道市（2024（令和6）年度）

尾道市に住み続けたいか。（％）

住み続けたい	当分の間は住 み続けたい	市内の他の場 所に移りたい	市外に移りた い
57.6	26.3	4.3	7.9

東広島市（2024（令和6）年度）

東広島市の「住み心地」についてどう感じていますか。（％）

大変住みやす い	どちらかとい えば住みやす い	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい	どちらともい えない
16.4	62.4	7.0	2.1	11.0

廿日市市（2023（令和5）年度）

現在お住まいの地域の住みやすさについてどのように思いますか。（％）

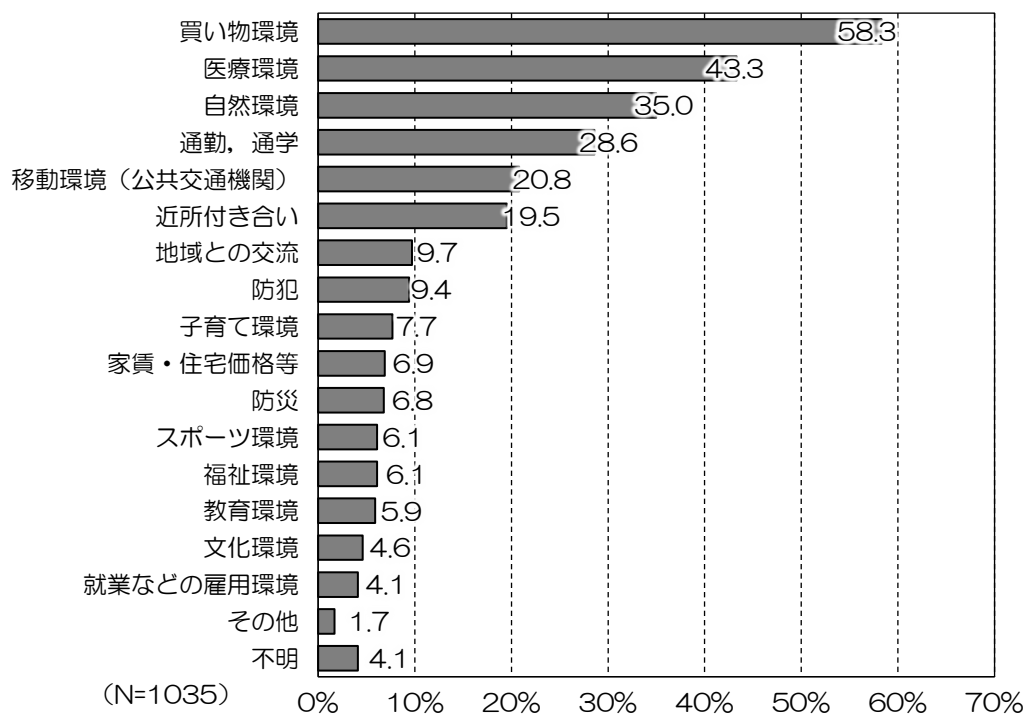
住みやすい	どちらかとい えば住みやす い	どちらともい えない	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい
35.4	38.4	11.8	10.7	1.9

問1-1 上記問1で「住みよい」「どちらかといえば住みやすい」「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」に回答した方のみ
住みやすい又は住みにくいと感じる理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

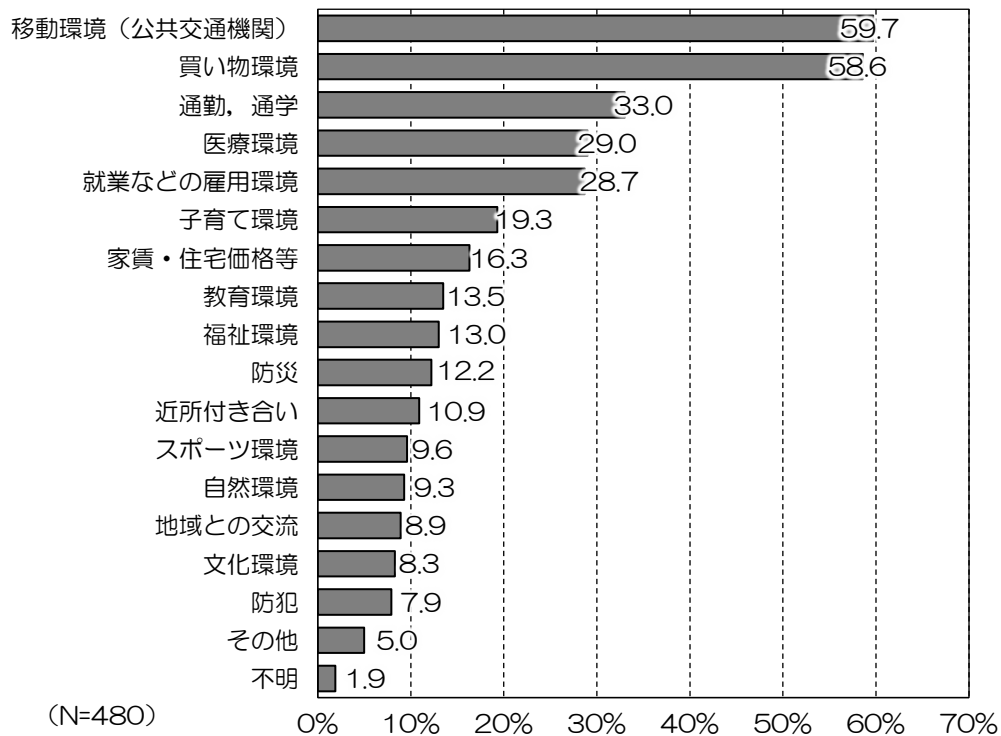
「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じている理由は、「買い物環境（58.3%）」が最も多く、次いで「医療環境（43.3%）」「自然環境（35.0%）」「通勤、通学（28.6%）」の順となっており、3大理由となっている。

また、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人が住みにくいと感じている理由も、「移動環境（公共交通機関）（59.7%）」が最も多く、次いで「買い物環境（58.6%）」となっており、両者ともに過半数を占めている。次いで、「通勤、通学（33.0%）」の順となっており、これらは3割を超えている。

図表 住みやすいと感じる理由



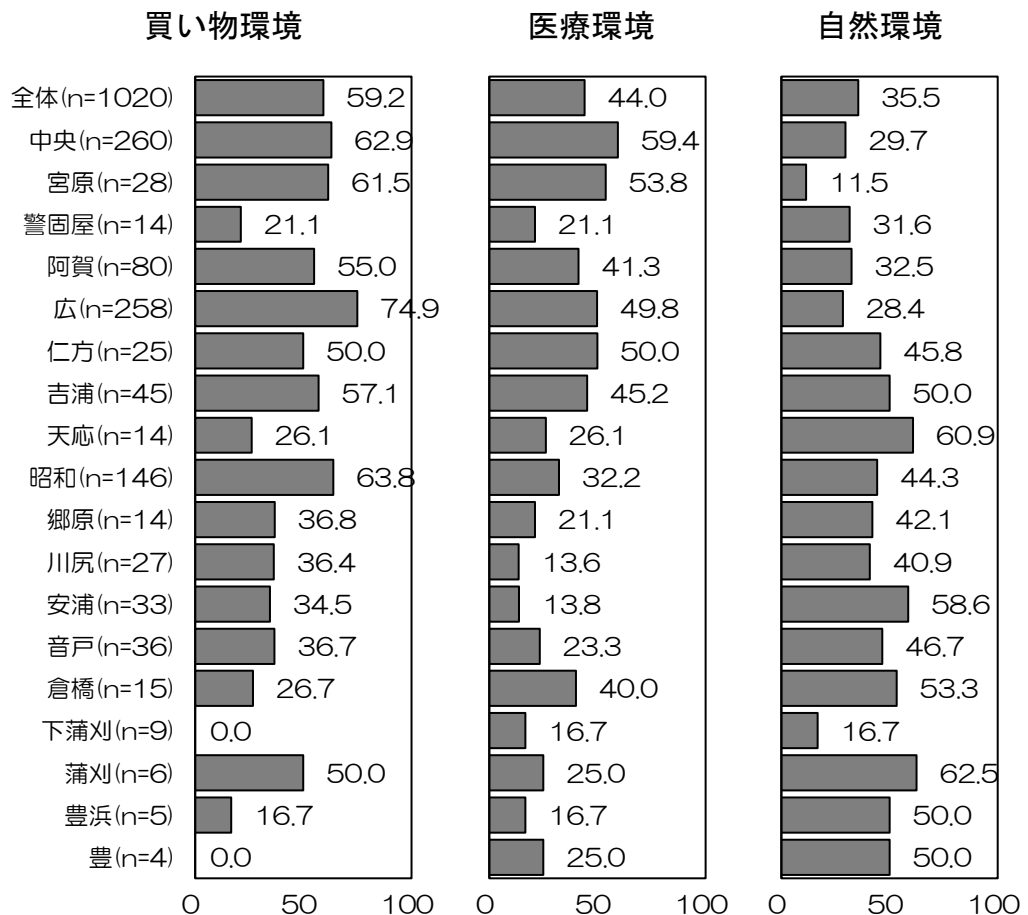
図表 住みにくいと感じる理由



〈地区別〉

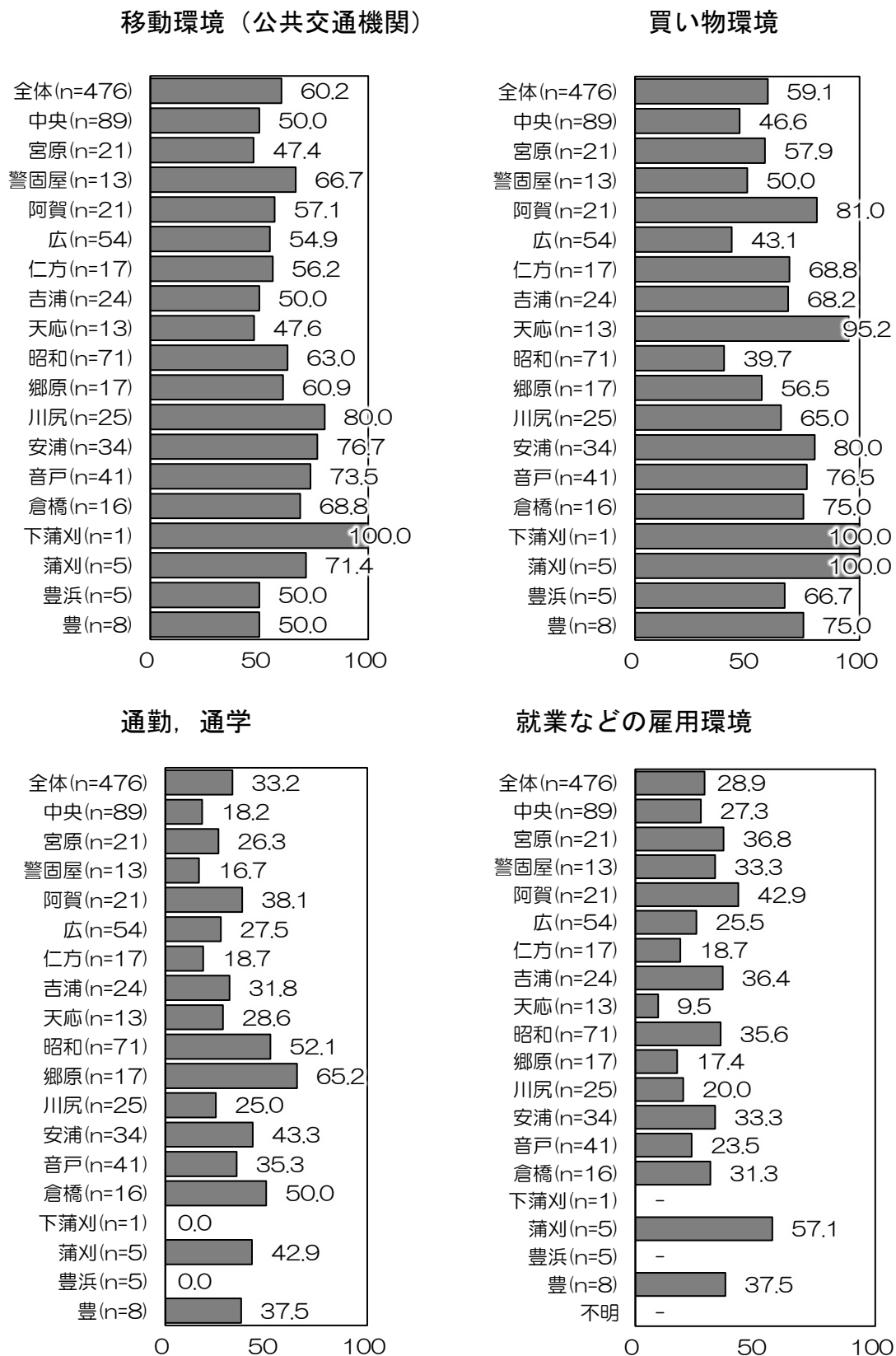
「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じている理由は、中央地区などの中心部地区で、「買い物環境」「医療環境」が高くなっており、周辺部の蒲刈地区、天応地区、阿賀地区などでは60%を超え高くなっている。

図表 住みやすいと感じる理由（上位3項目）〈地区別〉



また、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人が住みにくいと感じている理由では、周辺部地区で、移動環境（公共交通機関）、買い物環境等が高くなっている。

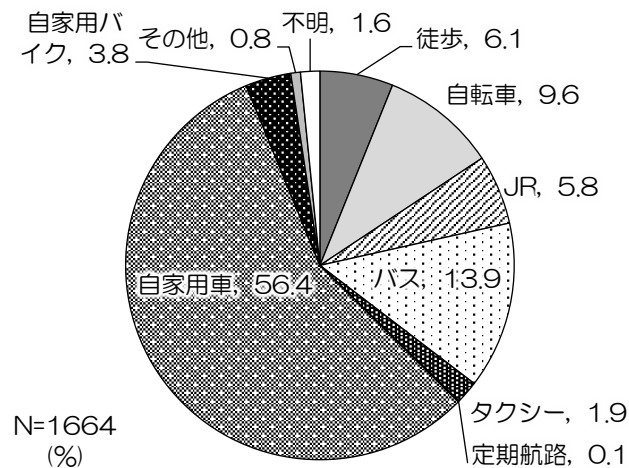
図表 住みにくいと感じる理由（上位3項目）〈地区別〉



【新規】問2 主に利用する交通手段は何ですか。（○は1つ）

主に利用する交通手段では、「自家用車（56.4%）」が最も多く、次いで「バス（13.9%）」「自転車（9.6%）」等となっている。

図表 主に利用する交通手段

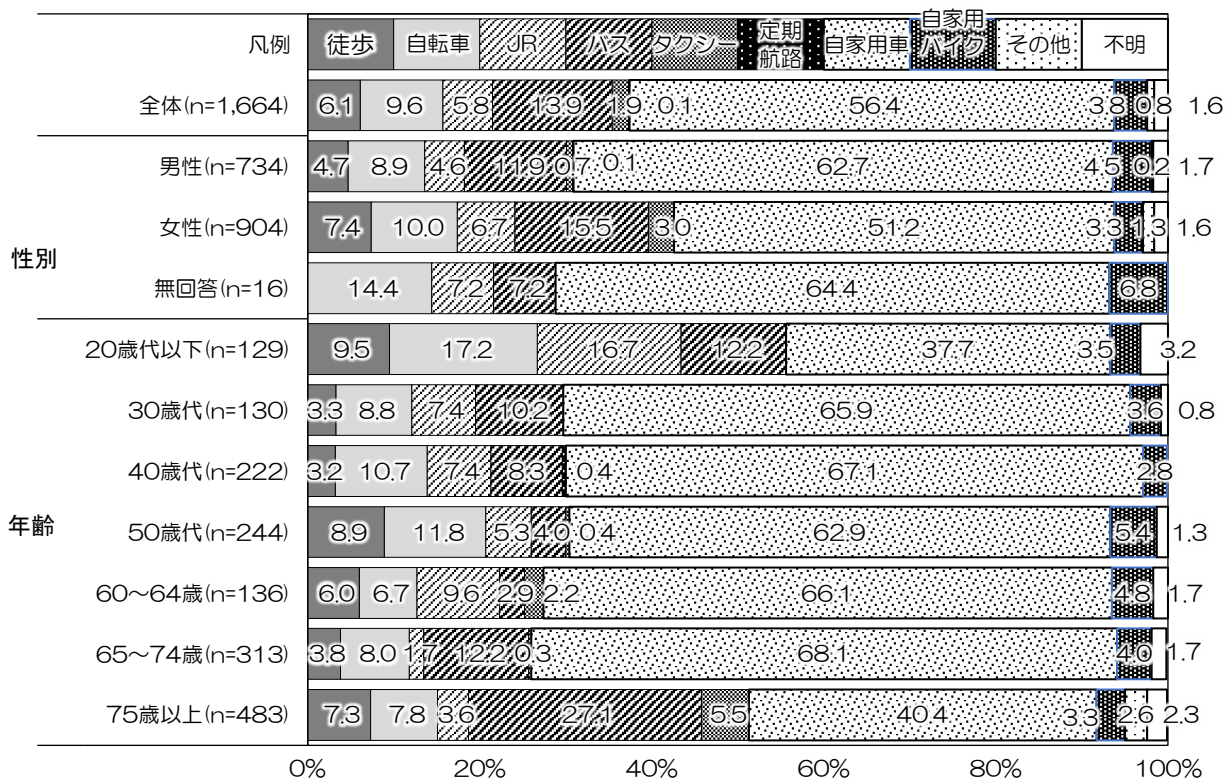


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「自家用車（62.7%）」が、女性に比べて多くなっている。

年齢別でみると、75歳以上、20歳以下を除き、いずれの年齢においても「自家用車」が6割以上を占めている。

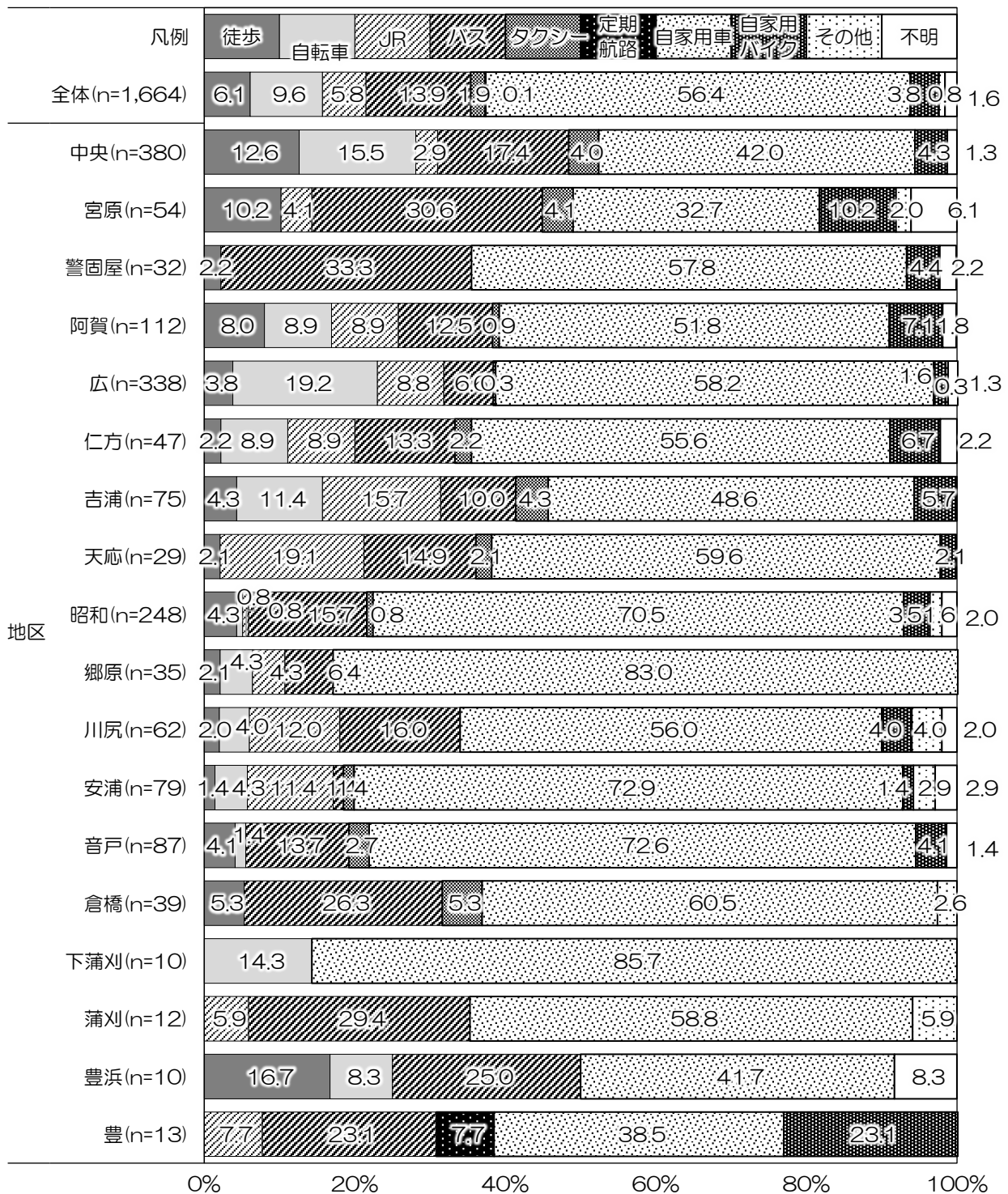
図表 主に利用する交通手段〈性別，年齢別〉



〈地区別〉

中心部地区や豊浜地区、豊地区では「自家用車」がやや少なくなっている。一方、宮原地区では、「バス」が最も多くなっている。

表 主に利用する交通手段〈地区別，年齢別〉

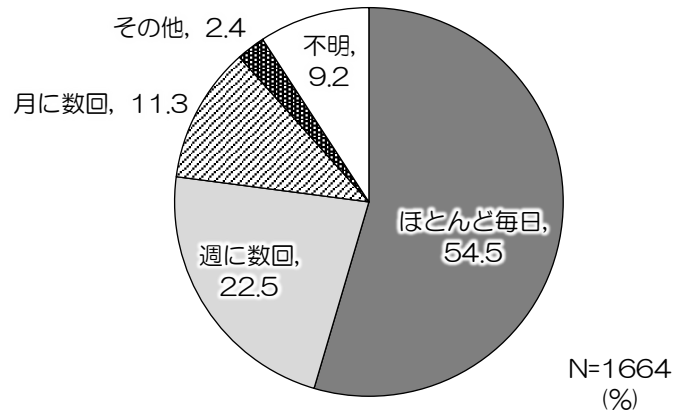


【新規】問 2-1 上記問 2 で回答した交通機関をどのくらい使っていますか。

(○は 1 つ)

交通機関の利用頻度では、「ほとんど毎日 (54.5%)」「週に数回 (22.5%)」など、ほぼ日常的に利用されている。

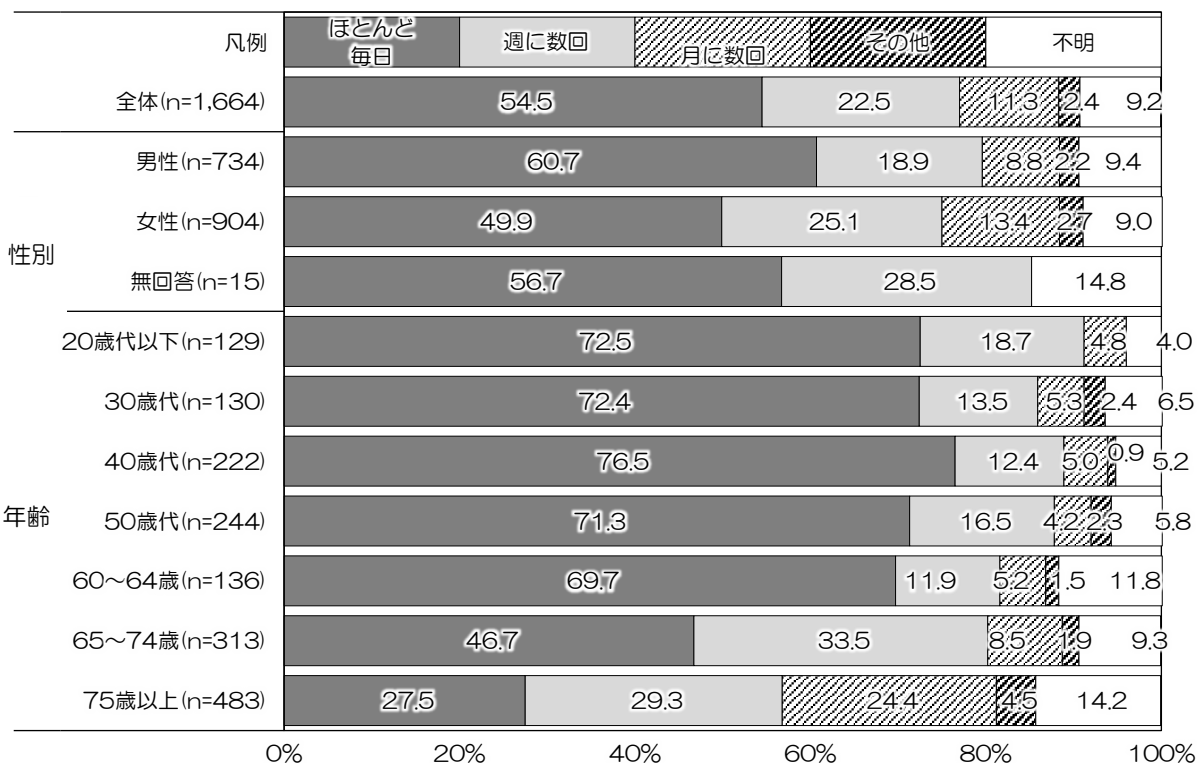
図表 主に利用する交通機関の利用頻度



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「ほとんど毎日 (60.7%)」が、女性に比べて多くなっている。
 年齢別でみると、75歳以上で「週に数回 (27.5%)」「月に数回 (24.4%)」が多いものの、いずれの年齢においても「ほとんど毎日」が5～8割を占めている。

図表 主に利用する交通機関の利用頻度〈性別・年齢別〉

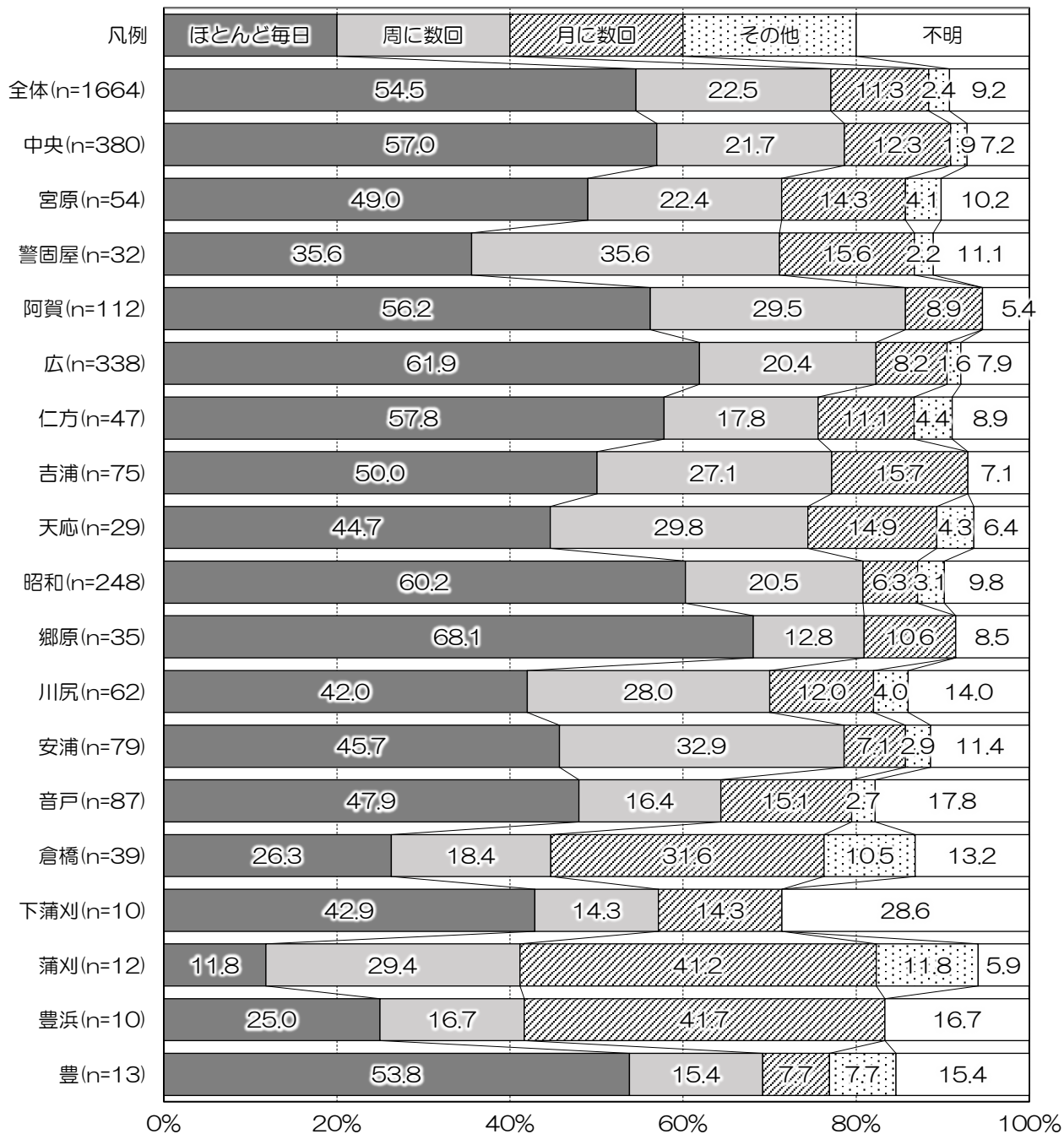


〈地区別〉

蒲刈地区、豊浜地区、倉橋地区などで「ほとんど毎日」が少なくなっている。特に、豊浜地区、蒲刈地区では、「月に数回」が最も多くなっている。

一方、郷原地区では、「ほとんど毎日」が最も多くなっている。

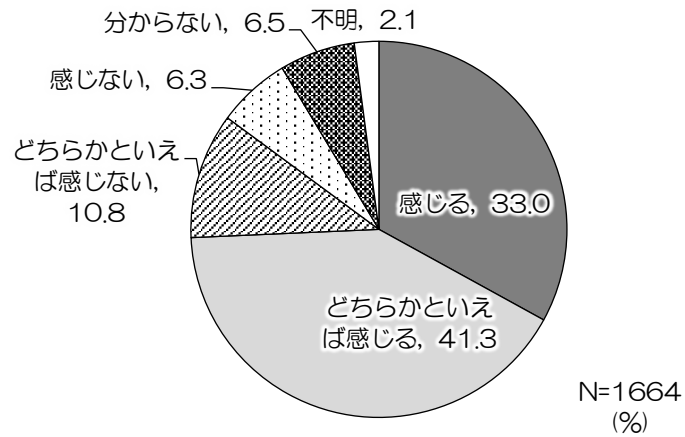
図表 主に利用する交通機関の利用頻度〈地区別〉



問3 呉市に「愛着」を感じますか。（〇は1つ）

呉市への愛着については、「感じる（33.0%）」と「どちらかと言えば感じる（41.3%）」を合わせた、合計での「感じる」は74.3%となり、令和元年度調査に比べて、5.0ポイント減少している。

図表 呉市への「愛着」

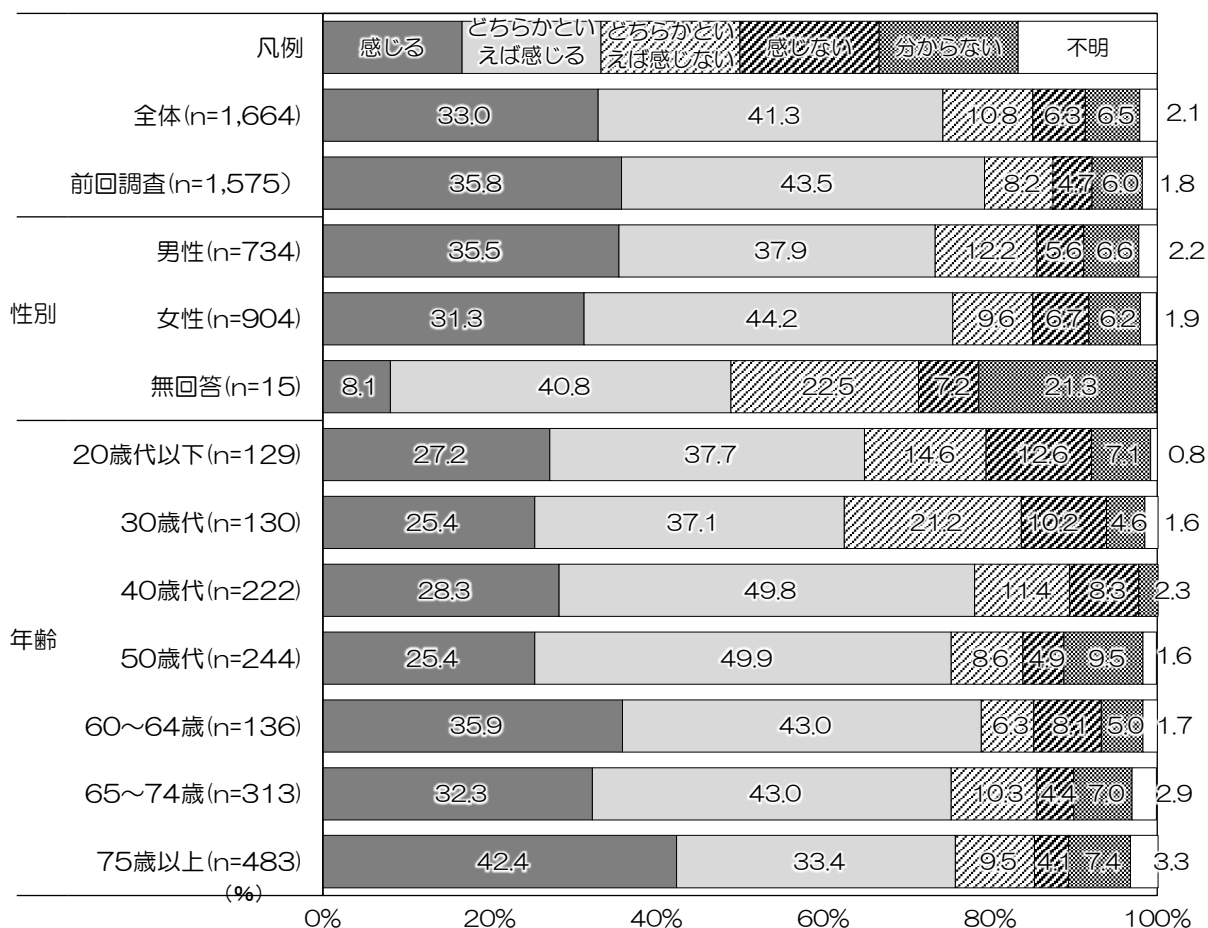


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「感じる（35.5%）」が、女性に比べてやや多くなっている。一方、女性では「どちらかといえば感じる（44.2%）」が多くなっており、全体的な傾向はほとんど差はみられない。

年齢別でみると、年齢が上がるほど、「感じる」が多くなる傾向がみられる。

図表 呉市への「愛着」〈性別・年齢別〉

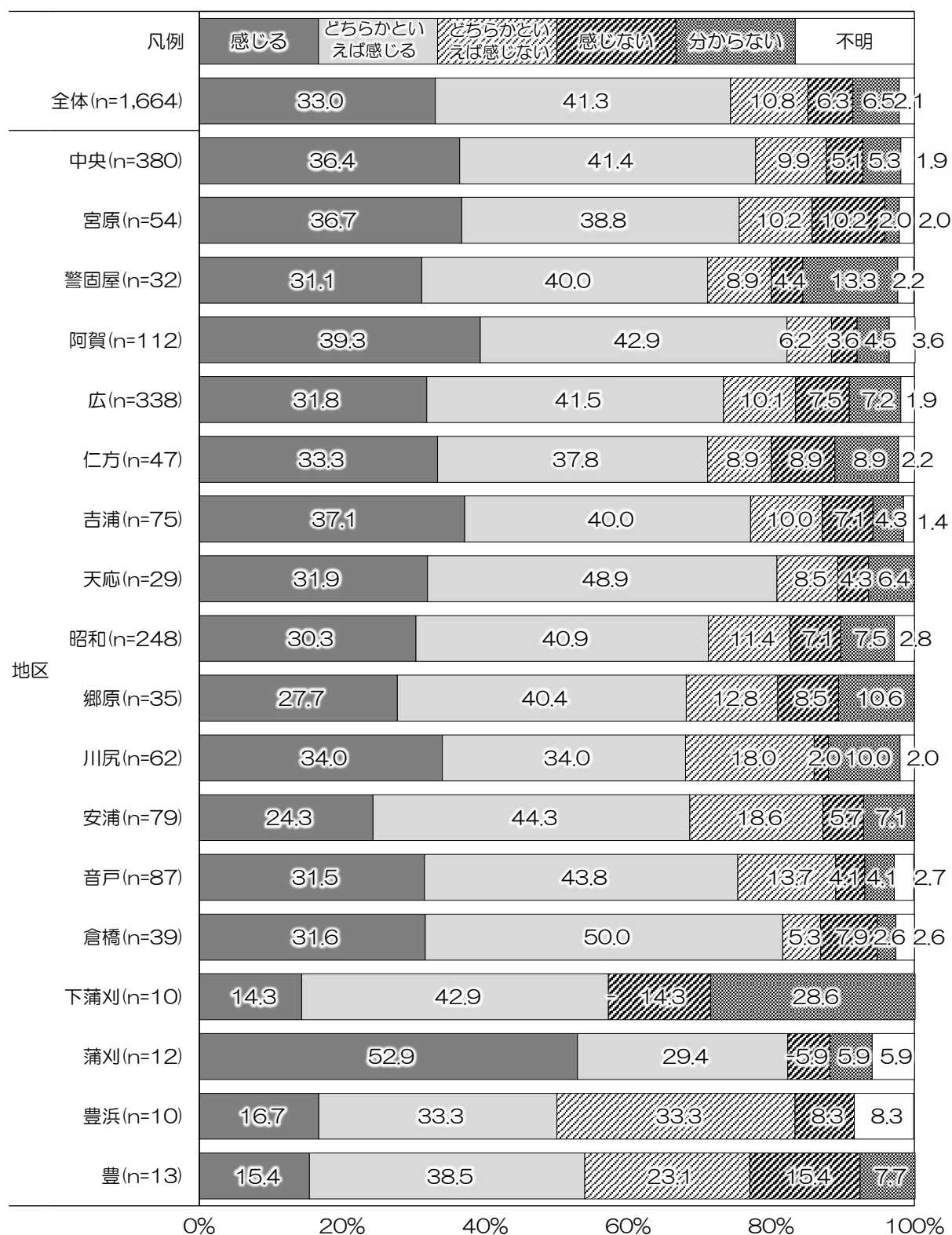


〈地区別〉

「感じる」が豊浜地区，豊地区，下蒲刈地区で少なくなっている。

一方，「感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた割合が高いのは，阿賀地区，倉橋地区，天応地区で，8割を超えている。

図表 呉市への「愛着」〈地区別〉

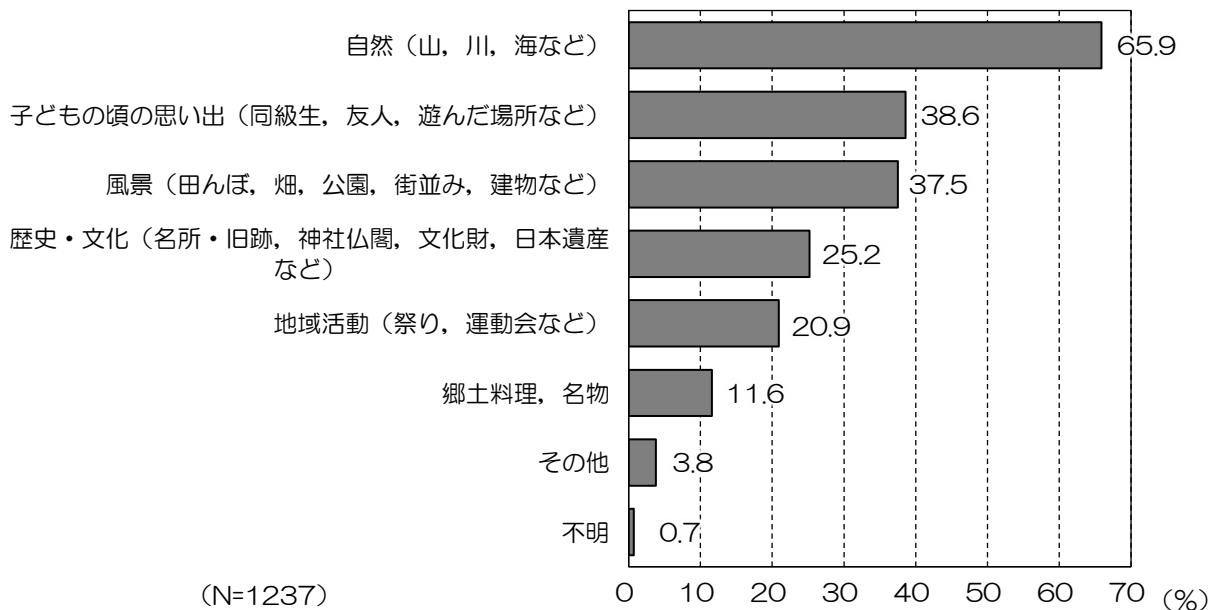


問3-1 上記問3で「感じる」「どちらかといえば感じる」に回答した方のみ
 どんなところに「愛着」を感じますか。（〇はいくつでも）

「感じる」と回答した人が愛着を感じている資源は、「自然（山、川、海など）（65.9%）」が最も多く、次いで「子どもの頃の思い出（同級生、友人、遊んだ場所など）（38.6%）」「風景（田んぼ、畑、公園、街並み、建物など）（37.5%）」「歴史・文化（名所・旧跡、神社仏閣、文化財、日本遺産など）（25.2%）」の順となっている。

令和元年度調査と比較すると、順位は同様の結果となっているが、それぞれ数ポイント減少している。

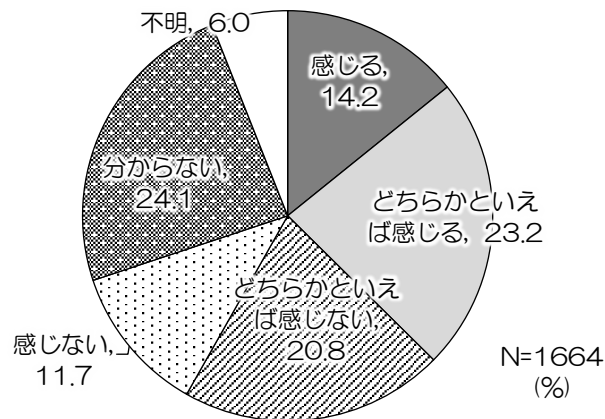
図表 愛着を感じる資源



【新規】問4 呉市に「誇り」を感じますか。（○は1つ）

呉市への誇りについては、「感じる（14.2%）」と「どちらかといえば感じる（23.2%）」を合わせた、合計での「感じる」は37.4%となり、呉市への愛着に比べればやや低い数値となっている。

図表 呉市に感じる「誇り」の有無

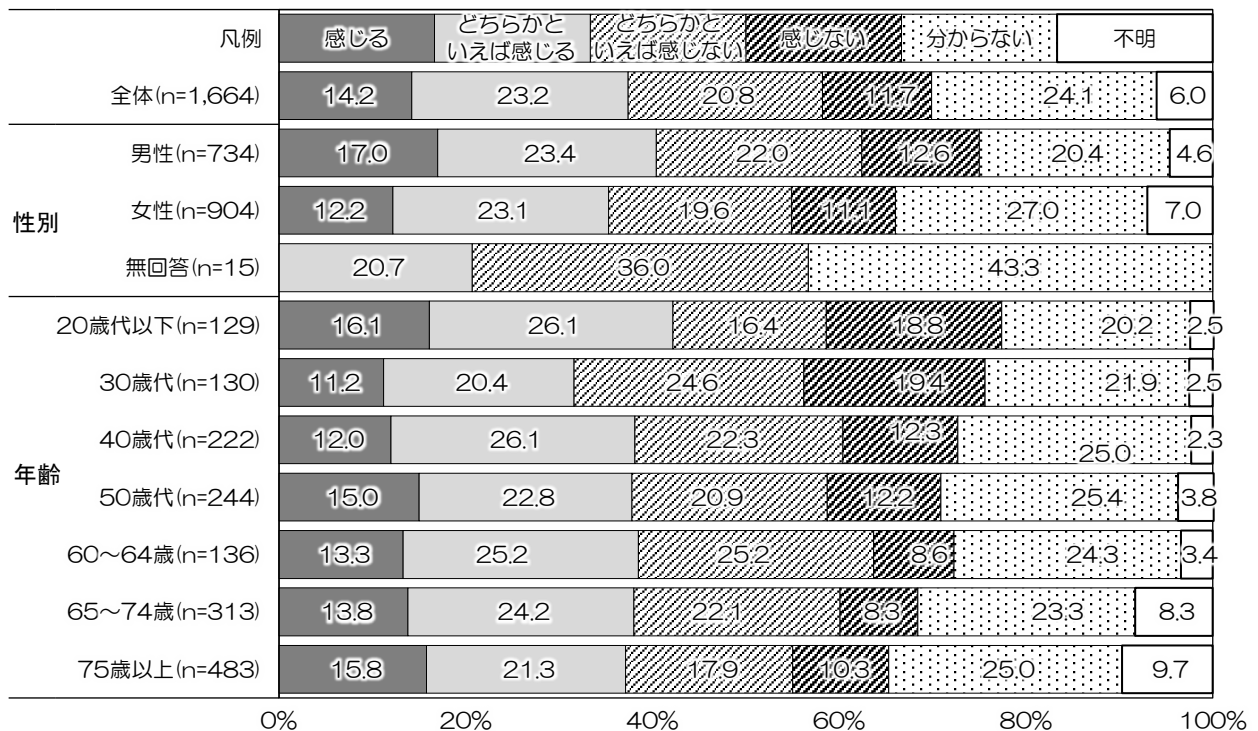


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「感じる（17.0%）」が、女性に比べてやや多くなっている。一方、女性では「分からない（27.0%）」が多くなっている。

年齢別でみると、20歳以下で「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた合計での「感じる」が42.2%と、他の年齢層に比べて最も高くなっている。

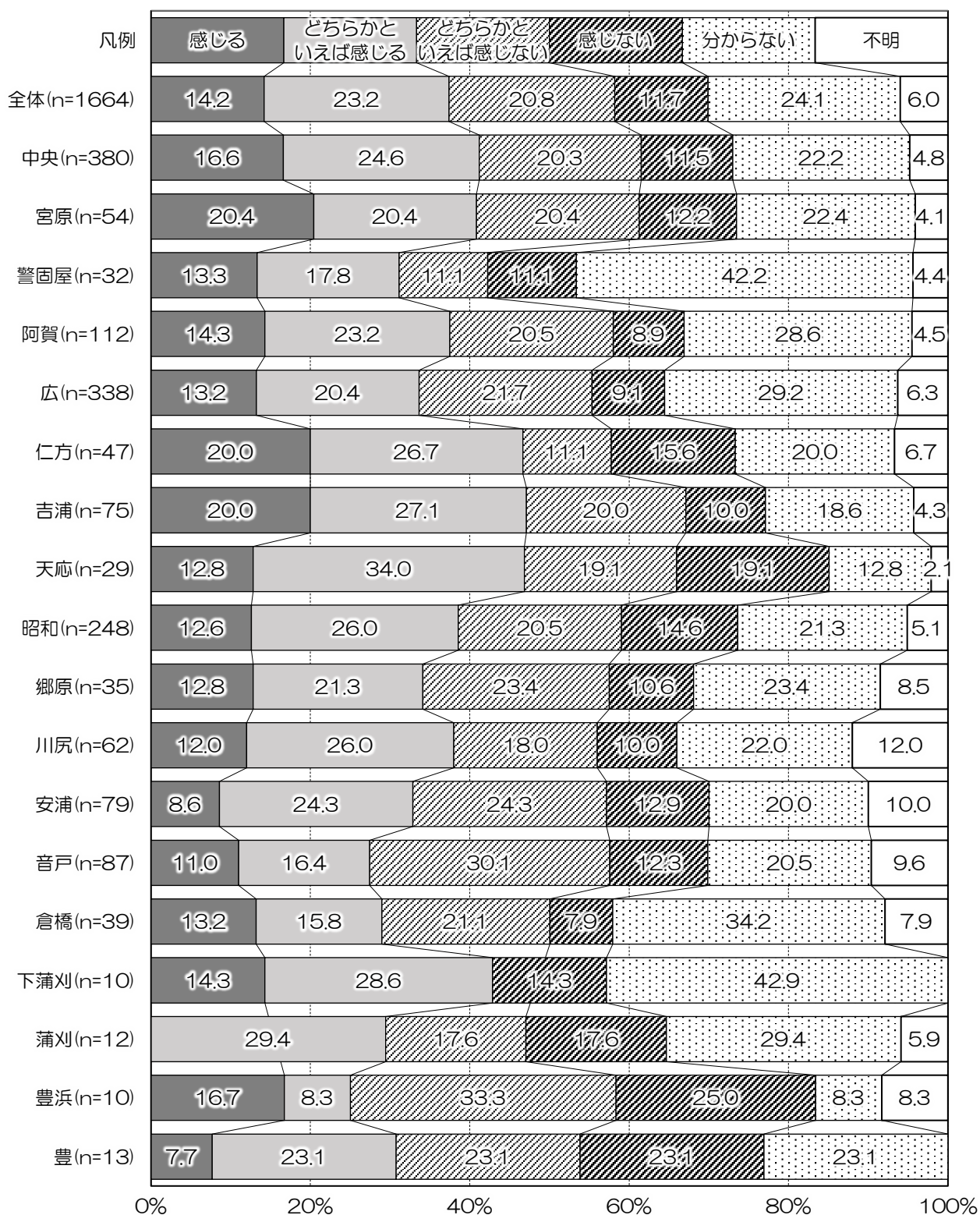
図表 呉市に感じる「誇り」の有無〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた合計での「感じる」は、吉浦地区、仁方地区、天応地区、下蒲刈地区で、4割を超え高くなっている。

図表 呉市に感じる「誇り」の有無〈地区別〉

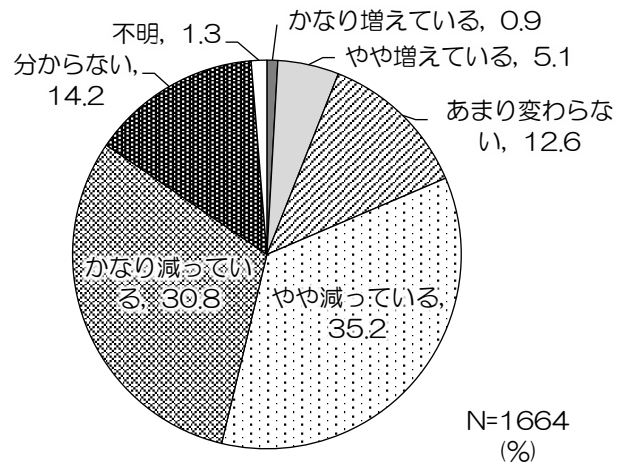


問5 お住まいの地域で、人口はどのように変化していますか。(〇は1つ)

住んでいる地域の近年の人口変化については、減っていると感じている人(「かなり減っている」と「やや減っている」)が、66.0%となっており、令和元年度調査とほぼ同様である。

一方、増えていると感じている人(「かなり増えている」と「やや増えている」)は、6.0%となっており、令和元年度調査に比べ微減している。

図表 お住まいの地域での人口変化

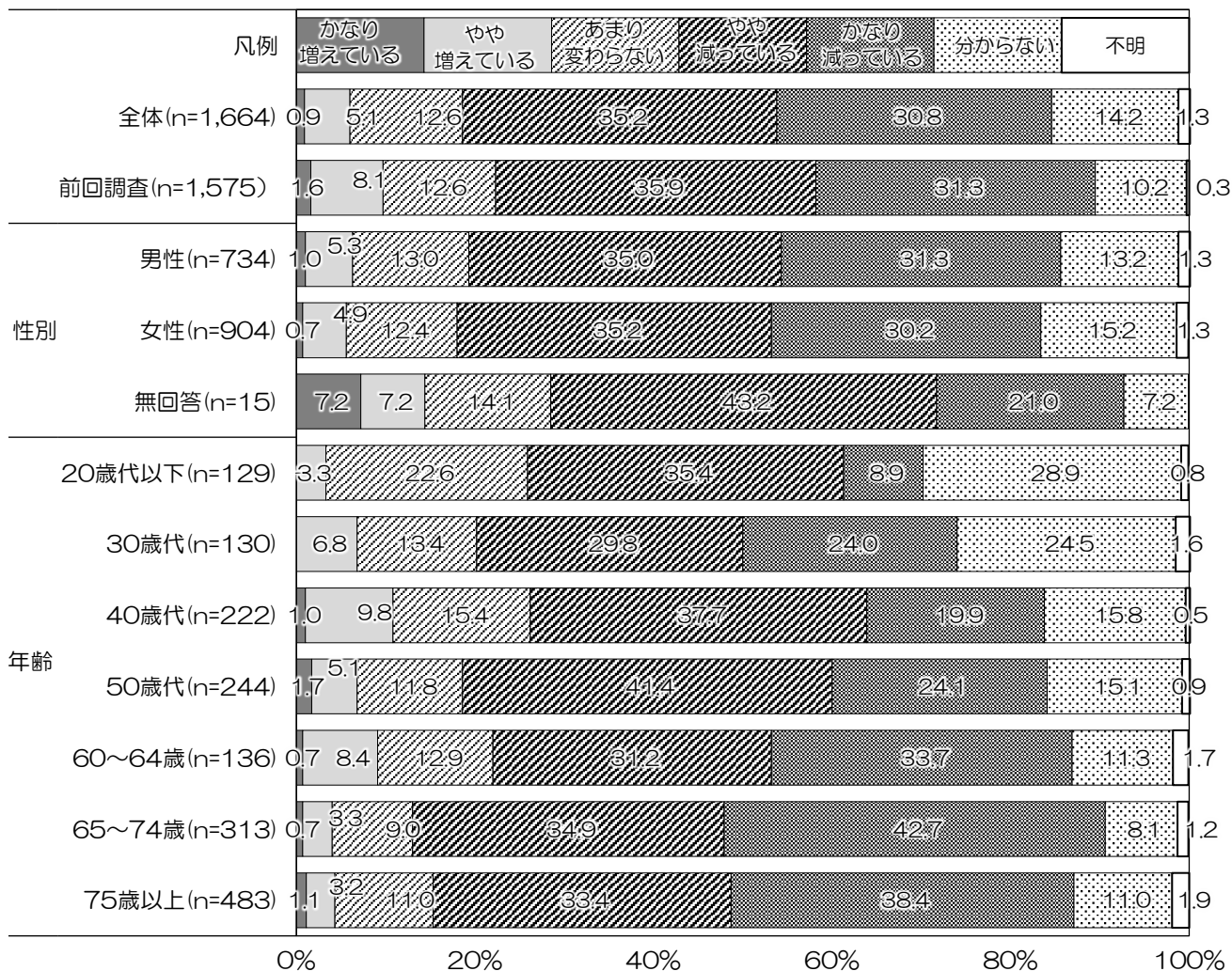


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性・女性であまり差がみられない。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「かなり増えている」「やや増えている」を合わせた「増えている」が少なくなり、「かなり減っている」がやや多くなる傾向がみられる。

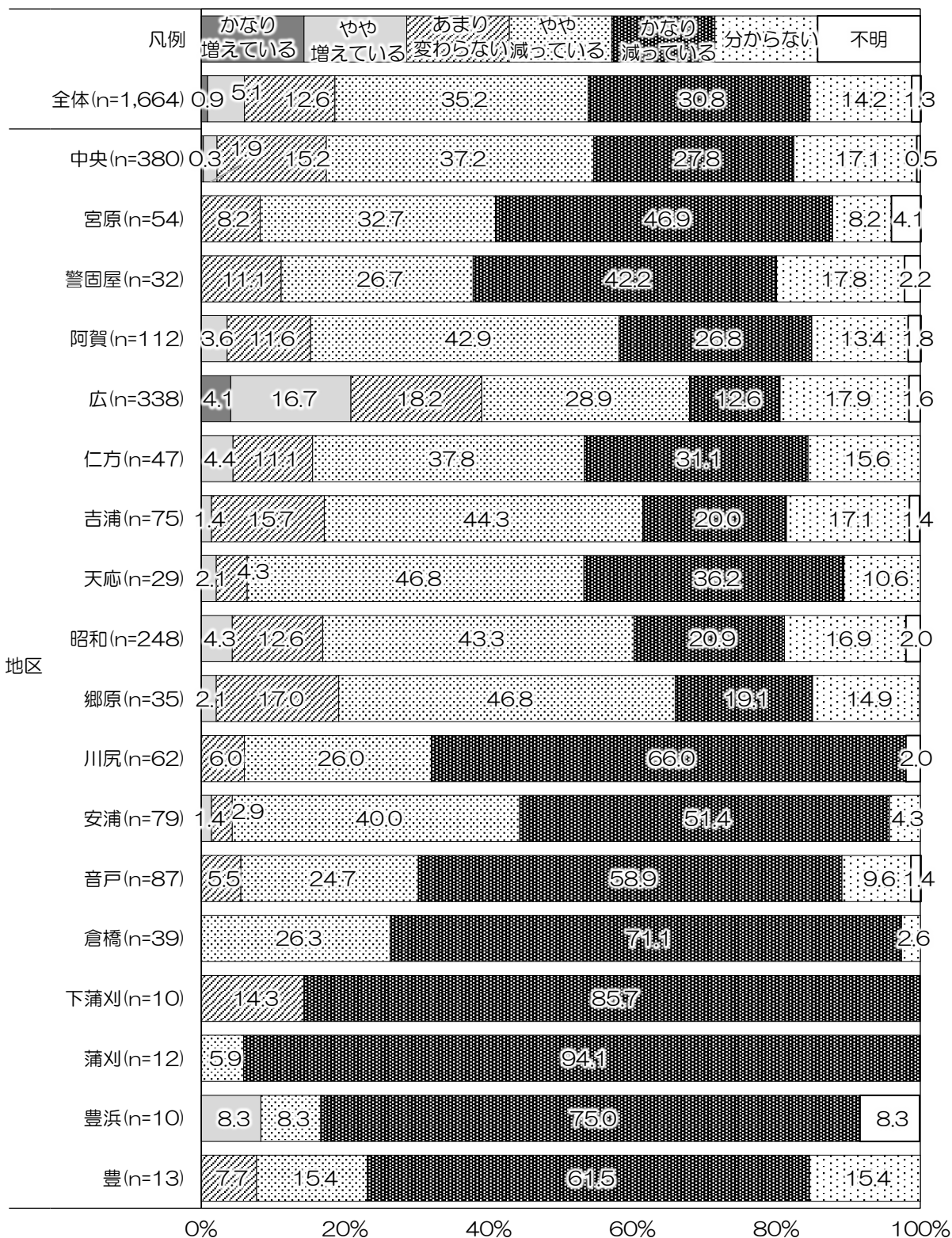
図表 お住まいの地域での人口変化〈性・年齢別〉



〈地区別〉

下蒲刈地区等の安芸灘地域、倉橋地区、音戸地区、川尻地区等で「かなり減っている」が約6割以上を占めている。

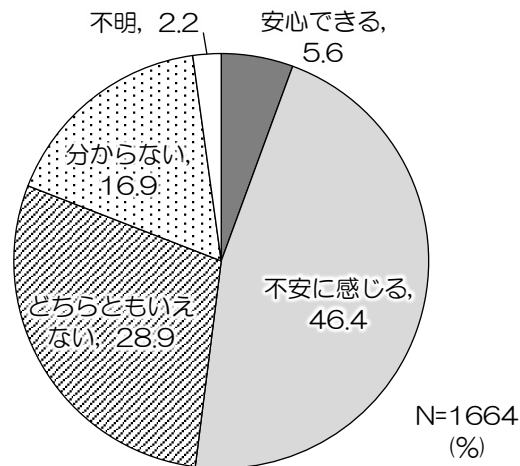
図表 お住まいの地域での人口変化〈地区別〉



問6 お住まいの地域での人口の変化について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

人口変化について、「不安を感じる(46.4%)」が最も多く、「安心できる(5.6%)」は、最も少なくなっている。「安心できる」が数ポイント減少しているものの、前回令和元年度調査とほぼ同様の傾向である。

図表 人口変化についての考え

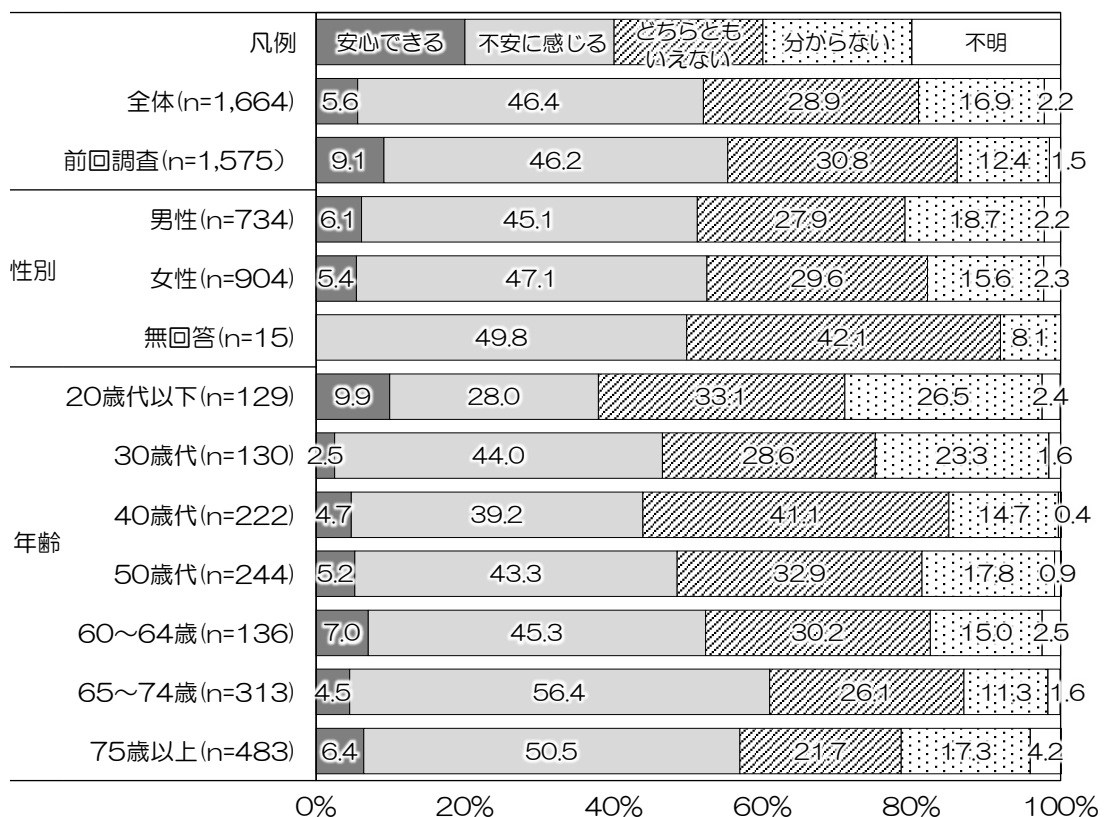


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性・女性であまり差がみられない。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「不安を感じる」がやや多くなる傾向がみられる。

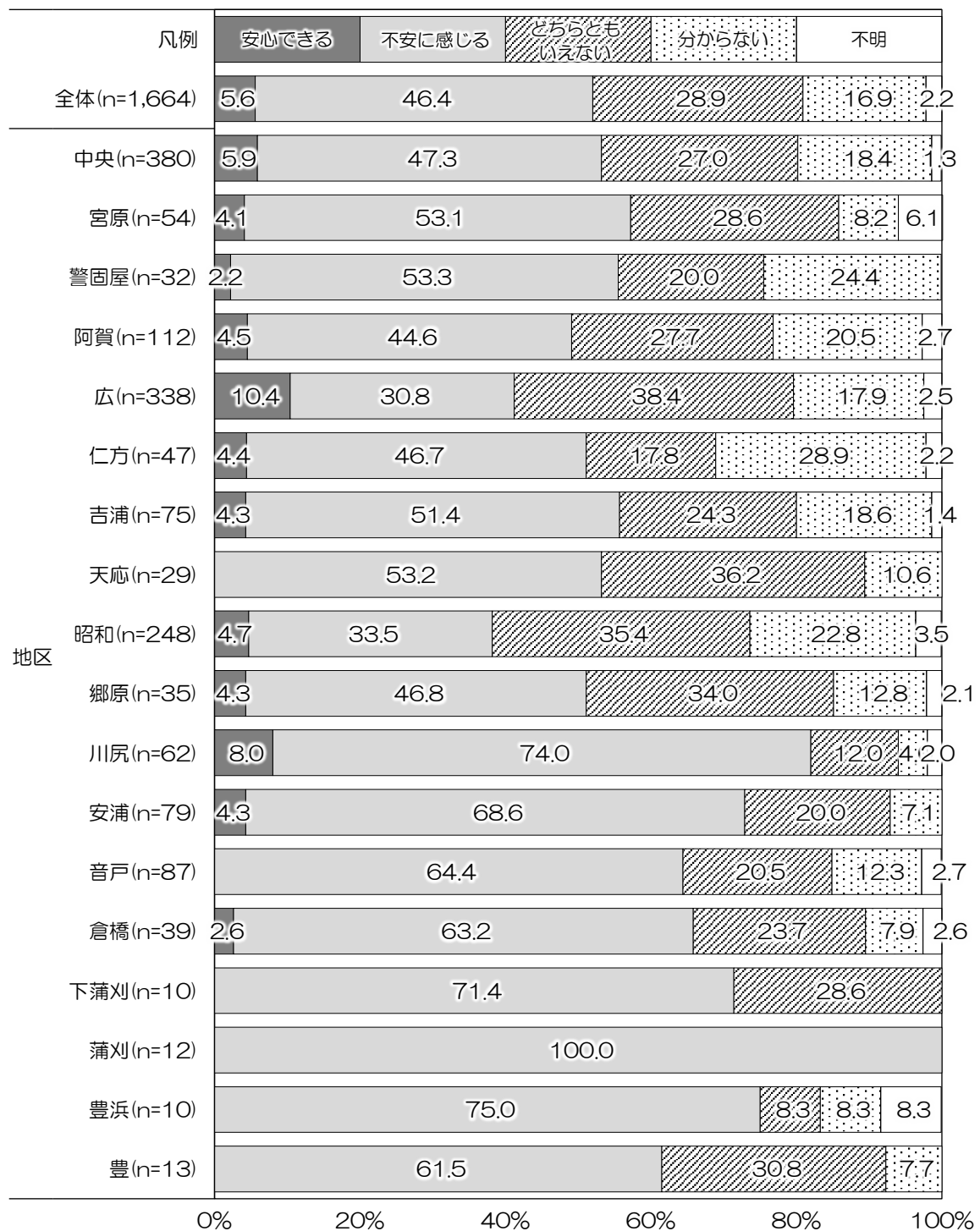
図表 人口変化についての考え〈性・年齢別〉



〈地区別〉

「不安に感じる」が蒲刈地区，川尻地区，豊浜地区，安浦地区等で多くなっている。

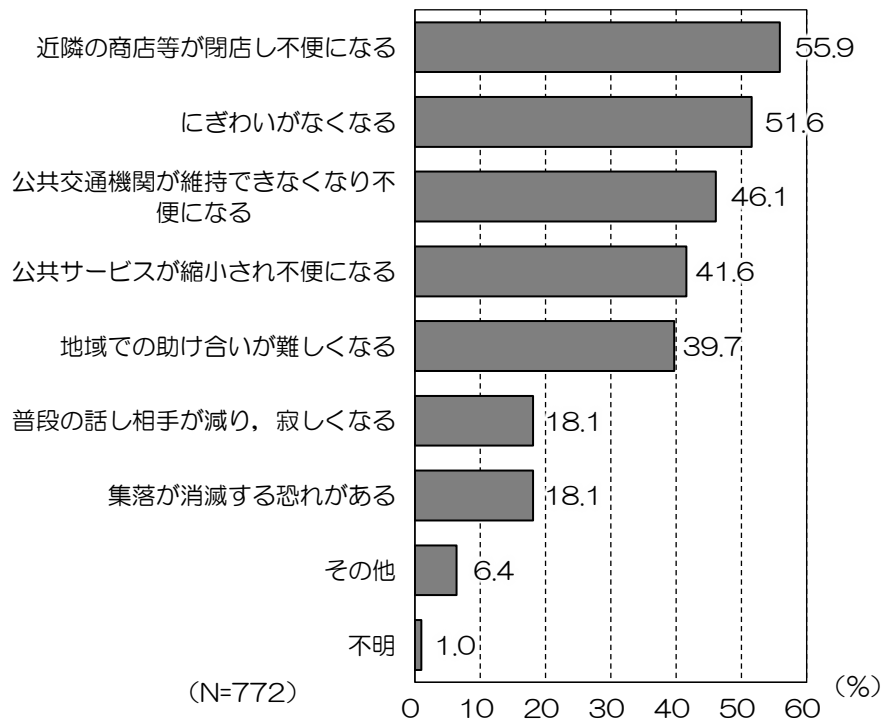
図表 人口変化についての考え〈地区別〉



問6-1 上記問6で「不安を感じる」に回答した方のみ
なぜ不安を感じるのですか。（〇はいくつでも）

人口変化に不安を感じる理由は、「近隣の商店等が閉店し不便になる（55.9%）」が最も多い。次いで「にぎわいがなくなる（51.6%）」「公共交通機関が維持できなくなり不便になる（46.1%）」「公共サービスが縮小され不便になる（41.6%）」の順となっており、令和元年度調査とほぼ同様の傾向となっている。

図表 人口変化を不安に感じる理由



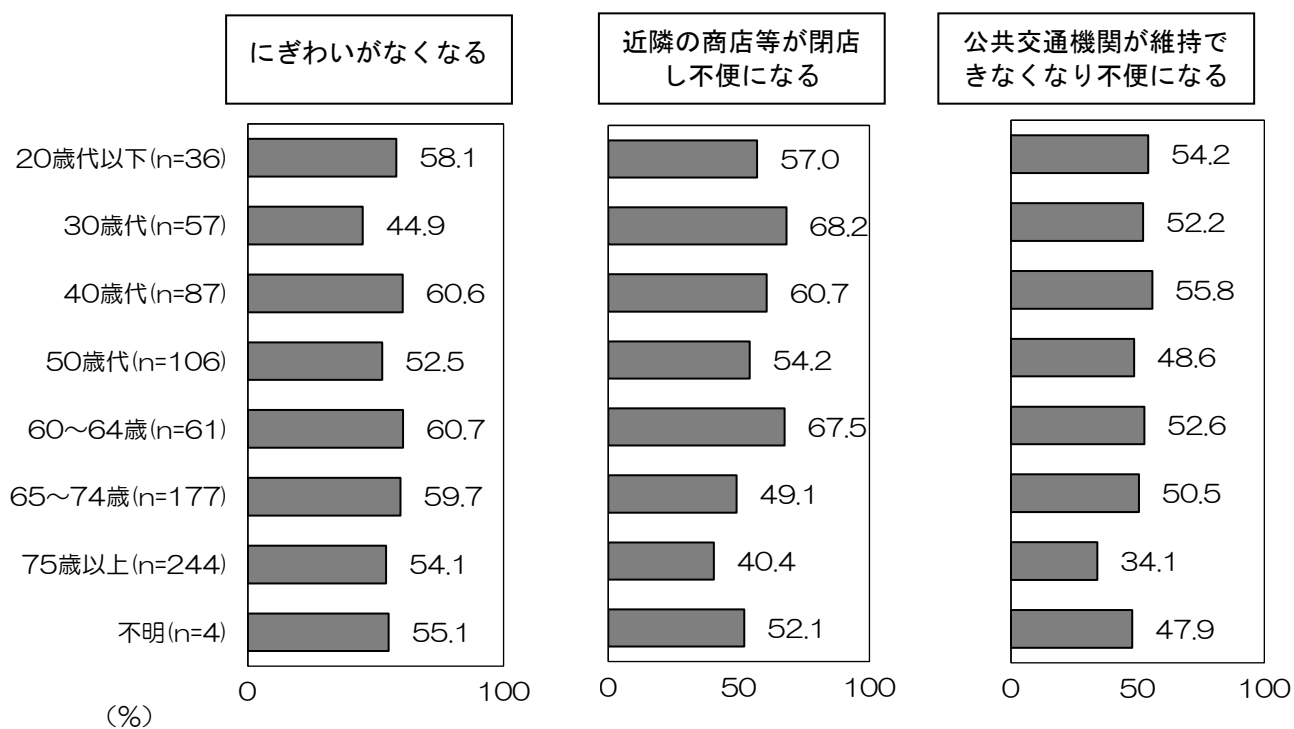
＜年齢別＞

上位3項目の年齢層別では、「にぎわいがなくなる」は、30歳代（44.9%）を除き、全ての年齢層で5割を超えている。

一方で、「近隣の商店等が閉店し不便になる」は、30歳代（68.2%）が最も多く、65～74歳（49.1%）、75歳以上（40.4%）は比較的少なくなっている。

また、「公共交通機関が維持できなくなり不便になる」は、75歳以上（34.1%）が、ほかの年齢層に比べて少ない。

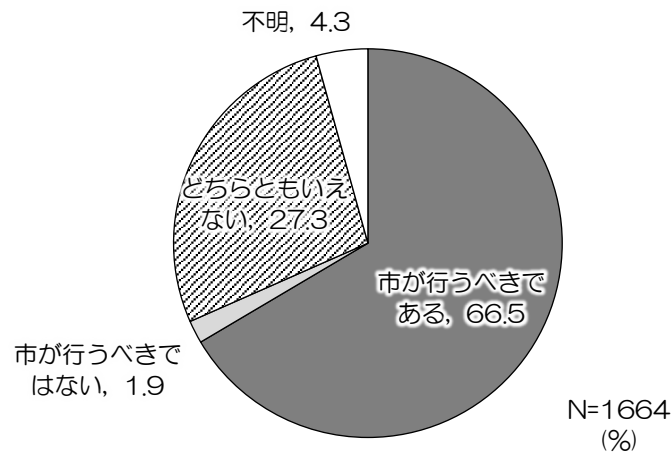
図表 人口変化を不安に感じる理由（上位3項目）〈年齢別〉



【新規】問7 呉市が人口減少対策を行う必要がありますか。（○は1つ）

市が人口対策を行う必要性について「市が行うべきである（66.5%）」が特に多く、「どちらともいえない（27.3%）」が続いている。「市が行うべきではない」はわずかとなっている。

図表 呉市の人口減少対策の必要性

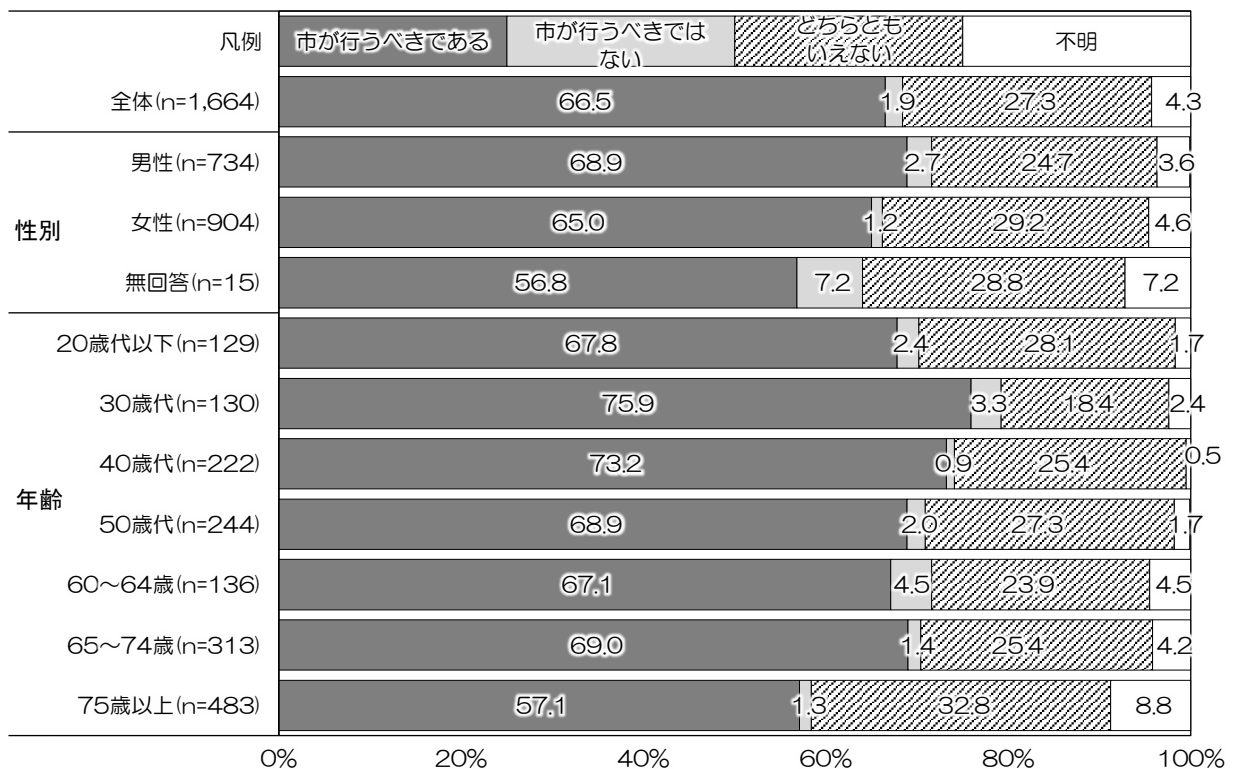


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「市が行うべきである（68.9%）」が、女性に比べてやや多く、女性では「どちらともいえない（29.2%）」が、男性に比べてやや多い。

年齢別でみると、30歳代で「市が行うべきである（75.9%）」が最も多くなっている。

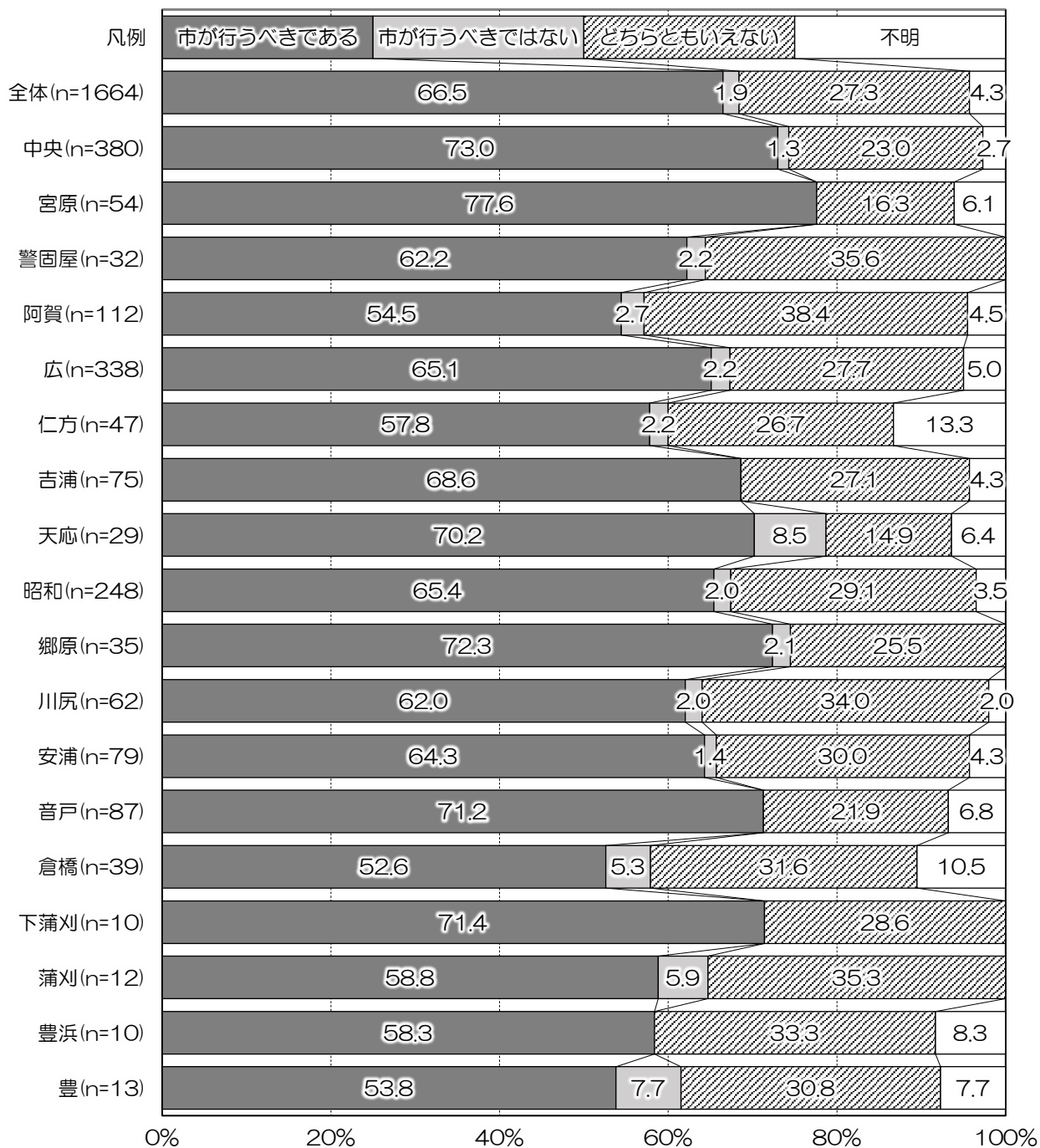
図表 呉市の人口減少対策の必要性〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「市が行うべきである」が宮原地区，中央地区，郷原地区，下蒲刈地区，音戸地区，天応地区で7割を超え，多くなっている。

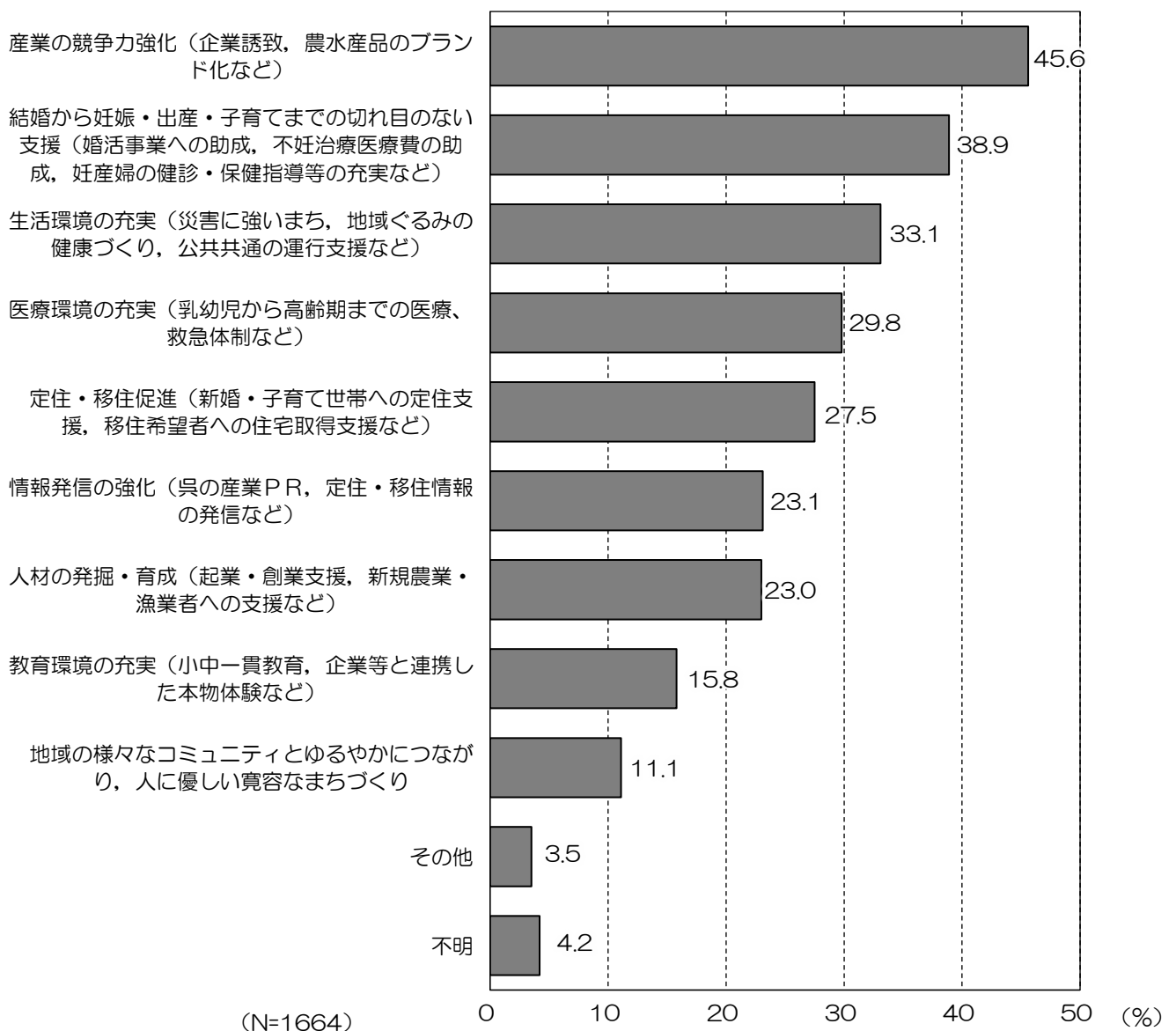
図表 呉市の人口減少対策の必要性〈地区別〉



問8 人口減少を抑えるために、どのような取組が必要ですか。（〇は3つまで）

人口減少を抑制するために必要な取組では、「産業の競争力強化（45.6%）」が最も多く、次いで「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援（38.9%）」「生活環境の充実（33.1%）」「医療環境の充実（29.8%）」の順となっている。令和元年度調査と比べ、産業対策が第一位となり、前回（30.2%）に比べて15ポイント以上多くなっている。

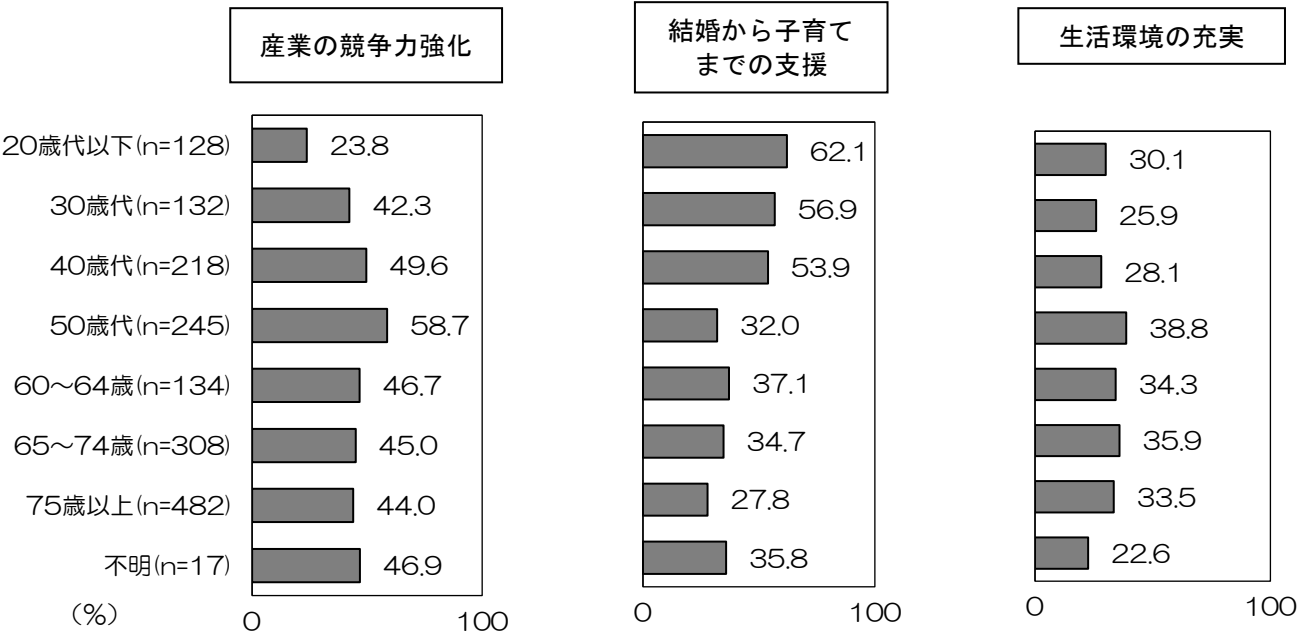
図表 人口減少を抑制するために必要な取組



〈年齢別〉

年齢別でみると、「産業の競争力強化」は50歳代、「結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援」は、40歳代以下、「生活環境の充実」は50歳代で多くなっている。

図表 人口減少を抑制するために必要な取組（上位3項目）〈年齢別〉



【類似都市比較】都市づくりの方向性について

類似設問について県内他都市（福山市）と比較すると、呉市では「産業」や「子育て」分野の取組が必要と考える人の割合が高い。

呉市（2024（令和6）年度）
人口減少を抑えるためにどのような取組が必要か。（上位5位まで） (%)

産業の競争力強化	結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	生活環境の充実	医療環境の充実	定住・移住促進
45.6	38.9	33.1	29.8	27.5

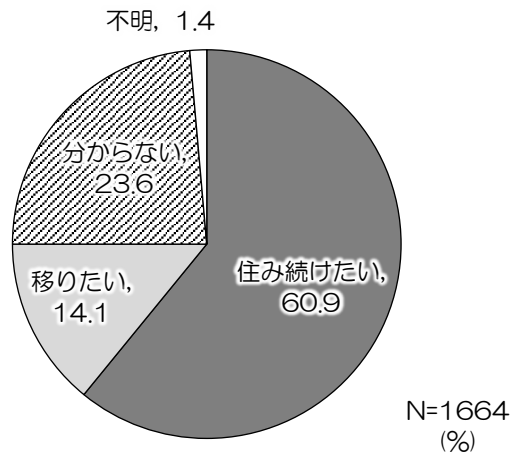
福山市（2015（平成27）年度）
福山市を将来どのようなまちにしたいと思いますか。（上位5位まで） (p)

災害に強く、安心・安全に暮らせるまち	高齢者や障がい者など、すべての人が健やかに、いきいきと暮らせるまち	中心市街地がにぎわい、多くの人が集うまち	暮らしや経済活動を支える公共交通や道路などが整備され、快適に暮らせるまち	子育て環境が充実し、希望の子育てが実現できるまち
1,513	1,059	723	709	691

問9 今住んでいる地域に、これからも「住み続けたい」ですか。（○は1つ）

今の居住地への居留意向は、「住み続けたい（60.9%）」が6割以上を占め、「移りたい」は14.1%となっている。令和元年度調査に比べ、「住み続けたい（前回64.0%）」が減少し、「移りたい（前回11.8%）」が多くなっている。

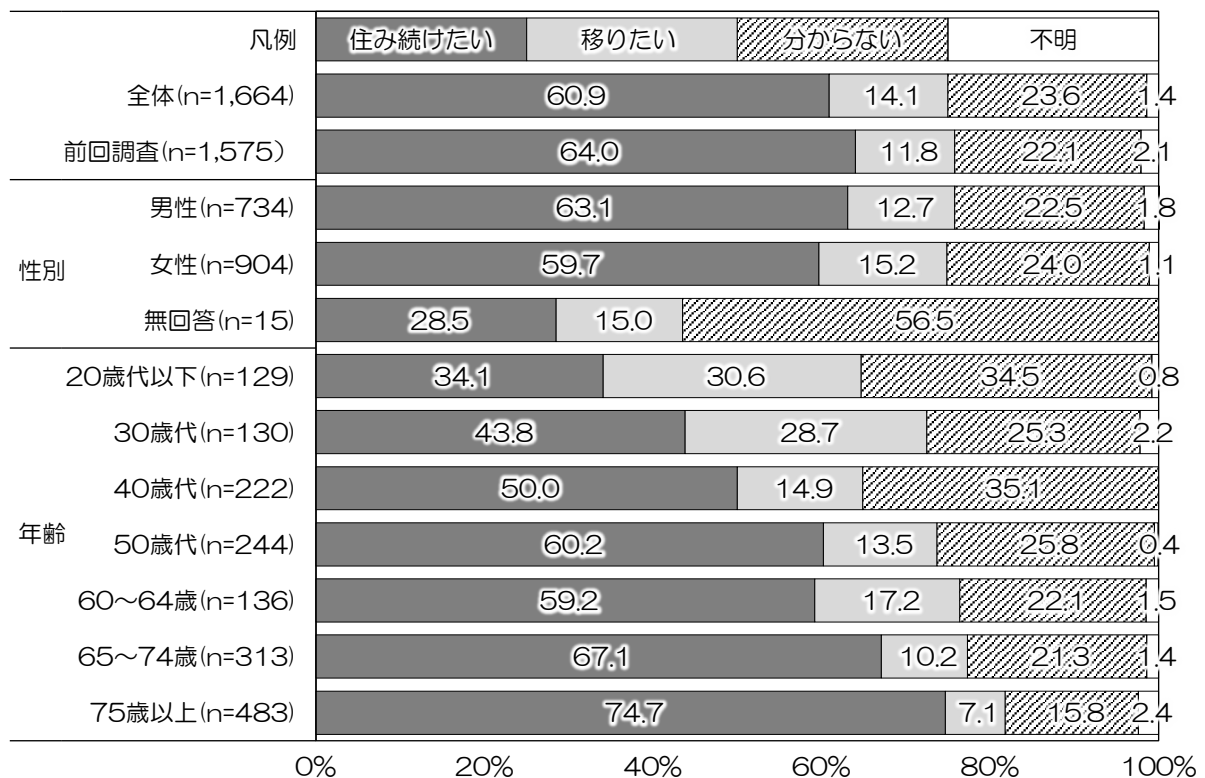
図表 今の居住地への居留意向



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「住み続けたい（63.1%）」が、女性に比べて多くなっている。年齢別でみると、年齢が上がるほど「住み続けたい」が多くなる傾向がみられる。

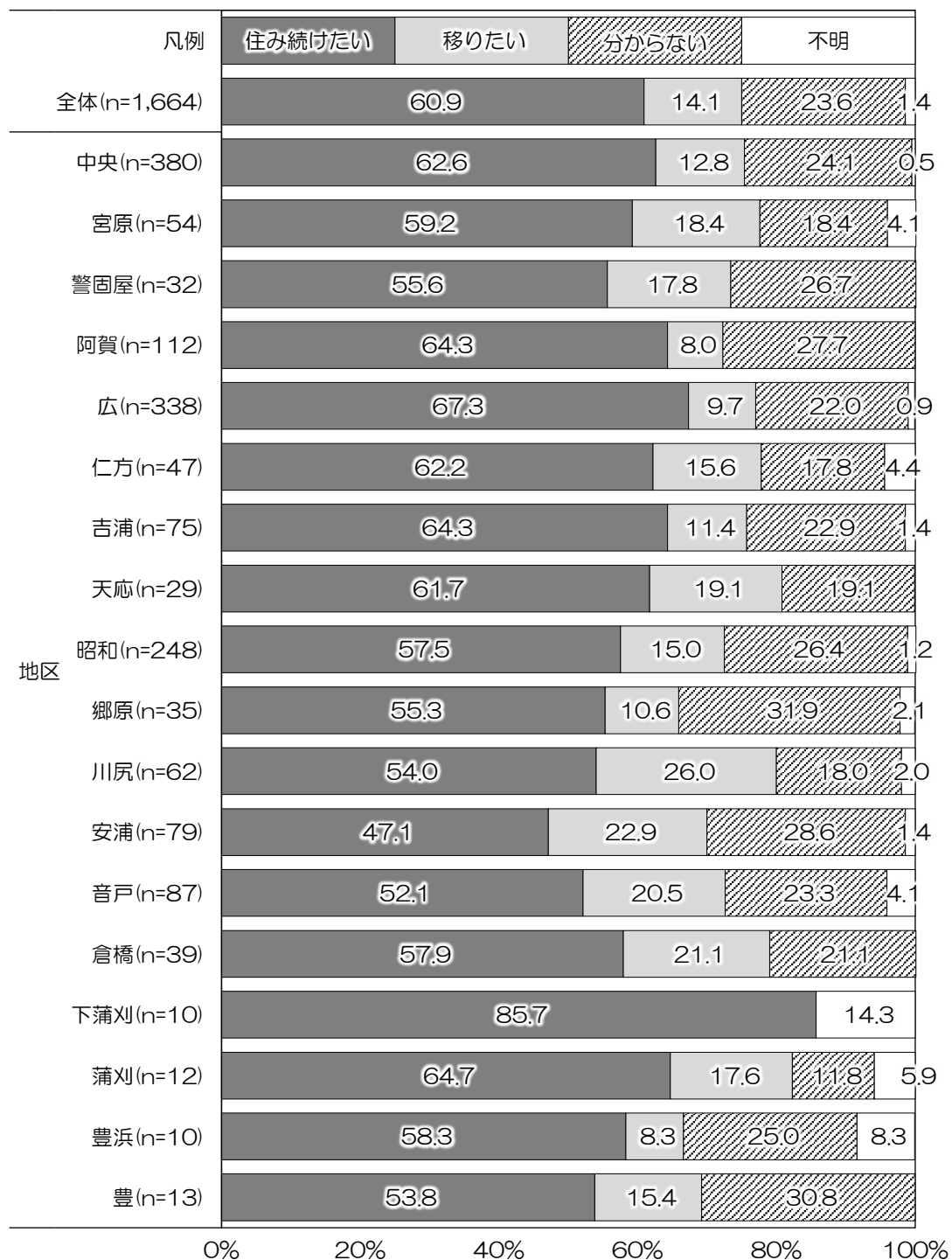
図表 今の居住地への居留意向〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「住みたい」が下蒲刈地区、広地区、蒲刈地区、阿賀地区などで多くなっている。
一方、「移りたい」は、川尻地区、安浦地区などで多くなっている。

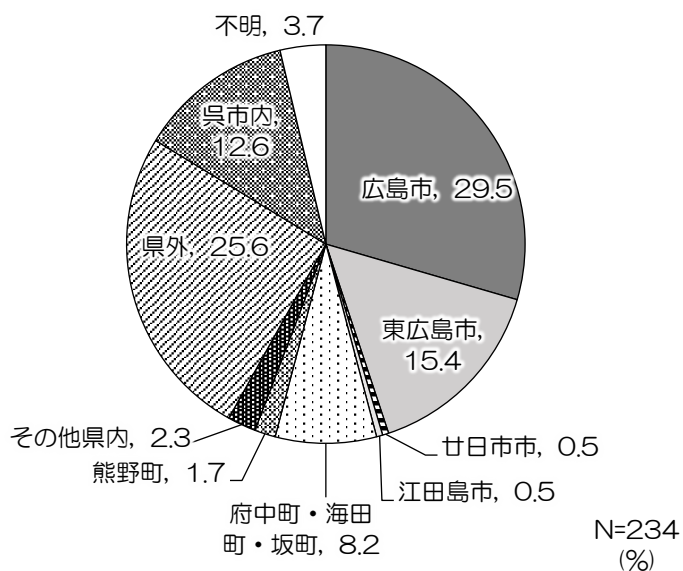
図表 今の居住地への居住意向〈地区別〉



問9-1 上記問9で「移りたい」に回答した方のみ
どの地域へ移りたいですか。（○は1つ）

「移りたい」と回答した人の希望転居地域は、「広島市（29.5%）」「県外（25.6%）」「東広島市（15.4%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて、「県外（前回16.4%）」が多くなっており、「呉市内（前回29.5%）」が大きく減少している。

図表 移りたい地域



年齢別にみると、若い年齢で「県外」、60歳代を中心とした中高年層で「広島市」が多くなっている。

凡例		広島市	東広島市	廿日市市	江田島市	府中町 海田町 坂町	能野町	その他 県内	県外	呉市内の 別地区	不明
性別	全体(n=234)	29.5	15.4	0.5	8.2	1.7	2.3	25.6	12.6	3.7	
	男性(n=93)	25.1	20.5	1.3	10.4	2.2	1.1	25.8	12.4	1.1	
	女性(n=137)	33.3	12.5	0.8	7.0	0.7	2.3	25.5	13.1	4.8	
	無回答(n=2)	54.1	45.9								
年齢	20歳代以下(n=39)	25.2	5.2	18.3	48.7	2.6					
	30歳代(n=37)	32.7	22.4	2.9	9.9	26.7	5.5				
	40歳代(n=33)	15.9	25.0	6.2	3.3	6.7	33.3	3.0	6.6		
	50歳代(n=33)	35.8	12.9	7.7	3.0	24.7	12.1	3.8			
	60～64歳(n=23)	50.2	9.7	3.5	18.7	13.3	4.6				
	65～74歳(n=32)	35.2	23.7	6.1	15.6	19.4					
	75歳以上(n=34)	20.1	6.6	3.7	3.0	5.7	6.4	7.0	38.6	9.0	
		0%	20%	40%	60%	80%	100%				

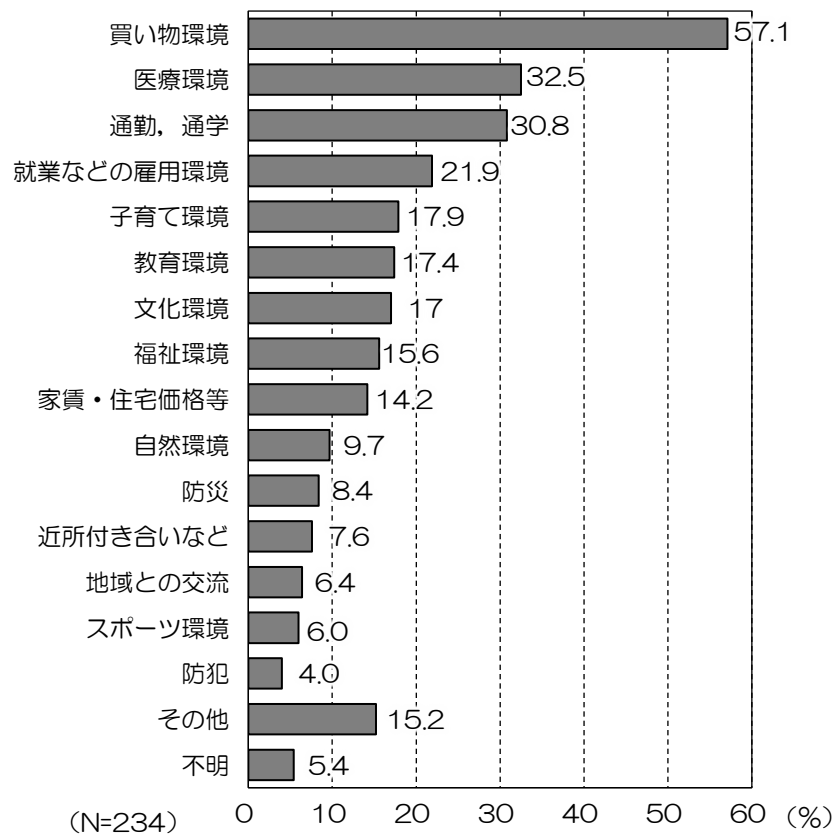
問9-2 上記問9で「移りたい」に回答した方のみ

他の地域（市内，市外）へ移りたいと思う理由は、何ですか。

（〇はいくつでも）

他の地域（市内，市外）へ移りたいと思う理由は、「買い物環境（57.1%）」が最も多く、次いで「医療環境（32.5%）」「通勤，通学（30.8%）」の順となっており，令和元年度調査とほぼ同様の傾向となっている。

図表 他の地域へ移りたい理由



【類似都市比較】定住意向について

類似設問について、県内他都市と比較すると、呉市では「移動」や「買い物」の環境などを住みにくさを感じる理由としてあげる人の割合が高い。

呉市（2024（令和6）年度）

呉市を「住みにくい」と感じる理由は、何ですか。（上位5位まで）（％）

移動環境（公共交通機関）	買い物環境	通勤、通学	医療環境	就業などの雇用環境
59.7	58.6	33.0	29.0	28.7

広島市（2023（令和5）年度）

できれば移転したい、移転したい理由は何ですか。（上位5位まで）（％）

交通や買い物など生活の利便性 が良いところに 住むため	自分や家族の 仕事の事情の ため	出身地に戻る ため	東京、大阪な どの都会に住 むため	子育て環境の 良いところに 住むため
31.0	20.7	20.0	19.3	16.6

福山市（2015（平成27）年度）

引っ越したい理由は何ですか。（上位5位まで）（％）

駅周辺の中心市 街地に魅力がな いから	通勤・通学が 不便だから	自分が希望す る働き先が少 ないから	買い物など日 常生活面で不 便だから	周りの生活環 境がよくない から
23.7	11.3	10.3	10.3	7.2

尾道市（2024（令和6）年度）

他の場所に移りたい理由。（上位5位まで）（％）

道路事情や交 通の便が悪い	生活環境・住 環境が悪い	まちに活気・ 賑わいが無い	医療、福祉の施 設・サービスが 不十分である	働きやすい環境 が整っていない
68.9	41.5	36.8	36.8	33.0

東広島市（2024（令和6）年度）

移転・転出したい主な理由は何ですか。（上位5位まで）（％）

移動環境（高速 道路や空港、電 車など）が不足 しており不便	買い物などの 日常生活が不 便	医療機関や福祉 サービスが充実 していない	通勤・通学が 不便	文化施設や遊ぶ ところが少なく、 充実した余暇を 過ごせない
38.5	32.3	32.3	29.2	24.6

廿日市市（2023（令和5）年度）

廿日市市以外に住みたい理由。（上位5位まで）（％）

通勤・通学が 不便	医療機関が少 ないまたは遠 い	買い物する場 所がなく日常 生活が不便	働く場所が少 ない	周りの生活環 境が良くない
36.6	36.6	24.4	24.4	17.1

【類似都市比較】移転希望者の移転先について

類似設問について県内他都市（尾道市）と比較すると、呉市では、居住を希望する地域として「広島市」の割合が高く、「県外」については同程度の割合となっている。

呉市（2024（令和6）年度）

（移りたい人のみ）どの地域に移りたいですか。（上位5位まで）（％）

広島市	県外	東広島市	呉市内	府中町・海田町・坂町
29.5	25.6	15.4	12.6	8.2

尾道市（2024（令和6）年度）

今後住んでみたい場所。（上位5位まで）（％）

福山市	その他の地域	大阪圏	東京圏	広島市
24.7	24.7	16.1	10.8	9.7

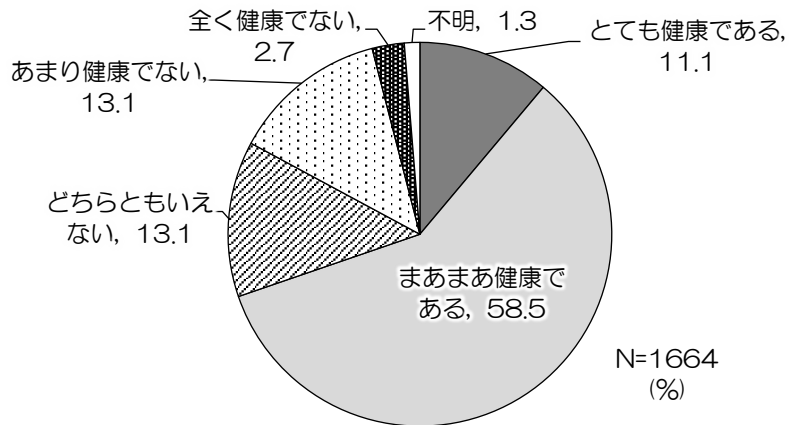
Ⅱ 呉市の主要課題に対する意識について

(1) 健康づくり

問 10 健康であると感じていますか。(〇は1つ)

現在の健康状態については、「とても健康である(11.1%)」と「まあまあ健康である(58.5%)」を合わせた「健康である」と感じている人(69.6%)が、7割を占めており、令和元年度調査(71.8%)と比較すると、ほぼ同程度となっている。

図表 健康状態の認識

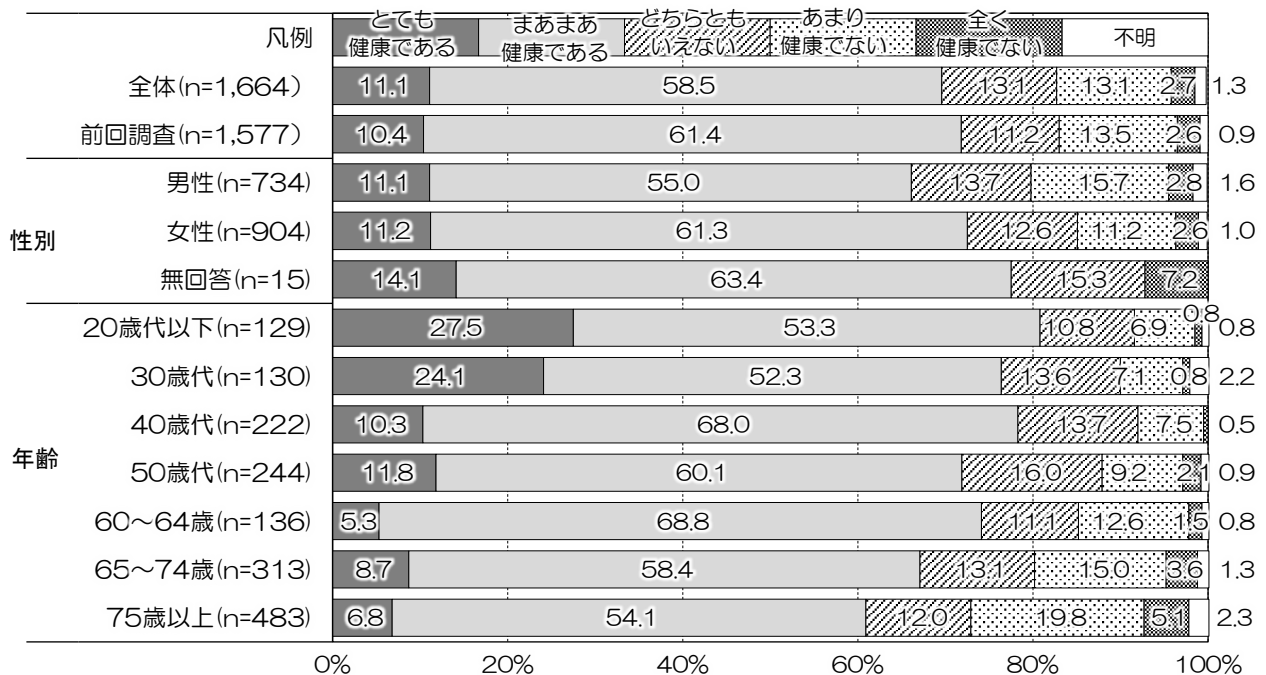


〈性別・年齢別〉

性別でみると、女性で「まあまあ健康である」が、男性で「あまり健康でない」が、それぞれ異性と比べてやや多くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど、「とても健康である」が少なくなる傾向がみられる。

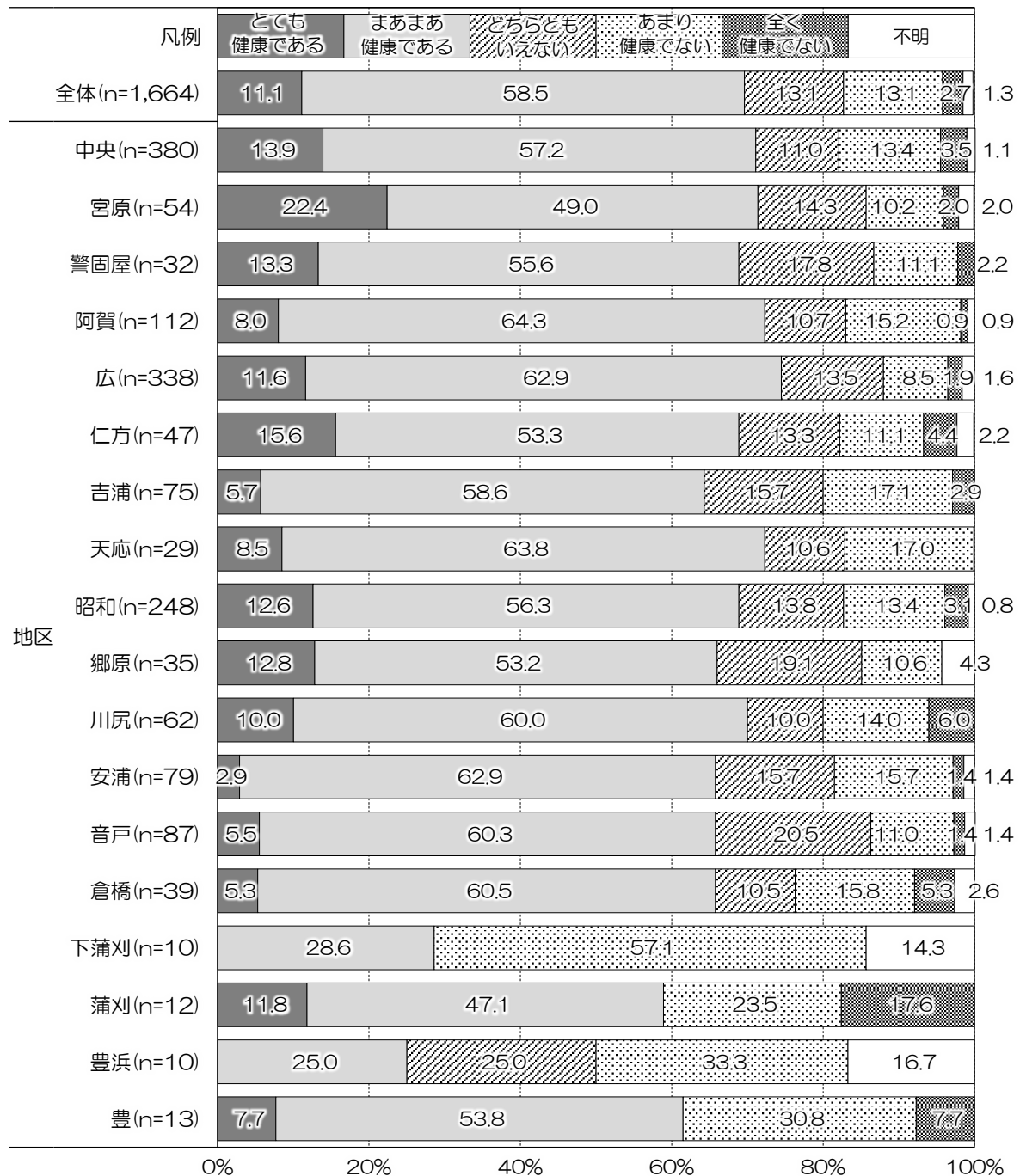
図表 健康状態の認識〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「とても健康である」が、宮原地区、仁方地区等でやや多くなっている。一方、件数は少ないものの、下蒲刈地区、豊浜地区では、「あまり健康でない」が多くなっている。

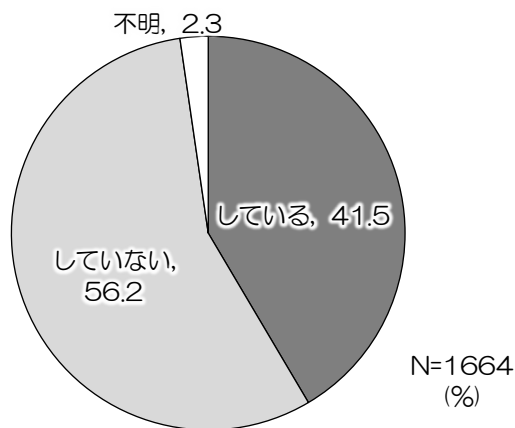
図表 健康状態の認識〈地区別〉



問11 健康増進に向けて、あなたは現在、定期的な運動（1回30分以上の運動を週2回以上）をしていますか。（○は1つ）

定期的（週2回以上）な運動については、「していない（56.2%）」が「している（41.5%）」を14.7ポイント上回っている。令和元年度調査に比べ、運動をしている比率（前回37.3%）がわずかに上昇している。

図表 定期的な運動

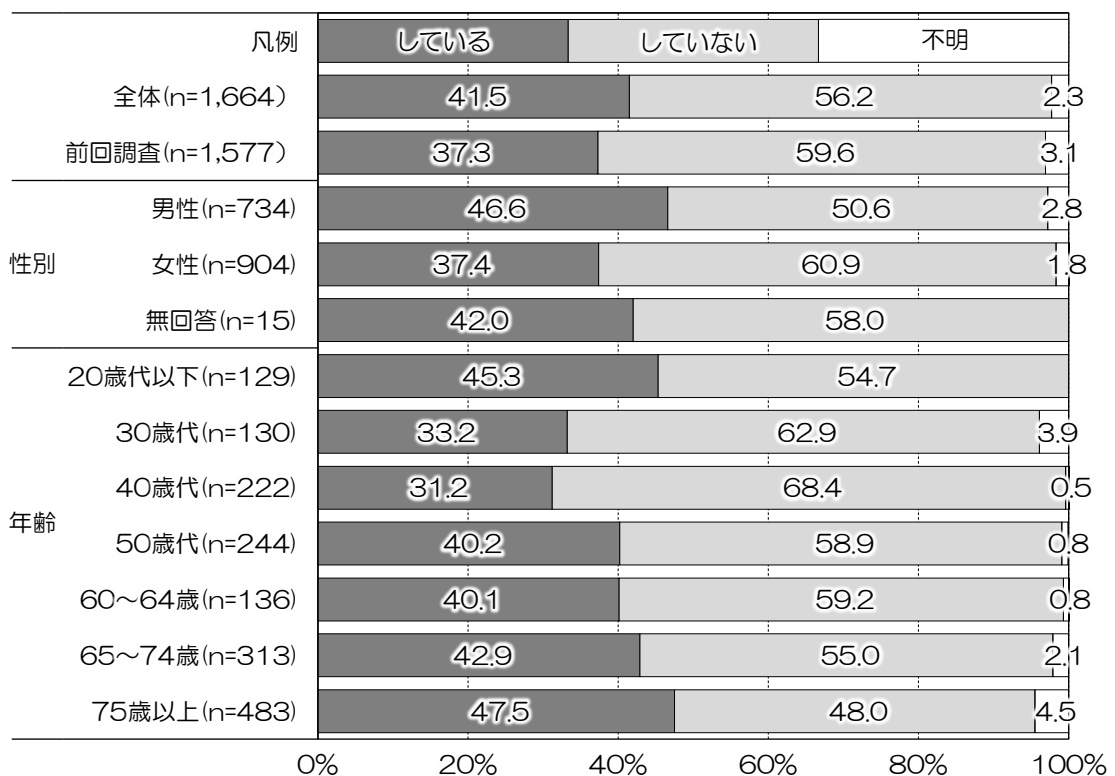


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「（運動）している（46.6%）」が、女性を9.2ポイント上回っている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど、「（運動）している」が多くなっている。

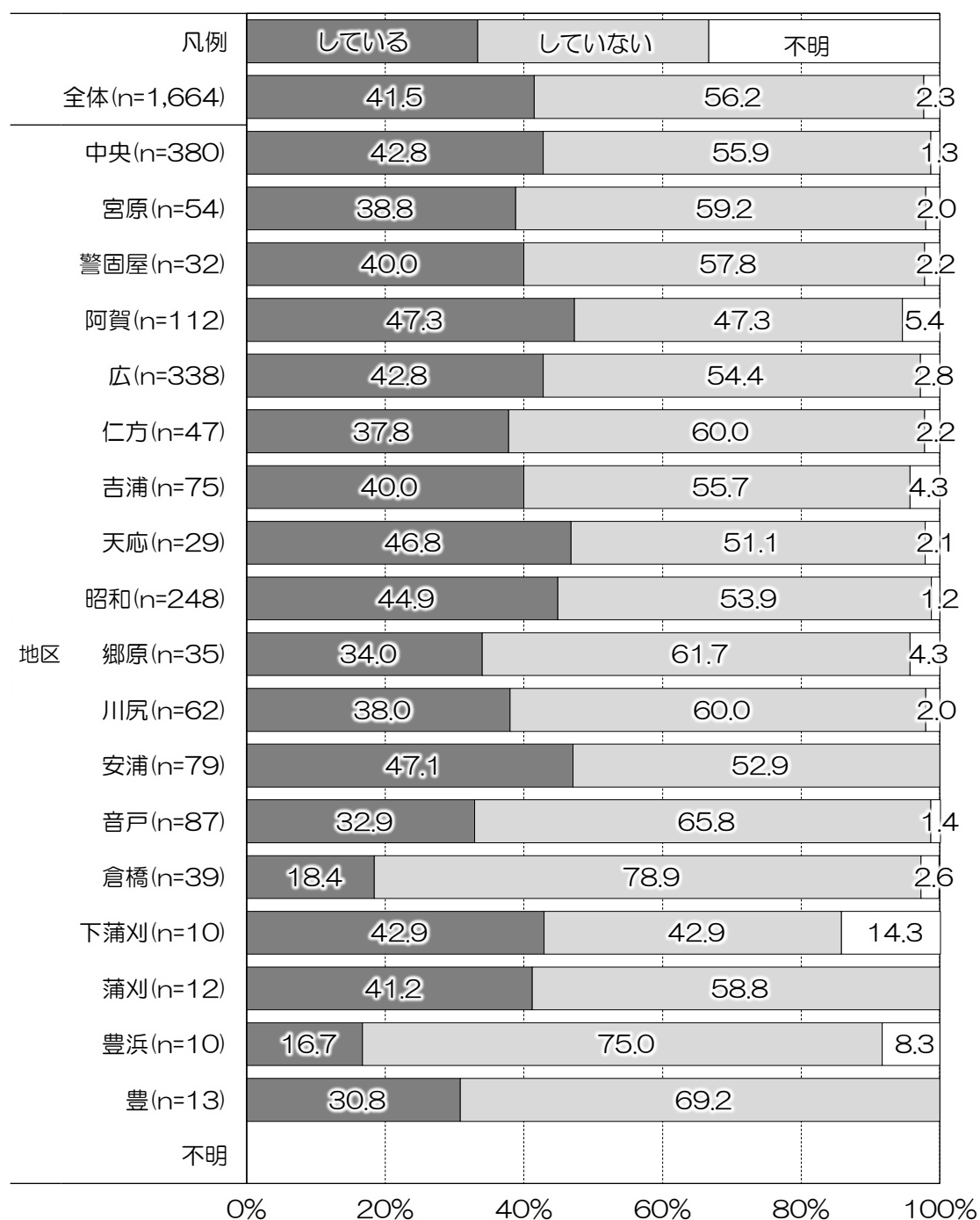
図表 定期的な運動〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「（運動）している」が、阿賀地区、安浦地区、天応地区、昭和地区でやや多くなっている。一方、「（運動）していない」は、倉橋地区で多くなっている。

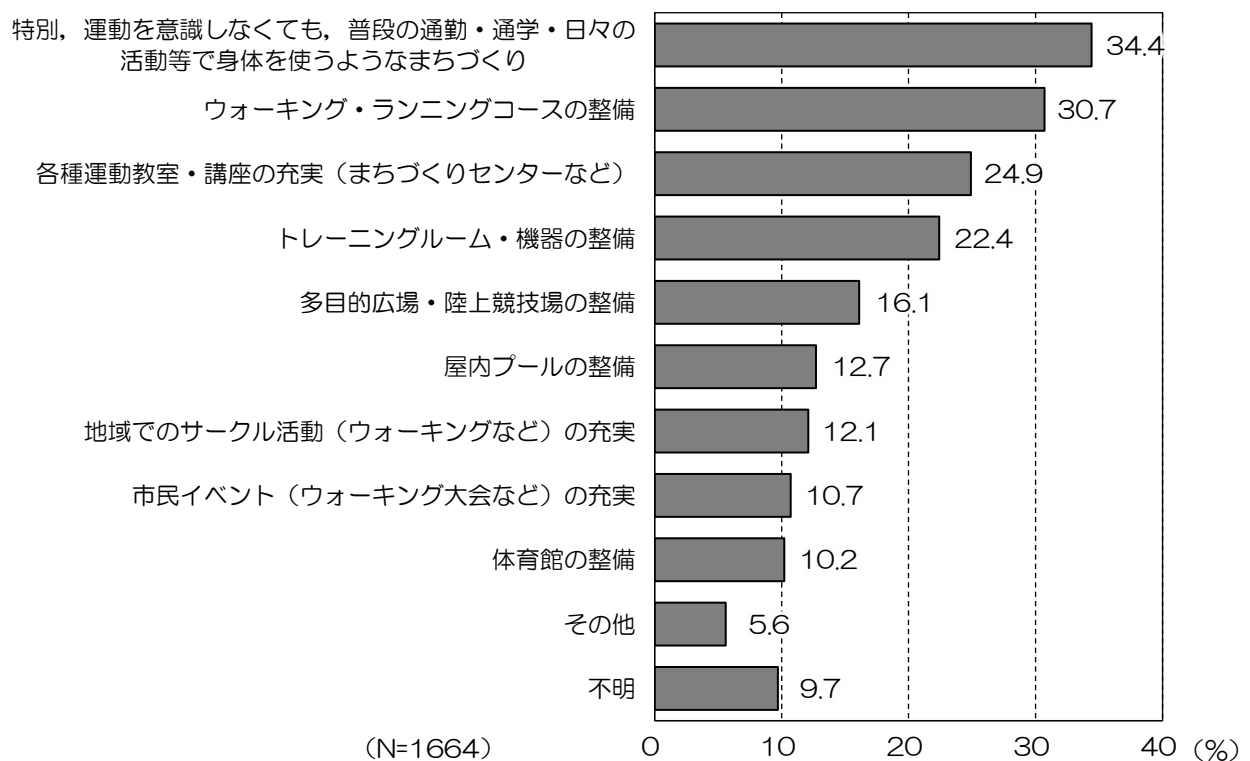
図表 定期的な運動〈地区別〉



問12 健康増進のための運動を行っていく上で、どのような環境整備が必要ですか。
(〇はいくつでも)

健康増進のために必要な環境整備では、「特別、運動を意識しなくても、普段の通勤・通学・日々の活動等で身体を使うようなまちづくり (34.4%)」「ウォーキング・ランニングコースの整備 (30.7%)」「各種運動教室・講座の充実(まちづくりセンターなど) (24.9%)」が多く、次いで、「トレーニングルーム・機器の整備 (22.4%)」の順となっている。

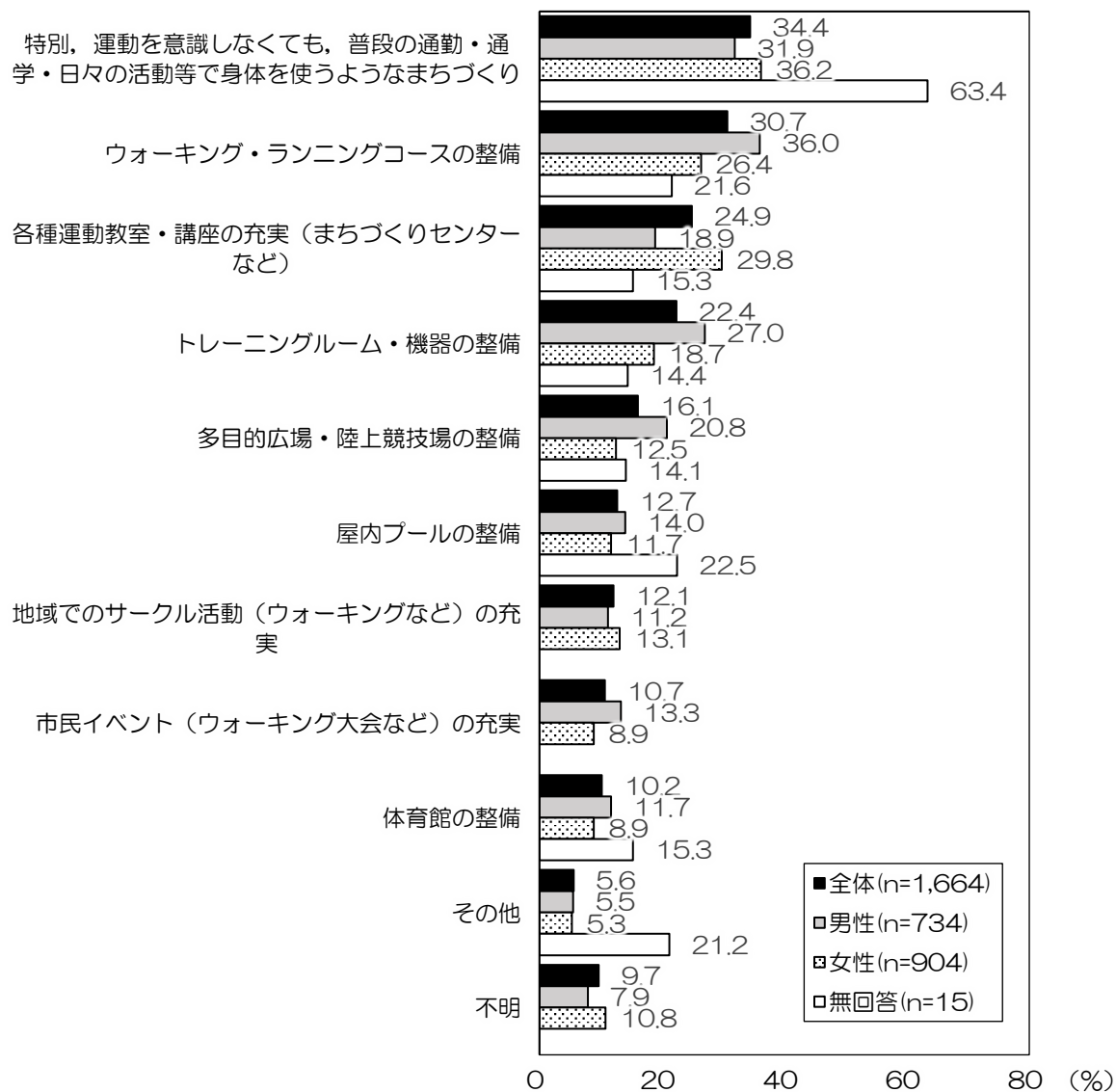
図表 健康増進のために必要だと思う環境整備



〈性別〉

男性で「ウォーキング・ランニングコースの整備」「トレーニングルーム・機器の整備」「多目的広場・陸上競技場の整備」が、女性に比べて多い。一方、女性では、「各種運動教室・講座の充実」が多くなっている。

図表 健康増進のために必要だと思う環境整備〈性別〉



〈年齢別〉

年齢別でみると、若い年齢層で「市民イベントの充実」「多目的広場・陸上競技場の整備」「体育館の整備」等が多く、年齢が上がるほど、「各種運動教室・講座の充実」が多くなっている。

図表 健康増進のために必要だと思う環境整備〈年齢別〉

(%)

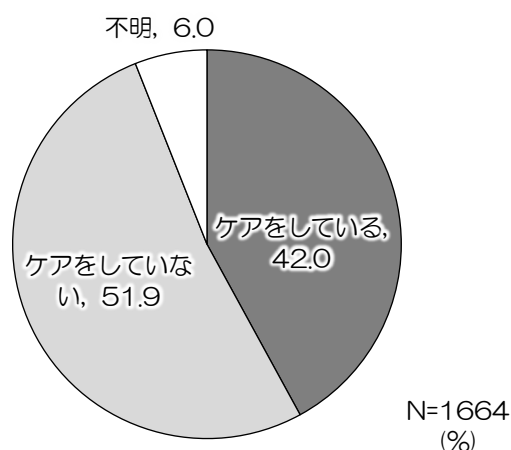
	各種運動教室・講座の充実（まちづくりセンターなど）	市民イベント（ウォーキング大会など）の充実	地域でのサークル活動（ウォーキングなど）の充実	ウォーキング・ランニングコースの整備	トレーニングルーム・機器の整備	多目的広場・陸上競技場の整備	体育館の整備	屋内プールの整備	特別、運動を意識しなくても、普段の通勤・通学・日々の活動等で身体を使うようなまちづくり	その他	不明
20歳代以下 (n=129)	8.9	14.6	8.1	35.3	45.9	29.2	24.9	22.5	26.7	5.2	4.2
30歳代 (n=130)	17.9	16.6	10.3	28.6	29.0	23.5	16.0	17.4	31.4	6.5	8.7
40歳代 (n=222)	18.9	12.6	7.9	36.7	19.8	25.9	15.5	20.7	37.4	6.8	2.3
50歳代 (n=244)	28.0	13.9	12.9	42.6	27.0	15.8	14.6	12.0	34.9	5.4	3.6
60～64歳 (n=136)	30.5	9.5	11.2	38.8	26.6	14.5	6.7	11.0	32.7	3.4	5.7
65～74歳 (n=313)	33.0	9.2	12.9	30.9	17.4	9.3	4.6	11.3	36.5	6.9	9.6
75歳以上 (n=483)	25.5	7.2	15.1	18.8	15.2	11.4	4.9	6.8	34.3	5.0	18.9

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

【新規】問13 家族等のケア（心や体に不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など）をしていますか。（○は1つ）

家族等のケアについては、「ケアをしていない（51.9%）」が「ケアをしている（42.0%）」をやや上回っている。

図表 家族などのケアの有無

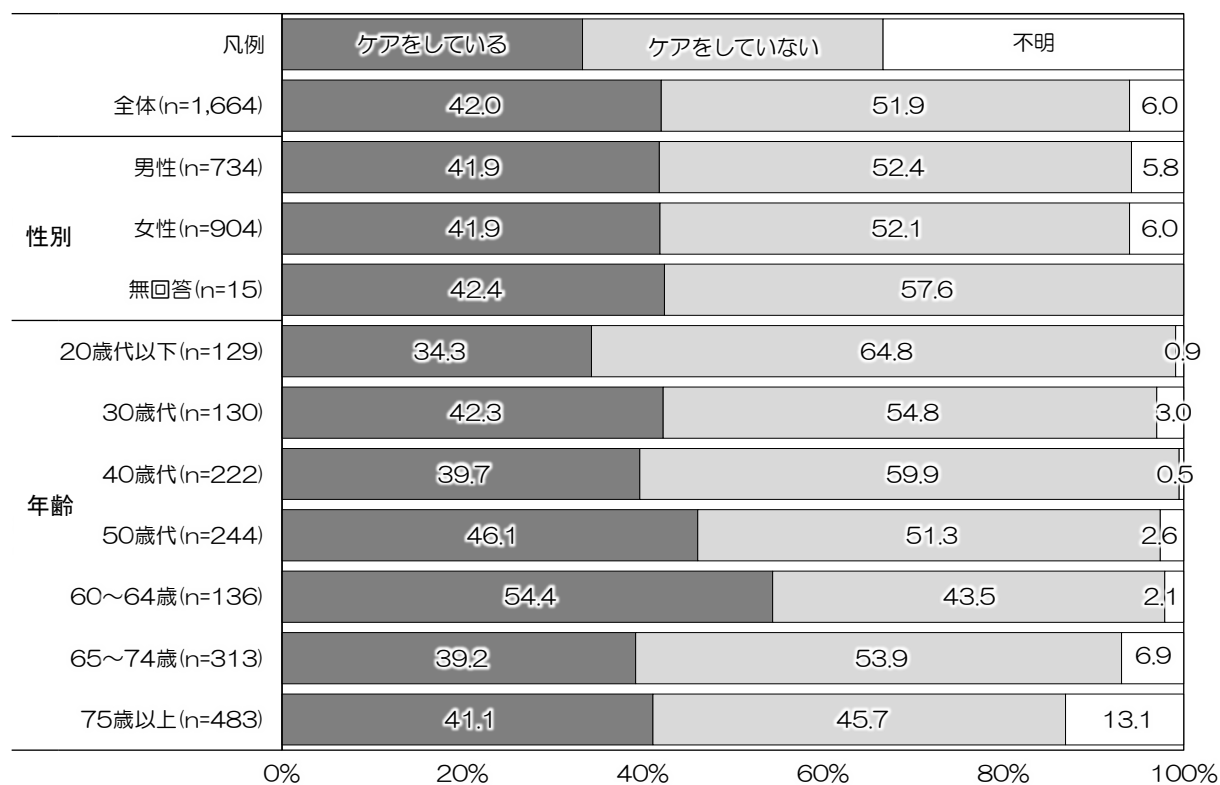


〈性別・年齢別〉

性別でみると、ほとんど差はみられない。

年齢別でみると、60～64 歳で「ケアをしている」が 54.4%を占めるなど、特に多くなっている。

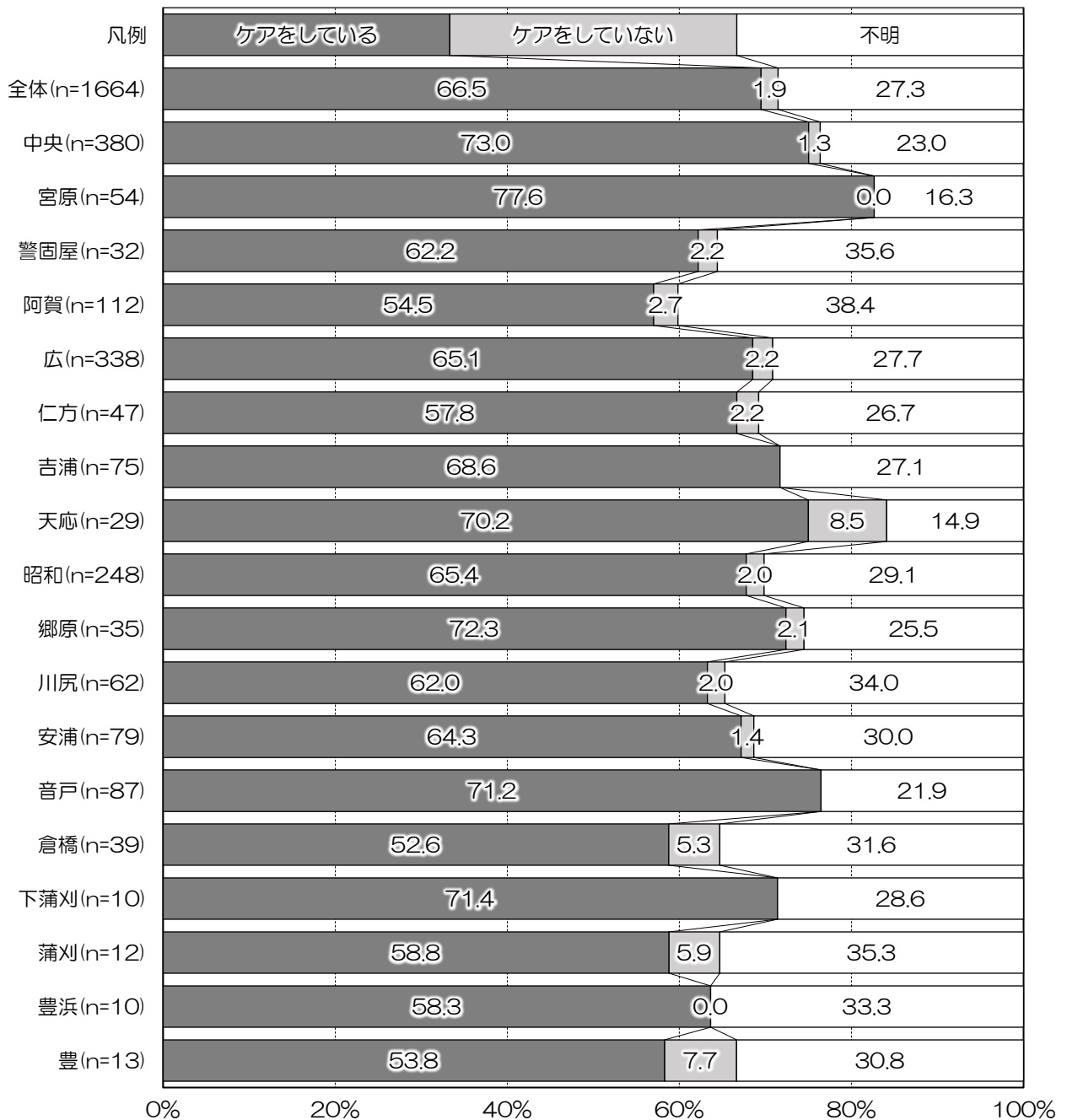
図表 家族などのケアの有無〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

各地区でバラツキがあり、「ケアをしている」比率が高い地区として、宮原地区、中央地区、郷原地区、下蒲刈地区、音戸地区で7割以上になっている。

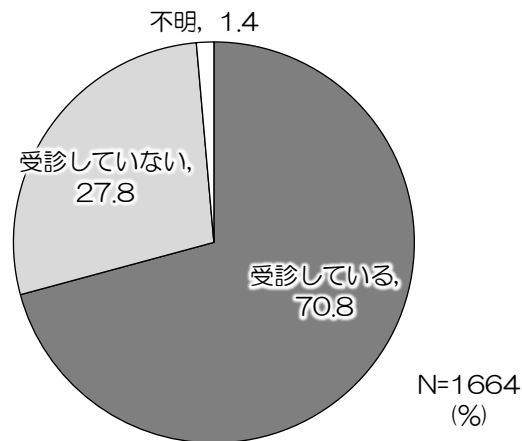
図表 家族などのケアの有無〈地区別〉



問14 生活習慣病などの早期発見・早期治療に向けて、毎年、健康診査を受診していますか。（〇は1つ）

健康診査の受診の有無については、「受診している（70.8%）」が7割を占め、令和元年度調査の「受診している（72.7%）」とほぼ同様である。また、「受診していない（27.8%）」も令和元年度調査（25.9%）とほぼ同程度である。

図表 健康診査の受診の有無

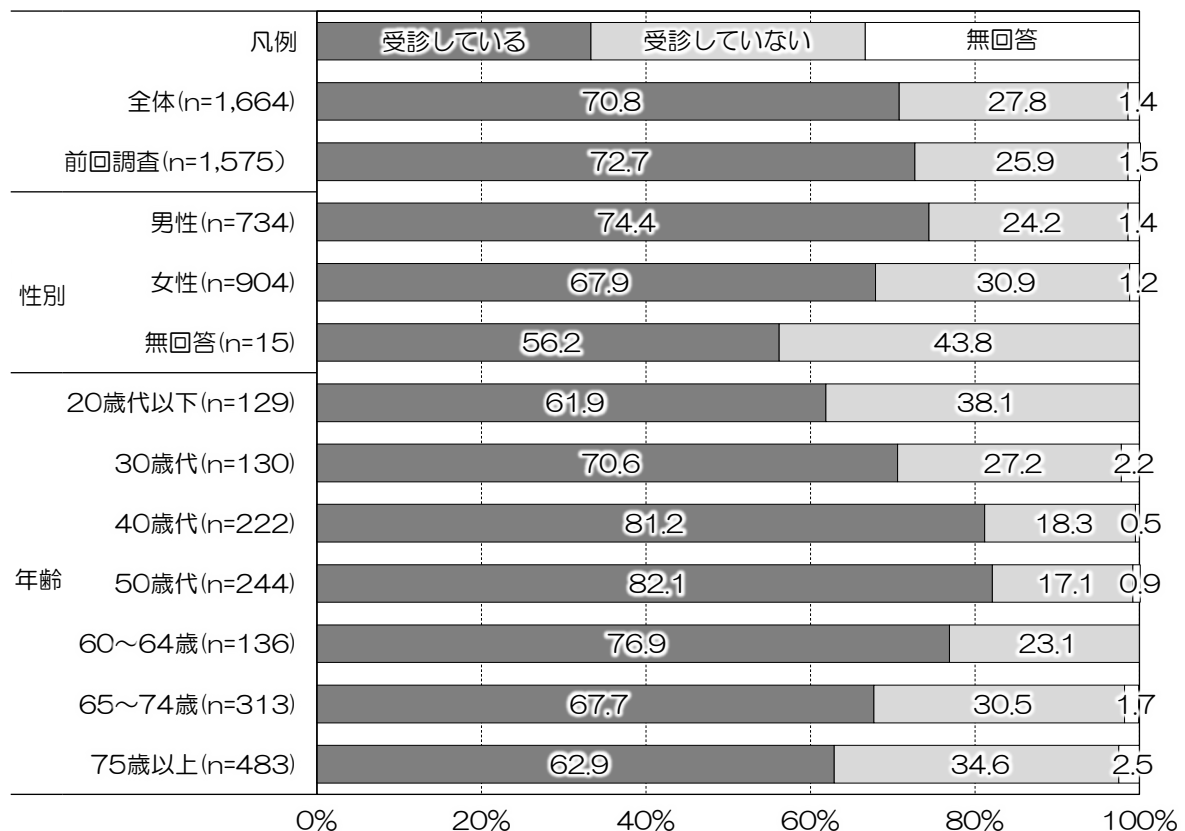


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「受診している（74.4%）」が、女性に比べて多くなっている。

年齢別でみると、40歳代、50歳代で「受診している」が多いものの、若い年齢層や高齢者層で「受診している」がやや少なくなっている。

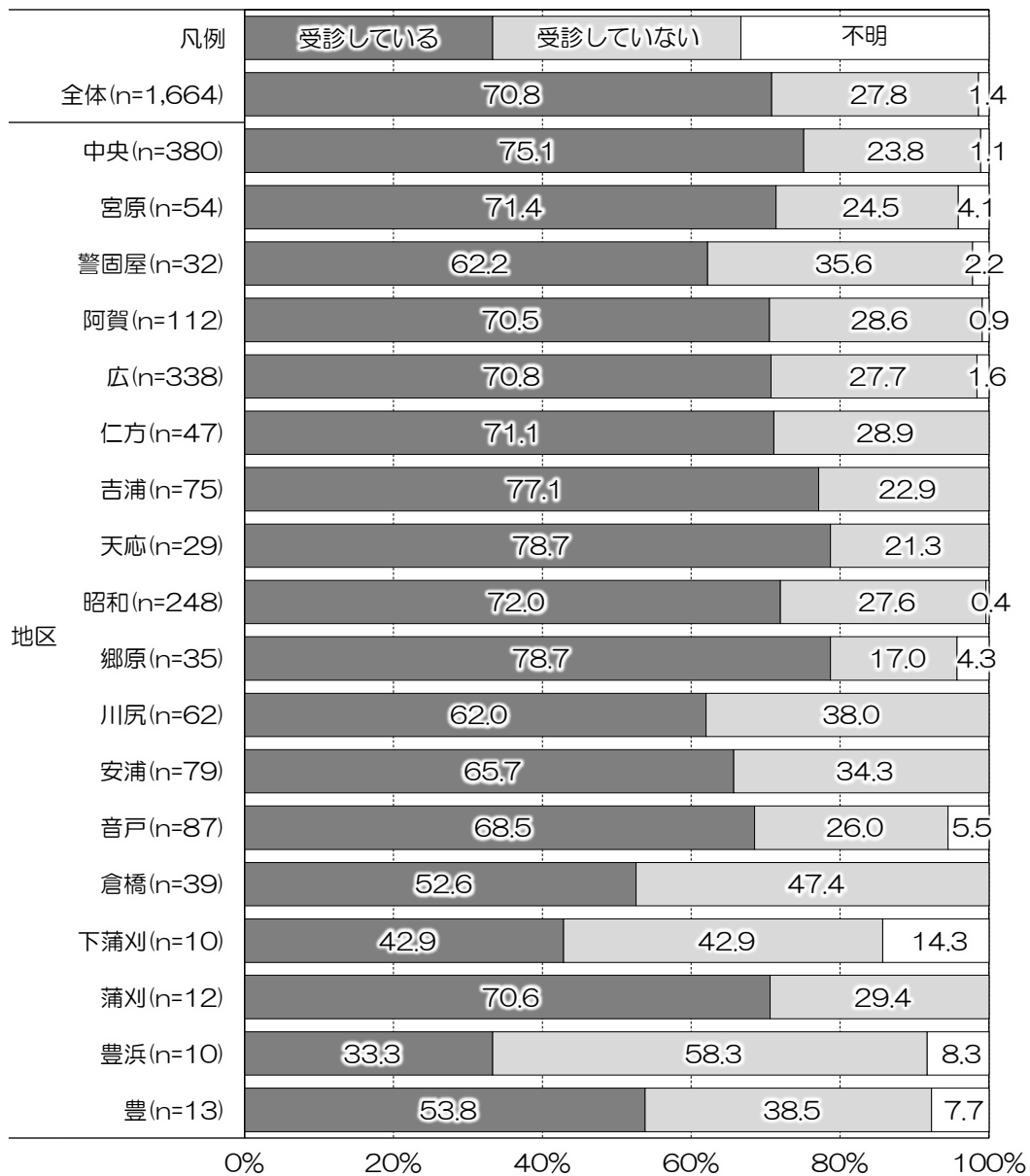
図表 健康診査の受診の有無〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

各地区でバラツキがあり、「受診している」比率が高い地区として、郷原地区、天応地区、吉浦地区、中央地区等で75%以上と、多くなっている。一方で、豊浜地区、下蒲刈地区、豊地区等では「受診していない」が豊浜地区、倉橋地区、下蒲刈地区では5割前後と多くなっている。

図表 健康診査の受診の有無〈地区別〉



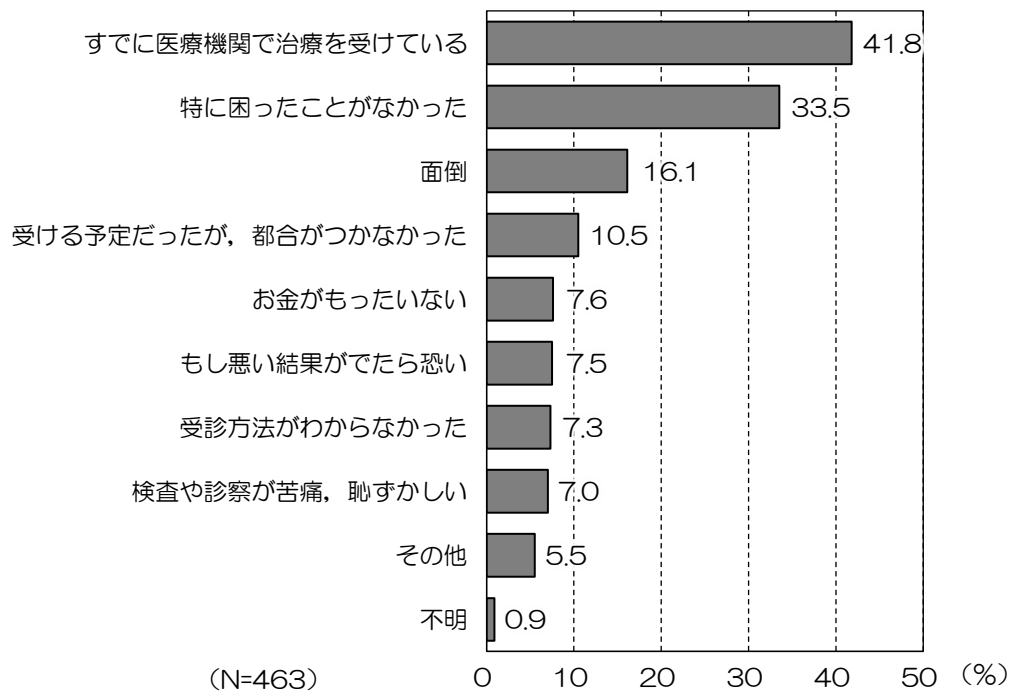
問14-1 上記問14で「受診していない」に回答した方のみ

健康診査を受診しない理由は、何ですか。（〇はいくつでも）

（〇はいくつでも）

健康診査を受診していない理由は、「すでに医療機関で治療を受けている（41.8%）」が最も多く、次いで「特に困ったことがなかった（33.5%）」「面倒（16.1%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて上位に変化はないが、「すでに医療機関で治療を受けている（前回38.2%）」が3.6ポイント上昇している。

図表 健康診査を受診しない理由



〈年齢別〉

年齢別でみると、40 歳代では「面倒」が、20 歳代、60～65 歳では「特に困ったこと
がなかった」、65 歳以上では「すでに医療機関で治療を受けている」が多くなっている。

図表 健康診査を受診しない理由〈年齢別〉

(%)

	受ける 予定だ が、都 合がな かった	受診方 法がわ からな かった	特に困 ったこ とがな かった	もし悪 い結果 がでた ら怖い	検査や 診察が 苦痛、 恥ずか しい	面倒	お金が もった いない	すでに 医療機 関で治 療を受 けている	その他	不明
20 歳代以下 (n=49)	2.2	14.3	56.0	4.4	0.0	27.4	19.2	4.2	8.3	2.0
30 歳代 (n=35)	21.6	19.8	23.0	2.8	2.8	22.8	16.9	7.7	14.5	0.0
40 歳代 (n=41)	22.7	14.6	34.3	2.8	9.6	41.3	14.1	7.7	12.6	0.0
50 歳代 (n=42)	20.4	0.0	31.6	12.6	22.6	15.0	14.9	25.4	2.4	0.0
60～64 歳 (n=31)	25.7	4.7	40.7	3.2	7.9	13.5	6.4	34.1	17.7	3.2
65～74 歳 (n=96)	10.4	2.1	44.8	14.5	7.7	9.4	4.0	48.7	1.1	0.0
75 歳以上 (n=167)	2.5	6.3	22.1	6.1	4.4	10.1	0.6	69.8	2.2	1.2

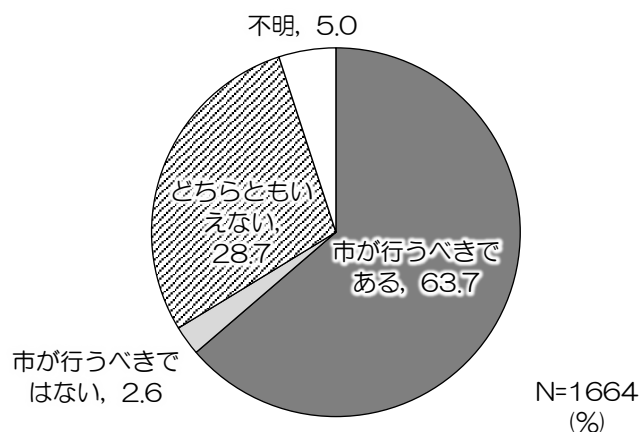
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

(2) 少子化対策・高齢化対策

【新規】問 15 少子化対策の取組を、市が行う必要がありますか。(○は1つ)

少子化対策の取組を、市が行う必要性について「市が行うべきである(63.7%)」が特に多く、「どちらともいえない(28.7%)」が続いている。「市が行うべきではない(2.6%)」はわずかとなっている。

図表 呉市の少子化対策の必要性

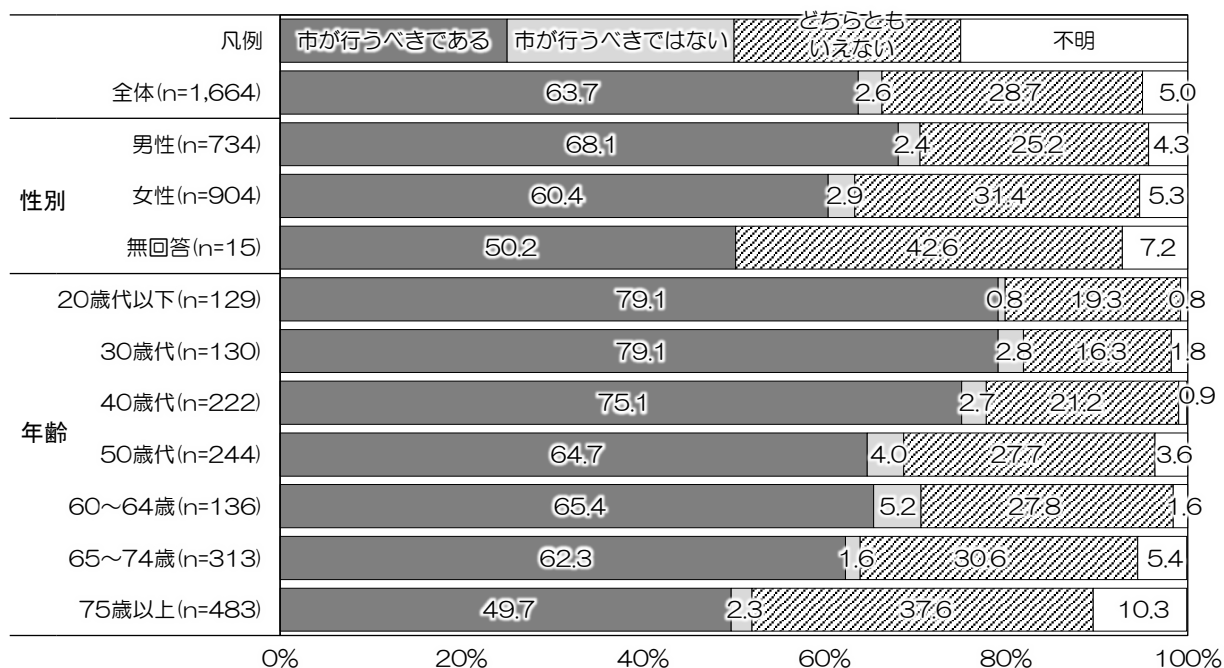


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「市が行うべきである(68.1%)」が特に多く、女性を7.7ポイント上回っている。

年齢別でみると、年齢が若いほど「市が行うべきである」が多くなる傾向がみられる。

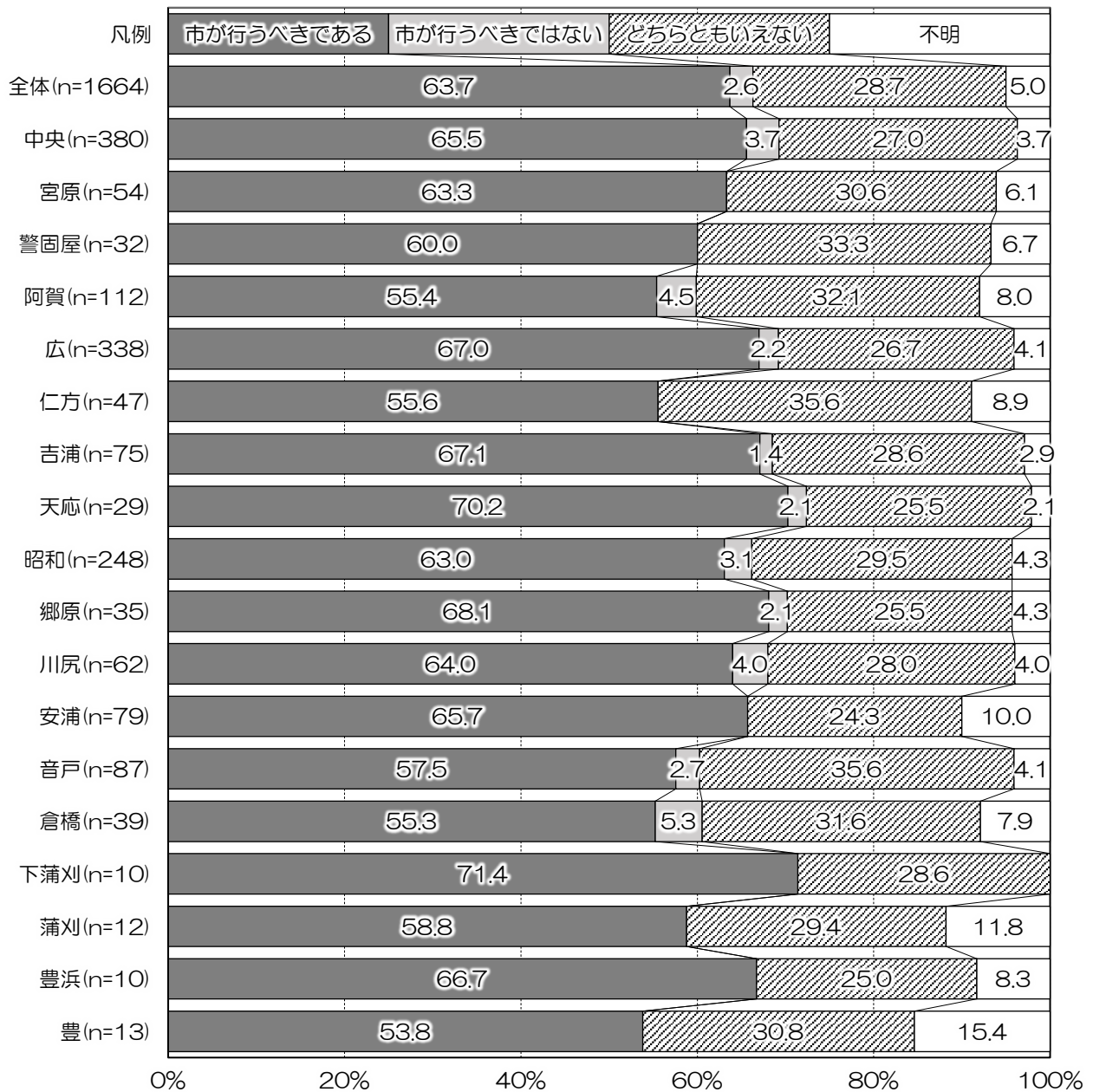
図表 呉市の少子化対策の必要性〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

地区でみると、「市が行うべきである」が多いのは下蒲刈地区（71.4%），天応地区（70.2%），郷原地区（68.1%），吉浦地区（67.1%），広地区（67.0%）等となっている。

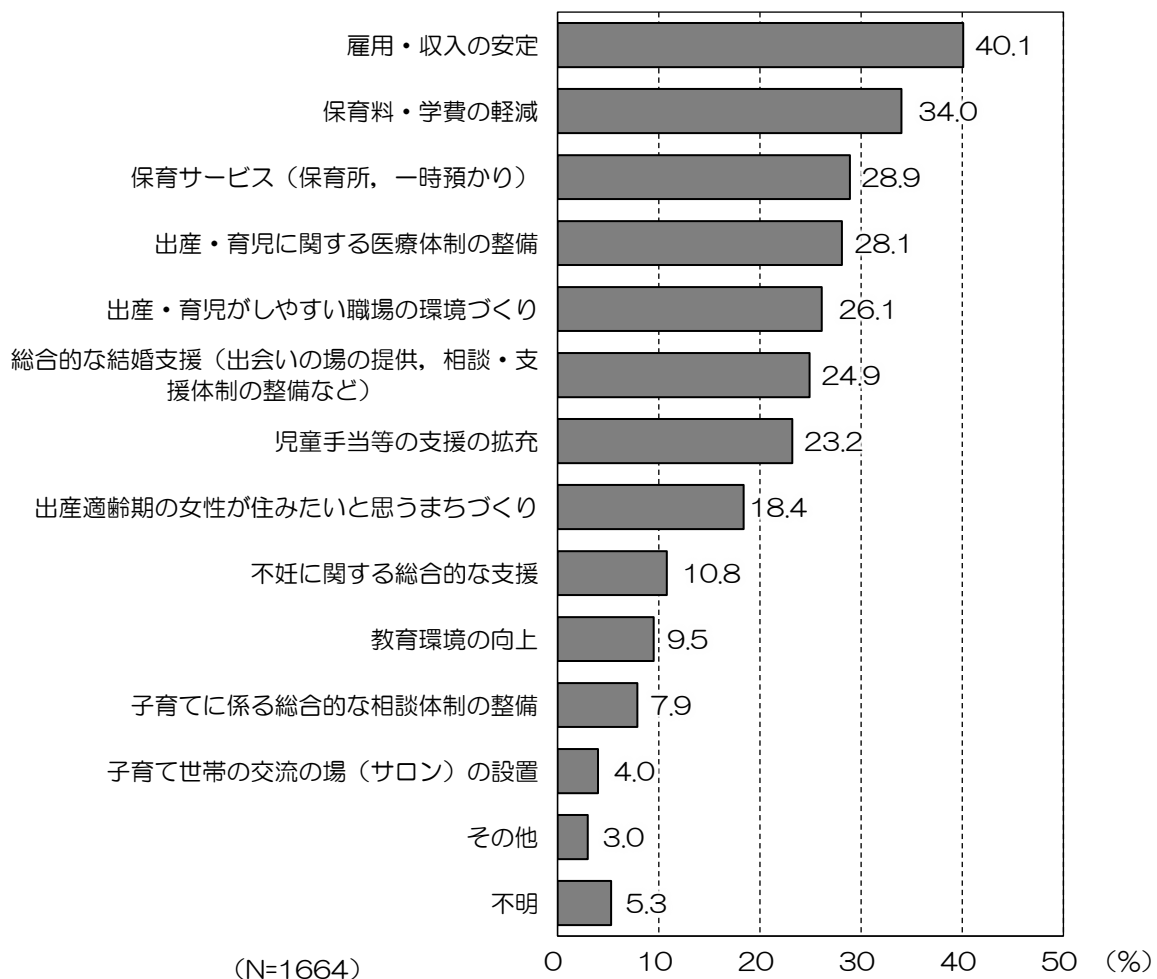
図表 呉市の少子化対策の必要性〈地区別〉



問16 呉市では近年、1年間に生まれる子どもの数が減少しています（H30年度1,280人→R5年度852人）。少子化を抑えるために、どのような取組を充実させたらいいですか。（〇は3つまで）

少子化対策として充実すべき取組は、「雇用・収入の安定（40.1%）」が最も多く、次いで「保育料・学費の軽減（34.0%）」「保育サービス（保育所，一時預かり）（28.9%）」「出産・育児に関する医療体制の整備（28.1%）」「出産・育児がしやすい職場の環境づくり（26.1%）」「総合的な結婚支援（出会いの場の提供，相談・支援体制の整備など）（24.9%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて，上位に変動はほとんど変化はないが，「雇用・収入の安定（前回37.7%）」「保育料・学費の軽減（前回24.3%）」の比率が上昇している。

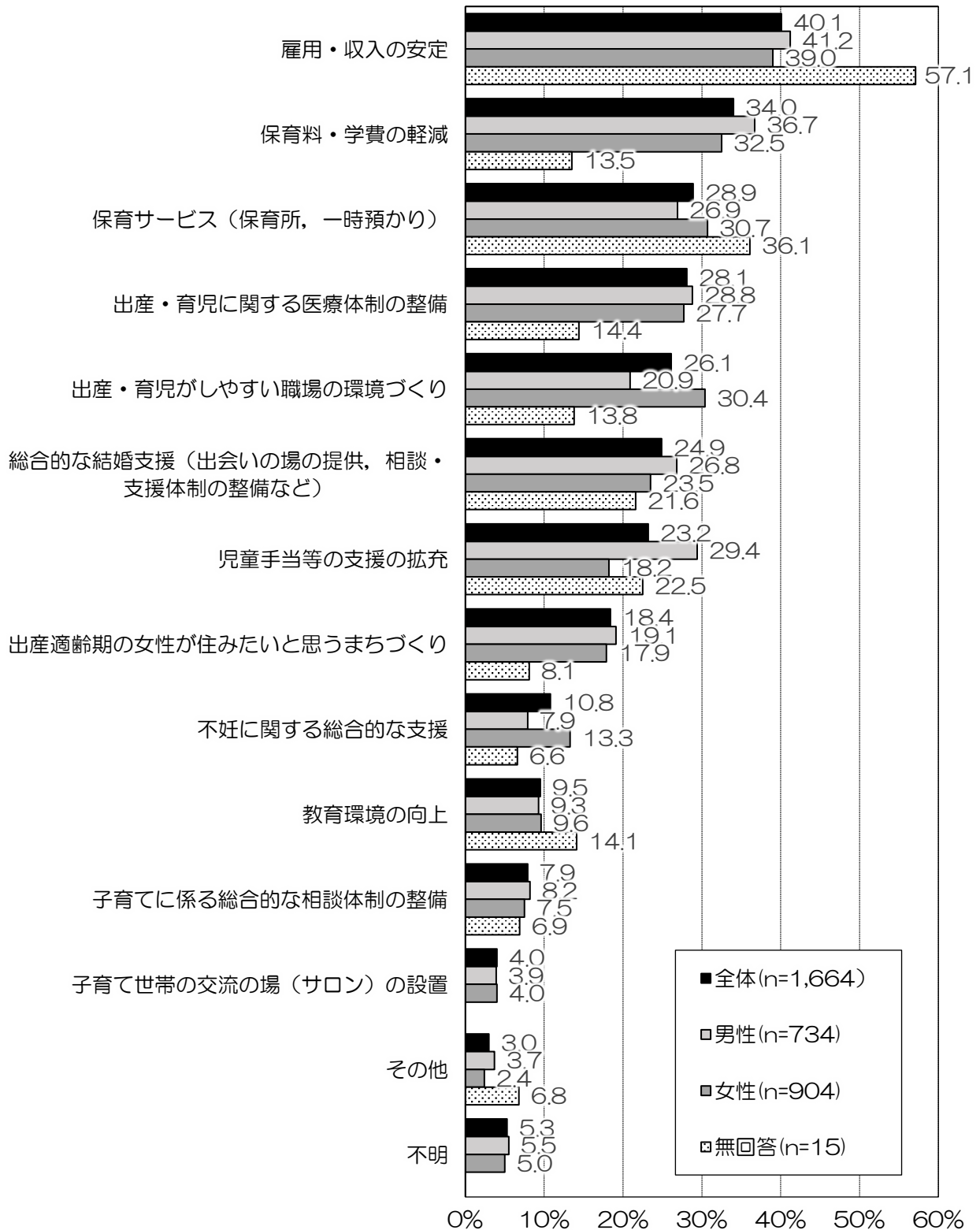
図表 少子化対策として充実すべき取組



〈性別〉

男性で「保育料・学費の軽減」「児童手当等の支援の拡充」などが多くなっている。一方、女性では「保育サービス」「出産・育児がしやすい職場の環境づくり」「不妊に関する総合的な支援」などが多くなっている。

図表 少子化対策として充実すべき取組〈性別〉



〈年齢別〉

若い世代で「保育料・学費の軽減」「児童手当等の支援の拡充」などが多くなっている。一方、50歳代以上では「雇用・収入の安定」等が多くなっている。

図表 少子化対策として充実すべき取組〈年齢別〉

(%)

	雇用・収入の安定	保育料・学費の軽減	保育サービス（保育所、一時預かり）	出産・育児に関する医療体制の整備	出産・育児がしやすい職場の環境づくり	総合的な結婚支援（出会いの場の提供、相談・支援体制の整備など）	児童手当等の支援の拡充	出産適齢期の女性が住みたいと思えるまちづくり	不妊に関する総合的な支援	教育環境の向上	子育てに係る総合的な相談体制の整備	子育て世帯の交流の場（サロン）の設置	その他	不明
20歳代以下(n=129)	35.3	46.3	30.7	38.6	22.4	25.4	32.0	19.9	14.3	8.9	9.6	3.5	2.4	0.8
30歳代(n=130)	30.9	46.8	30.0	34.0	26.2	19.3	31.6	11.2	21.4	11.0	9.2	5.5	8.7	1.6
40歳代(n=222)	44.7	50.1	28.2	33.3	23.7	19.7	31.0	12.7	16.5	12.0	8.6	2.3	3.7	0.0
50歳代(n=244)	48.8	33.5	27.3	25.4	29.5	19.4	19.9	18.1	11.7	14.9	6.9	2.2	3.8	2.1
60～64歳(n=136)	49.7	32.5	35.4	28.9	28.3	28.5	23.5	8.1	12.9	4.6	6.0	2.3	2.8	0.8
65～74歳(n=313)	38.7	30.5	34.1	33.5	30.4	24.0	20.5	21.5	8.0	7.8	8.2	4.6	2.2	3.9
75歳以上(n=483)	35.3	22.9	24.2	19.0	23.4	31.1	18.5	23.6	5.1	7.8	7.3	5.5	1.4	13.5

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

【類似都市比較】少子化対策について

類似設問について県内他都市と比較すると、呉市では経済的負担を軽減する取組の必要性が高いと考える人の割合が高い。

呉市（2024（令和6）年度）

少子化を抑えるための取組は。（上位5位まで）

(%)

雇用・収入の安定	保育料・学費の軽減	保育サービス（保育所、一時預かり）	出産・育児に関する医療体制の整備	出産・育児がしやすい職場の環境づくり
40.1	34.0	28.9	28.1	26.1

広島市（2024（令和6）年度）

子育てをしやすいまちだと思わない理由（上位5位まで）

(%)

子育ての経済的負担の軽減策が充実していない	こどもの遊び場が少ない	子育て支援のサービスが充実していない	保育所・幼稚園などが充実していない	企業・行政が仕事と子育ての両立支援を進めていない
47.4	43.3	38.4	25.5	25.2

福山市（2015（平成27）年度）

出産や子育てがしやすいとは思わない理由（上位5位まで）

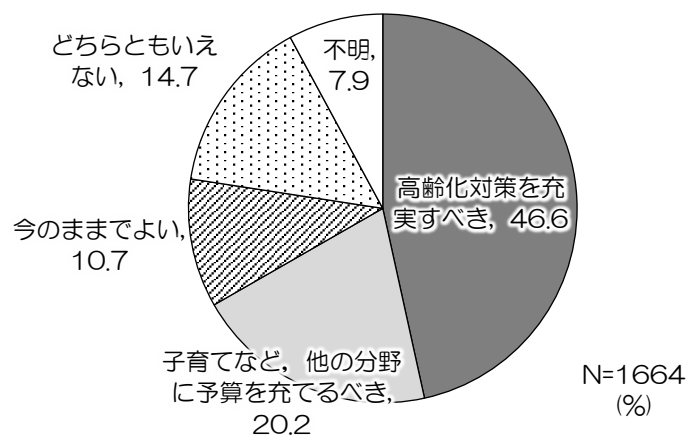
(%)

子どもの遊び場が充実していない	仕事と家庭の両立支援が進んでいない	子育ての経済的負担が軽減されていない	一時的に子どもを預ける場所がない	医療機関が充実していない
50.7	50.0	39.1	39.1	36.2

【新規】問 17 高齢化対策の取組を，市が充実していくべきですか。（○は1つ）

高齢化対策の取組を市が行う必要性について，「高齢化対策を充実すべき（46.6％）」が特に多く，次いで，「子育てなど，他の分野に予算を充てるべき（20.2％）」となっている。高齢化対策がやや多くなっている。一方，「どちらともいえない（14.7％）」も比較的多い。

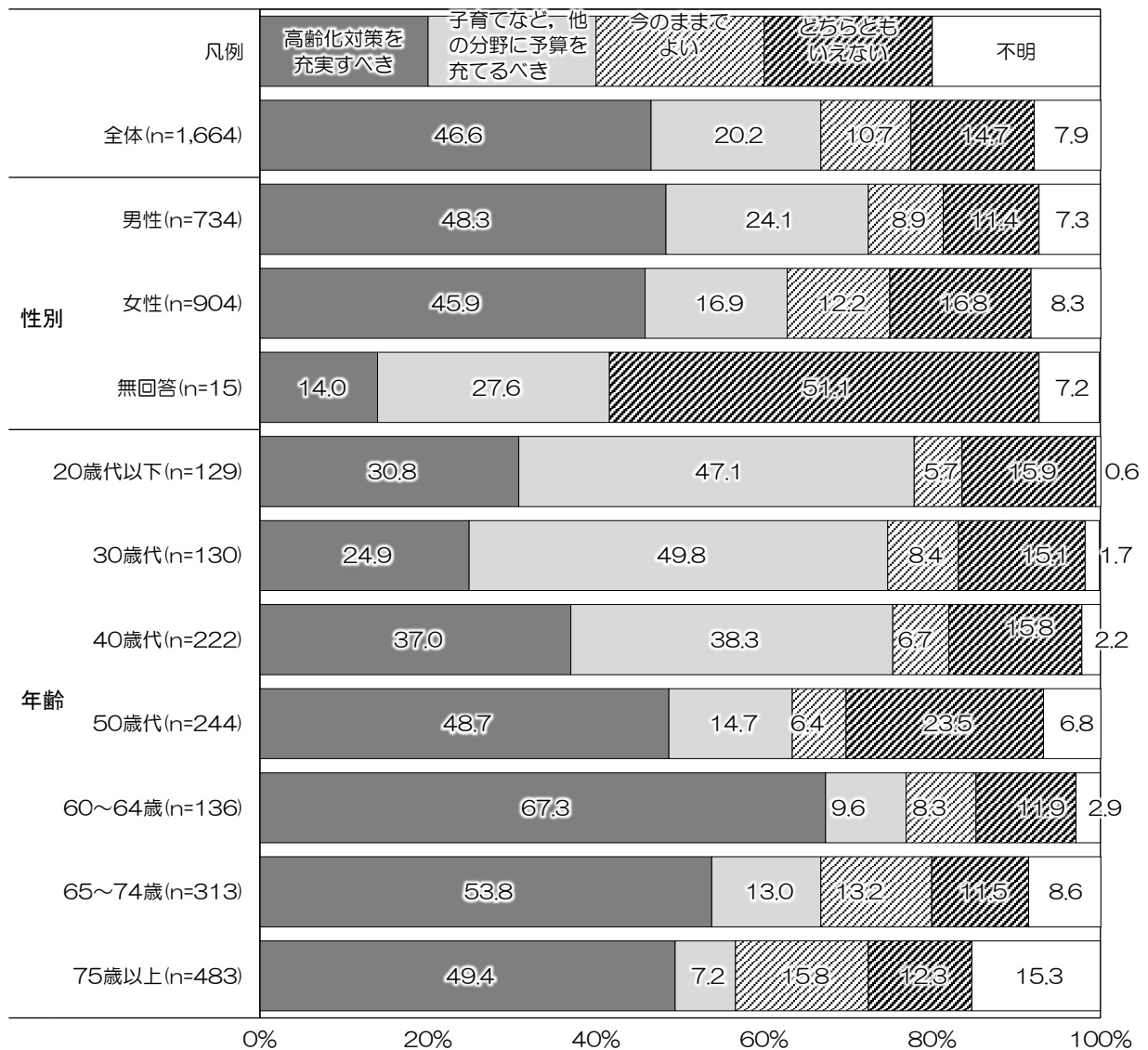
図表 呉市の高齢化対策の充実の必要性



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「高齢化対策を充実すべき（48.3%）」が特に多くなっている。
年齢別でみると、年齢が上がるほど、「高齢者対策を充実すべき」が多くなる傾向がみられる。

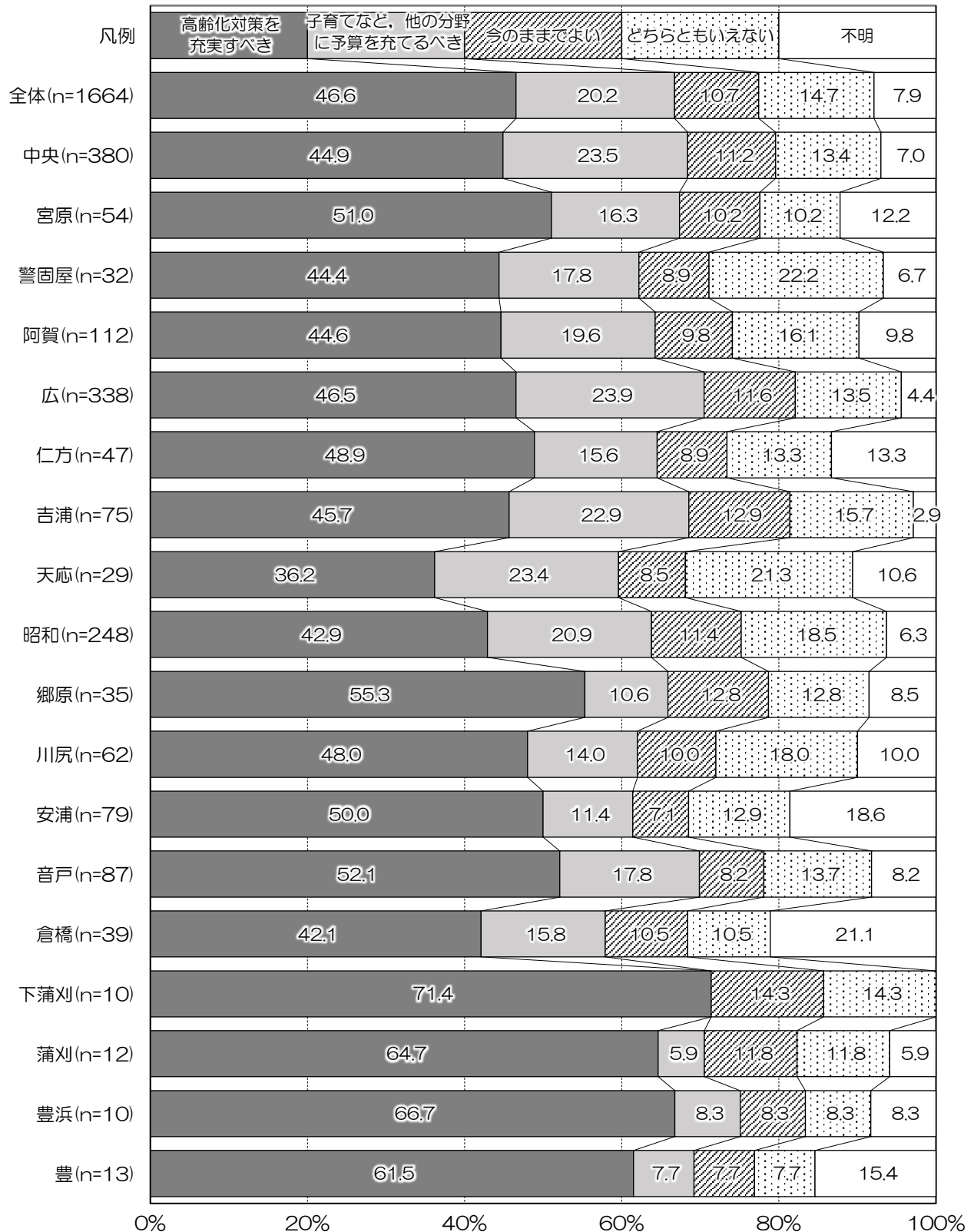
図表 呉市の高齢化対策の充実の必要性〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「高齢者対策を充実すべき」が多いのは、下蒲刈地区、蒲刈地区、豊浜地区、豊地区となっている。「子育てなど、他の分野に予算を充てるべき」が多いのは、広地区、中央地区、天応地区などとなっている。

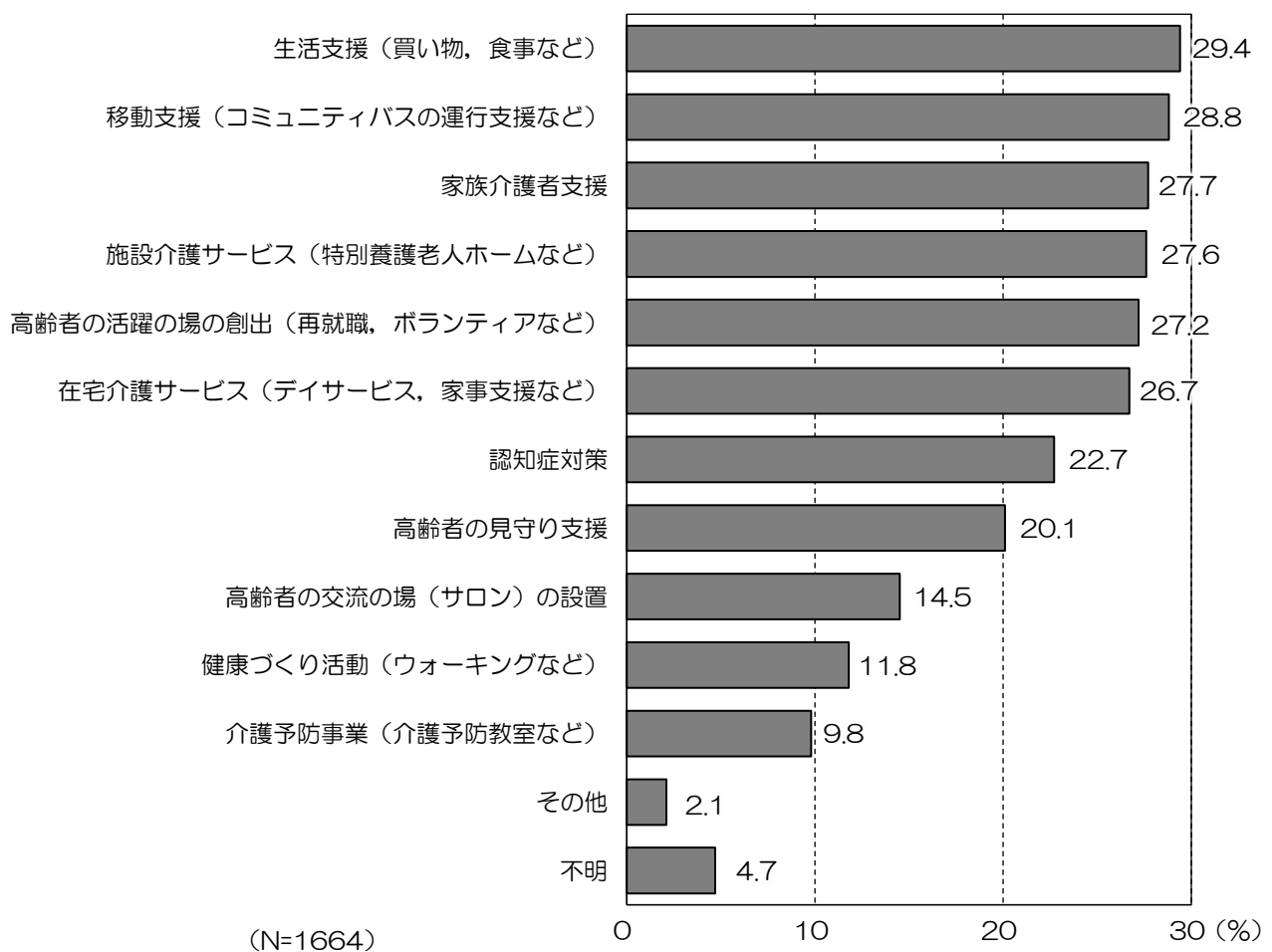
図表 呉市の高齢化対策の充実の必要性〈地区別〉



問18 呉市では高齢化が進展しています（H31年3月末：34.8％→R6年3月末：36.5％）。高齢化社会に対応するため、どのような取組を充実させる必要がありますか。（〇は3つまで）

高齢化対策として充実すべき取組は、「生活支援（買い物，食事など）（29.4％）」が最も多く、次いで「移動支援（コミュニティバスの運行支援など）（28.8％）」「家族介護者支援（27.7％）」「施設介護サービス（特別養護老人ホームなど）（27.6％）」「高齢者の活躍の場の創出（再就職，ボランティアなど）（27.2％）」「在宅介護サービス（デイサービス，家事支援など）（26.7％）」が拮抗している。

図表 高齢化対策として充実すべき取組

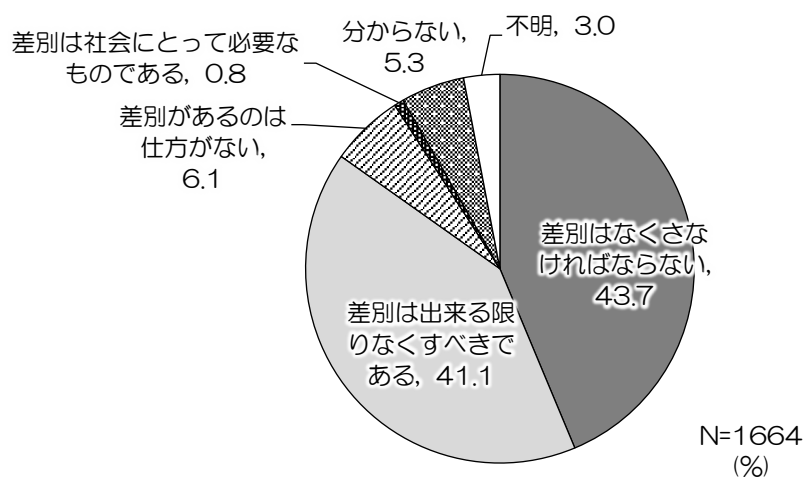


(3) 人権尊重

問19 性別・障がいの有無・国籍などを理由にした様々な差別があります。「差別」についての考えをお聞かせください。(〇は1つ)

「差別」についての考え方は、「差別はなくさなければならない(43.7%)」と、「差別は出来る限りなくすべきである(41.1%)」を合わせた「差別はなくすべきである」と考えている人は、84.9%を占め、令和元年調査(83.6%)とほぼ同様である。

図表 「差別」についての考え方

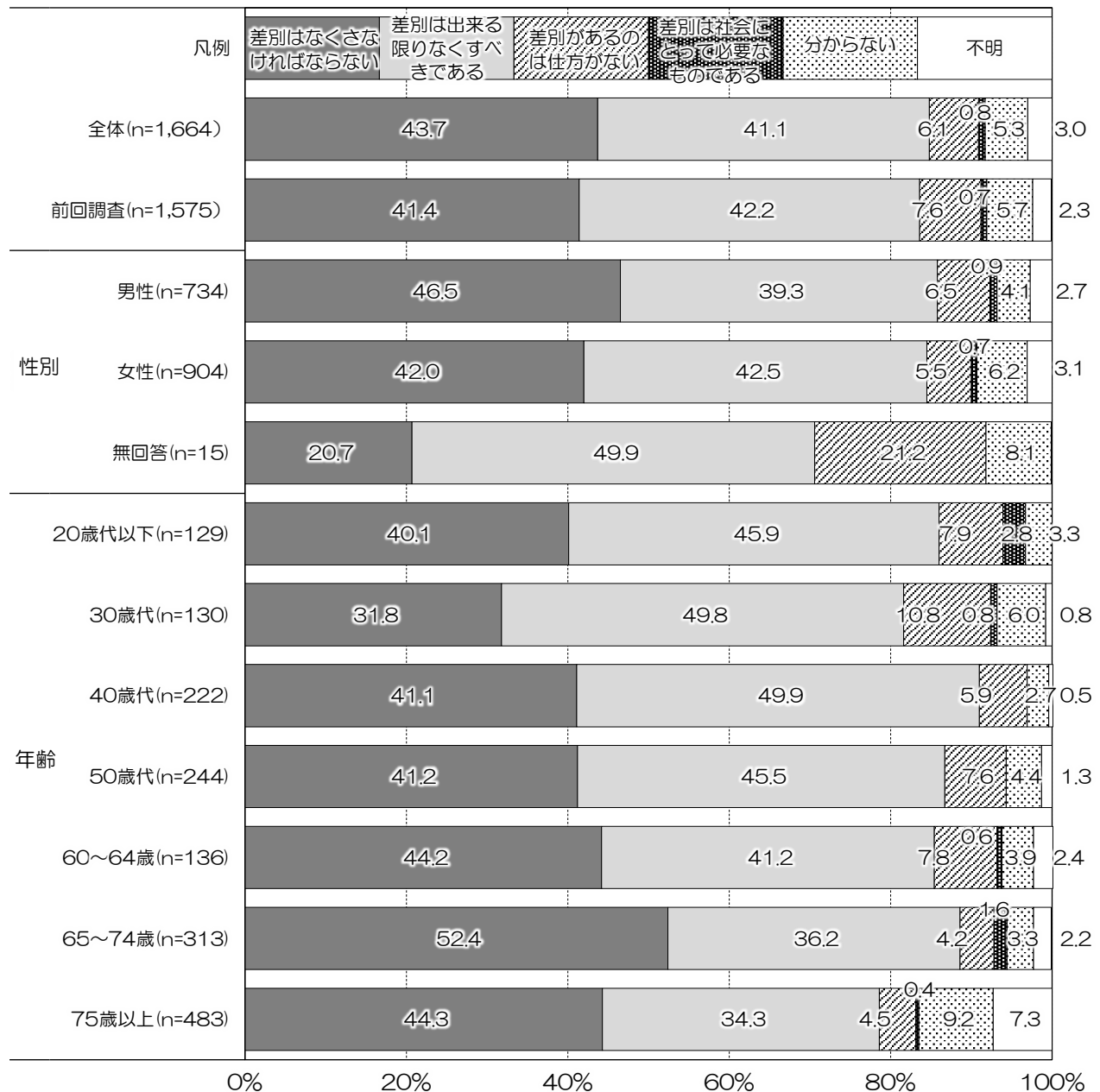


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「差別はなくさなければならない（46.5%）」が、女性を 4.5 ポイント上回っている。

年齢別でみると、年齢が上がるほど、「差別はなくさなければならない」が多くなる傾向がややみられる。

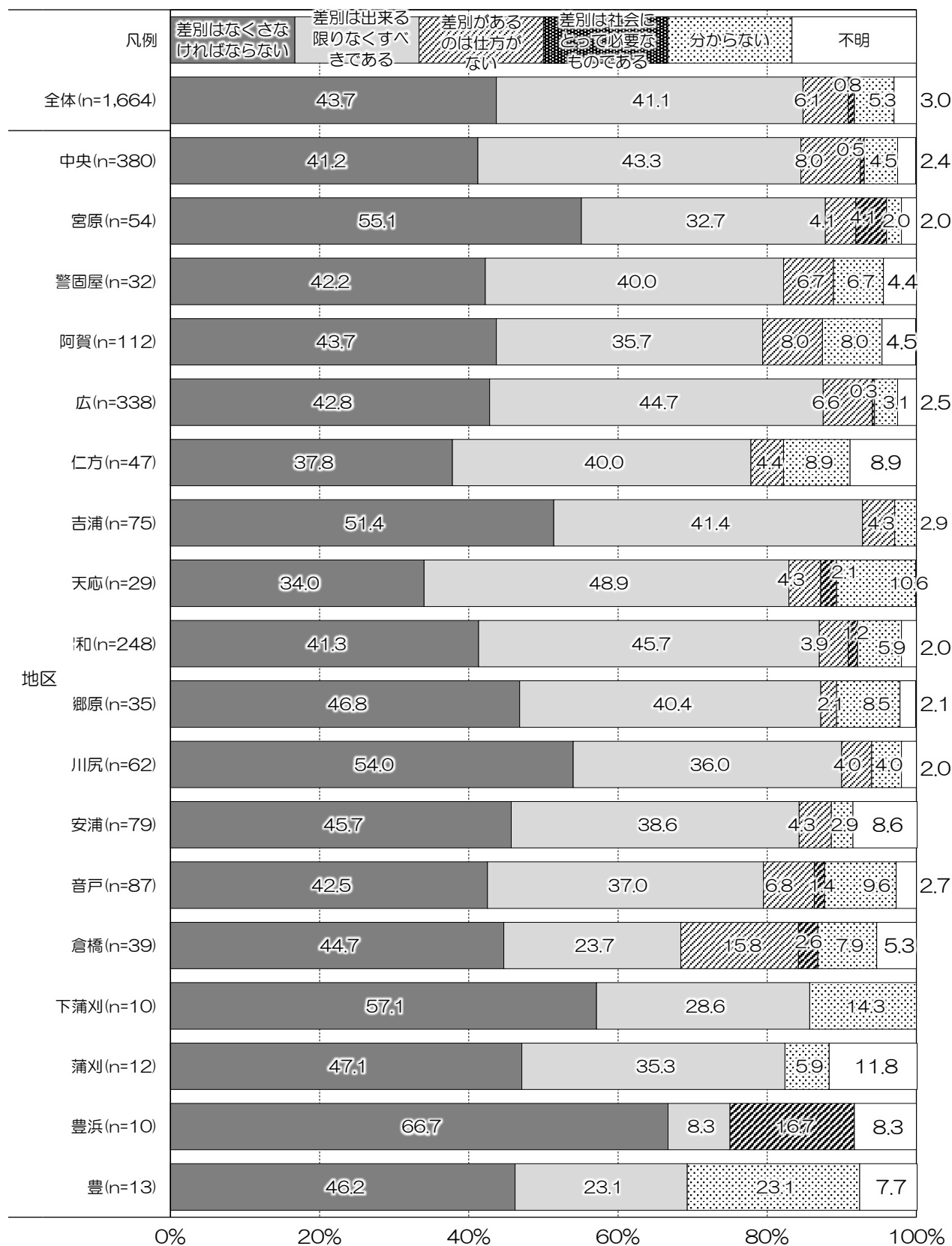
図表 「差別」についての考え方〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「差別はなくさなければならない」が多いのは、豊浜地区、下蒲刈地区、宮原地区、川尻地区、郷原地区などとなっている。

図表 「差別」についての考え方〈地区別〉

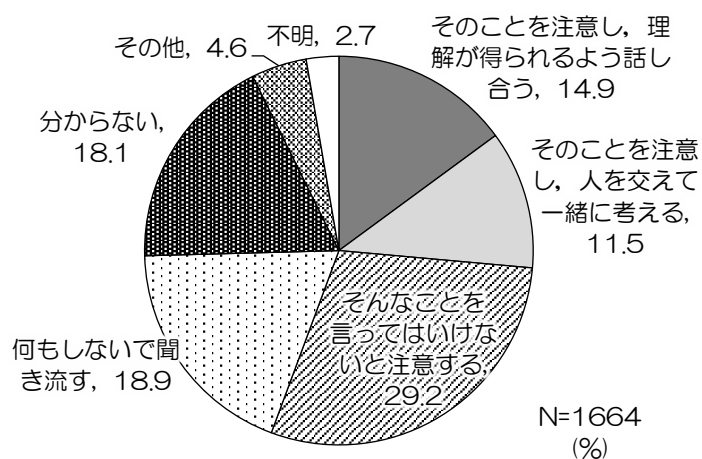


問 20 身近な人が差別的なことを言うのを聞いたとき、どうしますか。（○は1つ）

身近な人の差別的な発言への対応は、「注意する（話し合う、一緒に考えるを含む）」が55.6%となり、令和元年度調査（54.6%）とほぼ同様である。

注意の詳細は、「そんなことを言ってはいけないと注意する（29.2%）」が最も多く、3割程度となっている。

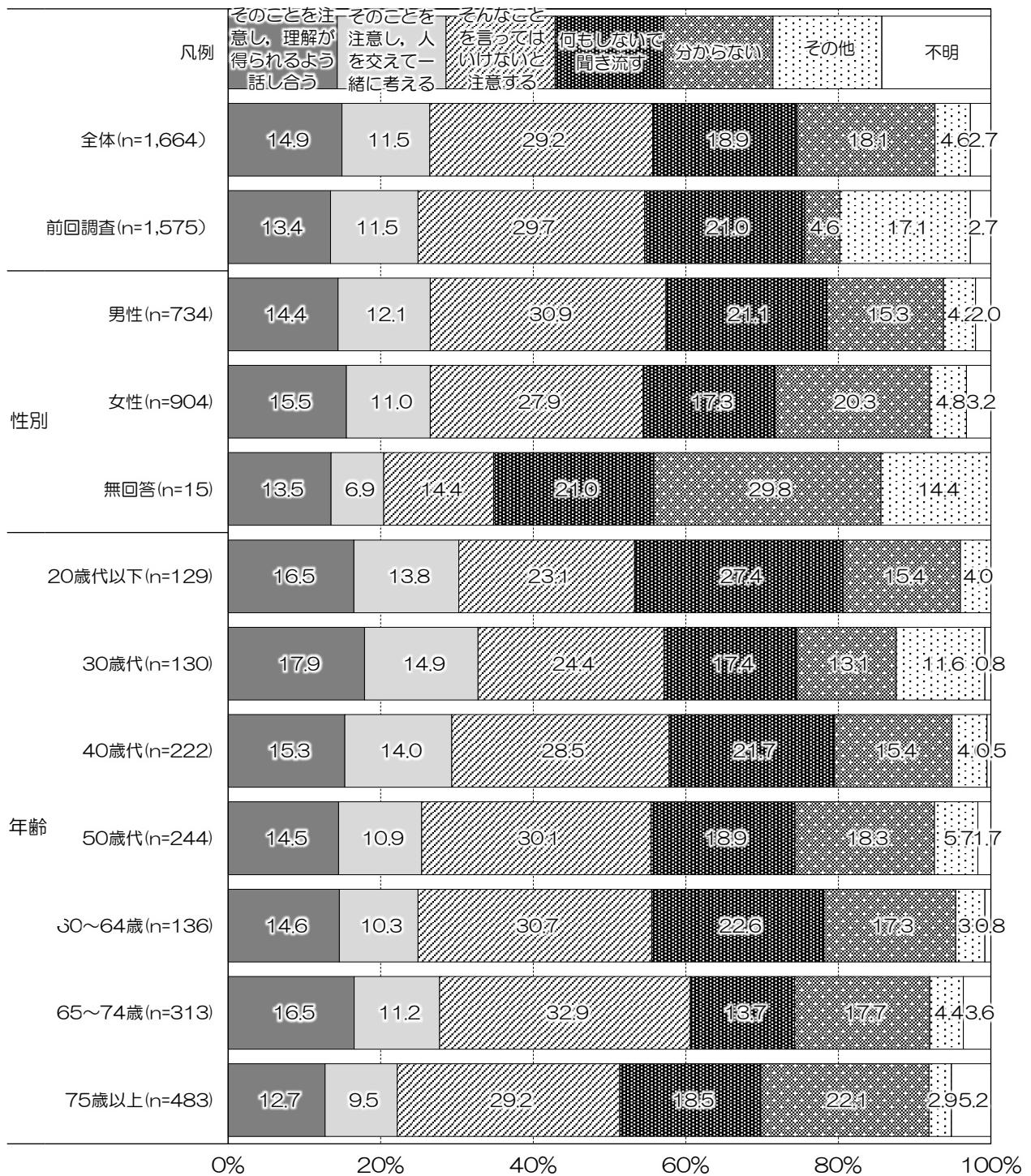
図表 身近な人の差別的な発言への対応



〈性別・年齢別〉

性別、年齢別とも、ほとんど差はみられない。

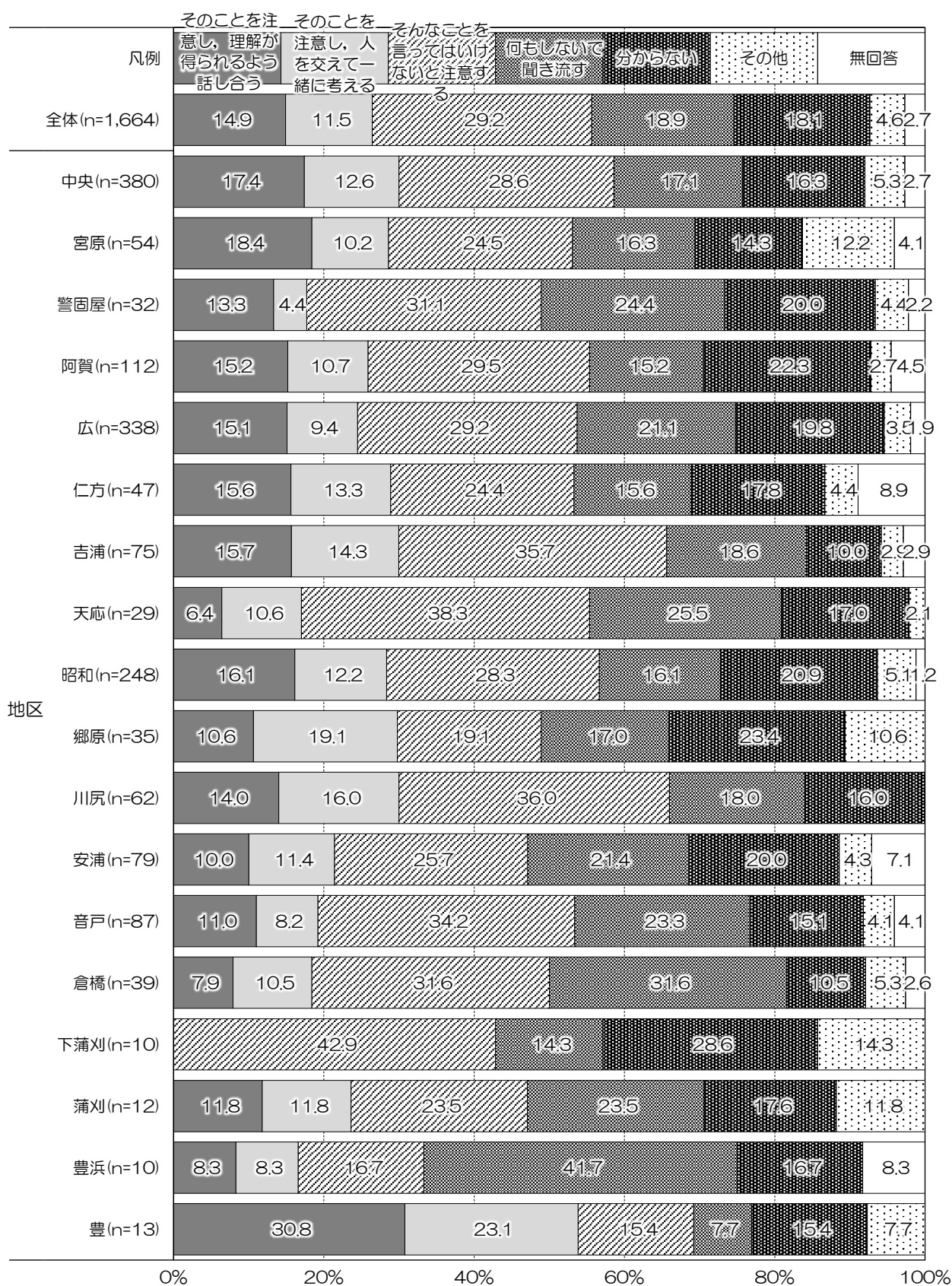
図表 身近な人の差別的な発言への対応 〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

地区別でみると、豊地区、宮原地区、中央地区等で「そのことを注意し、理解が得られるよう話し合う」がやや多くなっている。

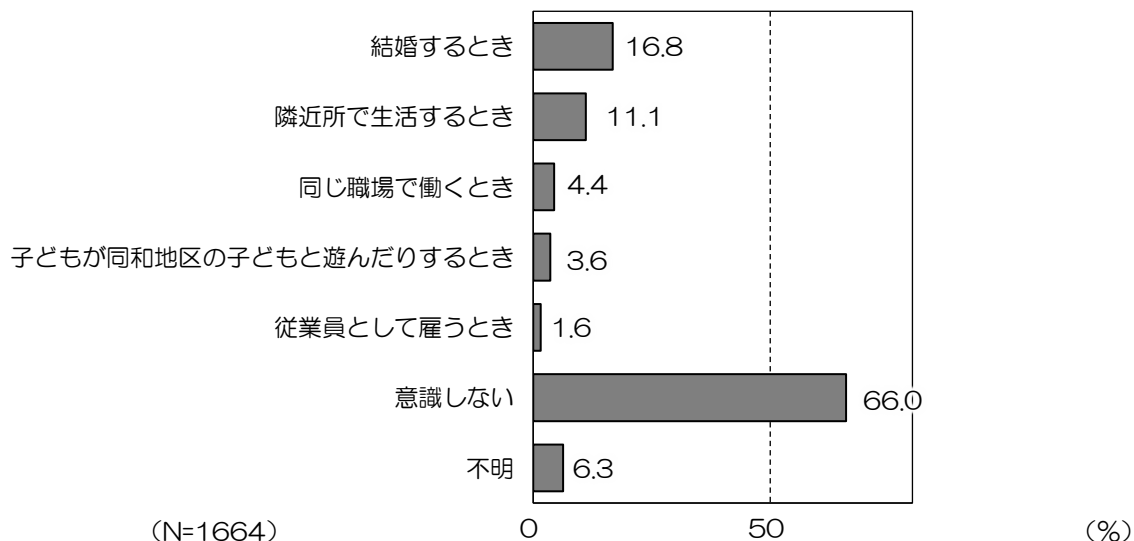
図表 身近な人の差別的な発言への対応〈地区別〉



問 21 どのような場面で、旧同和地区の人を意識しますか。（〇はいくつでも）

旧同和地区の人を意識することについては、「意識しない（66.0%）」が最も多く、次いで「結婚するとき（16.8%）」「隣近所で生活するとき（11.1%）」となっており、令和元年度調査とほぼ同様の結果である。

図表 旧同和地区の人への意識

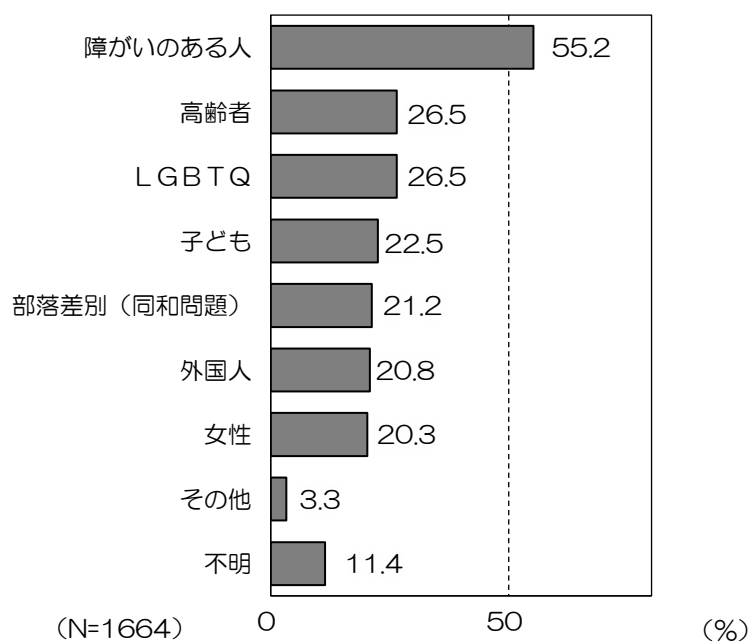


問 22 人権課題の中で、取組が必要であるものは何ですか。（〇はいくつでも）

人権課題の中で、特に取組が必要な方については、「障がいのある人（55.2%）」が突出しており、次いで「高齢者（26.5%）」「LGBTQ（26.5%）」「子ども（22.5%）」「部落差別（同和问题）（21.2%）」の順となっている。

令和元年度調査と比べ、「LGBTQ（前回 16.2%）」が 10 ポイント以上増加している。

表 特に取組が必要であると思う人権課題



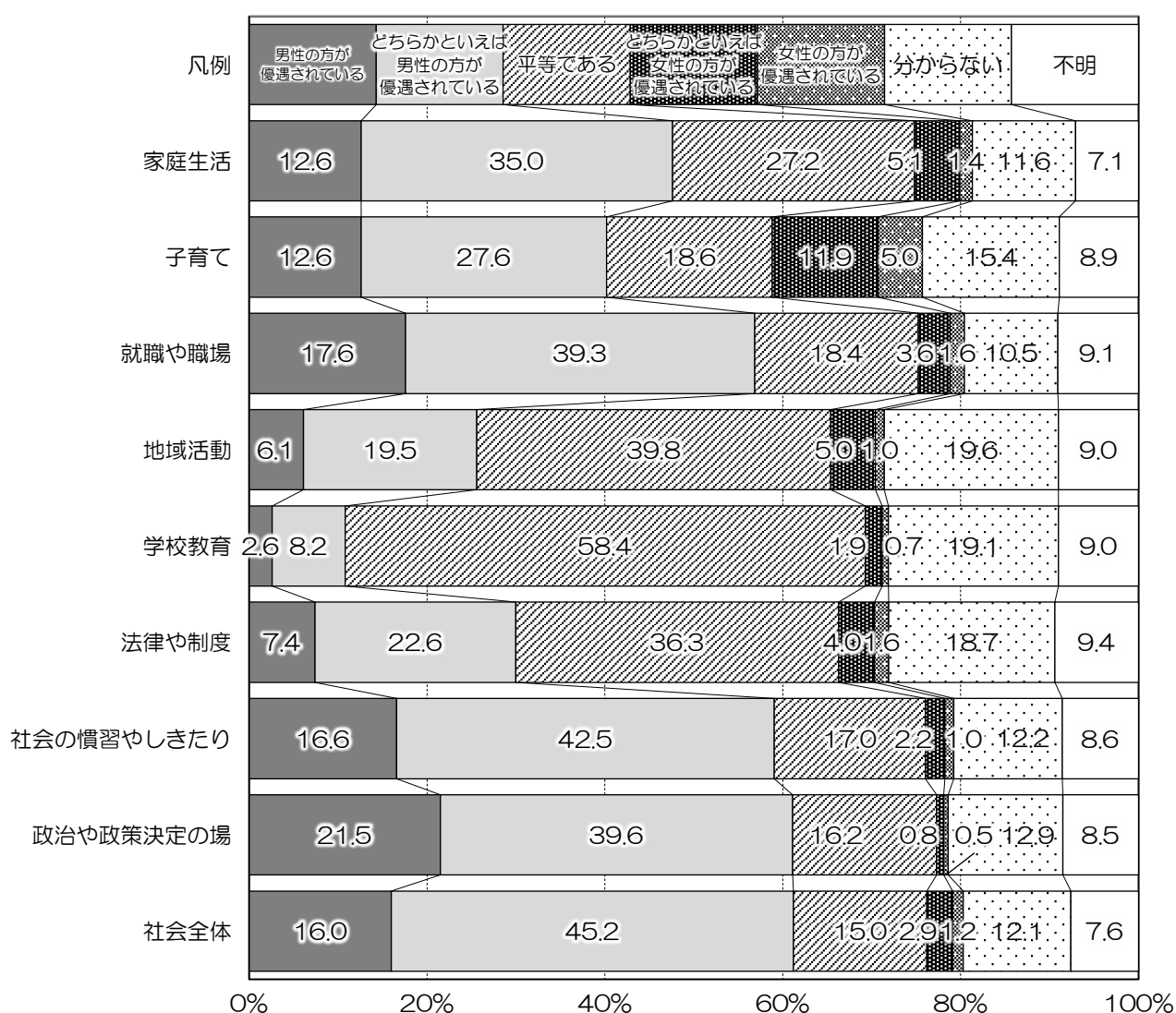
(4) 男女共同参画

問23 男女の地位が平等になっていると感じますか。それぞれの分野でお答えください。（それぞれ〇は1つ）

男女の地位について、「平等である」と感じている分野は、「学校教育（58.4%）」が最も多く、次いで「地域活動（39.8%）」「法律や制度（36.3%）」の順となっており、令和元年度調査とほぼ同様の傾向になっている。

一方、「男性の方が優遇されている」は、政治や政策決定の場、就職や職場、社会の慣習やしきたり、社会全体などで多くなっている。

図表 男女の平等

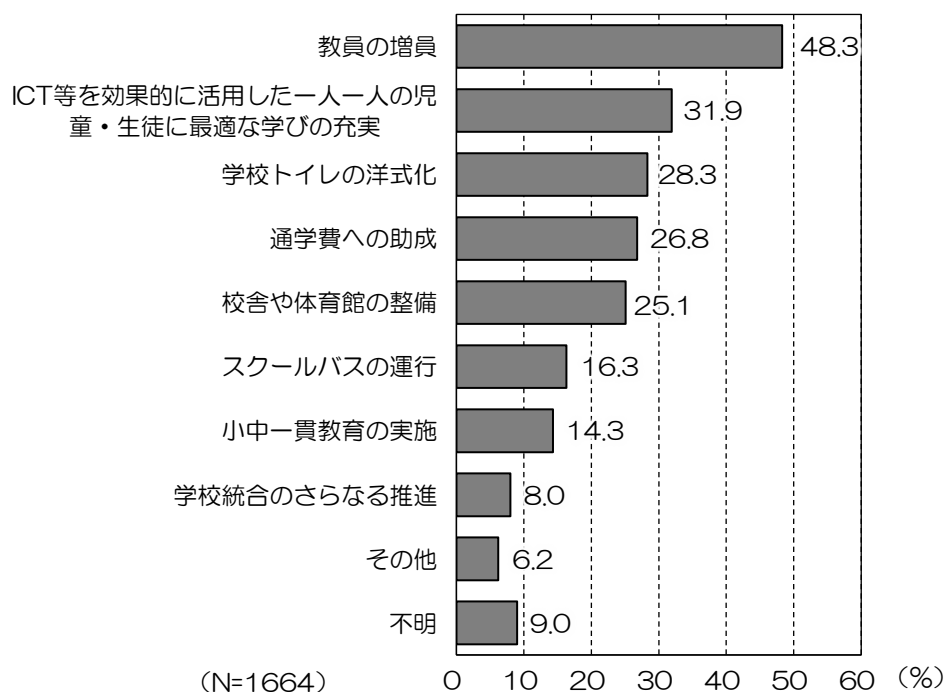


(5) 教育

問24 更なる教育環境の向上に向けて、どのような取組を進めていく必要がありますか。(〇はいくつでも)

教育環境の向上に向けて必要な取組は、「教員の増員(48.3%)」が最も多く、次いで「ICT等を効果的に活用した一人一人の児童・生徒に最適な学びの充実(31.9%)」「学校トイレの洋式化(28.3%)」「通学費への助成(26.8%)」の順となっている。

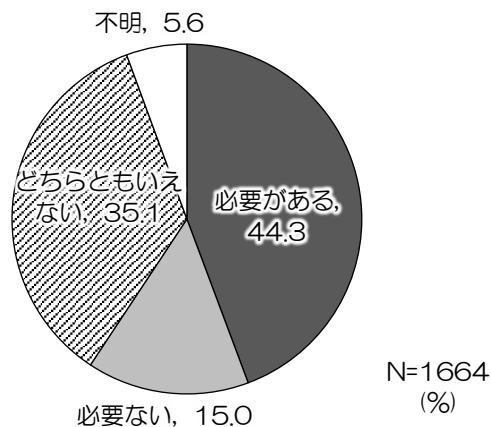
図表 教育環境の向上に向けて取り組むべきこと



【新規】問 25 呉市の子どもが呉市を出て行かず、呉市に住み続けるよう、学校教育の中で取り組んでいく必要がありますか。（○は1つ）

呉市内に子どもたちを引き留めるための教育については、「必要がある（44.3%）」が最も多く、次いで「どちらともいえない（35.1%）」が多くなっている。

図表 呉市にとどまるような学校教育の必要性

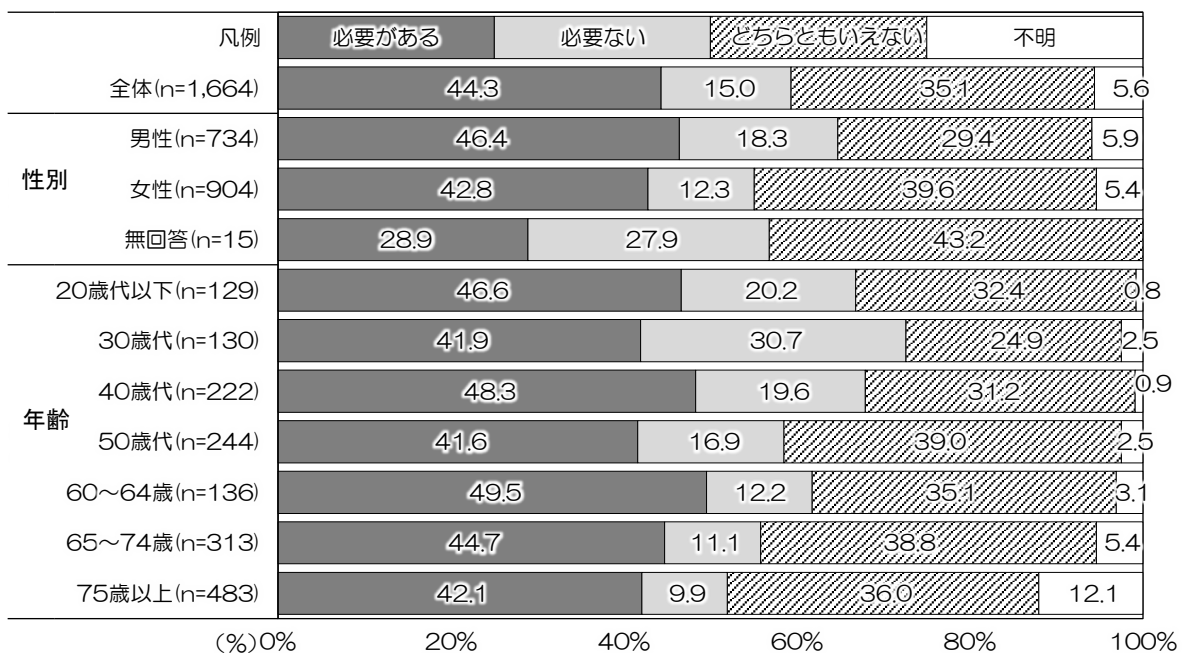


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性で「必要がある（46.4%）」がやや多く、逆に、女性では「どちらともいえない（39.6%）」がやや多くなっている。

年齢別でみると、若い年齢層で、「必要ない」がやや多くなる傾向がある。

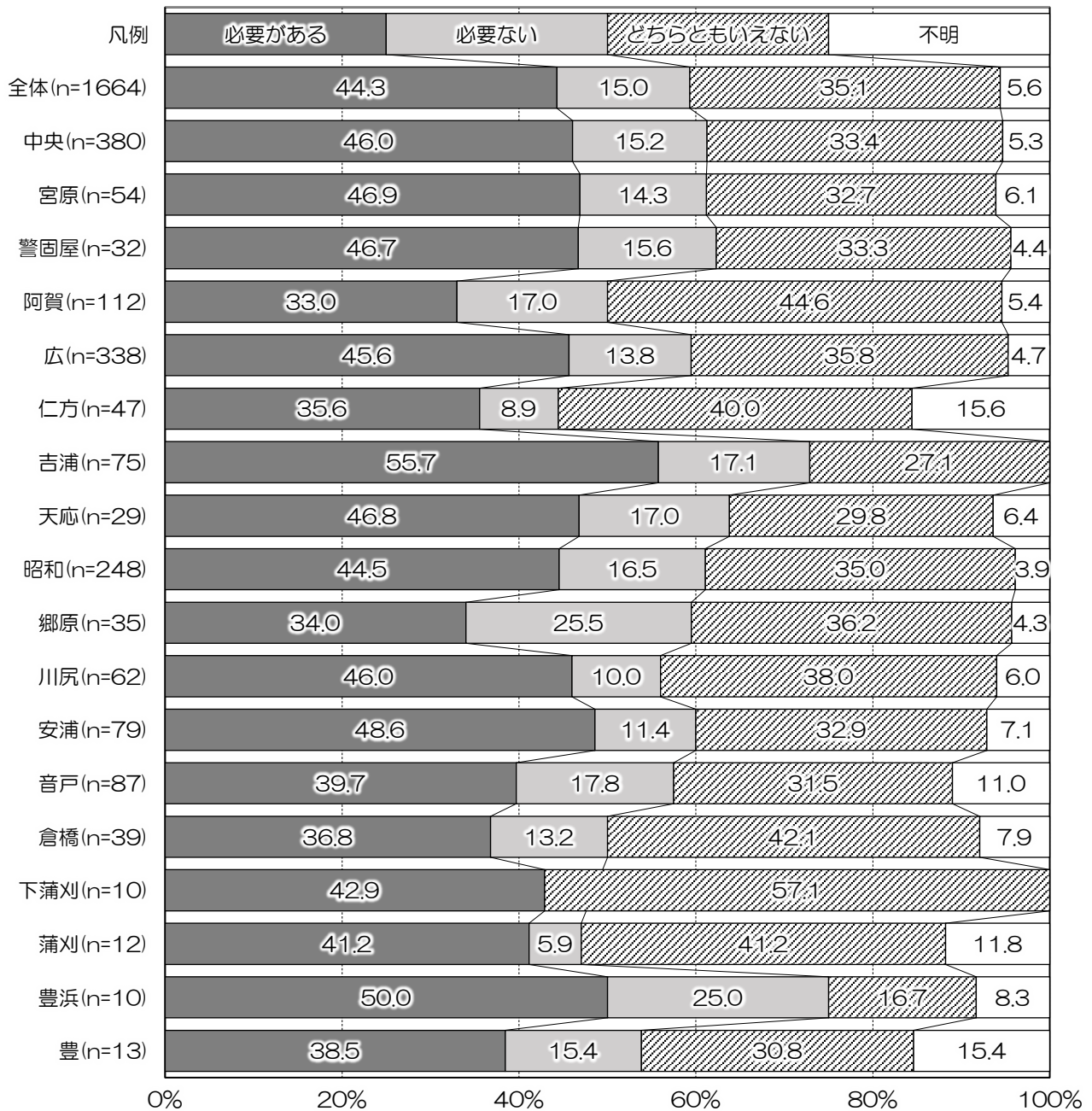
図表 呉市にとどまるような学校教育の必要性〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「必要がある」は、吉浦地区、豊浜地区、安浦地区でやや多く、「必要ない」は、郷原地区、豊浜地区、音戸地区、吉原地区などでやや多くなっている。

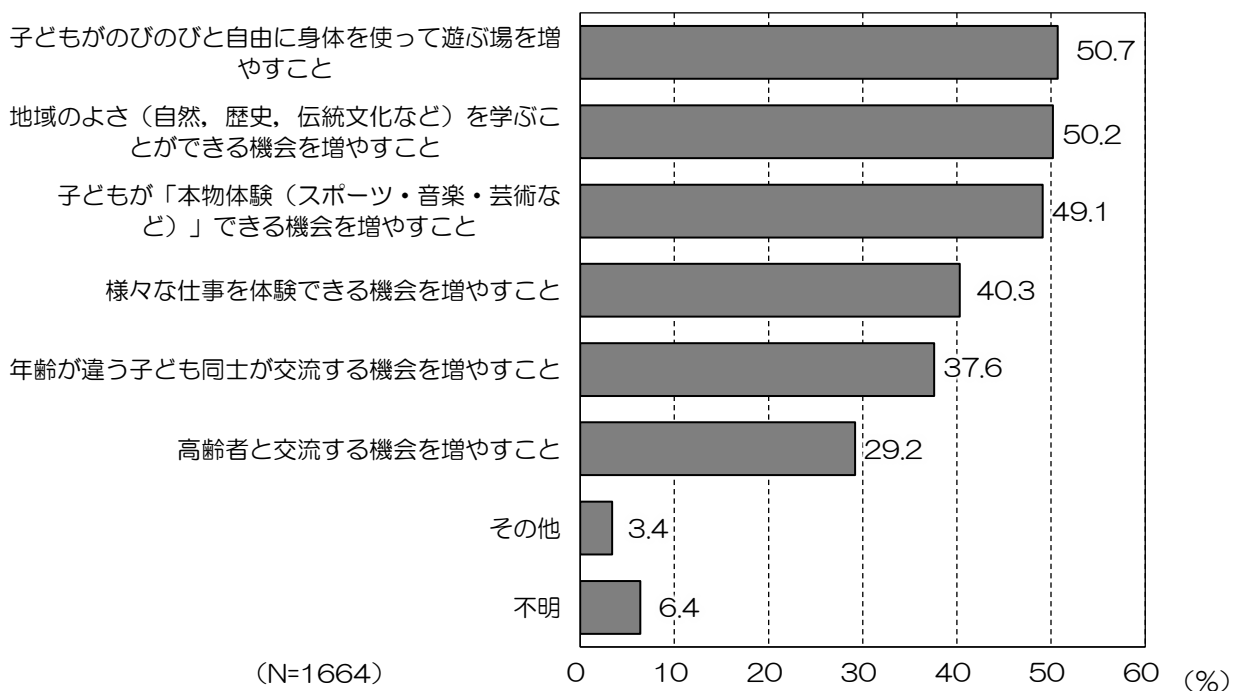
図表 呉市にとどまるような学校教育の必要性〈地区別〉



問26 呉市では、子どもたちの豊かな人間性と自立心を育む「呉の教育」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな心を育むために、どのような取組が必要ですか。
(〇はいくつでも)

子どもたちの豊かな心を育むために必要な取組は、「子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ機会を増やすこと（50.7%）」「地域のよさ（自然，歴史，伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと（50.2%）」「子どもが『本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）』できる機会を増やすこと（49.1%）」「様々な仕事を体験できる機会を増やすこと（40.3%）」となっており、いずれも4割を超えている。

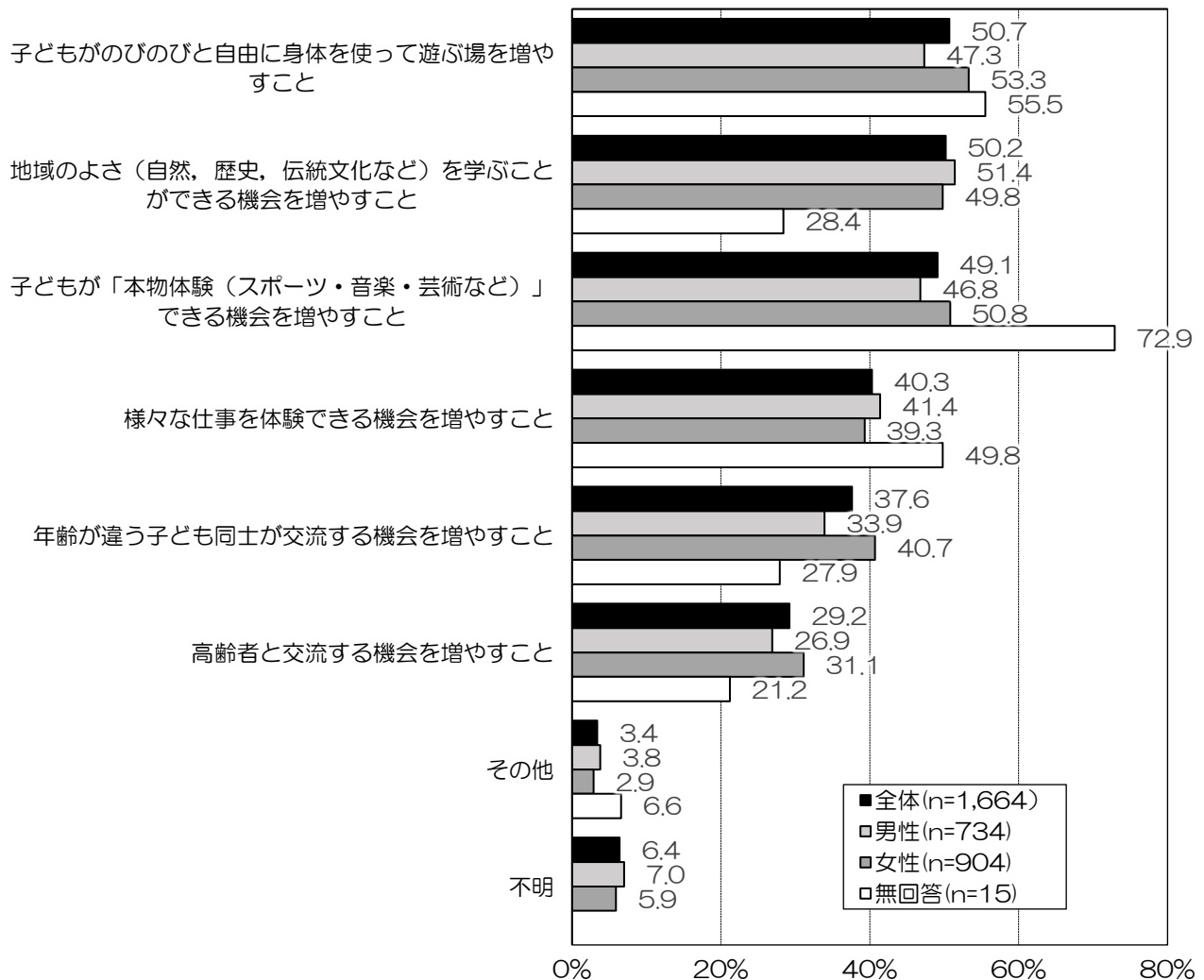
図表 豊かな心を育むために必要な取組



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性に比べて女性で「年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと」「高齢者と交流する機会を増やすこと」がやや多くなっている。

図表 豊かな心を育むために必要な取組〈性別〉



年齢別でみると、若い年齢層で、「子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ場を増やすこと」「子どもが「本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）」できる機会を増やすこと」「様々な仕事を体験できる機会を増やすこと」がやや多くなる傾向がある。

図表 豊かな心を育むために必要な取組〈年齢別〉

(%)

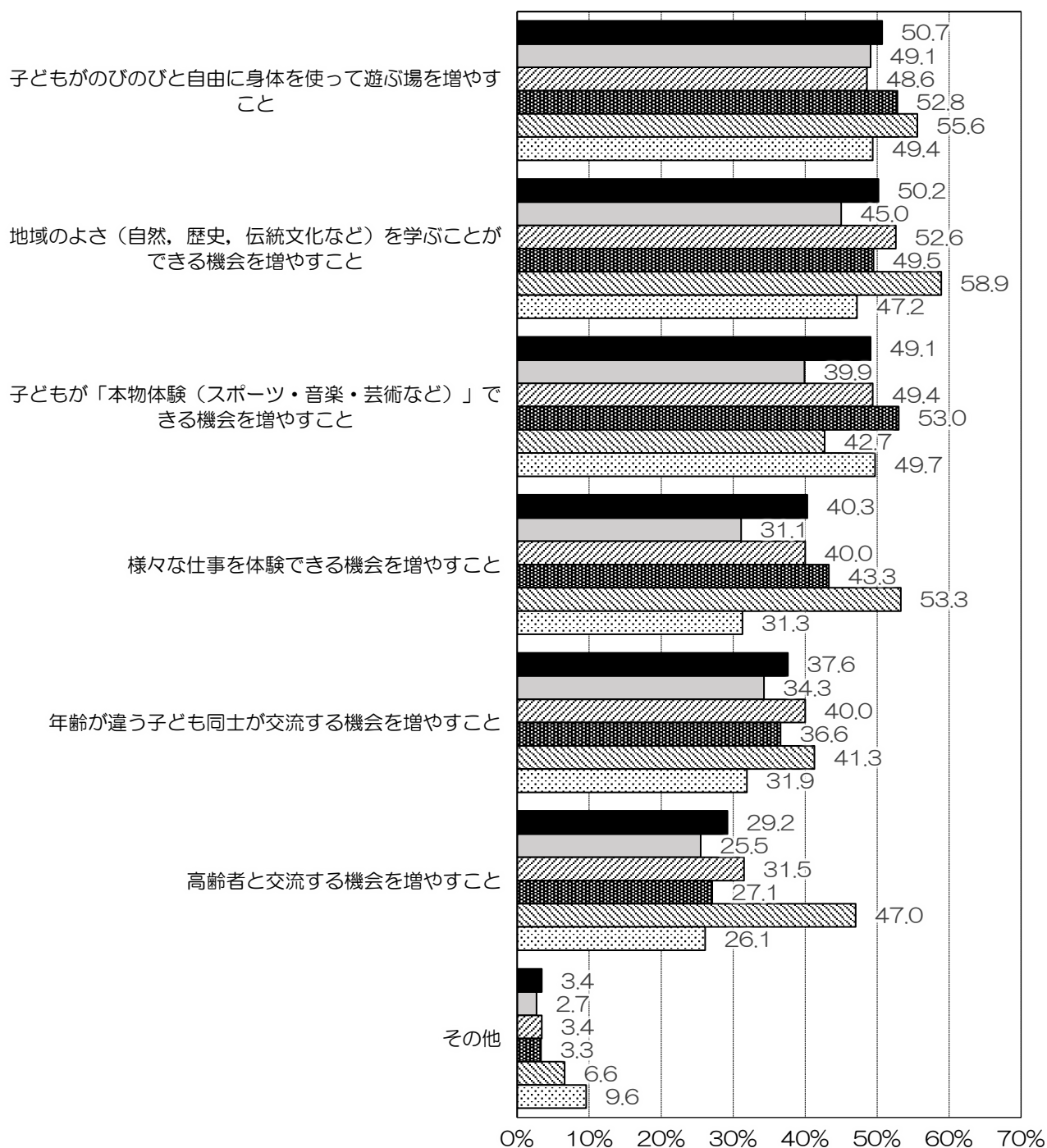
	子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ場を増やすこと	地域のよさ（自然、歴史、伝統文化など）を学ぶことができる機会を増やすこと	子どもが「本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）」できる機会を増やすこと	様々な仕事を体験できる機会を増やすこと	年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと	高齢者と交流する機会を増やすこと	その他	不明
20歳代以下 (n=129)	57.4	41.3	56.2	46.7	34.4	15.9	4.6	1.6
30歳代 (n=130)	62.4	48.6	64.8	51.6	34.7	22.1	7.6	0.8
40歳代 (n=222)	52.2	52.9	57.5	57.1	32.2	22.1	4.6	2.2
50歳代 (n=244)	53.4	49.0	53.6	44.1	38.5	35.3	2.0	3.1
60～64歳 (n=136)	50.1	49.5	46.6	34.0	40.6	31.2	3.0	5.4
65～74歳 (n=313)	50.5	53.2	53.4	34.4	40.3	30.9	3.6	5.8
75歳以上 (n=483)	44.3	51.0	34.5	31.8	38.9	33.0	2.3	13.3

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

〈家族構成別〉

家族構成別でみると、2世代家族（親と子）で「様々な仕事を体験できる機会を増やすこと」「子どもが『本物体験（スポーツ・音楽・芸術など）』できる機会を増やすこと」「子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ場を増やすこと」がやや多くなっている。

図表 豊かな心を育むために必要な取組〈家族構成別〉



■全体(n=1,664)

□1人世帯(n=275)

▨1世代家族(夫婦やパートナーのみ)(n=581)

■2世代家族(親と子)(n=716)

▨3世代家族(親と子と孫)(n=62)

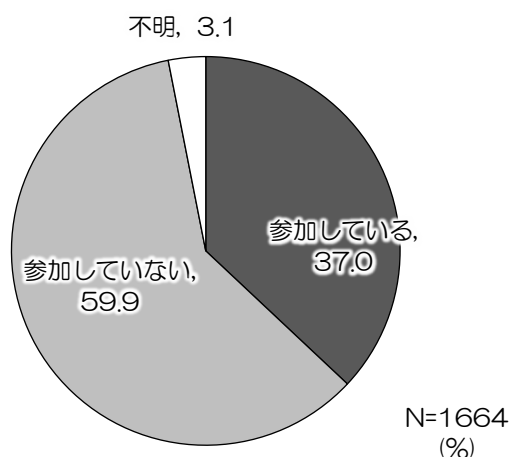
□その他(n=22)

(6) 市民協働

問27 地域活動に参加していますか。(○は1つ)

地域活動の参加の有無については、「参加している(37.0%)」が4割弱を占めており、令和元年度調査(37.7%)とほぼ同様の傾向である。

図表 地域の活動への参加の有無

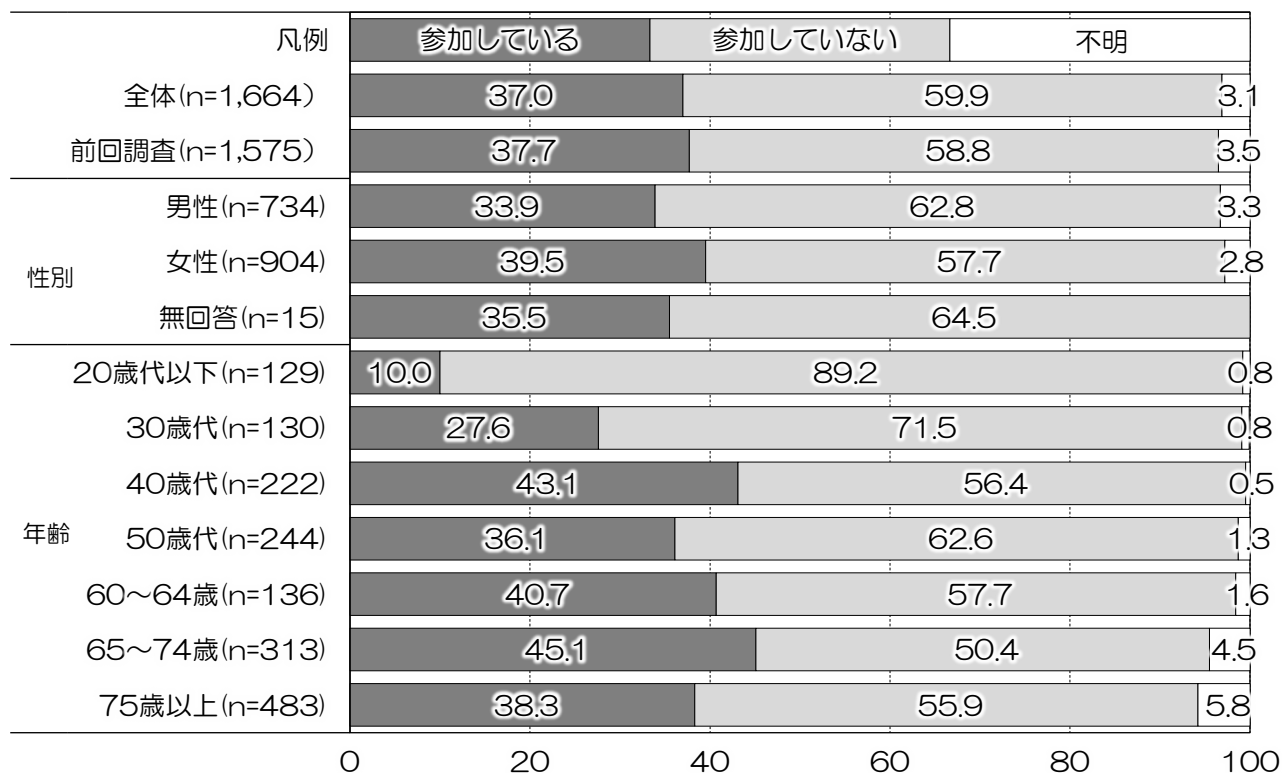


〈性別・年齢別〉

性別でみると、女性で「参加している」が、男性を5.6ポイント上回っている。

年齢別でみると、「参加している」は、65～74歳で45.1%、40歳代で43.1%を占めるなど、多くなっている。

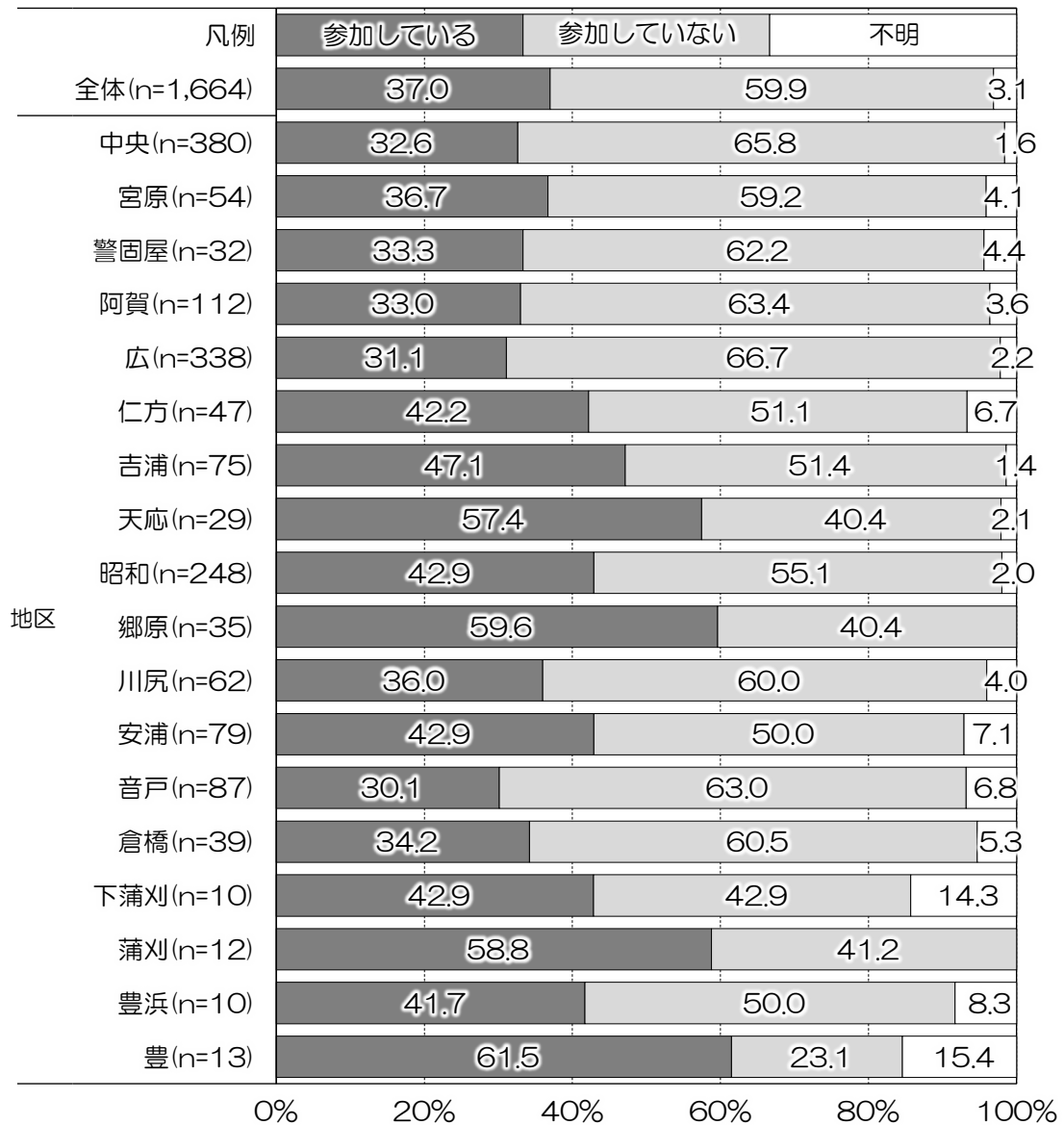
図表 地域の活動への参加の有無〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「参加している」は、豊地区、郷原地区、蒲刈地区、天応地区等で6割程度と多くなっている。

図表 地域の活動への参加の有無〈地区別〉

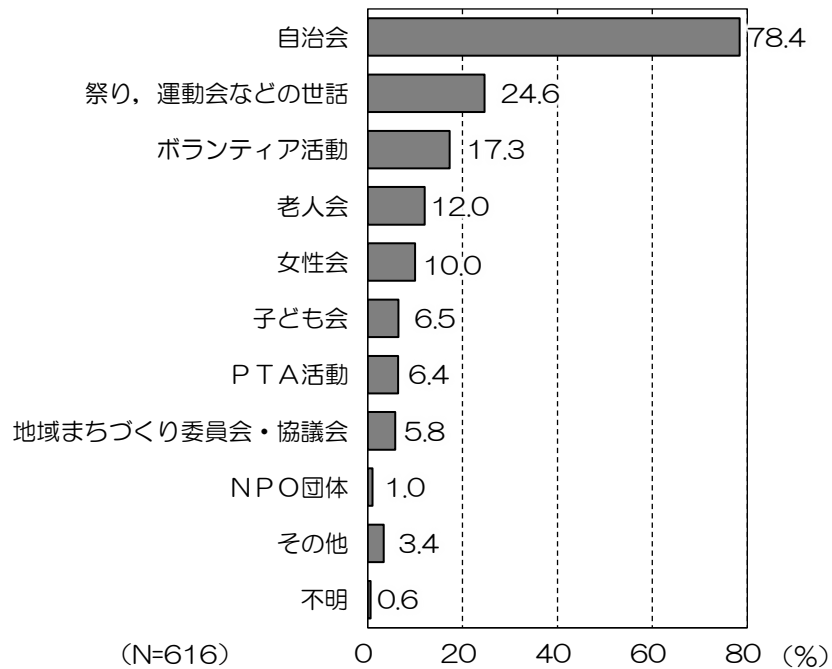


問27-1 上記問27で「参加している」に回答した方のみ

どのような地域活動に参加していますか。（〇はいくつでも）

参加している地域活動は、「自治会（78.4%）」が最も多く、次いで「祭り，運動会などの世話（24.6%）」「ボランティア活動（17.3%）」となっている。令和元年度調査に比べて、「自治会（前回 65.1%）」が 10 ポイント以上増加している。

図表 参加している地域活動

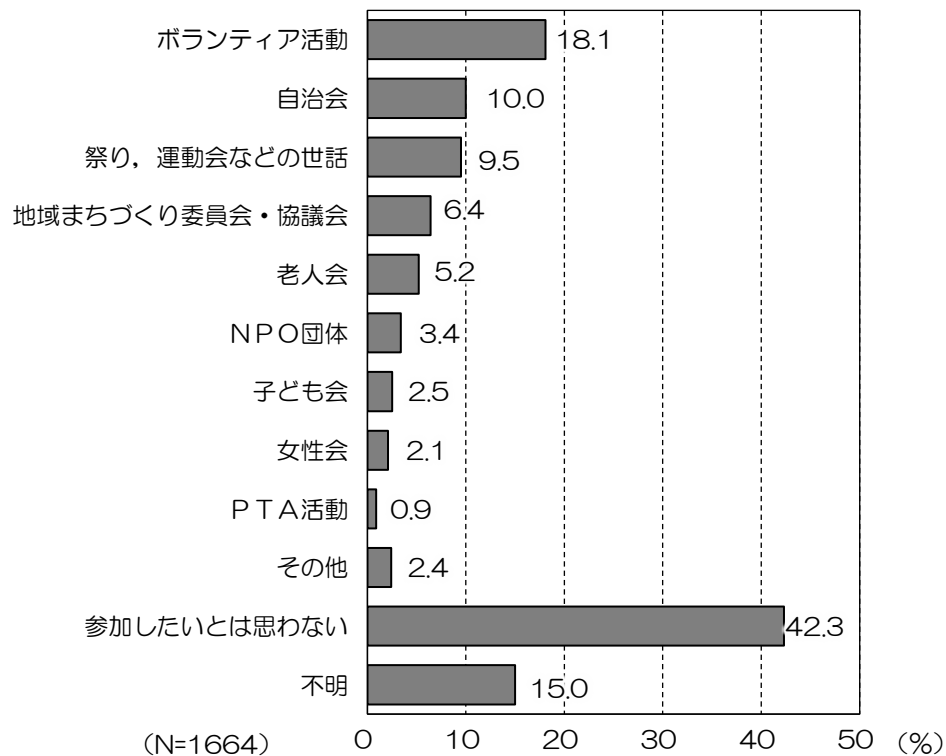


問 28 どのような地域活動に参加してみたいですか。（〇はいくつでも）

「ボランティア活動（18.1%）」が最も多く、次いで「自治会（10.0%）」「祭り、運動会などの世話（9.5%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて「ボランティア活動（前回22.8%）」がやや少なくなっている。

一方、「参加したいとは思わない」は、42.3%となっており、前回調査（前回35.0%）より7.3ポイント増加している。

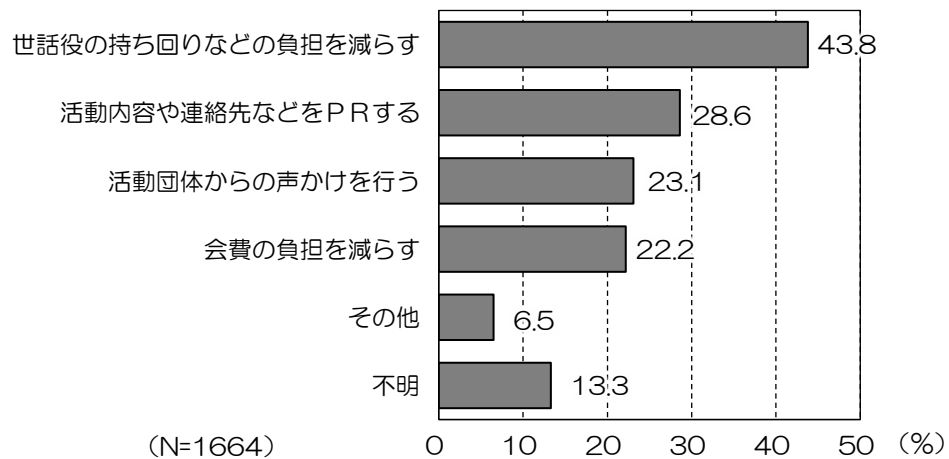
図表 参加してみたい地域活動



問 29 どうすれば、地域活動に参加しやすくなりますか。（〇はいくつでも）

地域活動に参加しやすくなる取組は、「世話役の持ち回りなどの負担を減らす（43.8%）」が最も多く、次いで「活動内容や連絡先などをPRする（28.6%）」「活動団体からの声かけを行う（23.1%）」「回避の負担を減らす（22.2%）」の順となっている。令和元年度調査とほぼ同様の傾向となっている。

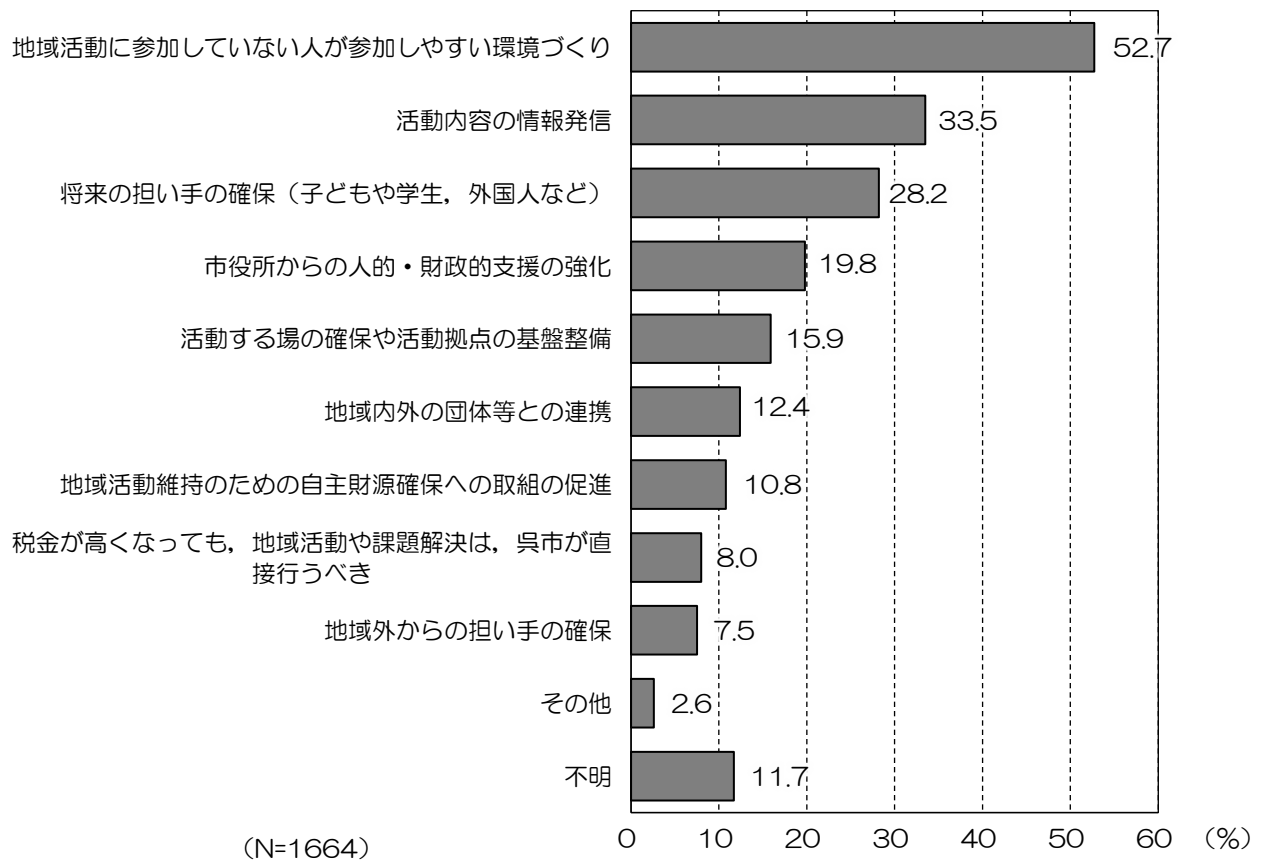
図表 地域活動に参加しやすくなると思うこと



問30 地域活動の維持や地域の課題解決に向けて、どのような取組が必要ですか。
(〇はいくつでも)

地域活動の維持や地域の課題解決に向けて今後、必要な取組については、「地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり（52.7%）」が最も多く、次いで「活動内容の情報発信（33.5%）」「将来の担い手の確保（子どもや学生、外国人など）（28.2%）」「市役所からの人的・財政的支援の強化（19.8%）」の順となっている。令和元年度調査と比べて、「活動内容の情報発信」が順位を一つ上げている。

図表 地域活動の維持や地域の課題解決に向けて必要だと思う取組

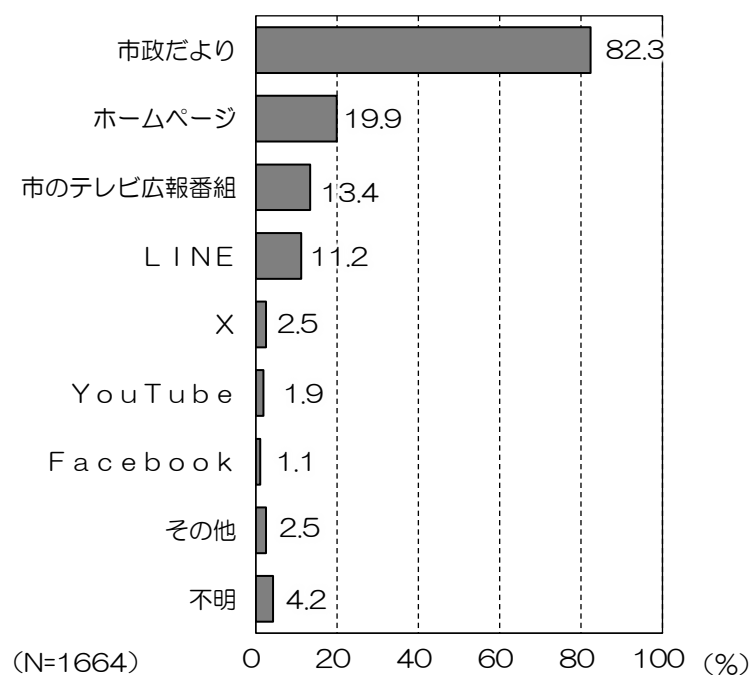


(7) 安全・安心

問31 市が発信している情報を、どのような方法で確認していますか。(〇はいくつでも)

市役所からの発信情報の確認手段は、「市政だより(82.3%)」が大部分を占めている。次いで、「ホームページ(19.9%)」「市のテレビ広報番組(13.4%)」「LINE(11.2%)」の順となっている。令和元年度調査に比べて、「ホームページ(前回12.9%)」が7.0ポイント増加している。

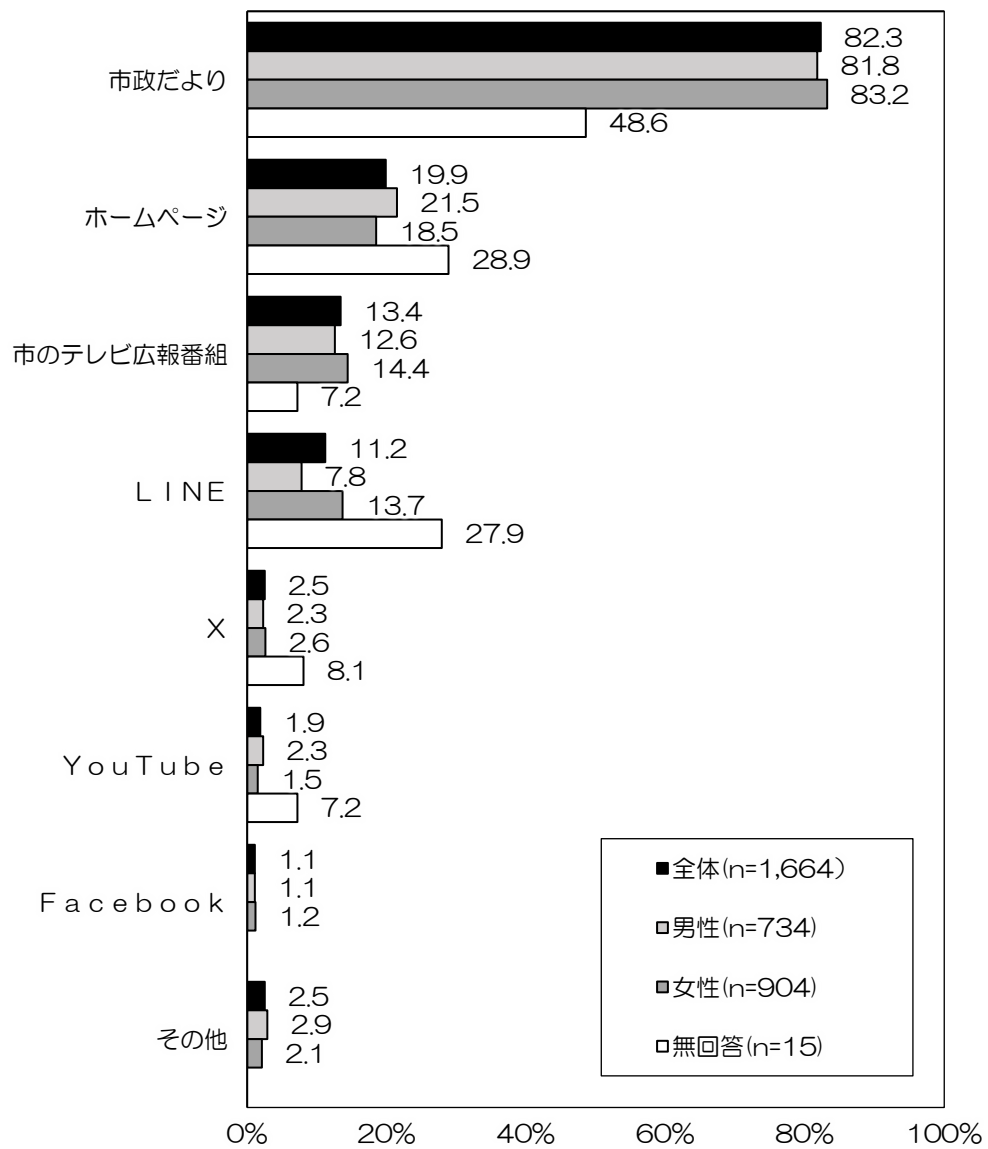
図表 市からの発信情報の確認手段



〈性別〉

男性・女性で特に大きな差はないものの、女性でやや「LINE」が多くなっている。

図表 市からの発信情報の確認手段〈性別〉



〈年齢別〉

年齢別でみると、いずれの年齢でも「市政だより」が第一位となっているが、若い年齢層では、「ホームページ」「LINE」等が多くなっている。

図表 市からの発信情報の確認手段〈年齢別〉

(%)

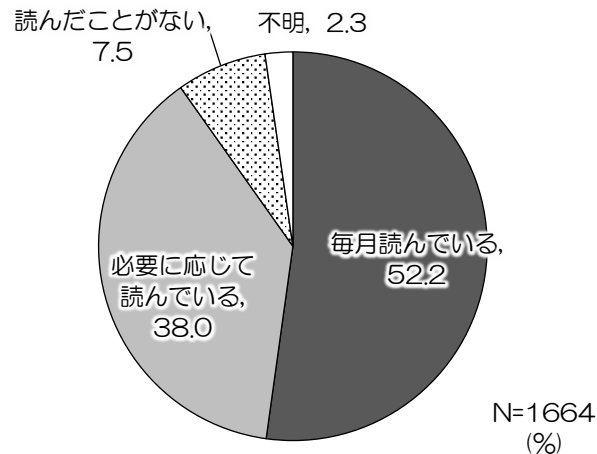
	市政だより	ホームページ	市のテレビ広報番組	LINE	X	YouTube	Facebook	その他	不明
20歳代以下(n=129)	45.3	22.2	27.8	18.5	9.2	9.1	0.0	6.3	6.3
30歳代(n=130)	61.3	30.0	11.4	20.3	7.0	4.5	3.6	6.6	2.4
40歳代(n=222)	84.0	30.6	8.7	17.7	3.3	1.8	3.7	4.0	0.4
50歳代(n=244)	85.7	26.5	15.2	17.6	4.1	0.8	1.6	1.6	1.8
60～64歳(n=136)	84.3	28.4	9.3	13.6	1.6	1.5	0.0	0.0	3.6
65～74歳(n=313)	91.2	17.3	13.2	7.5	0.3	1.0	0.4	1.6	2.8
75歳以上(n=483)	89.0	7.8	12.7	2.3	0.0	0.2	0.2	1.3	7.8

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

【新規】問 32 市政だよりを読んでいますか。（○は1つ）

市政だよりを閲読している頻度は、「毎日読んでいる（52.2%）」が過半数を占めている。次いで、「必要に応じて読んでいる（38.0%）」「読んだことがない（7.5%）」の順となっている。

図表 市政だよりを読む頻度

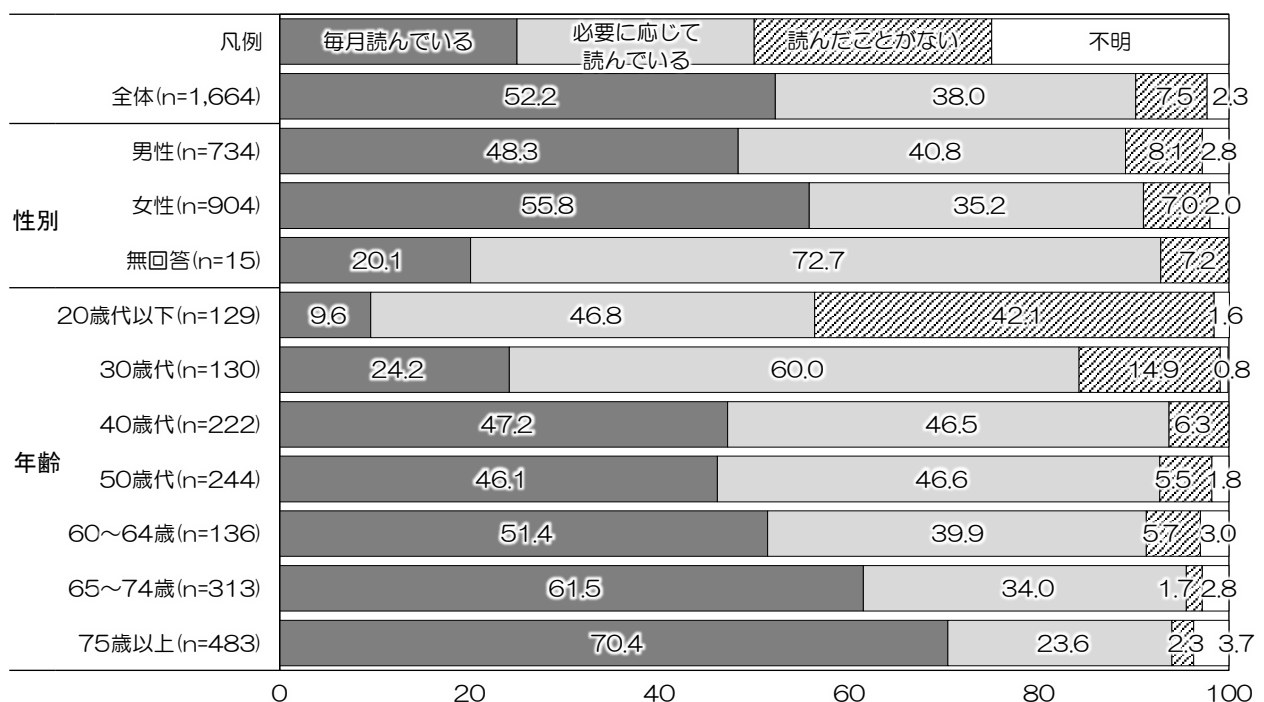


〈性別・年齢別〉

性別でみると、女性で「毎日読んでいる」が、男性を7.5ポイント上回っている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「毎日読んでいる」が多くなる傾向がみられる。特に20歳代以下は「読んだことがない」が42.1%を占めている。

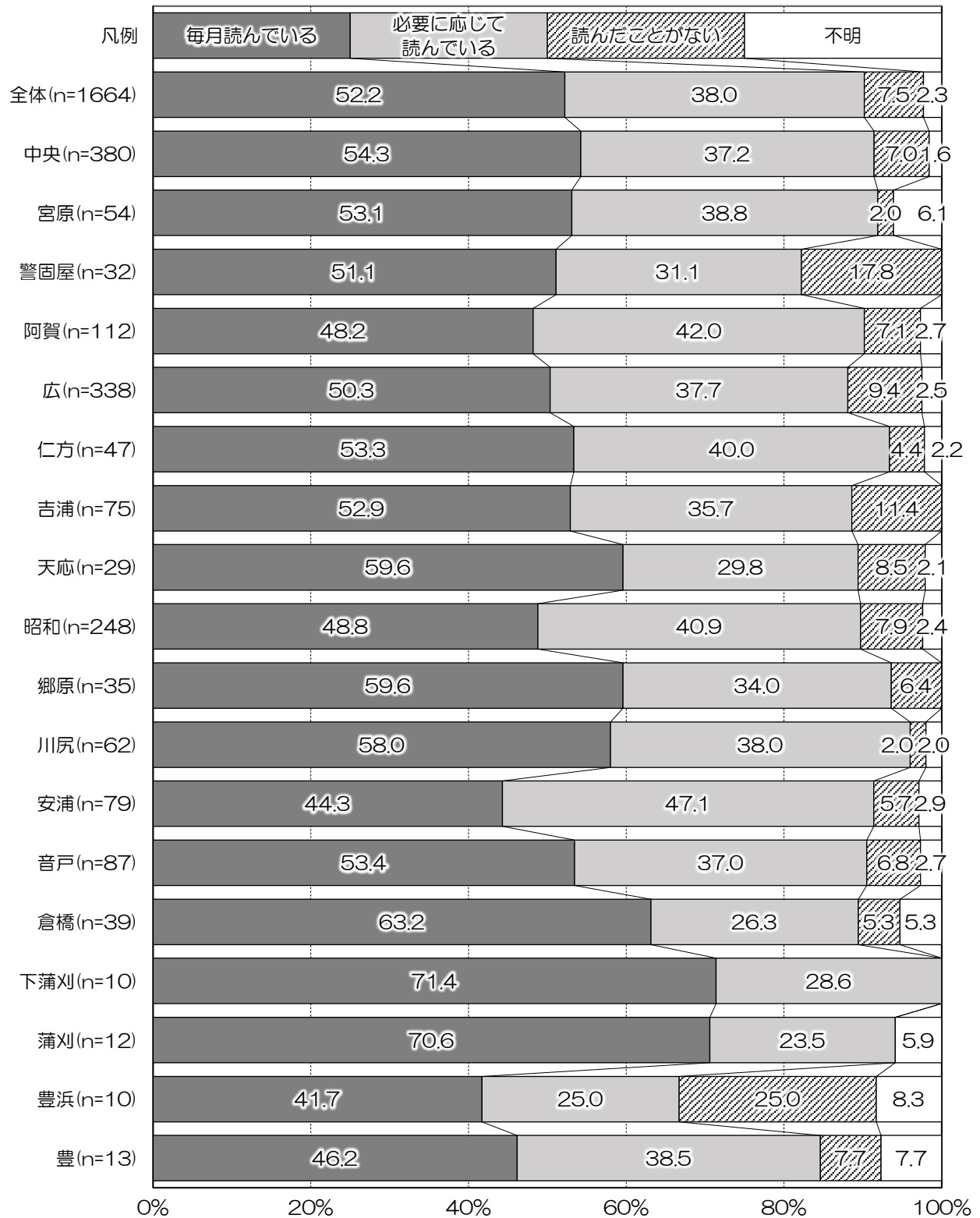
図表 市政だよりを読む頻度〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「毎月読んでいる」は下蒲刈地区、蒲刈地区、倉橋地区で6～7割と多くなっている。
一方、豊浜地区、安浦地区、昭和地区では「毎月読んでいる」が少なくなっている。

図表 市政だよりを読む頻度〈地区別〉

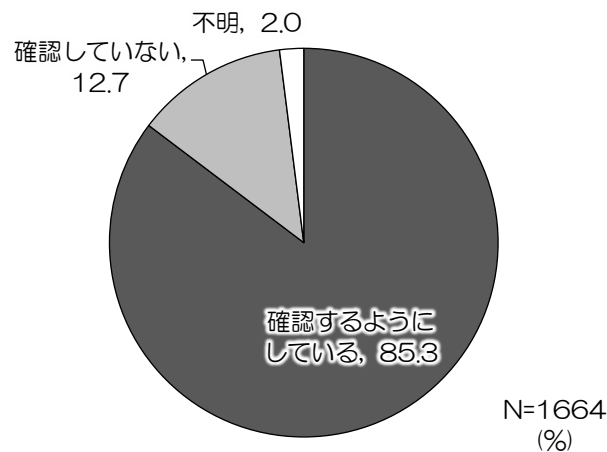


問 33 台風や大雨のとき、避難情報を確認するようにしていますか。（〇は1つ）

避難情報の確認は、「確認するようにしている（85.3%）」がほとんどを占める。一方、「確認していない」は、12.7%となっている。

令和元年度調査と比べ、「確認するようにしている（前回87.5%）」がやや減少し、「確認していない（前回10.1%）」がやや増加している。

図表 避難情報の確認

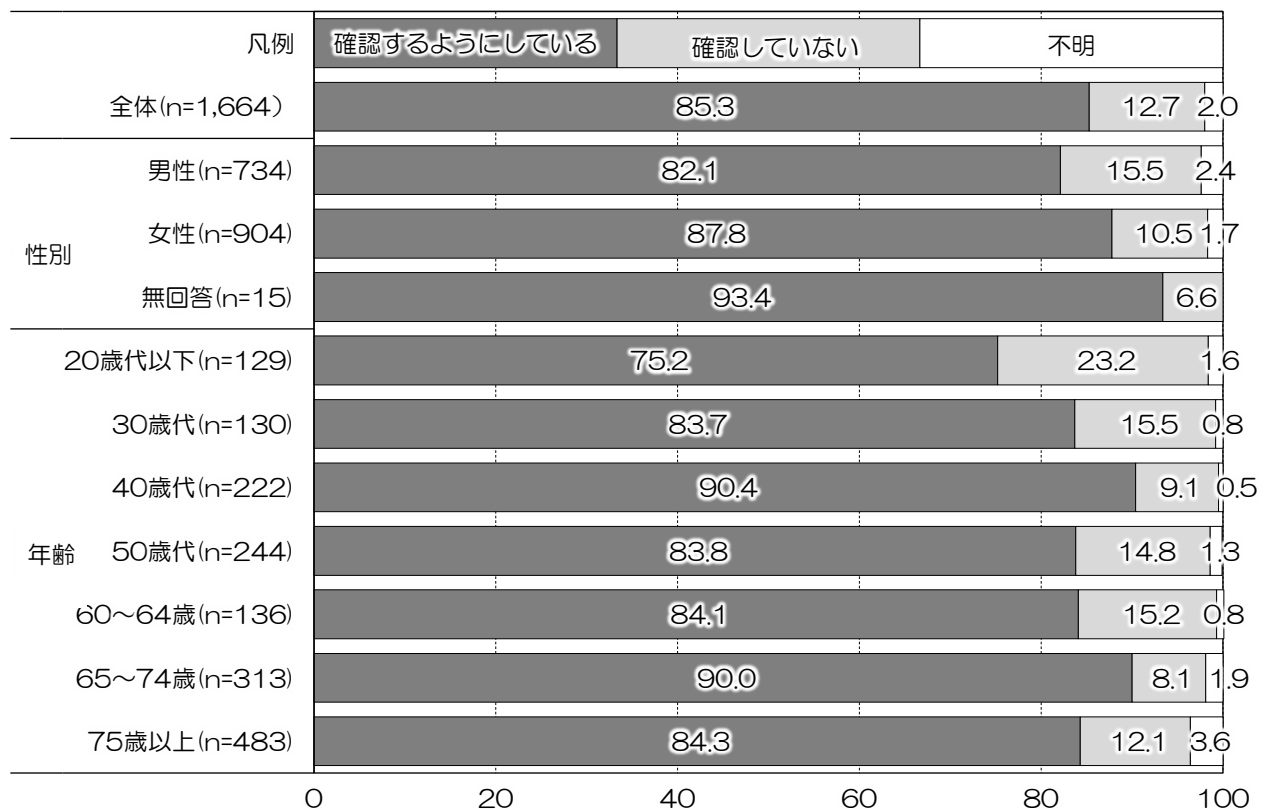


〈性別・年齢別〉

性別でみると、女性で「確認するようにしている」が、男性を 5.7 ポイント上回っている。

年齢別でみると、20 歳代以下で、「確認していない」が 23.2%と多くなっている。

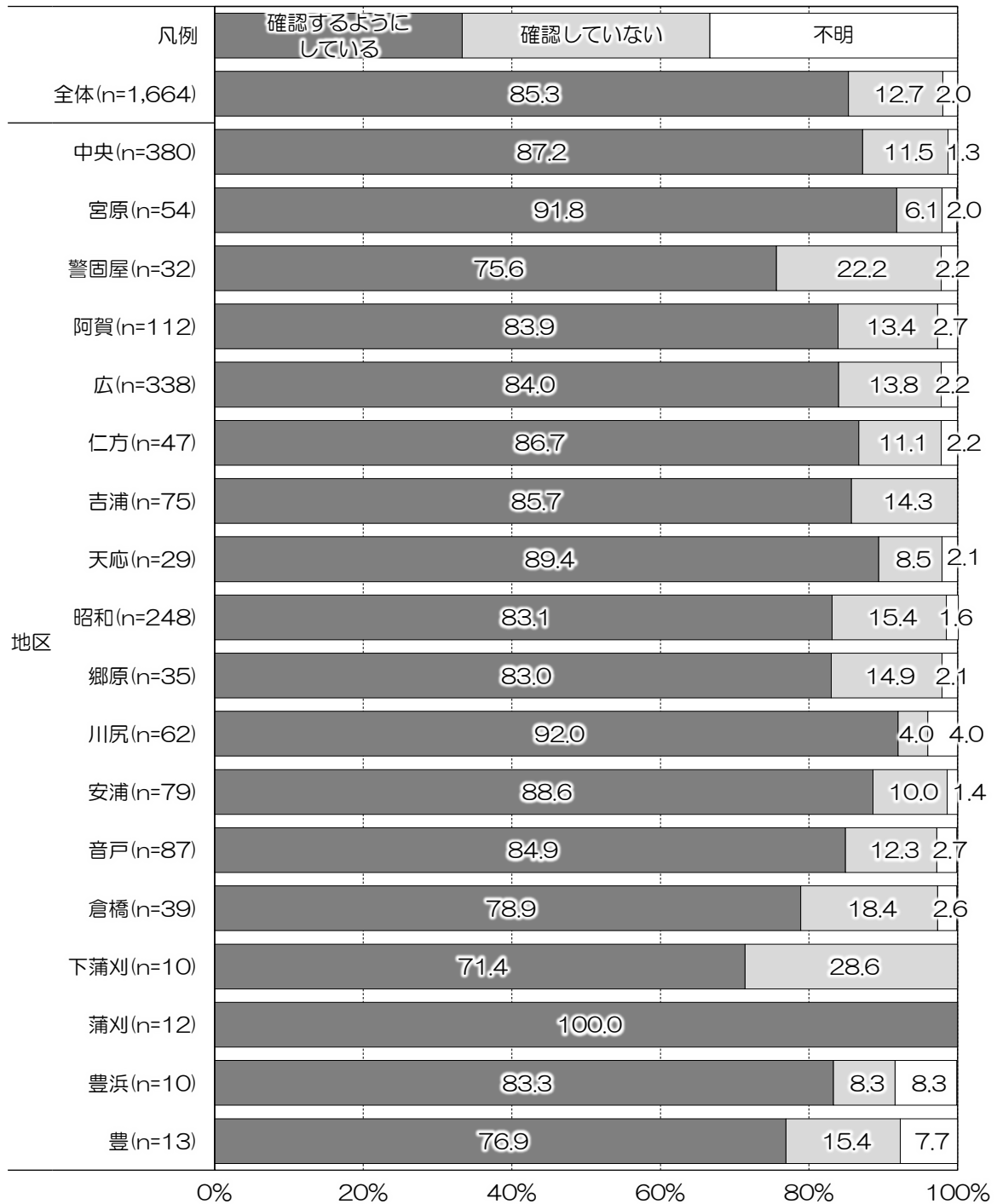
図表 避難情報の確認 〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「確認するようにしている」は、川尻地区、宮原地区で9割を超えているなど多くなっている。一方、「確認していない」は、下蒲刈地区 28.6%、警固屋地区 22.2%等と多くなっている。

図表 避難情報の確認〈地区別〉

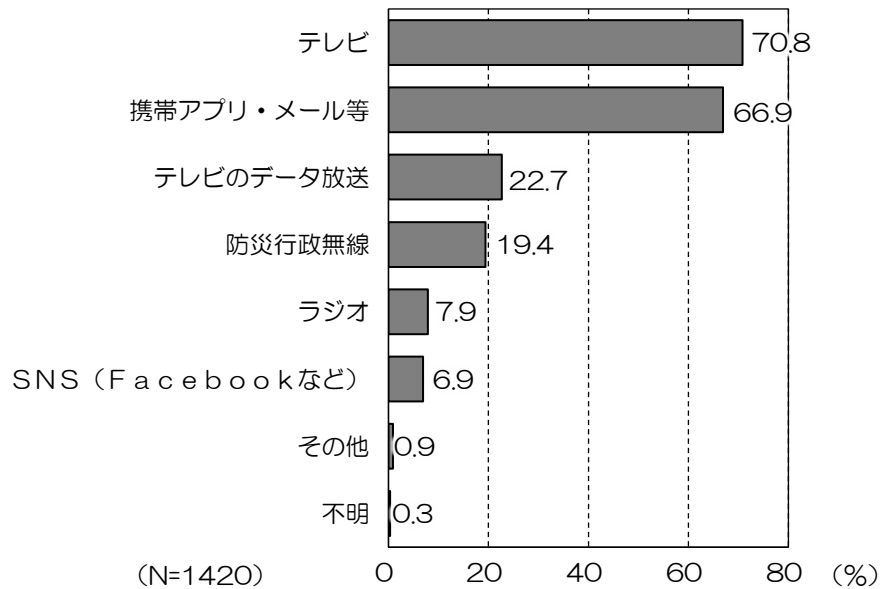


問33-1 上記問33で「確認するようにしている」に回答した方のみ

どのような方法で避難情報を確認していますか。（〇はいくつでも）

避難情報の確認方法は、「テレビ（70.8%）」が最も多く、次いで「携帯アプリ・メール等（66.9%）」が多い。「防災行政無線（19.4%）」は、令和元年度調査（32.9%）に比べて、13.5ポイント減少している。

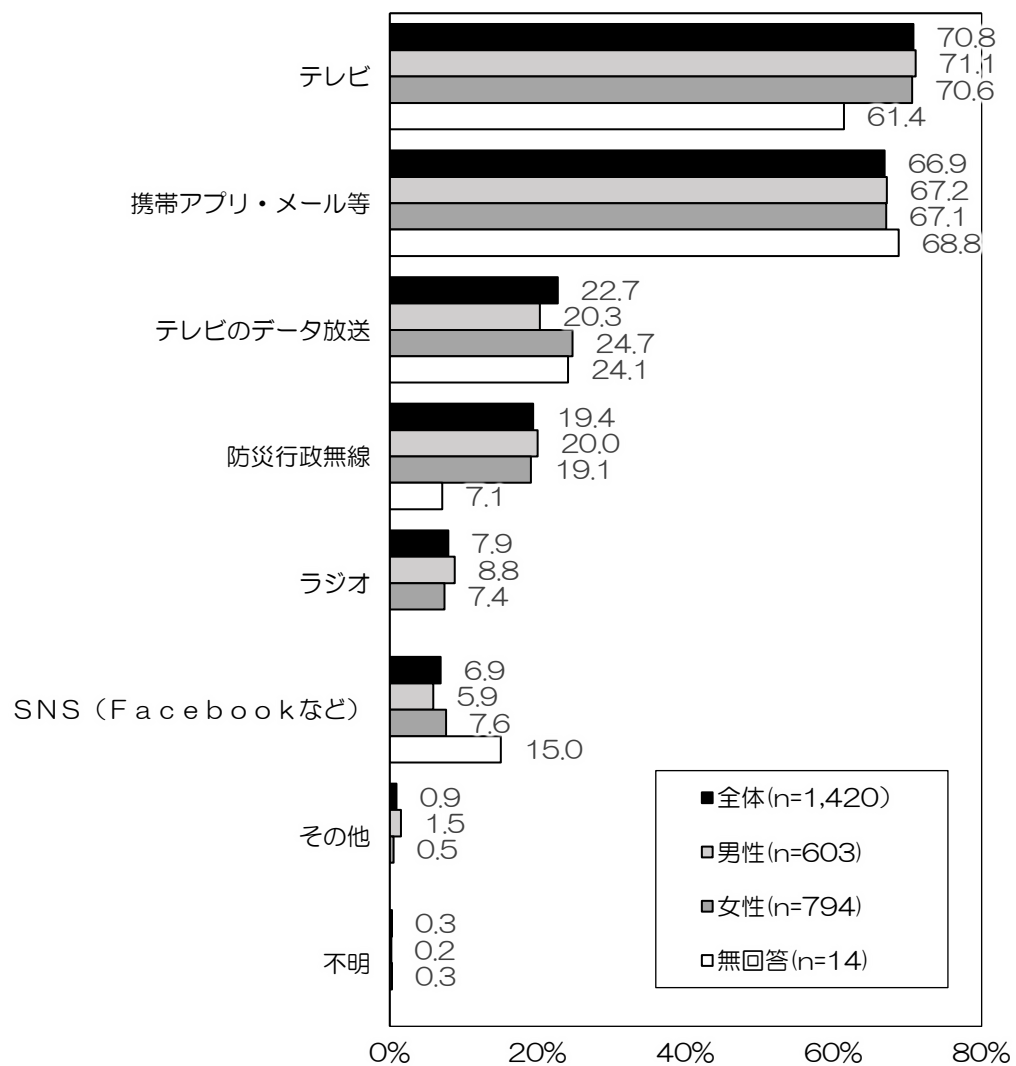
図表 避難情報の確認方法



〈性別〉

男性・女性で大きな差はみられない。

図表 避難情報の確認方法〈性別〉



〈年齢別〉

第一位の内容は、65歳以上は「テレビ」であるのに対し、それ以下の年齢では「携帯アプリ・メール等」となっている。また、「防災行政無線」は年齢が高いほど多く、「SNS」は40歳代以下で10～20%程度と、やや多くなっている。

図表 避難情報の確認方法〈年齢別〉

(%)

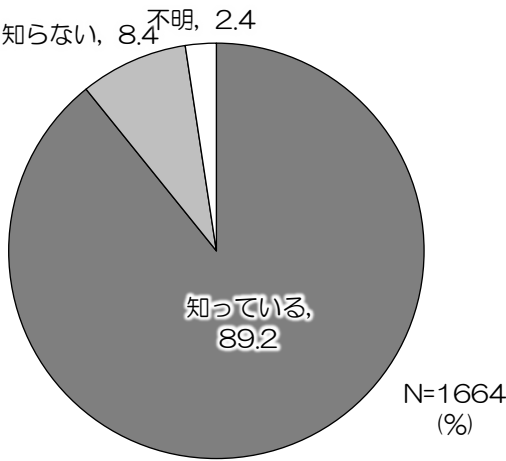
	テレビ	携帯アプリ・メール等	テレビのデータ放送	防災行政無線	ラジオ	SNS (Facebookなど)	その他	不明
20歳代以下 (n=97)	53.7	83.5	20.2	9.8	1.0	21.4	0.0	0.0
30歳代 (n=109)	61.0	82.9	17.4	12.5	1.5	17.1	1.0	0.0
40歳代 (n=201)	61.1	82.8	24.1	10.9	4.6	16.3	0.0	0.0
50歳代 (n=204)	66.5	81.1	26.1	12.9	4.9	8.2	1.1	0.0
60～64歳 (n=114)	68.0	78.0	20.6	18.9	5.7	2.4	0.0	0.0
65～74歳 (n=282)	75.5	67.3	24.1	28.1	6.0	1.7	0.8	0.0
75歳以上 (n=407)	81.7	40.7	22.1	25.0	16.5	0.5	1.9	1.1

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問34 自宅の近くの呉市が指定する避難所（学校、まちづくりセンターなど）を知っていますか。（○は1つ）

避難所の理解状況は、「知っている（89.2%）」が9割程度を占めている。一方、「知らない」は8.4%となっている。令和元年度調査と比べ、「知っている（前回88.0%）」がやや増加し、「知らない（10.6%）」がやや減少している。

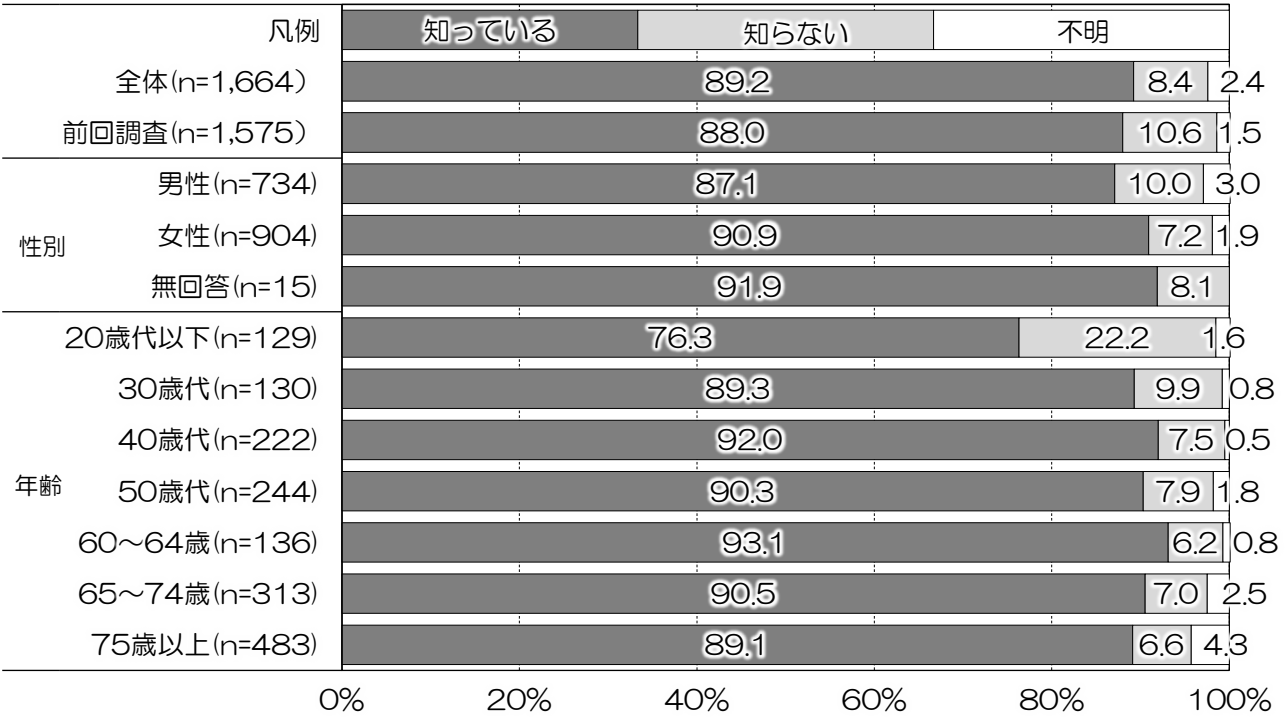
図表 避難所の把握



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性・女性で大きな差はみられない。
 年齢別にも、特に大きな差はみられないが、20歳代以下で「知らない（22.2%）」がやや多くなっている。

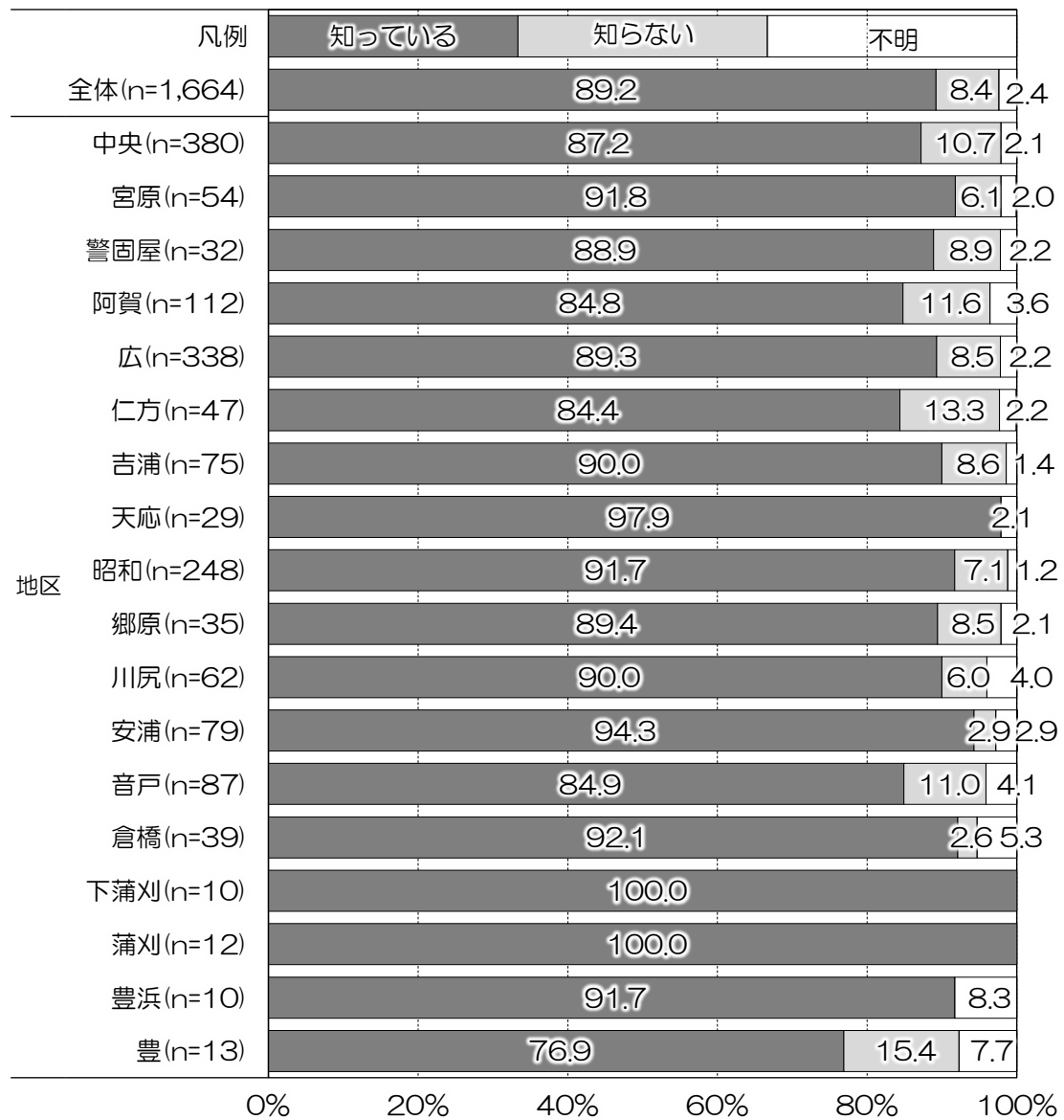
図表 避難所の把握〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「知らない」が豊地区、仁方地区、阿賀地区等でやや低くなっている。

図表 避難所の把握〈地区別〉

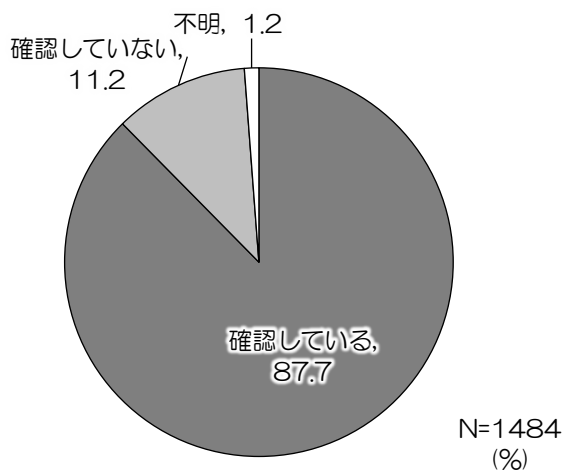


問34-1 上記問34で「知っている」に回答した方のみ

自宅から避難所までの避難経路を確認していますか。（○は1つ）

避難経路の確認状況は、「確認している（87.7%）」が9割程度を占めている。一方、「確認していない」は11.2%となっており、令和元年度調査とほぼ同様となっている。

図表 避難経路の確認



〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性・女性でほとんど差はみられない。

年齢別にも、特に大きな差はみられないが、20歳代以下で「確認していない（20.7%）」がやや多くなっている。

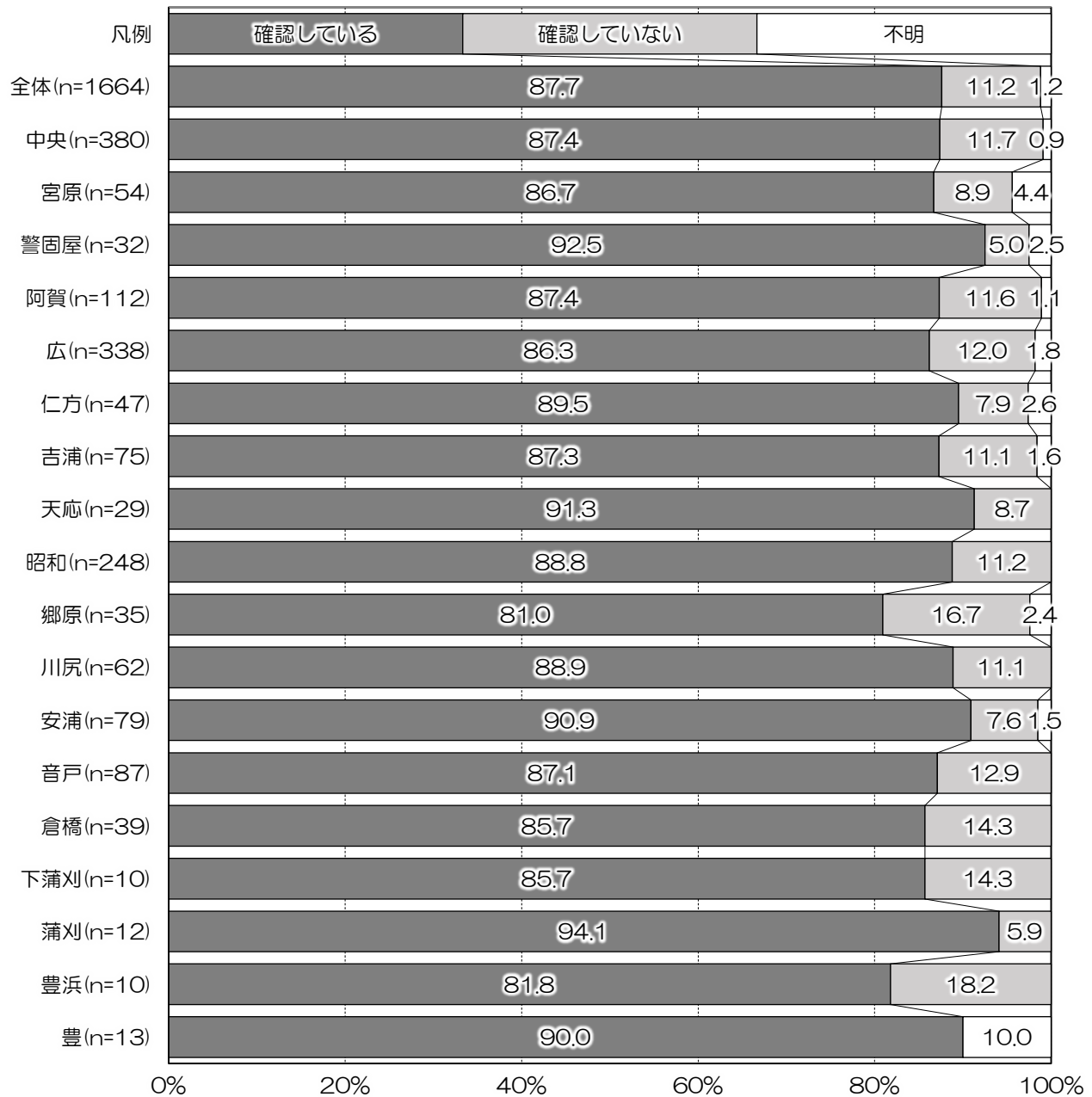
図表 避難経路の確認〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

特に大きな差はみられないが、「確認していない」が豊浜地区、郷原地区でやや多くなっている。

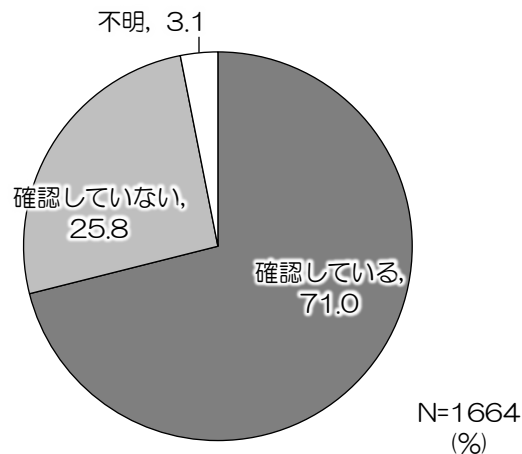
図表 避難経路の確認〈地区別〉



問35 自分の自宅や職場、学校が災害に対して安全かどうか確認していますか。
(○は1つ)

災害に対する安全の確認についてみると、「確認している(71.0%)」が2/3を占めるものの、「確認していない」が25.8%となっている。令和元年度調査に比べて、「確認している(前回66.0%)」がやや多くなっている。

図表 安全性の確認

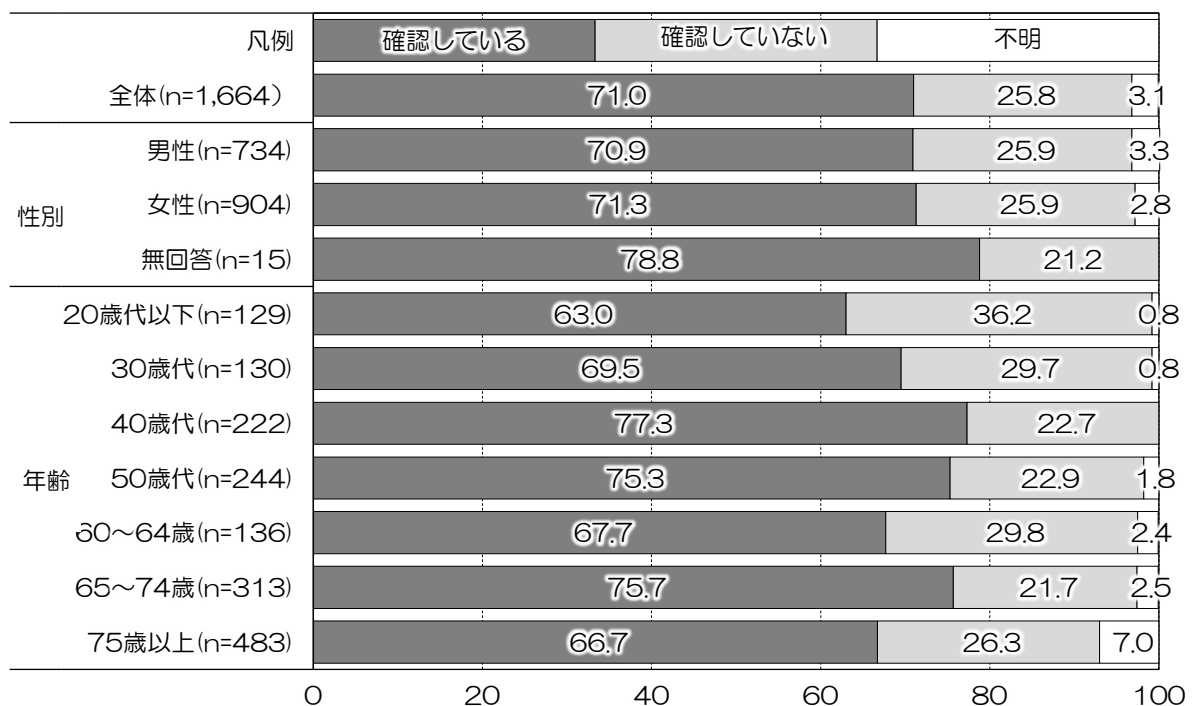


〈性別・年齢別〉

性別でみると、男性・女性でほとんど差はみられない。

年齢別でみると、「確認していない」が20歳代以下(36.2%)、60～64歳(29.8%)でやや多くなっている。

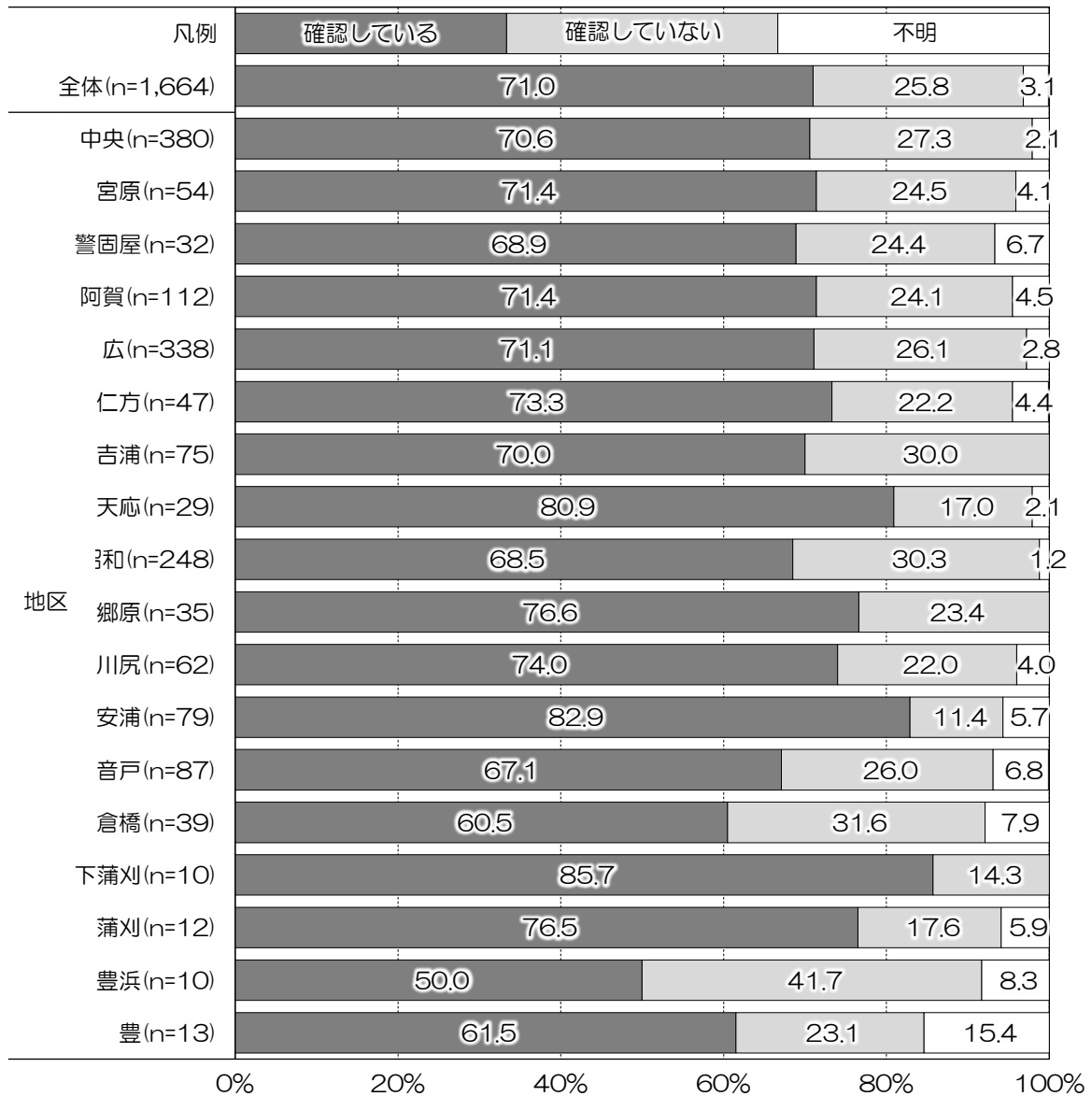
図表 安全性の確認〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

「確認していない」が、豊浜地区 41.7%，倉橋地区 31.6%，昭和地区 30.3%，吉浦地区 30.0%などでやや多くなっている。

図表 安全性の確認〈地区別〉

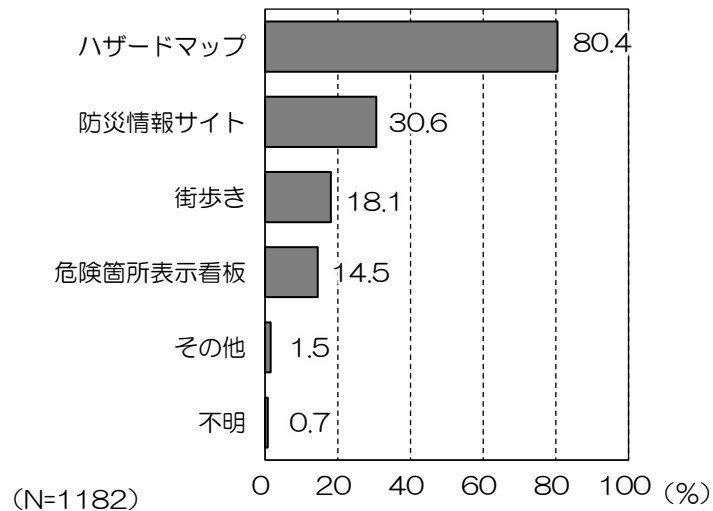


問35-1 上記問35で「確認している」に回答した方のみ

どのような方法で安全を確認していますか。（〇はいくつでも）

安全確認の方法は、「ハザードマップ（80.4%）」が最も多く、次いで「防災情報サイト（30.6%）」「街歩き（18.1%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて、「ハザードマップ（前回72.6%）」「防災情報サイト（25.6%）」がやや多くなっている。

図表 安全性の確認方法



〈年齢別〉

「ハザードマップ」が40歳代（89.7%）、50歳代（88.1%）でやや多くなっている。

図表 安全性の確認方法（年齢別）

(%)

	ハザードマップ	防災情報サイト	街歩き	危険箇所表示看板	その他	不明
20歳代以下 (n=81)	72.3	40.4	12.5	15.6	2.6	0.0
30歳代 (n=90)	83.8	25.1	19.8	8.0	2.3	0.0
40歳代 (n=172)	89.7	33.1	18.0	12.0	0.6	0.6
50歳代 (n=184)	88.1	28.1	9.3	9.9	1.5	0.6
60～64歳 (n=92)	72.8	32.3	21.3	11.8	0.0	1.1
65～74歳 (n=237)	77.9	31.1	21.7	15.4	1.8	0.5
75歳以上 (n=322)	76.3	28.7	20.5	19.9	1.9	0.9

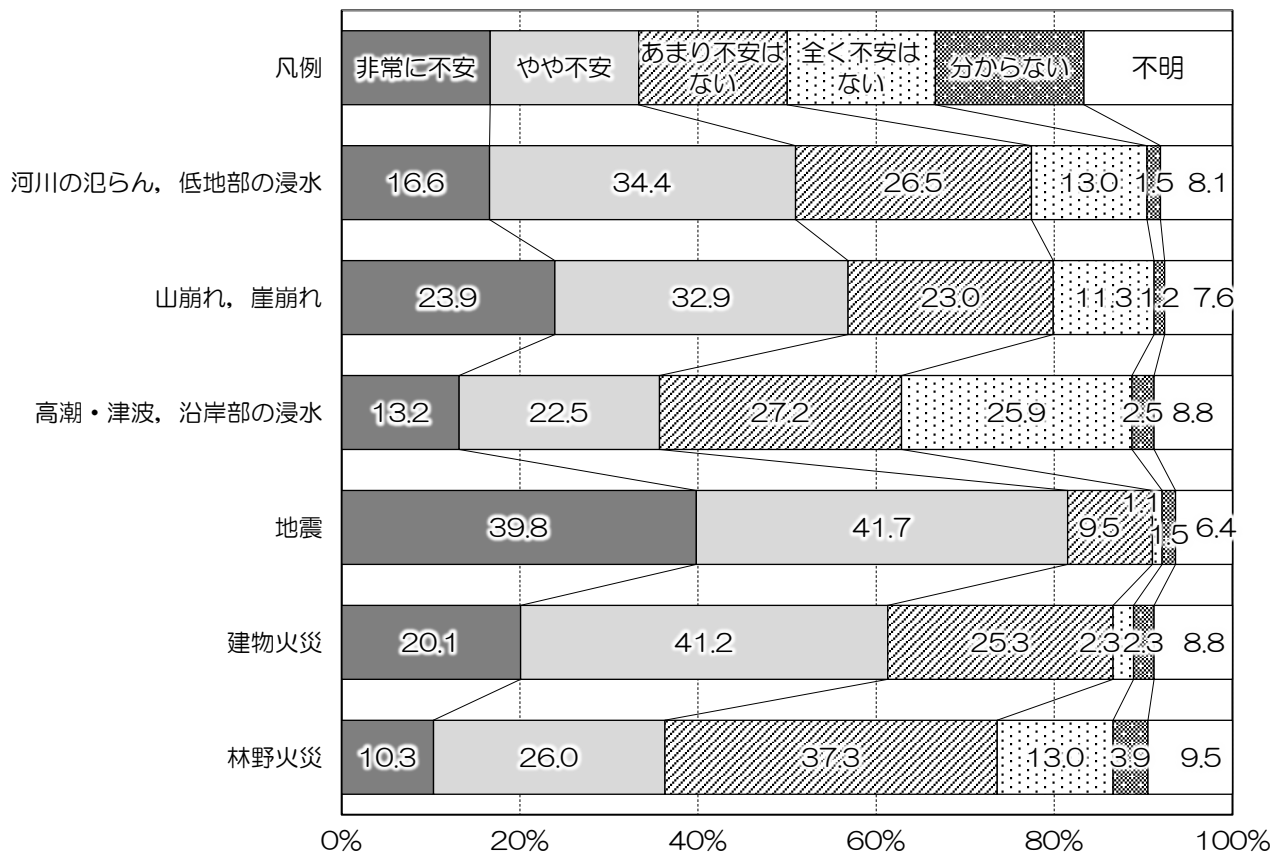
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問36 住んでいる地域では、次に掲げる災害について不安がありますか。それぞれについてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

災害に対する不安は、『地震』が最も多く、「非常に不安（39.9%）」「やや不安（41.7%）」を合わせると81.6%となり、8割を占めている。同様に、『建物火災』が61.3%、『山崩れ、崖崩れ』が56.8%となっている。

なお、令和元年度調査と比較すると、地震（75.9%）が4.7ポイント増加している。

図表 災害に対する不安

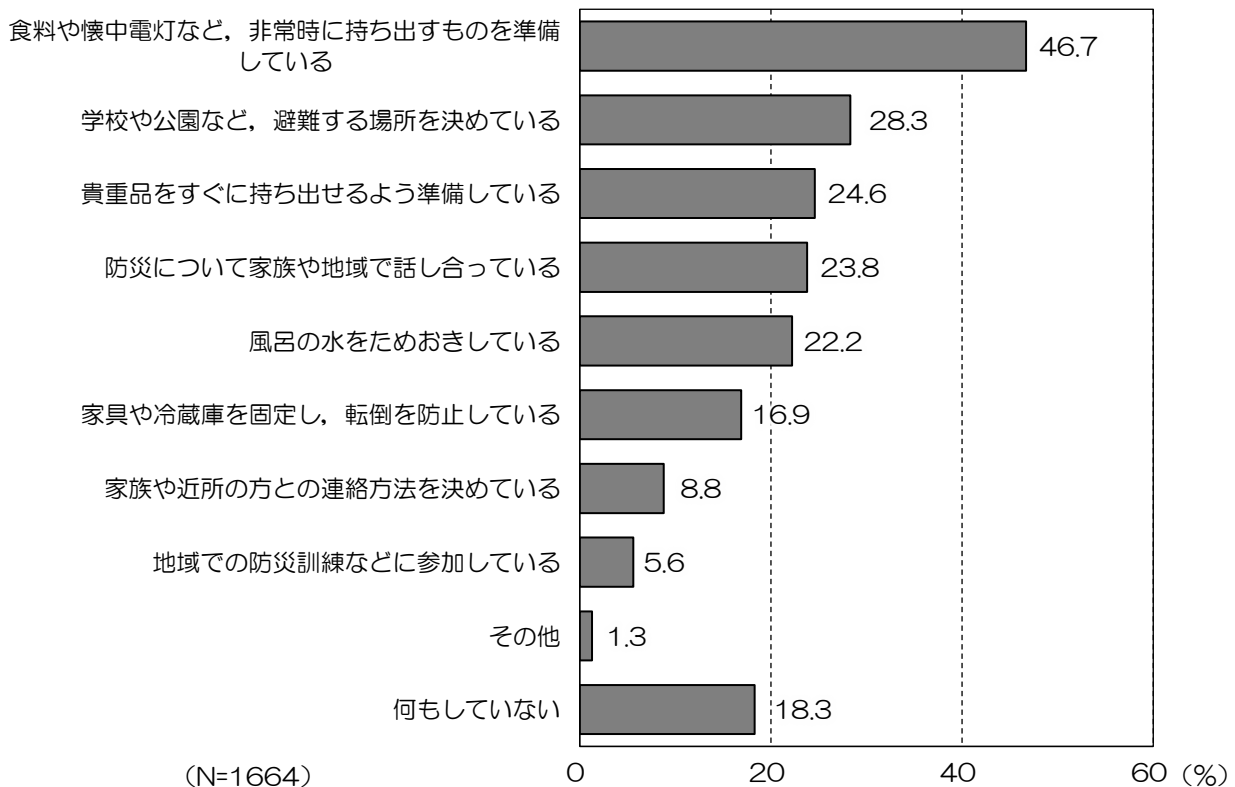


問37 災害に備えて、どのような対策を行っていますか。（〇はいくつでも）

日頃から行っている防災対策は、「食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している（46.7%）」が最も多く、次いで「学校や公園など、避難する場所を決めている（28.3%）」「貴重品をすぐに持ち出せるよう準備している（24.6%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて、「非常時に持ち出すものを準備している（前回40.7%）」が6.0ポイント増加している。

なお、「何もしていない（18.3%）」は、令和元年度調査（22.5%）よりも3.8ポイント減少している。

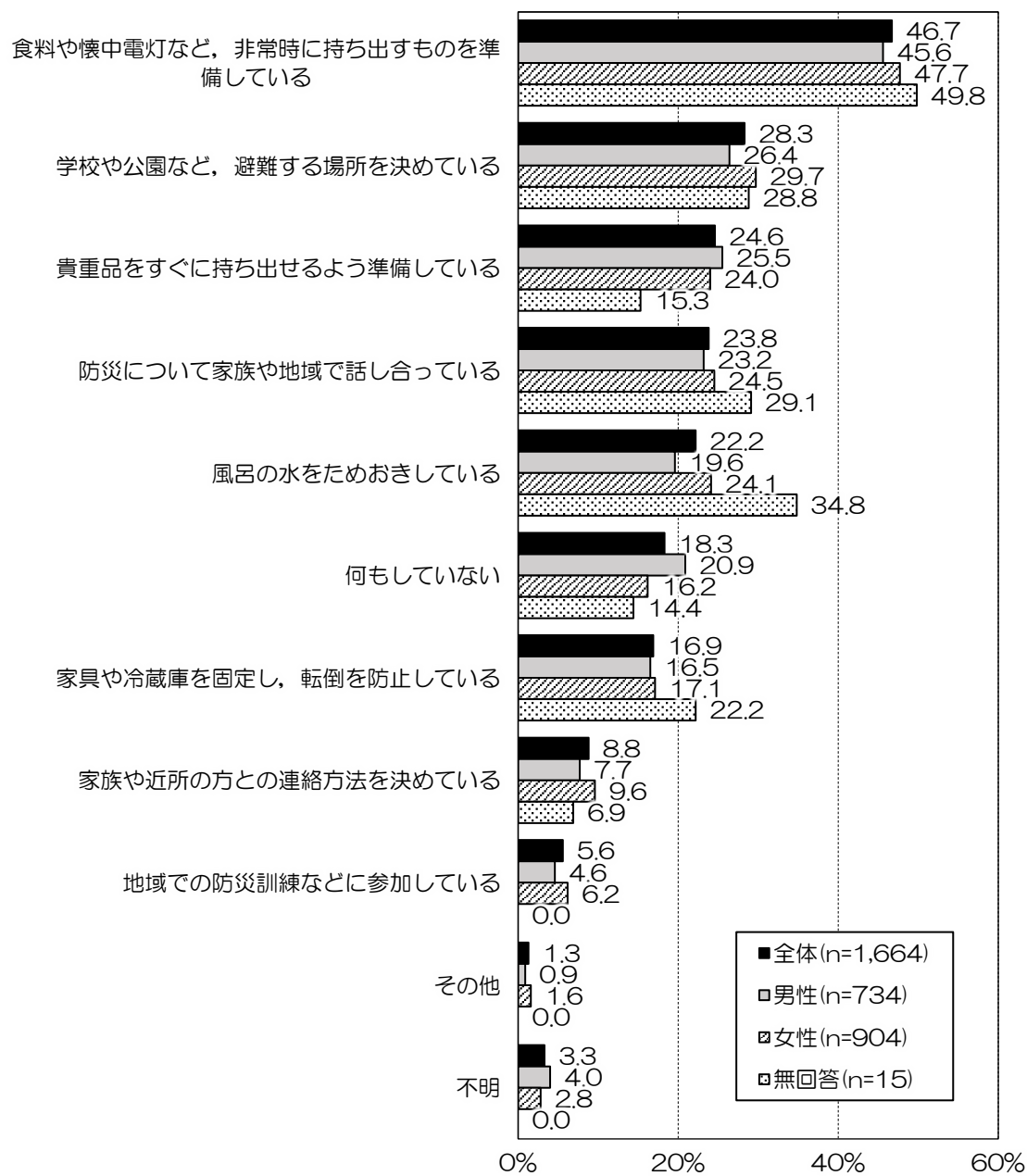
図表 災害に備えて行っている防災対策



〈性別〉

性別でみると、女性で「風呂の水をためおきしている」が、男性を 4.5 ポイント上回っている。一方、「何もしていない」は、男性が女性を 4.7 ポイント上回っている。

図表 災害に備えて行っている防災対策〈性別〉



〈年齢別〉

「風呂の水をためおきしている」が年齢が高くなるほど、「家族や近所の方との連絡方法を決めている」が年齢が若くなるほど、多くなる傾向がみられる。

図表 災害に備えて行っている防災対策〈年齢別〉

(%)

	食料や懐中電灯など、非常時に持ち出すものを準備している	学校や公園など、避難する場所を決めている	貴重品をすぐに出せるよう準備している	防災について家族や地域で話し合っている	風呂の水をためおきしている	何もしない	家具や冷蔵庫を固定し、転倒を防止している	家族や近所の方との連絡方法を決めている	地域での防災訓練などに参加している	その他	不明
20歳代以下 (n=129)	47.3	27.4	24.1	25.7	12.2	20.2	15.4	12.9	4.3	0.8	0.8
30歳代 (n=130)	46.3	26.0	26.9	23.1	11.1	14.6	15.6	13.7	1.6	1.7	2.4
40歳代 (n=222)	52.6	36.7	20.6	35.4	15.4	15.1	19.4	13.6	3.6	1.0	0.9
50歳代 (n=244)	45.8	25.2	17.1	22.1	20.8	25.2	17.8	11.3	1.7	1.3	0.9
60～64歳 (n=136)	50.8	26.8	22.0	22.5	22.4	15.3	15.8	4.3	6.5	1.5	0.8
65～74歳 (n=313)	47.3	24.6	26.6	25.8	27.3	14.9	16.6	5.4	7.9	1.1	3.4
75歳以上 (n=483)	43.0	29.5	29.3	18.2	28.5	20.0	16.6	6.4	8.1	1.5	7.0

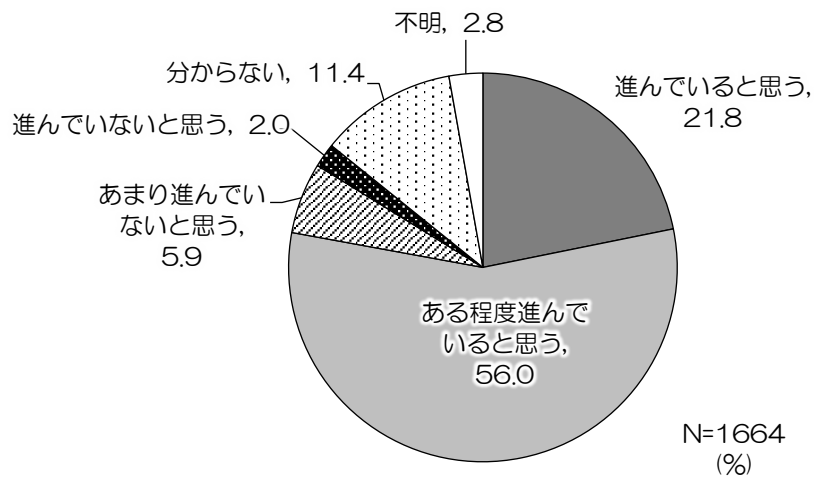
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問38 平成30年7月豪雨災害から復旧・復興が進んでいると思いますか。（○は1つ）

復旧・復興の進捗状況は、「ある程度進んでいると思う（56.0%）」が過半数を占めており、「進んでいると思う（21.8%）」を含めて77.8%が進んでいると感じており、令和元年度調査（63.9%）に比べ、多くなっている。

一方で、「あまり進んでいない（5.9%）」と「進んでいないと思う（2.0%）」は合わせると7.9%であり、令和元年度調査（25.2%）から大きく減少している。

図表 復旧・復興の進捗状況

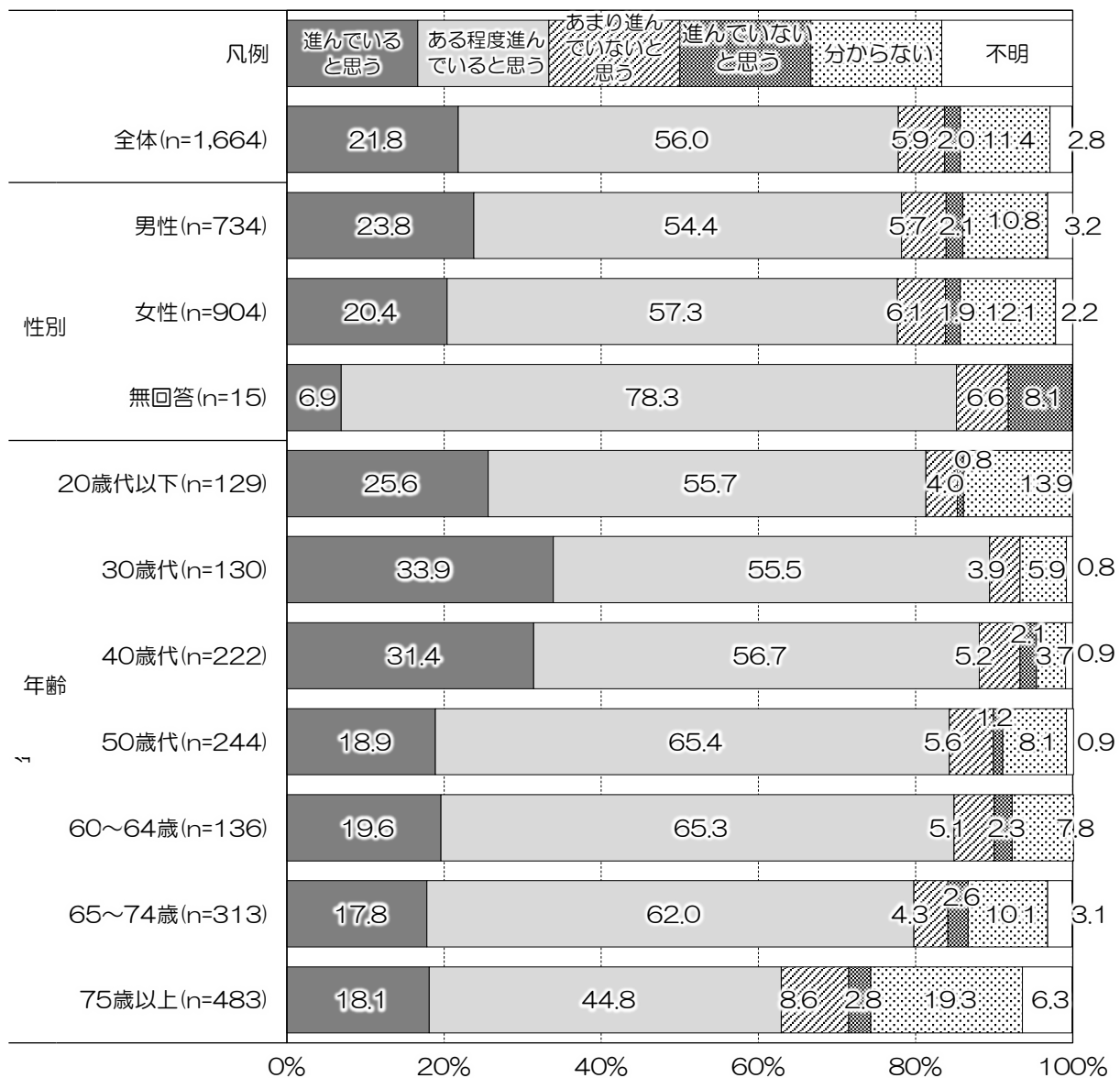


〈性別，年齢別〉

性別でみると，男性・女性で特に大きな差はみられない。

年齢別でみると，30 歳代，40 歳代で「進んでいると思う」が3割を超えている。一方，75 歳以上，65～75 歳で「進んでいると思う」と「ある程度進んでいると思う」を合わせた割合がやや少なくなっている。

図表 復旧・復興の進捗状況〈性別・年齢別〉

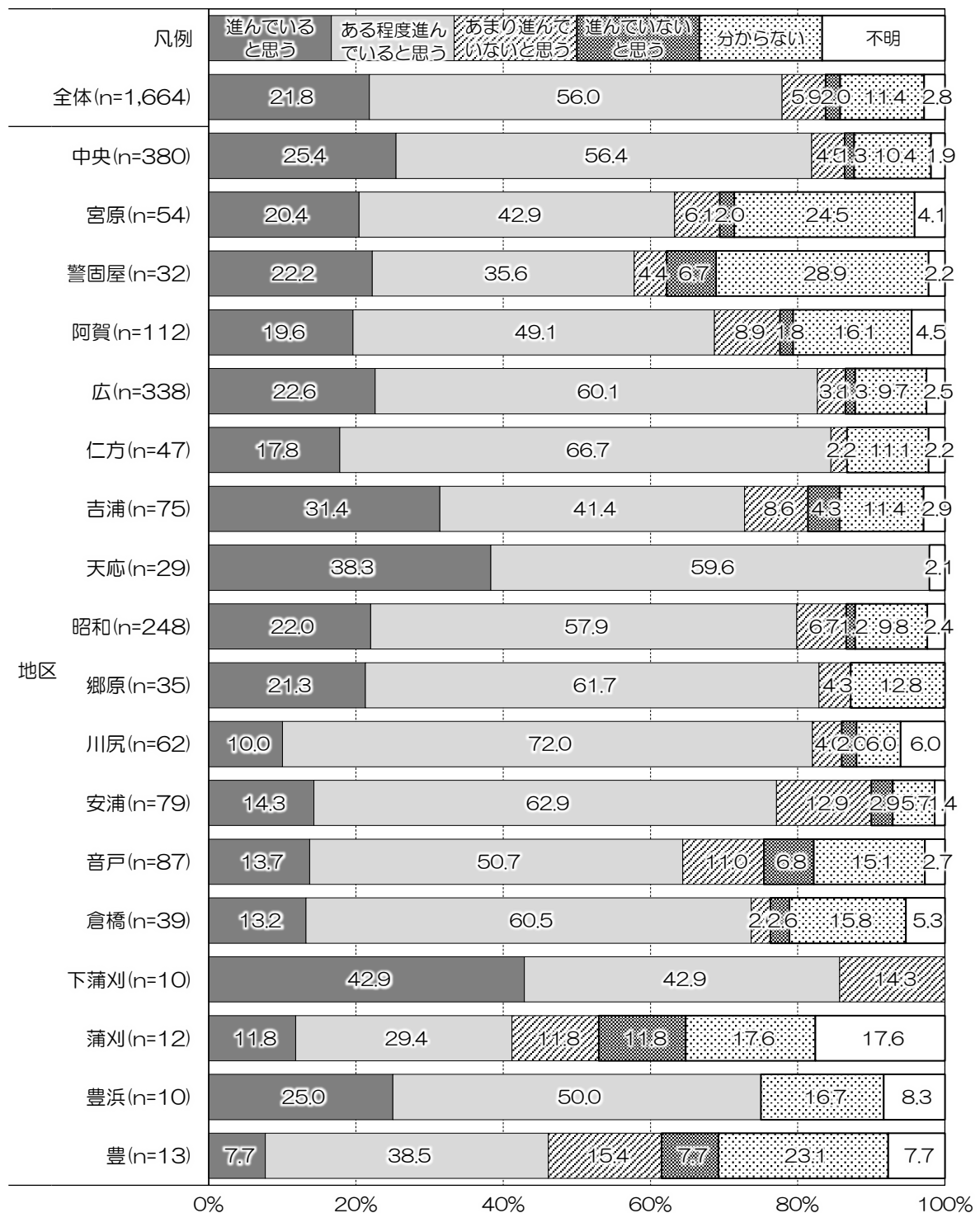


〈地区別〉

「進んでいると思う」が下蒲刈地区、天応地区、吉浦地区、中央地区で3～4割程度と多くなっている。

一方、「進んでいると思う」と「ある程度進んでいると思う」を合わせた割合が低いのは、蒲刈地区、豊地区、警固屋地区、音戸地区等となっている。

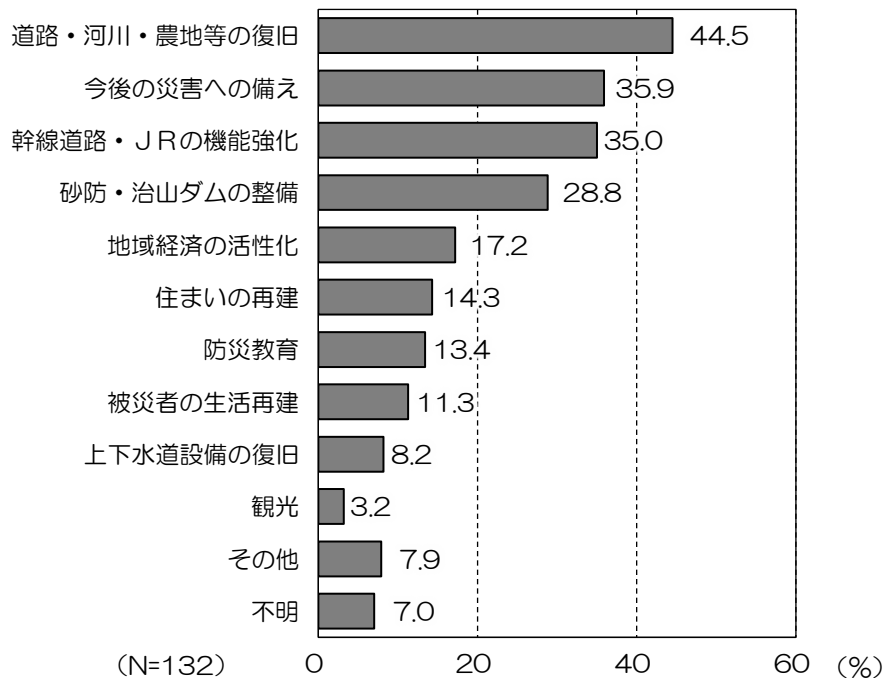
図表 復旧・復興の進捗状況〈地区別〉



問38-1 上記問38で「あまり進んでいないと思う」「進んでいないと思う」に回答した方のみ
 復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野はどれですか。（〇はいくつでも）

復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野は、「道路・河川・農地などの復旧（44.5%）」が最も多く、次いで「今後の災害への備え（35.9%）」「幹線道路・JRの機能強化（35.0%）」「砂防・治山ダムの整備（28.8%）」の順となっている。令和元年度調査に比べて、「道路・河川・農地などの復旧（前回69.9%）」等が少なくなっている一方で、「今後の災害への備え（前回29.0%）」が多くなっている。

図表 復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野

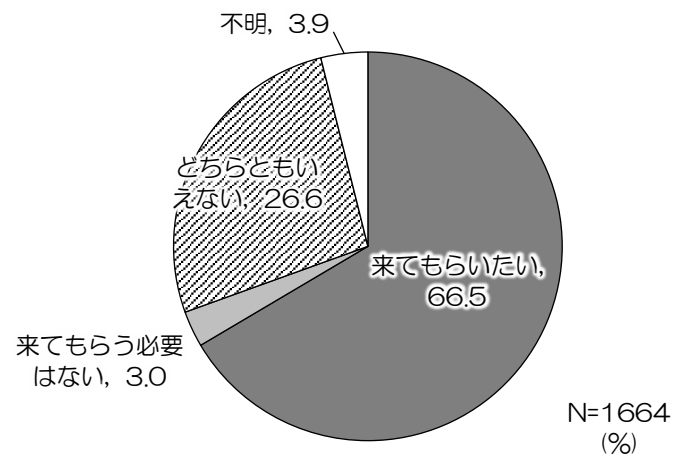


(8) 観光・交流

【新規】問39 多くの観光客に呉市に来てもらいたいですか。(○は1つ)

観光客の呉市への来訪意向については、「来てもらいたい(66.5%)」が圧倒的に多くなっている。「どちらともいえない(26.6%)」も一定程度見られる。一方、「来てもらう必要はない(3.0%)」は少ない。

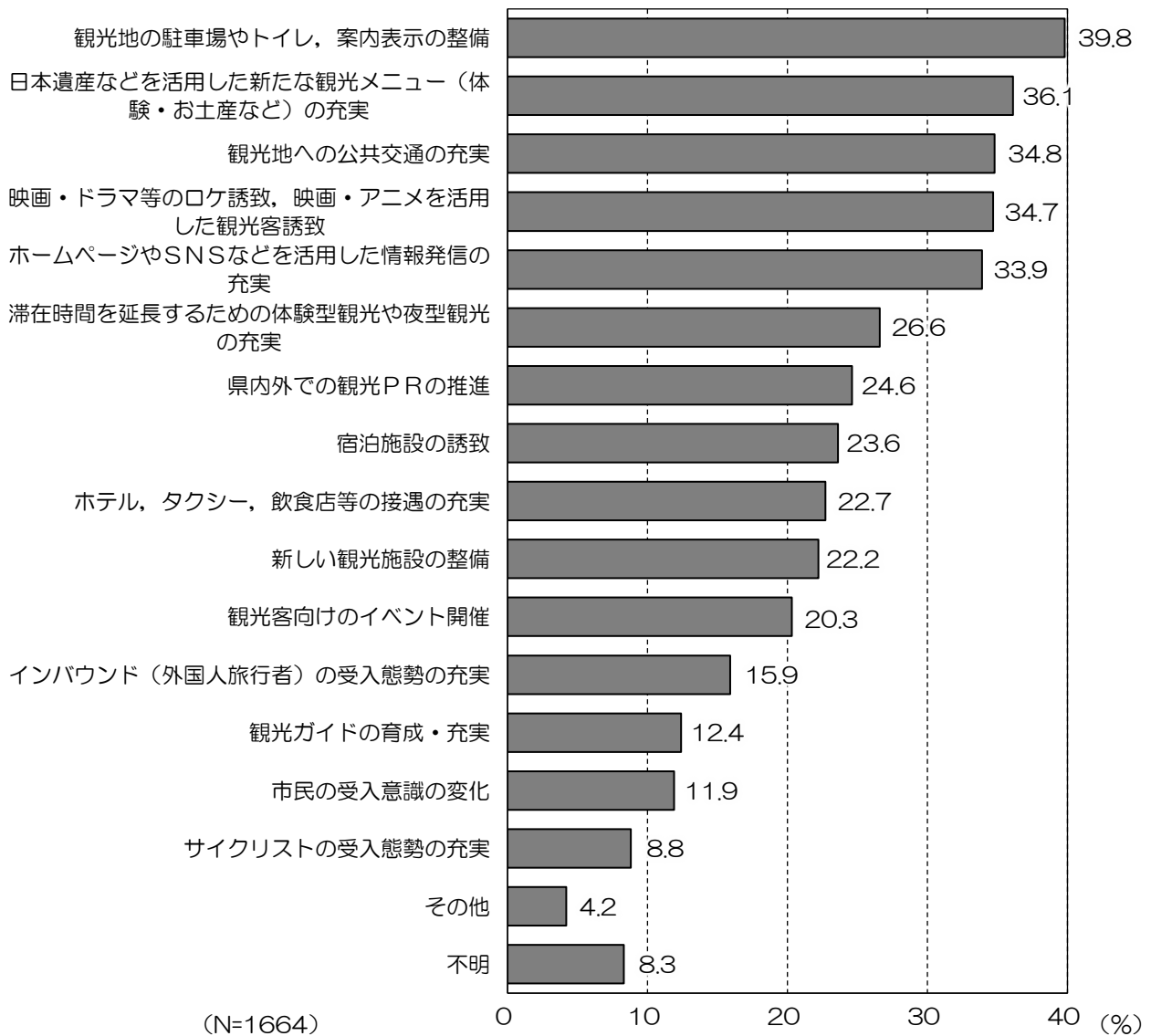
図表 多くの観光客に呉市に来ていただきたい意向



問40 多くの観光客の方に呉市へ来ていただくために、どのような取組が必要ですか。
(〇はいくつでも)

観光客の誘致に必要な取組は、「観光地の駐車場やトイレ，案内表示の整備（39.8%）」が最も多く，次いで「日本遺産などを活用した新たな観光メニュー（体験・お土産など）の充実（36.1%）」「観光地への公共交通の充実（34.8%）」「映画・ドラマ等のロケ誘致，映画・アニメを活用した観光客誘致（34.7%）」「ホームページやSNS等を活用した情報発信の充実（33.9%）」の順となっている。

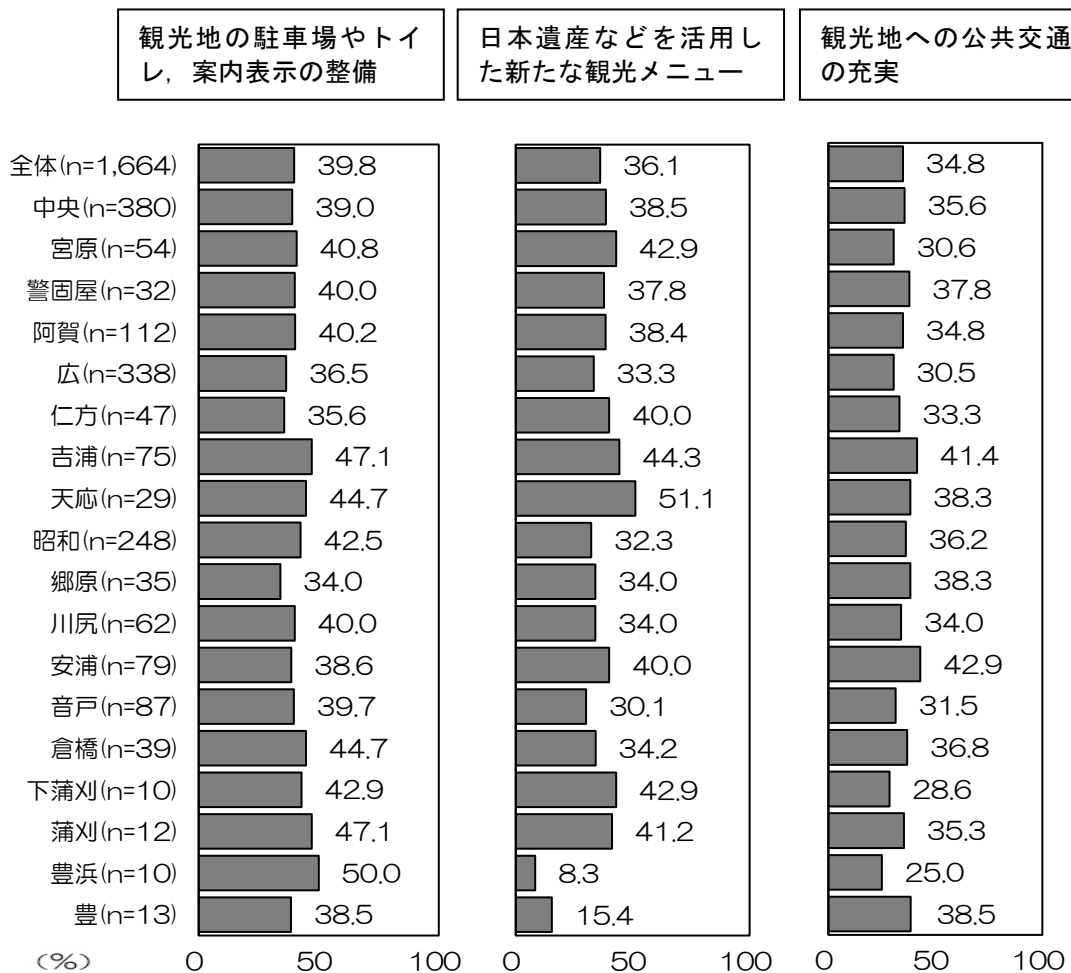
図表 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組



〈地区別〉

「観光地の駐車場やトイレ」は豊浜地区、蒲刈地区、吉浦地区で、「日本遺産を活用した新たな観光メニューの充実」は、天応地区、宮原地区、下蒲刈地区で、「観光地への公共交通の充実」は、安浦地区、吉浦地区、豊地区でやや多くなっている。

図表 多くの観光客に来ていただくために必要だと思う取組（上位3項目）〈地区別〉

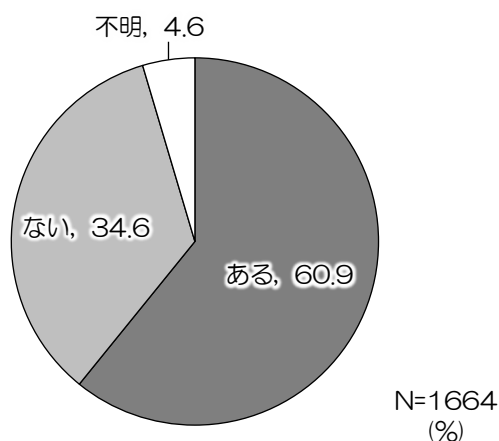


(9) 農水産業

問41 食料品を購入するとき、広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することがあります。 (○は1つ)

食料品を購入するとき、広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することの有無については、「意識することがある(60.9%)」を占めているが、令和元年度調査(65.3%)と比べ、4.4ポイント減少している。

図表 呉市産などの「地元産」の意識

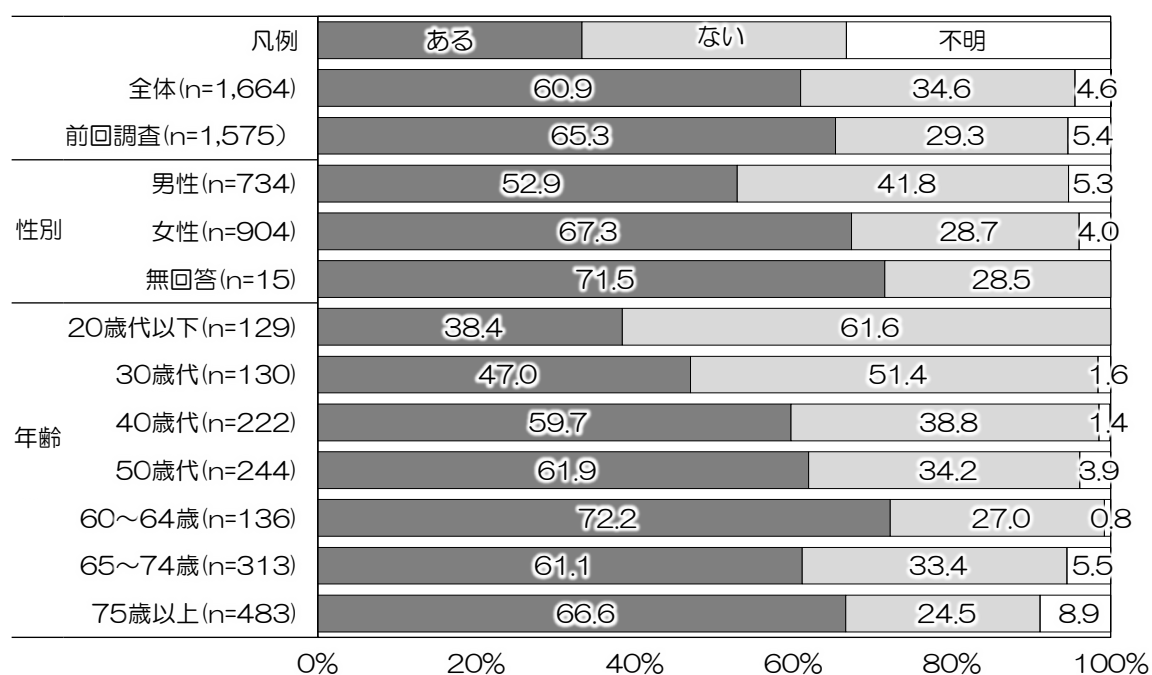


〈性別、年齢別〉

性別でみると、女性で「ある(67.3%)」が、男性を14.4ポイント上回っている。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「ある」が多くなる傾向がみられ、60歳代以上では6～7割が「ある」としている。

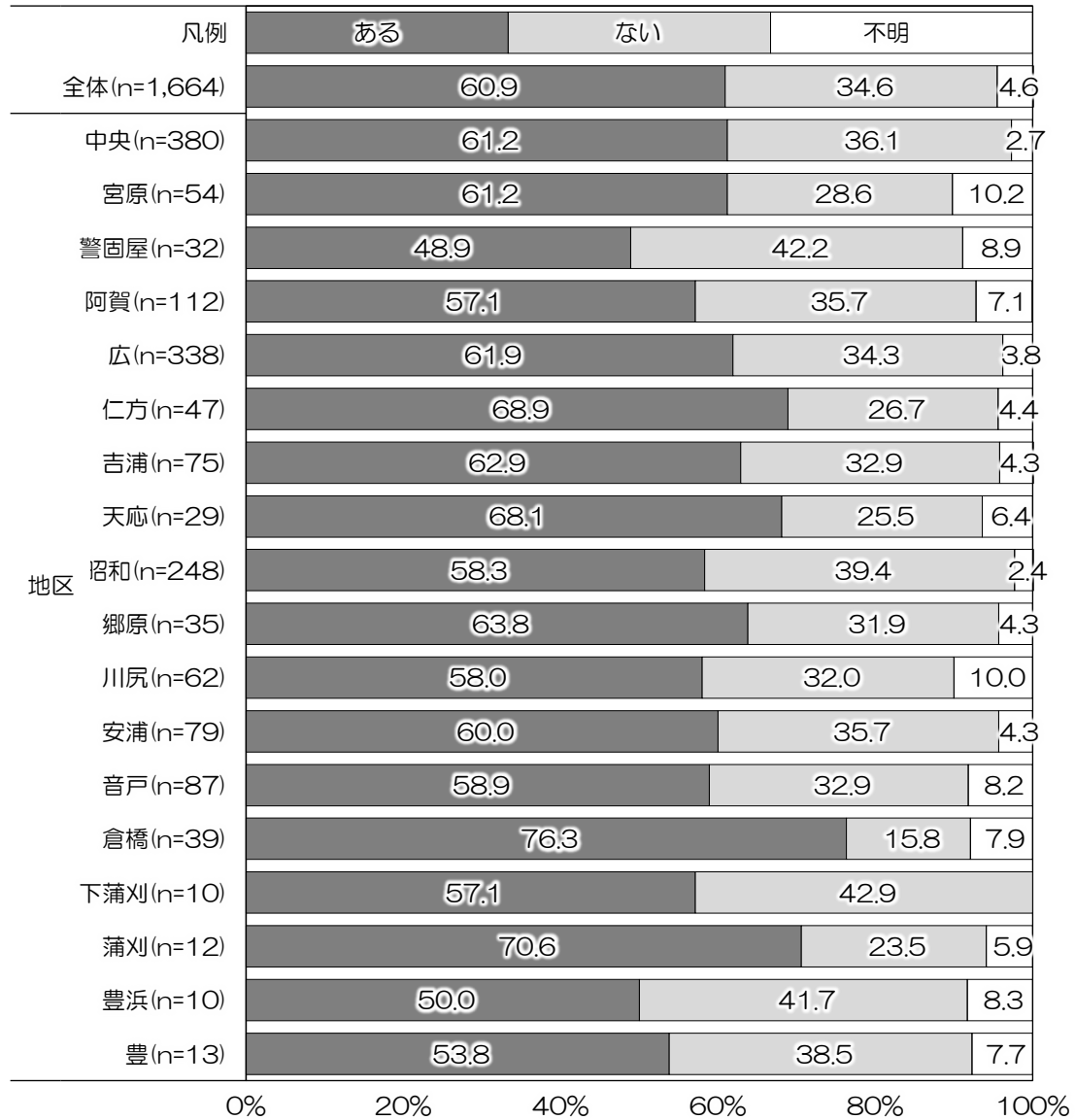
図表 呉市産などの「地元産」の意識〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

地区別でみると、「ある」が多い地区として、倉橋地区（76.3%）、蒲刈地区（70.6%）、仁方地区（68.9%）となっている。

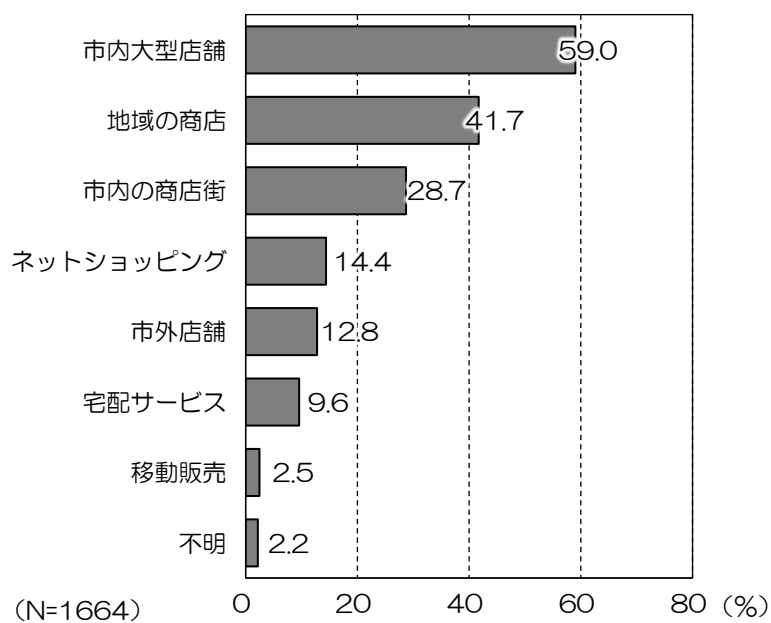
図表 呉市産などの「地元産」の意識〈地区〉



【新規】問42 主にどこで買い物をしていますか。（〇は3つまで）

買い物をする主な場所については、「市内大型店舗（59.0%）」が最も多く、次いで「地域の商店（41.7%）」「市内の商店街（28.7%）」等となっている。

図表 主な買い物先



〈性別、年齢別〉

性別でみると、男性で「市内大型店舗」，女性で「地域の商店」がやや多い。

年齢別では、年齢が若いほど「ネットショッピング」が多くなる傾向がみられる。

図表 主な買い物先〈性別・年齢別〉

(%)

	市内大型 店舗	地域の商 店	市内の商 店街	ネットシ ョッピング グ	市外店舗	宅配サー ビス	移動販売	不明
男性	61.5	38.9	28.9	16.0	13.8	6.6	1.3	2.5
女性	56.8	44.2	28.3	13.3	12.2	11.9	3.5	1.8
無回答	71.7	35.5	22.0	14.1	-	13.8	-	-
20歳代以下 (n=129)	52.6	42.9	24.5	29.1	20.6	6.1	2.3	-
30歳代 (n=130)	58.9	41.1	24.6	29.5	18.8	6.4	-	1.6
40歳代 (n=222)	67.2	38.3	22.6	23.6	14.4	6.3	-	0.9
50歳代 (n=244)	62.2	39.6	27.8	19.3	18.2	9.4	0.8	0.9
60～64歳 (n=136)	60.5	35.2	30.9	15.8	11.2	10.9	1.1	-
65～74歳 (n=313)	62.4	41.6	27.1	8.6	11.3	10.1	3.6	2.9
75歳以上 (n=483)	52.7	45.9	34.0	3.4	7.0	12.3	4.8	4.2

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

図表 主な買い物先〈地区別〉

(%)

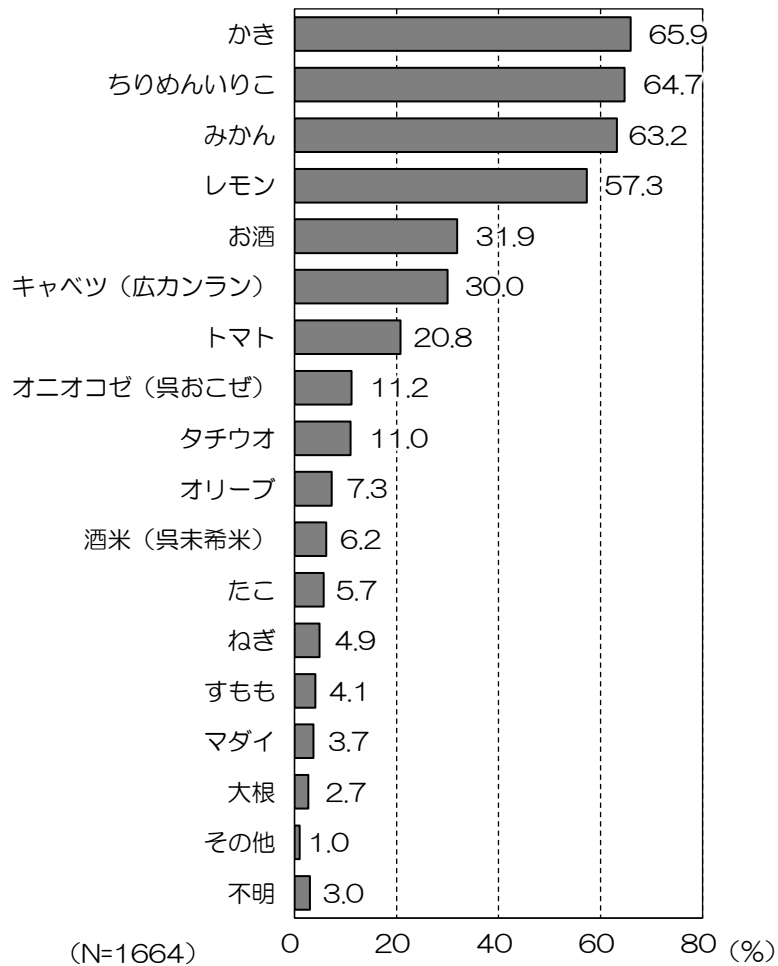
	市内大型 店舗	地域の商 店	市内の商 店街	ネットシ ョッピング グ	市外店舗	宅配サー ビス	移動販売	不明
中央地(n=380)	63.1	35.3	40.1	14.2	8.0	12.3	0.5	0.8
宮原地区(n=54)	65.3	32.7	24.5	12.2	8.2	20.4	2.0	2.0
警固屋地区(n=32)	55.6	51.1	26.7	13.3	4.4	-	-	2.2
阿賀地区(n=112)	67.0	37.5	26.8	17.0	7.1	8.9	-	2.7
広地区(n=338)	63.8	40.9	22.3	16.4	11.0	8.2	1.3	3.1
仁方地区(n=47)	53.3	46.7	28.9	13.3	6.7	11.1	-	4.4
吉浦地区(n=75)	68.6	45.7	31.4	18.6	14.3	5.7	1.4	1.4
天応地区(n=29)	70.2	21.3	21.3	14.9	38.3	17.0	14.9	2.1
昭和地区(n=248)	46.9	56.3	26.0	14.2	17.3	7.1	2.8	0.4
郷原地区(n=35)	46.8	29.8	25.5	6.4	48.9	4.3	2.1	2.1
川尻地区(n=62)	70.0	36.0	24.0	12.0	14.0	8.0	2.0	4.0
安浦地区(n=79)	45.7	47.1	21.4	8.6	32.9	7.1	2.9	1.4
音戸地区(n=87)	49.3	37.0	31.5	17.8	9.6	13.7	1.4	4.1
倉橋地区(n=39)	55.3	55.3	26.3	15.8	2.6	7.9	15.8	5.3
下蒲刈地区(n=10)	57.1	42.9	14.3	-	-	14.3	28.6	-
蒲刈地区(n=12)	58.8	29.4	35.3	-	11.8	17.6	17.6	5.9
豊浜地区(n=10)	33.3	66.7	16.7	8.3	-	-	16.7	8.3
豊地区(n=13)	53.8	38.5	30.8	15.4	-	7.7	23.1	7.7

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問43 呉市の特産品だと思う農水産物はどれですか。（〇はいくつでも）

呉市の特産品だと思う農水産物は、「かき（65.9%）」が最も多く、次いで、「ちりめんいりこ（64.7%）」「みかん（63.2%）」「レモン（57.3%）」の順で、以上が5割を超えている。これは令和元年度調査と同様で上位4品目に変動はない。

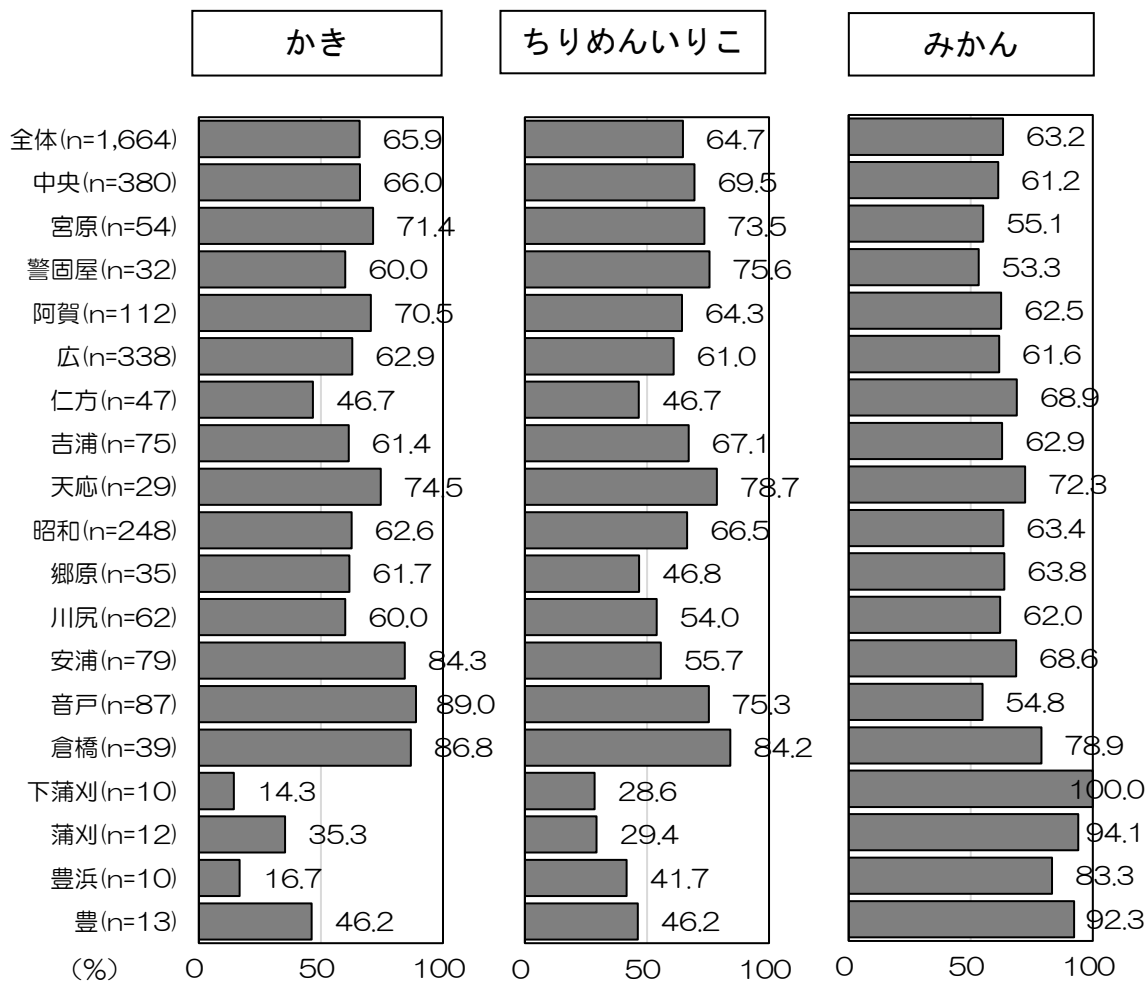
図表 呉市の特産品だと思う農水産物



〈地区別〉

地区別でみると、かきは、音戸地区、倉橋地区、安浦地区、「ちりめんいりこ」は、音戸地区、倉橋地区、安浦地区で、「みかん」は、下蒲刈地区、蒲刈地区、豊地区で多くなっている。

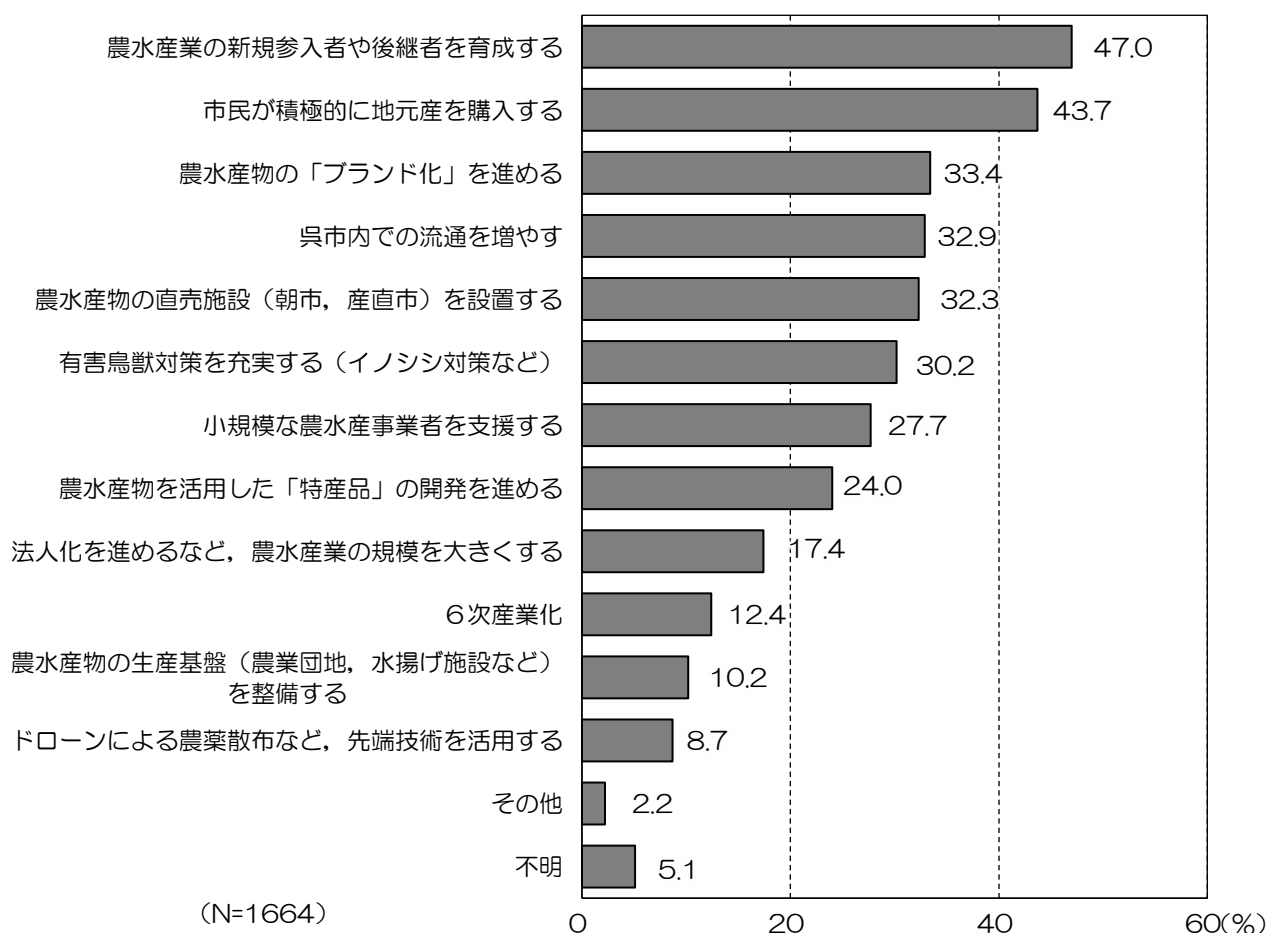
図表 呉市の特産品だと思う農水産物（上位3項目）〈地区別〉



問44 呉市の農水産業を発展させていくためには、どのような取組が必要ですか。（〇はいくつでも）

今後、農水産業を発展させていくために必要な取組は、「農水産業の新規参入者や後継者を育成する（47.0%）」が最も多く、次いで「市民が積極的に地元産を購入する（43.7%）」であり、以上が4割以上である。次いで、「農水産品の『ブランド化』を進める（33.4%）」「呉市内での流通を増やす（32.9%）」「農水産物の直売施設（朝市、産直市）を設置する（32.3%）」「有害鳥獣対策を充実する（イノシシ対策など）（30.2%）」の順であり、以上が3割を超えている。令和元年度調査と比べ、上位に大きな変動はない。

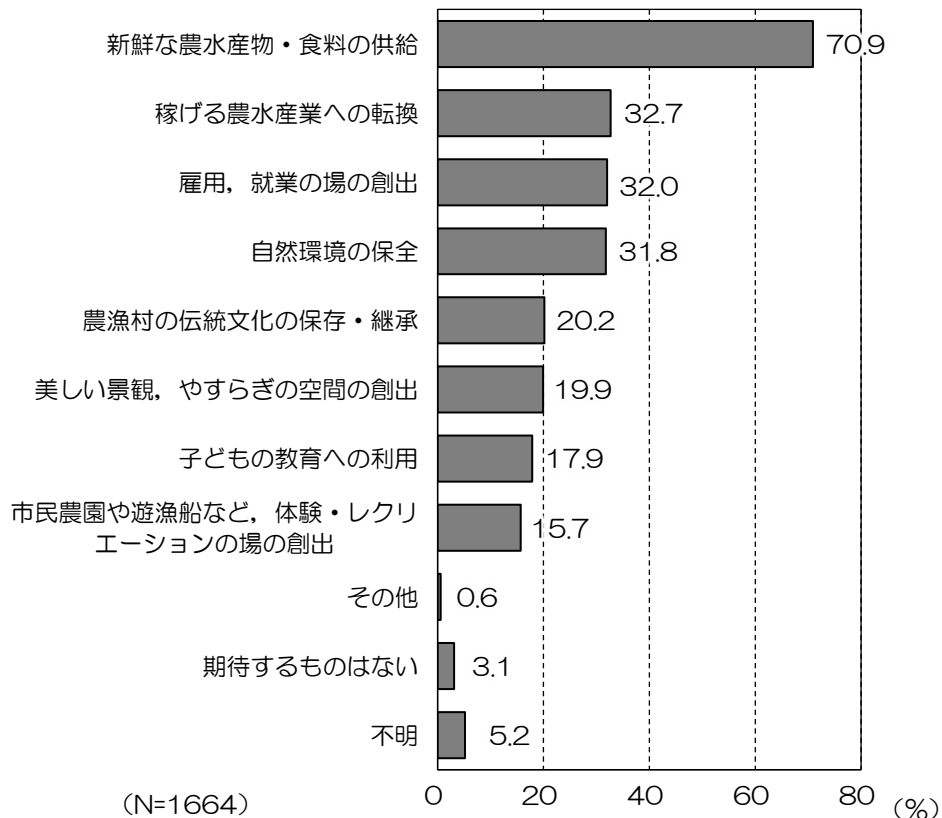
図表 農水産業を発展させていくために必要な取組



問45 呉市の農水産業，農漁村に何を期待しますか。（〇はいくつでも）

呉市の農水産業，農漁村に期待するものは，「新鮮な農水産物・食料の供給（70.9%）」が最も多く，次いで「稼げる農水産業への転換（32.7%）」「雇用，就業の場の創出（32.0%）」「自然環境の保全（31.8%）」の順となっている。令和元年度調査と比べ，上位に大きな変動はない。

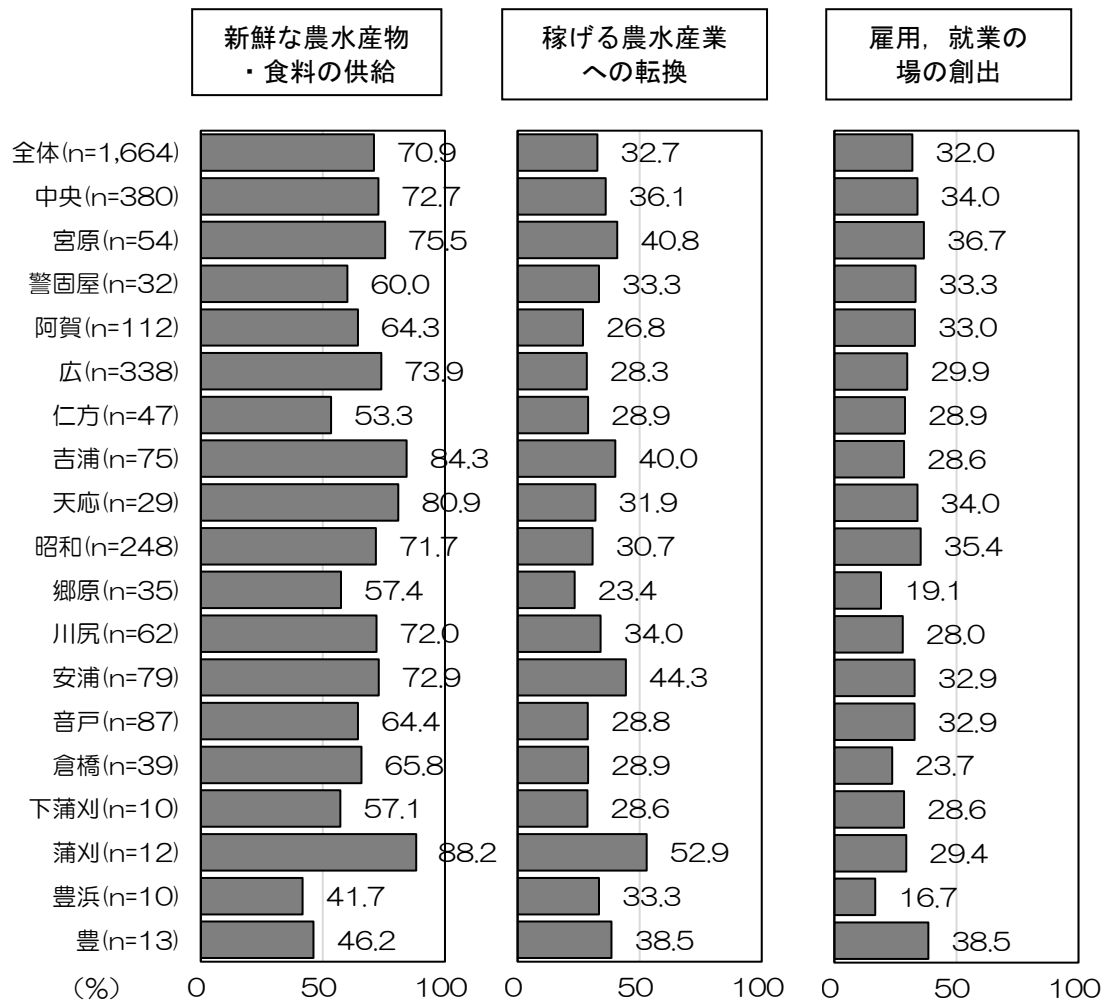
図表 農水産業，農漁村に期待するもの



〈地区別〉

地区別でみると、「新鮮な水産物・食料の供給」は、蒲刈地区、吉浦地区、安浦地区で、「稼げる農水産業への転換」は、蒲刈地区、安浦地区、豊地区で多くなっている。また、「雇用、就業の場の創出」は、豊地区、宮原地区、昭和地区、宮原地区、倉橋地区、天応地区で、多くなっている。

図表 農水産業、農漁村に期待するもの（上位3項目）〈地区別〉

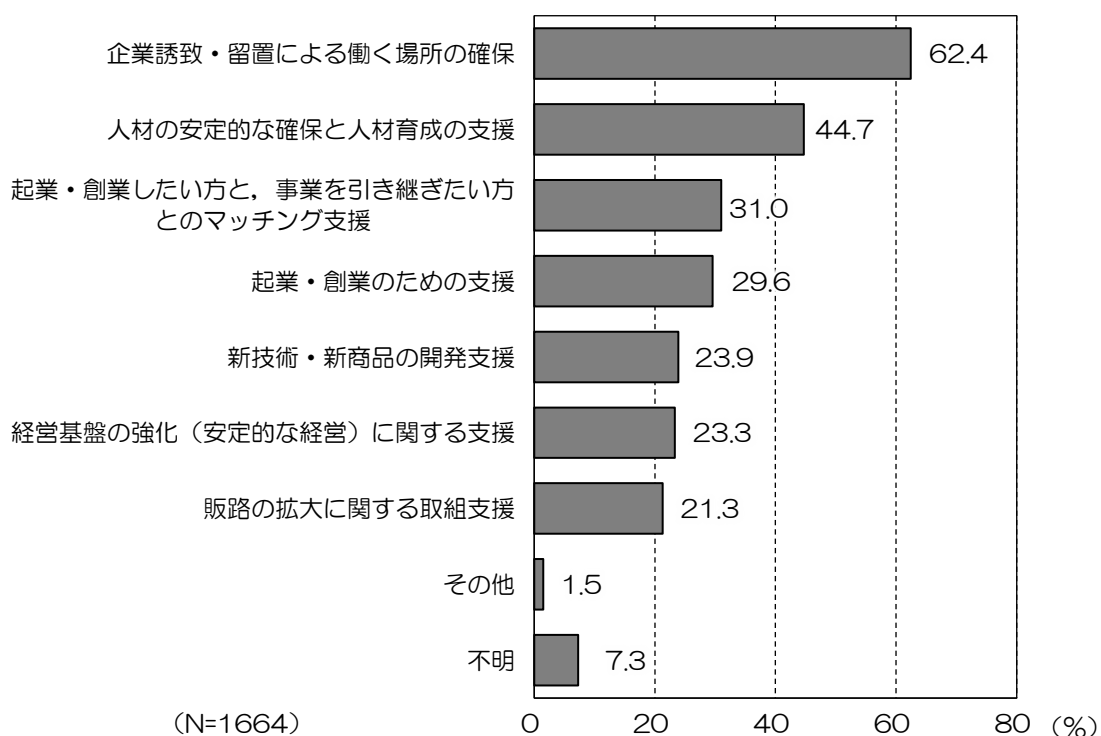


(10) 商工業

問46 呉市の商工業を発展させていくために、どのような取組が必要ですか。（〇はいくつでも）

呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組は、「企業誘致・留置による働く場の確保（62.4%）」が最も多く、次いで「人材の安定的な確保と人材育成の支援（44.7%）」「起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援（31.0%）」の順となっている。令和元年度調査と比べて順位は変わらないが、「企業誘致・留置（前回56.6%）」が多くなっている。

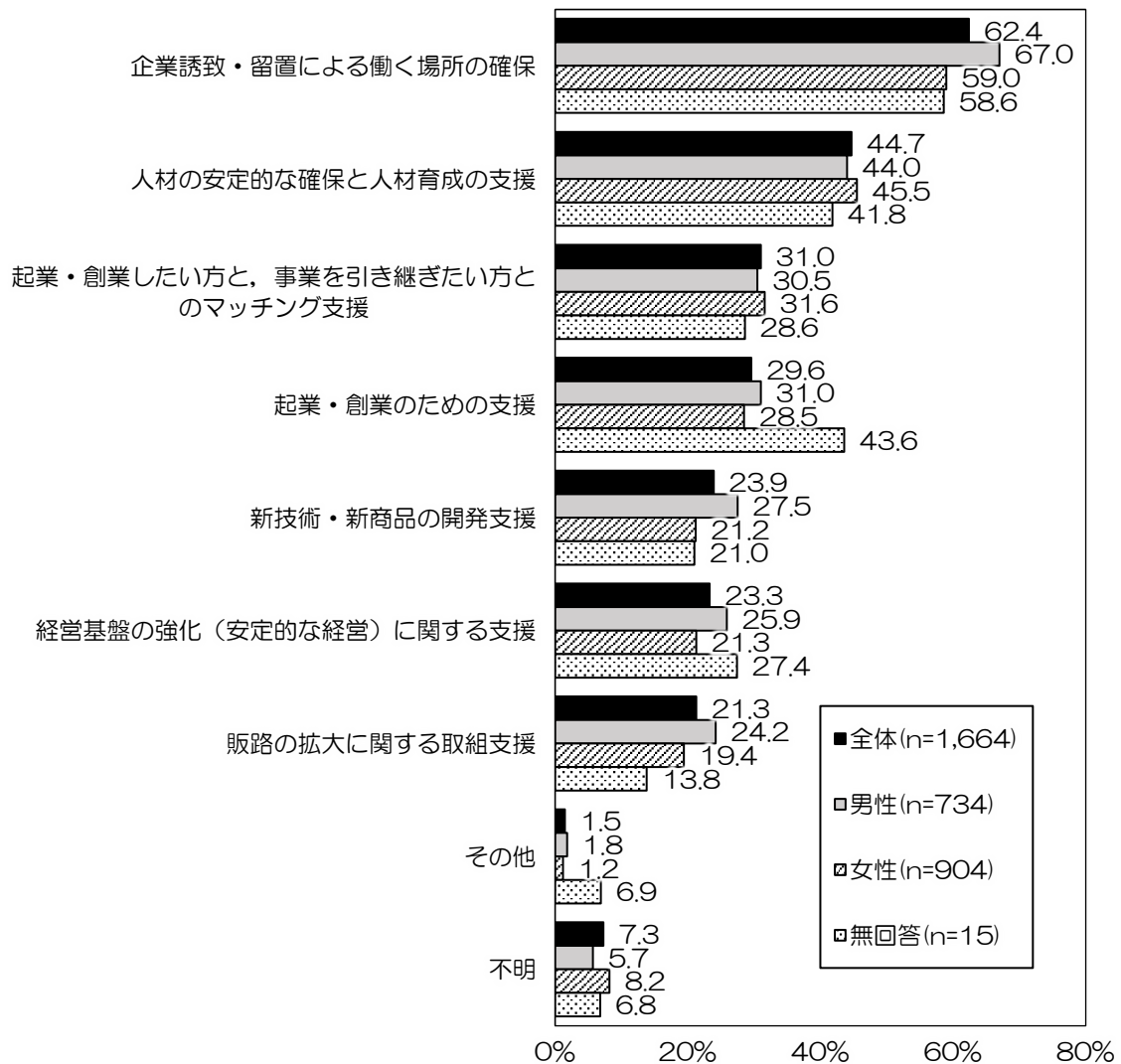
図表 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組



〈性別〉

性別でみると、男性で「企業誘致・留置による働く場所の確保」「新技術・新商品のための支援」が、女性に比べて多くなっている。

図表 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組〈性別〉



〈年齢別〉

年齢別でみると、20歳代以下で、「企業誘致・留置による働く場所の確保」が少なく、「人材の安定的な確保と人材育成の支援」が多くなっている。

図表 呉市の商工業を発展させていくために必要だと思う取組〈年齢別〉

(%)

	企業誘致・留置による働く場所の確保	人材の安定的な確保と人材育成の支援	起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援	起業・創業のための支援	新技術・新商品の開発支援	経営基盤の強化（安定的な経営）に関する支援	販路の拡大に関する取組支援	その他	不明
20歳代以下 (n=129)	43.4	51.0	25.6	33.8	17.8	24.7	13.5	2.4	0.9
30歳代 (n=130)	59.8	52.6	46.3	44.0	23.4	30.5	24.5	1.7	4.0
40歳代 (n=222)	66.7	50.2	34.1	28.4	23.6	27.1	18.2	1.9	2.7
50歳代 (n=244)	64.2	44.7	35.8	35.3	22.1	23.9	22.2	1.2	1.7
60～64歳 (n=136)	67.9	41.7	22.7	28.4	20.1	22.1	19.6	1.5	4.5
65～74歳 (n=313)	62.0	43.2	28.2	28.2	26.7	22.8	22.4	1.8	8.0
75歳以上 (n=483)	64.0	40.5	28.5	23.6	25.8	19.4	23.0	1.2	15.0

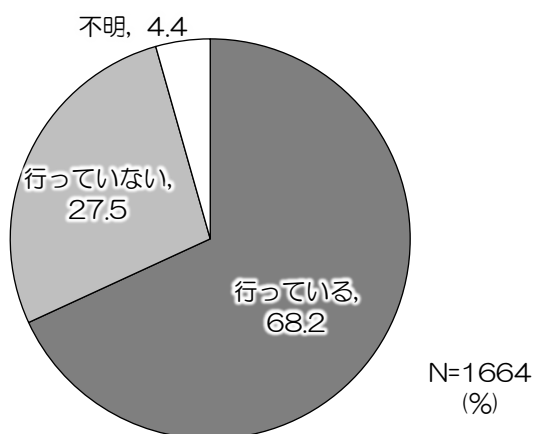
※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

(11) 環境

問47 普段の生活の中で、地球環境に配慮した取組を行っていますか。（○は1つ）

地球環境に配慮した取組の有無は、「ある（68.2%）」が7割近くを占めている。一方、「行っていない（27.5%）」は少ない。令和元年度調査と比べ、「ある（前回73.0%）」が4.8ポイント減少している。

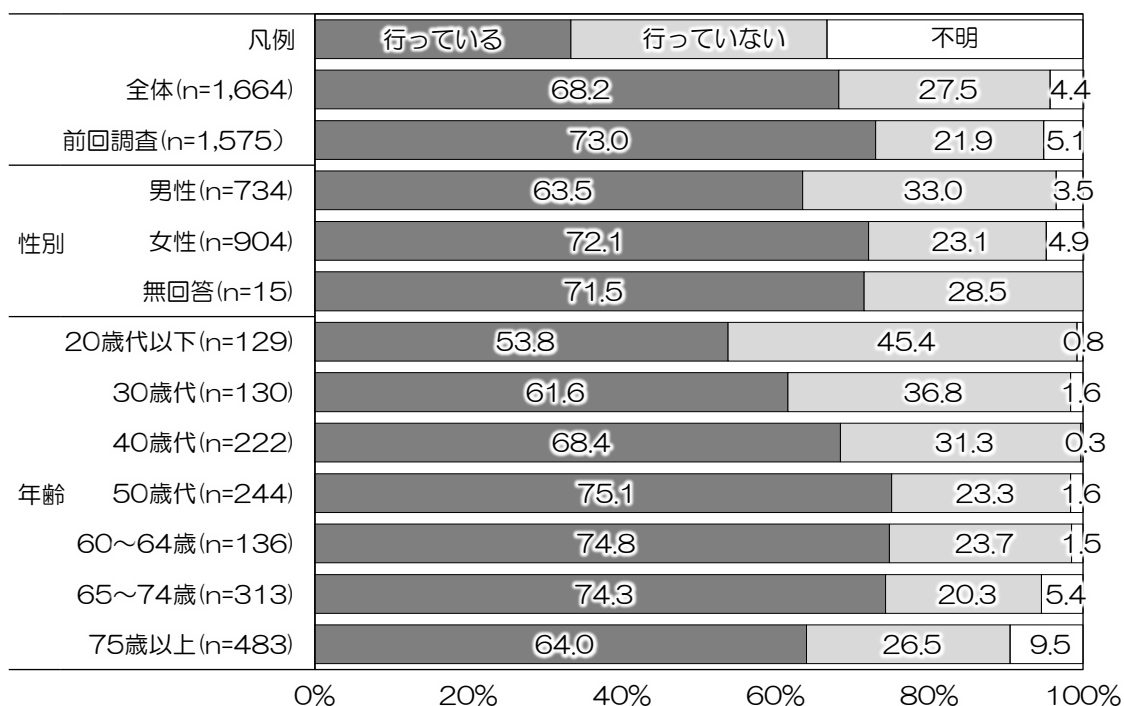
図表 地球環境に配慮した取組の有無



〈性別，年齢別〉

性別でみると、女性で「行っている」が、男性を8.6ポイント上回っている。年齢別でみると、年齢が若いほど「行っていない」が多い傾向がみられる。

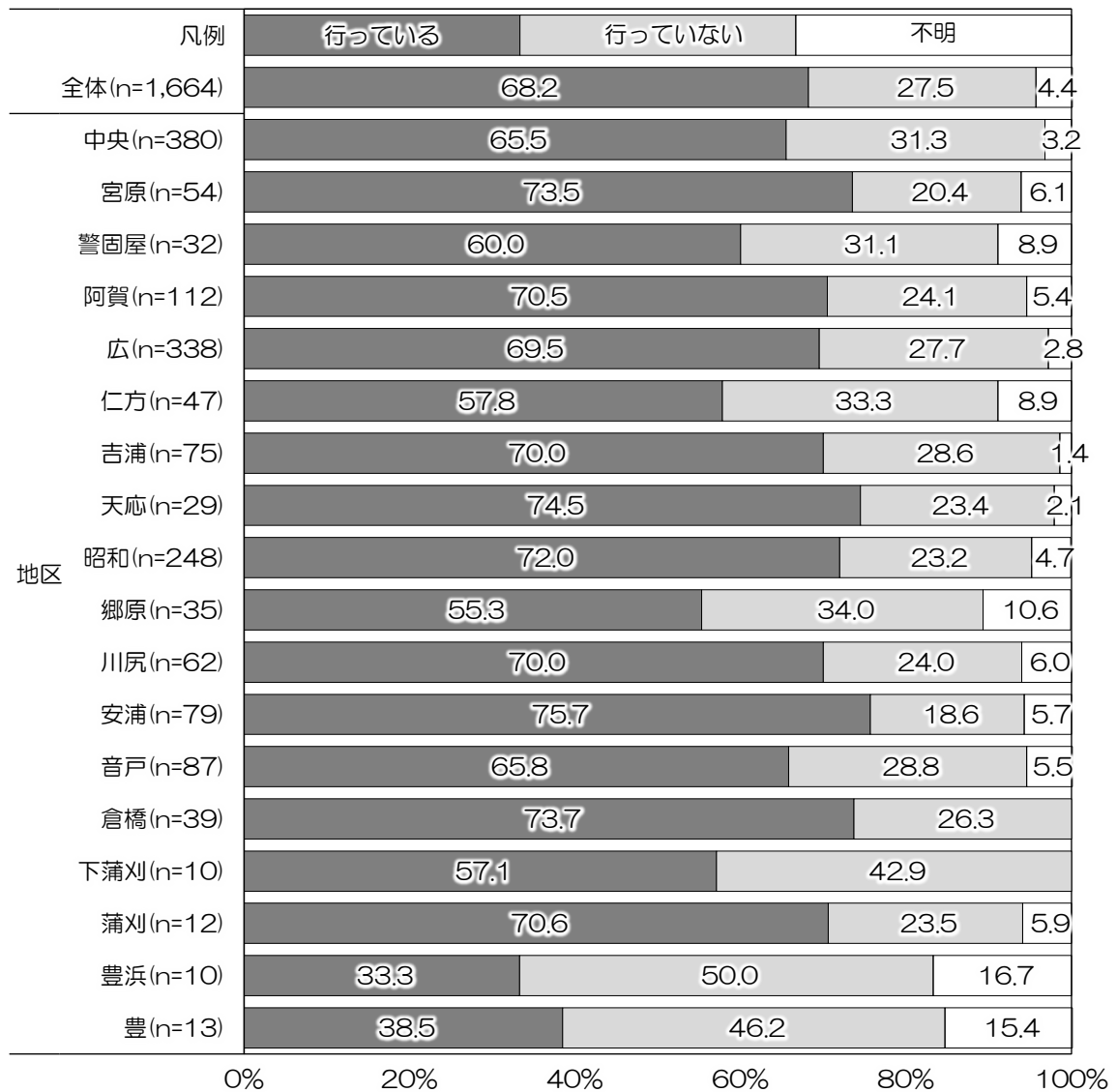
図表 地球環境に配慮した取組の有無〈性別・年齢別〉



〈地区別〉

地区別でみると、「行っていない」が、豊浜地区、豊地区、下蒲刈地区、郷原地区などで多くなっている。

図表 地球環境に配慮した取組の有無〈地区別〉

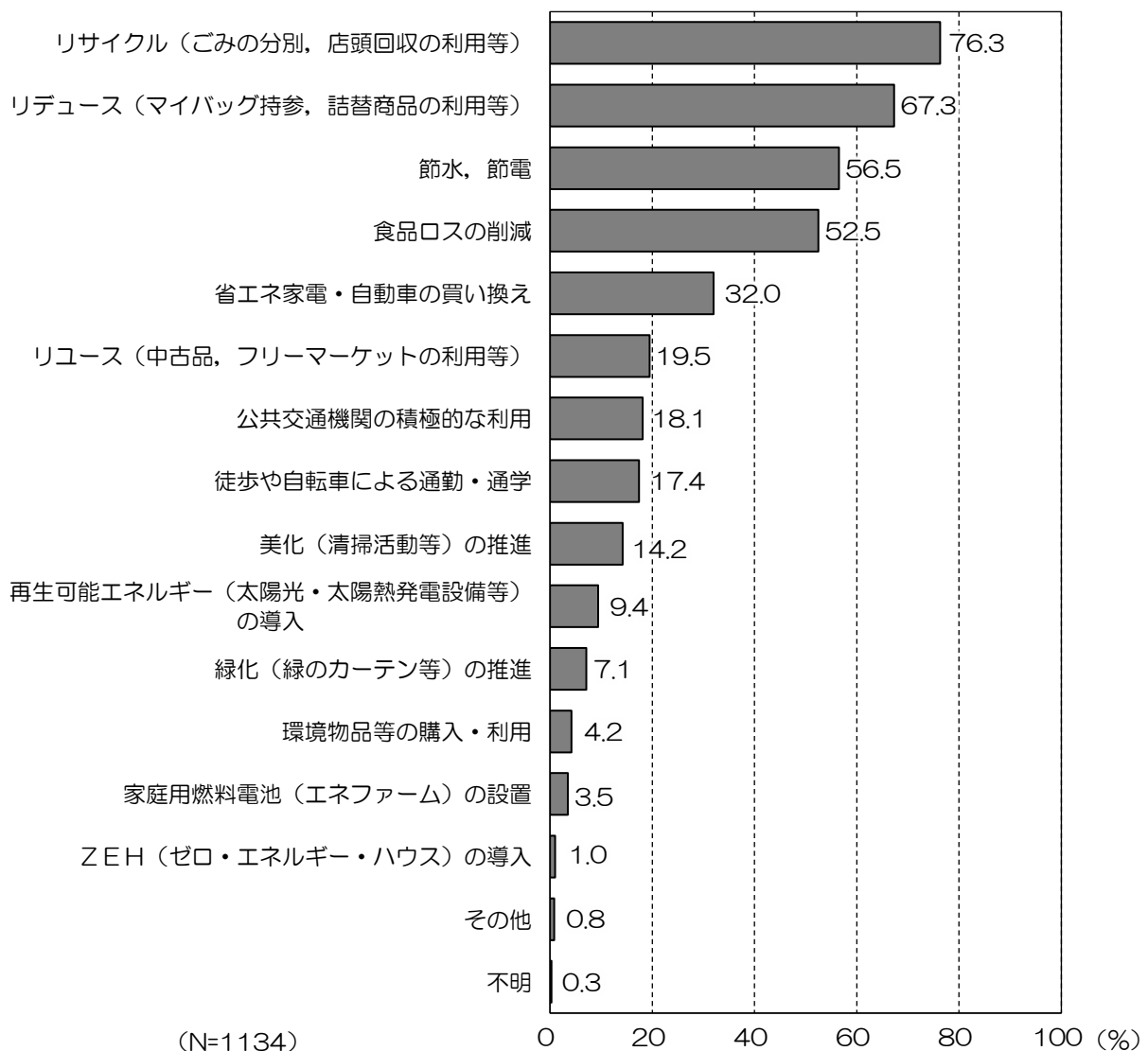


問47-1 上記問47で「ある」に回答した方のみ

具体的には、どのようなことに取り組んでいますか。（〇はいくつでも）

「ある」と回答した人が取り組んでいることは、「リサイクル（ごみの分別、店頭回収の利用等）（76.3%）」が最も多く、次いで「リデュース（マイバッグ持参、詰替商品の利用等）（67.3%）」「節水、節電（56.5%）」「食品ロスの削減（52.5%）」となっている。令和元年度調査と同様の傾向となっているが、リサイクル（前回71.9%）、食品ロスの削減（前回44.8%）が多くなっている。

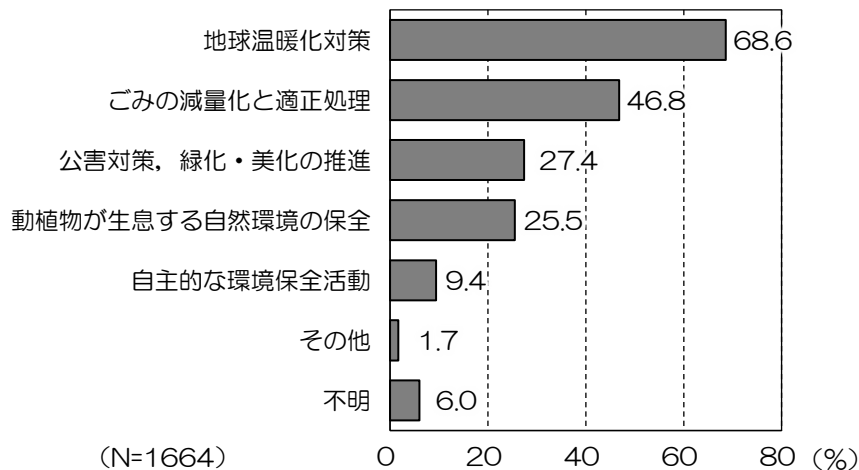
図表 普段実行している地球環境に配慮した取組



問48 関心を持っている、気になっている環境分野は何ですか。（〇はいくつでも）

関心を持っている、気になっている環境分野は、「地球温暖化対策（68.6%）」が特に多く、次いで「ごみの減量化と適正処理（46.8%）」「公害対策、緑化・美化の推進（27.4%）」「動植物が生息する自然環境の保全（25.5%）」の順となっている。

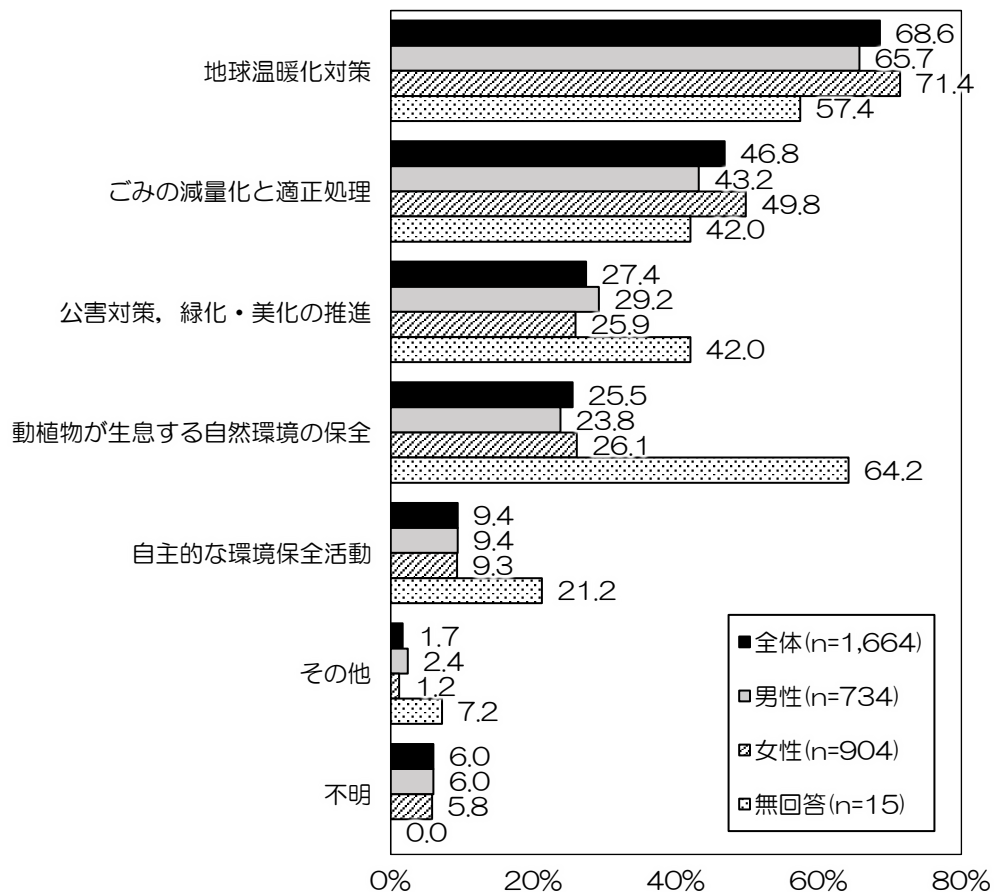
図表 関心がある・気になっている環境分野



〈性別〉

性別でみると、女性で「地球温暖化対策」「ごみの減量化と適正処理」が、男性に比べて多くなっている。

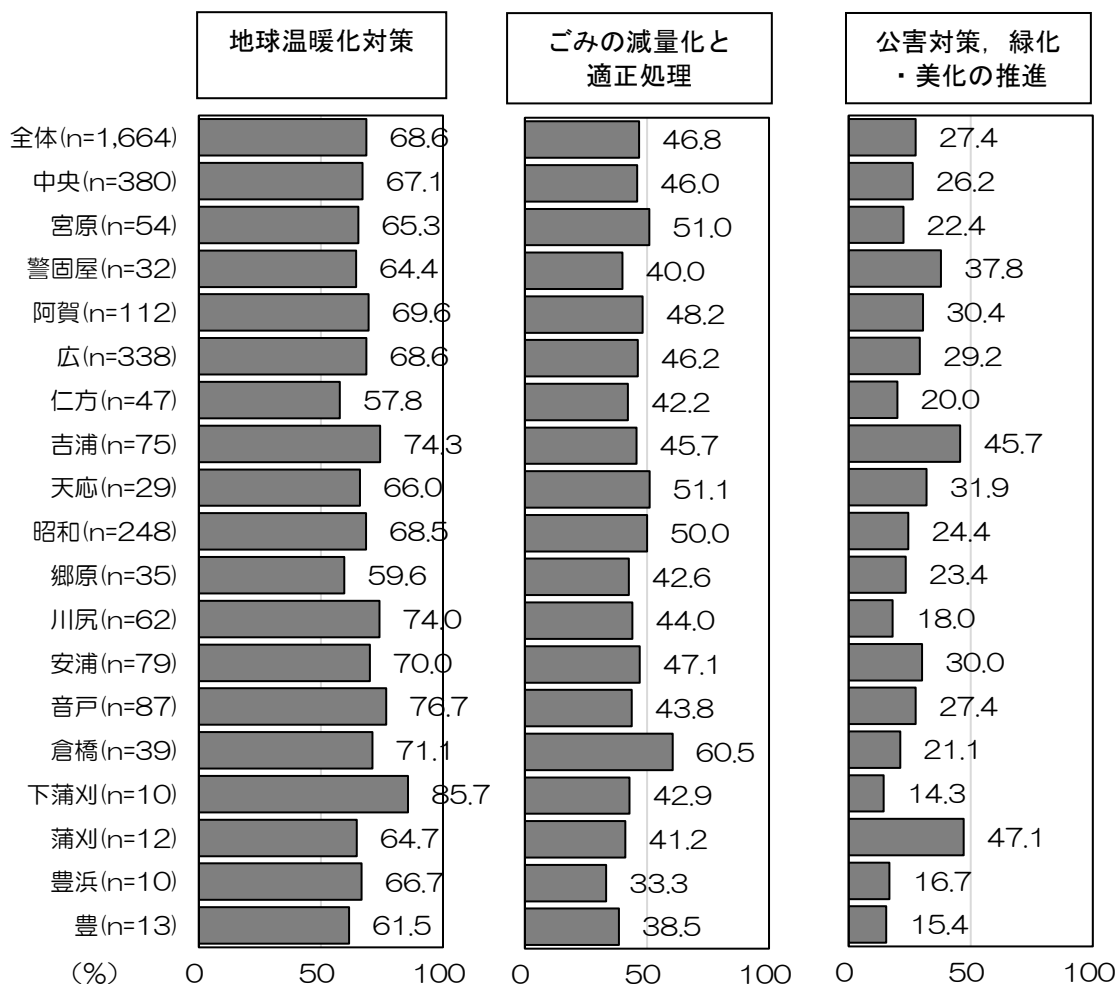
図表 関心がある・気になっている環境分野〈性別〉



〈地区別〉

地区別でみると、「地球温暖化対策」が多いのは、下蒲刈地区、音戸地区、川尻地区、「ごみの減量化と適正処理」が多いのは、倉橋地区、天応地区、宮原地区、「公害対策、緑化・美化の推進」が多いのは、蒲刈地区、吉浦地区、警固屋地区などとなっている。

図表 関心がある・気になっている環境分野（上位3項目）〈地区別〉

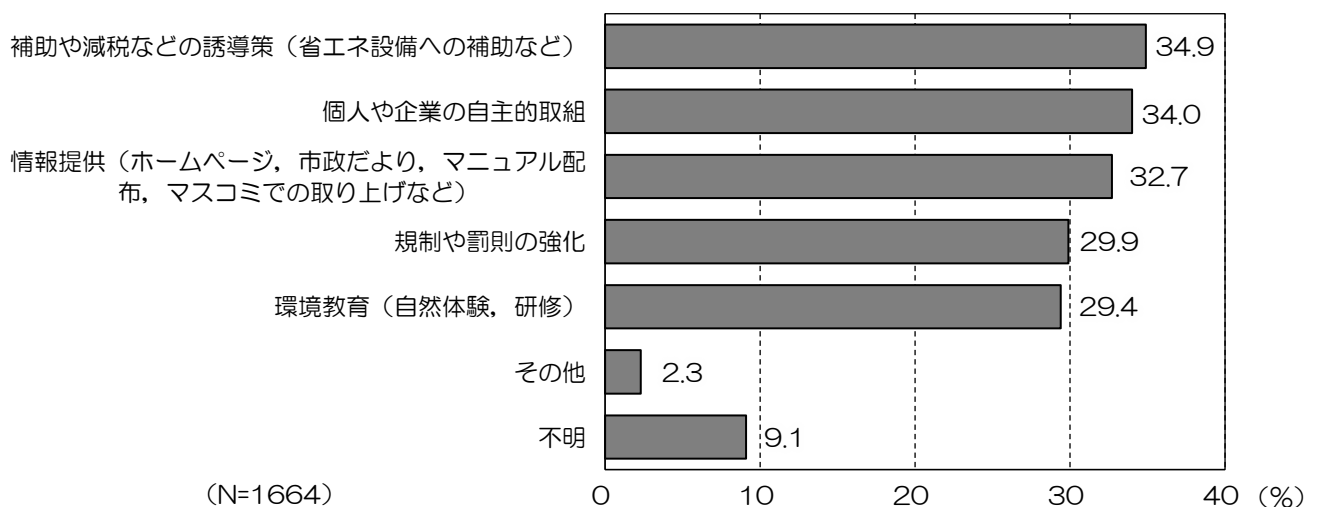


問48-1 問48で選んだ環境分野を改善するためにどのような取組が必要ですか。（〇は
いくつでも）

環境分野を改善するために必要だと思う取組は、「補助や減税などの誘導策（省エネ設備への補助など）（34.9%）」が最も多く、次いで「個人や企業の自主規制（34.0%）」「情報提供（ホームページ、市政だより、マニュアル配布、マスコミでの取り上げなど）（32.7%）」「規制や罰則の強化（29.9%）」「環境教育（自然体験、研修）（29.4%）」の順となっている。

令和元年度調査と比べ、「補助や減税などの誘導策（省エネ設備への補助など）（前回25.5%）」が多くなっている。

図表 環境分野を改善するために必要だと思う取組

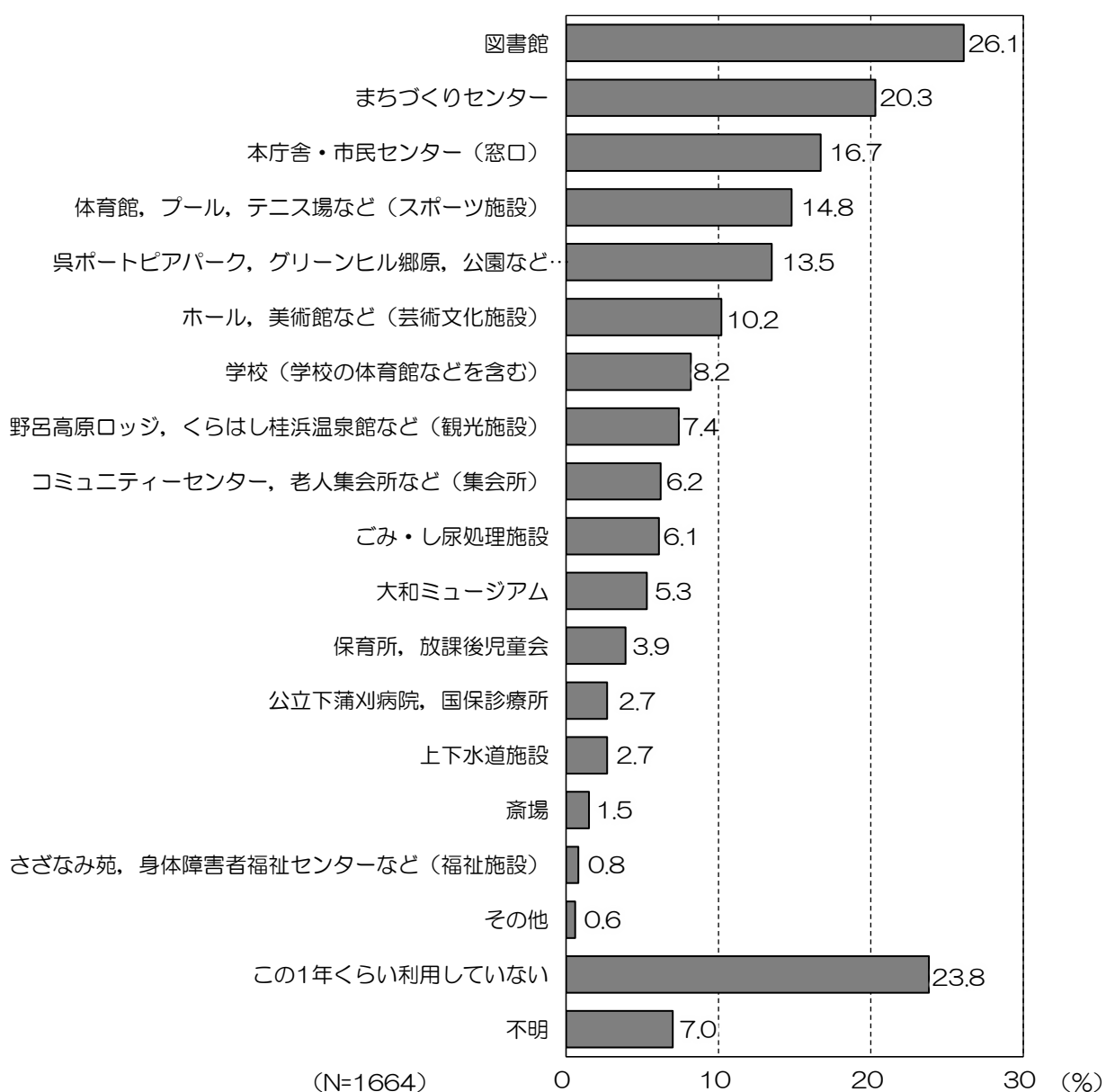


(12) 公共施設

問49 よく使う公共施設はどれですか。（〇はいくつでも）

よく使う公共施設は、「図書館（26.1%）」が最も多く、次いで「まちづくりセンター（20.3%）」「本庁舎・市民センター（窓口）（16.7%）」「体育館、プール、テニスコートなど（スポーツ施設）（14.8%）」「公園施設（呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など）（13.5%）」の順となっている。また、4人に1人が「この1年くらい利用していない（23.8%）」と回答している。

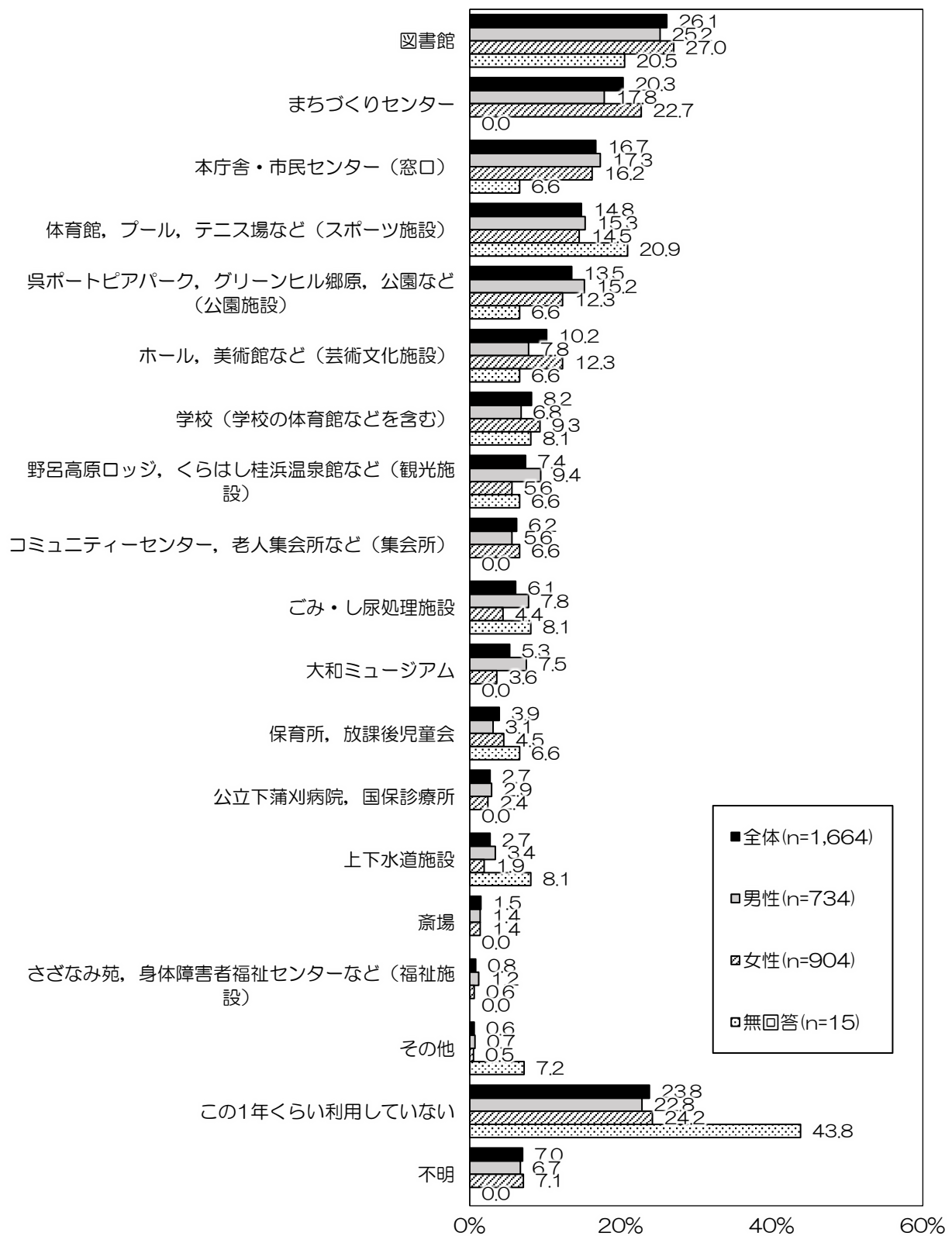
図表 よく使う公共施設



〈性別〉

性別でみると、女性で「図書館」「まちづくりセンター」等が、男性に比べて利用されている。

図表 よく使う公共施設〈性別〉



〈年齢別〉

年齢別でみると、年齢が若いほど、スポーツ施設、公園施設が利用されている。逆に年齢が高くなるほど、まちづくりセンターの利用が多くなる。

一方で、50歳代以下の世代では、「この1年間くらい利用していない」が2～3割を占めている。

図表 よく使う公共施設〈年齢別〉

(%)

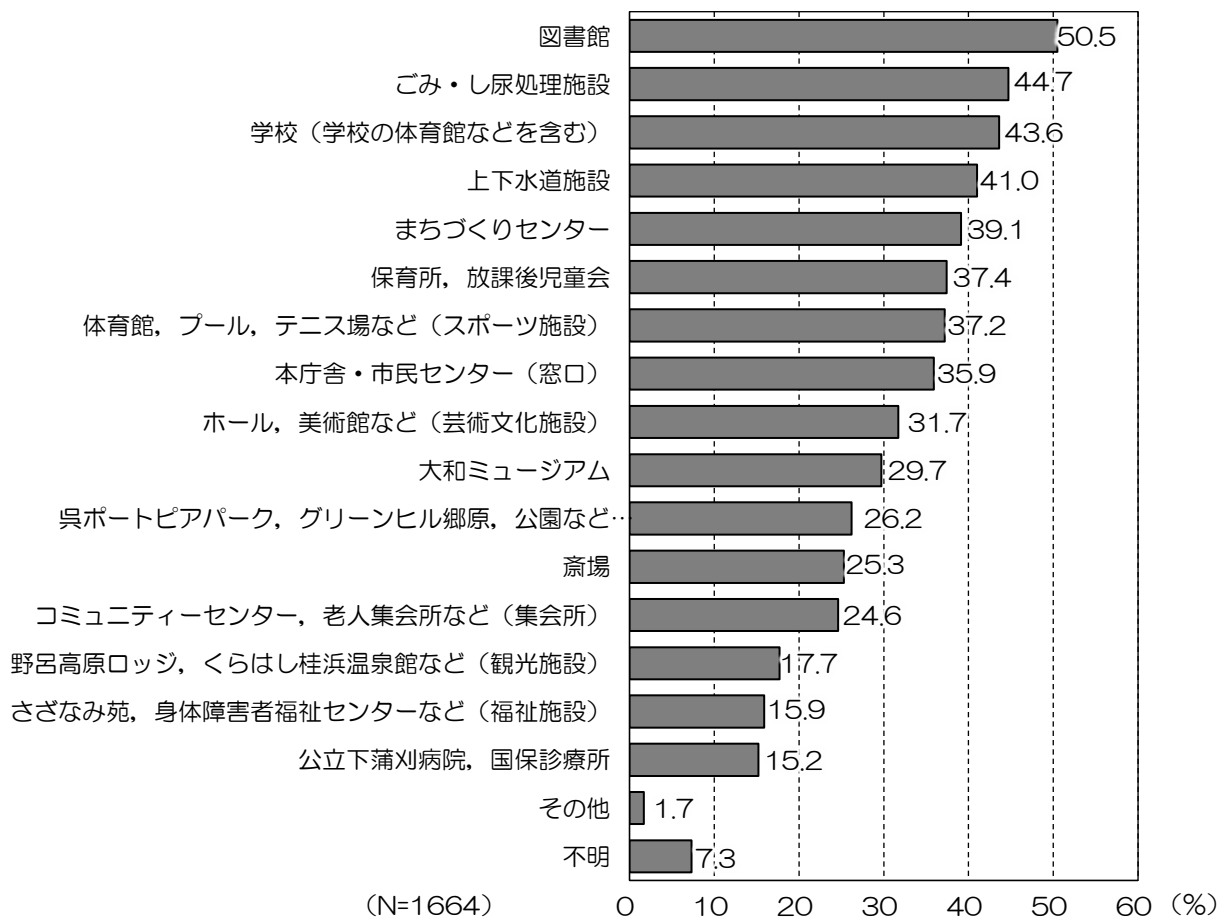
	図書館	まちづくりセンター	本庁舎・市民センター（窓口）	体育館、プール、テニスコートなど（スポーツ施設）	呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など（公園施設）	ホール、美術館など（芸術文化施設）	学校（学校の体育館などを含む）	野呂高原ロッジ、くらはし桂浜温泉館など（観光施設）	コミュニティセンター、老人集会所など（集会所）	ごみ・し尿処理施設	大和ミュージアム	保育所、放課後児童会	この1年くらい利用していない
20歳代以下 (n=129)	32.0	11.3	5.7	18.6	12.2	5.6	12.1	3.1	1.6	1.6	8.1	4.8	28.5
30歳代 (n=130)	27.0	14.0	15.2	20.6	26.1	8.6	17.7	3.4	0.0	7.4	3.2	19.6	23.5
40歳代 (n=222)	29.3	13.7	16.2	20.9	25.2	10.2	25.0	10.4	3.2	7.0	6.8	11.8	23.7
50歳代 (n=244)	24.1	16.7	18.2	18.4	13.6	8.6	4.5	6.4	1.2	8.0	6.4	0.8	27.5
60～64歳 (n=136)	25.7	15.7	24.5	5.3	7.4	12.3	7.6	5.4	3.1	6.9	5.3	0.9	33
65～74歳 (n=313)	27.7	24.0	15.5	13.9	11.5	11.7	1.7	6.8	10.5	5.8	4.4	0.2	22.4
75歳以上 (n=483)	23.1	27.9	17.8	11.1	8.1	11.0	3.1	9.1	10.9	5.5	4.7	0.6	19.1

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。少ない選択肢（保育所～その他）は削除した。

問50 重要だと思う公共施設はどれですか。（〇はいくつでも）

重要だと思う公共施設は、「図書館（50.5%）」が最も多く、次いで「ごみ・し尿施設（44.7%）」「学校（学校の体育館などを含む）（43.6%）」「小下水道施設（41.0%）」が続いており、以上が4割以上である。その他の施設も2～4割程度挙げられている。

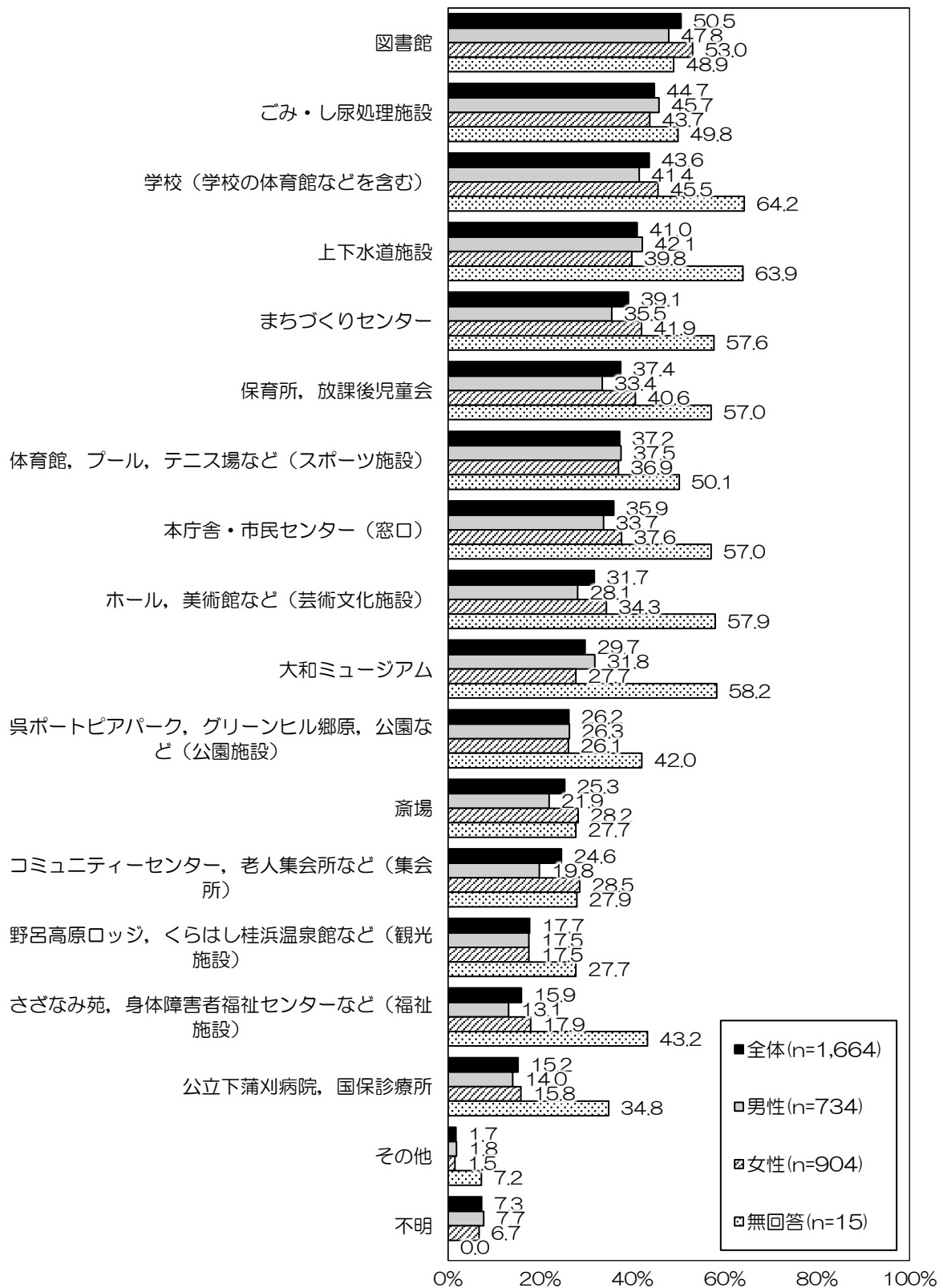
図表 重要だと思う公共施設



〈性別〉

性別でみると、女性で「保育所，放課後児童会」「ホール，美術館など（芸術文化施設）」「コミュニティーセンター，老人集会所など（集会所）」等が，男性に比べて多くなっている。

図表 重要だと思う公共施設〈性別〉



〈年齢別〉

年齢別でみると、年齢が若いほど「学校（学校の体育館などを含む）」「呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など（公園施設）」が多くなっている。

図表 重要だと思う公共施設〈年齢別〉

(%)

	図書館	まちづくりセンター	ホール、美術館など（芸術文化施設）	体育館、プール、テニスコートなど（スポーツ施設）	コミュニティセンター、老人集会所など（集会所）	公立下蒲刈病院、国保診療所	保育所、放課後児童会	学校（学校の体育館などを含む）	斎場
20歳代以下 (n=129)	52.5	30.3	36.2	49.1	19.7	18.0	51.3	54.5	9.8
30歳代 (n=130)	61.4	38.6	37.6	49.9	21.8	14.5	57.3	62.3	20.2
40歳代 (n=222)	52.3	38.2	33.9	45.3	20.8	14.2	50.0	61.9	23.9
50歳代 (n=244)	56.4	41.4	36.1	46.9	29.7	17.2	42.1	54.2	32.5
60～64歳 (n=136)	50.9	36.4	37.3	32.0	23.0	18.2	36.6	42.6	27.6
65～74歳 (n=313)	51.7	37.1	30.4	34.7	27.2	16.1	35.1	37.6	28.4
75歳以上 (n=483)	42.6	43.0	25.3	25.5	24.3	12.0	22.4	26.2	25.3

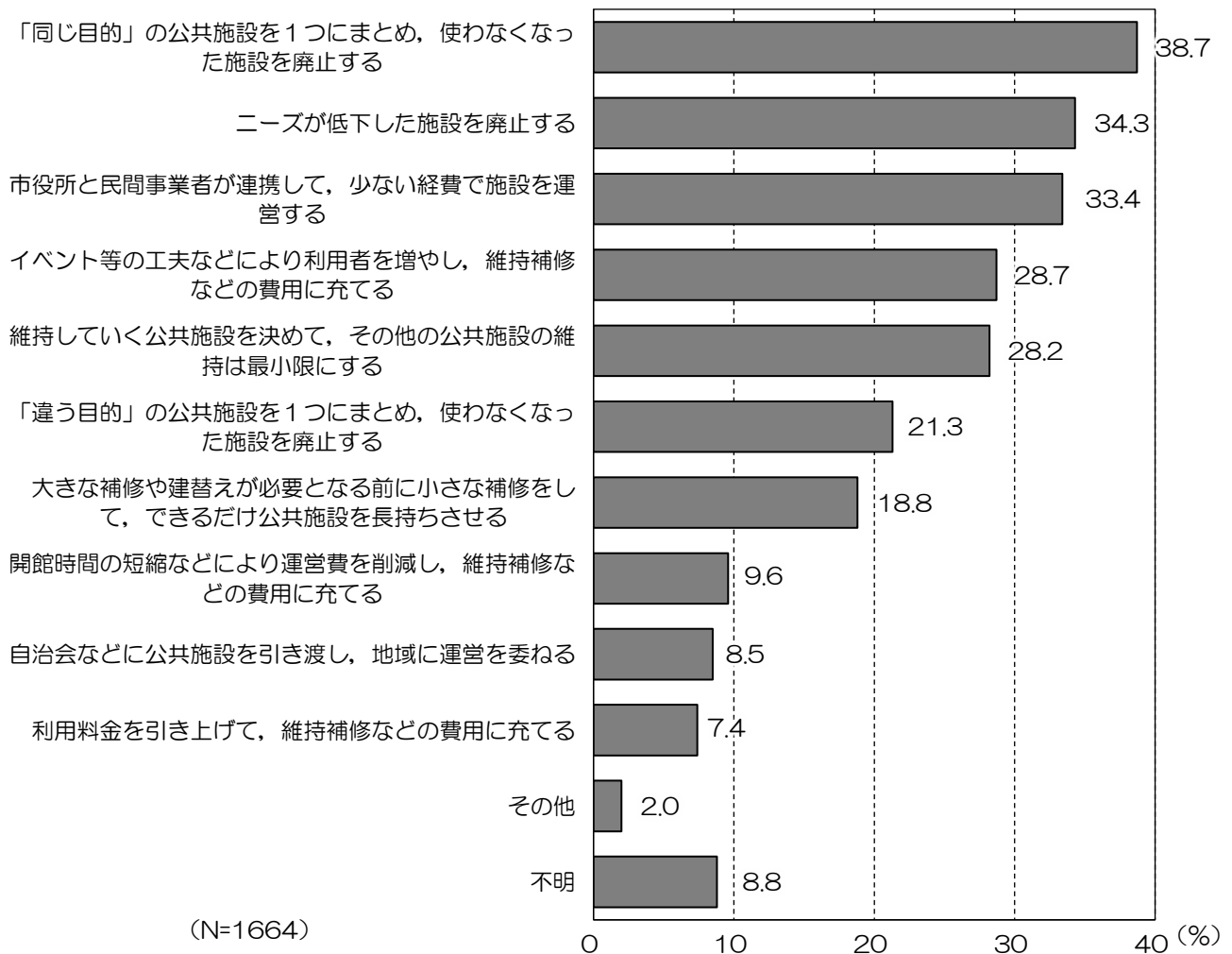
	さざなみ苑、身体障害者福祉センターなど（福祉施設）	野呂高原ロッジ、くらはし桂浜温泉など（観光施設）	大和ミュージアム	呉ポートピアパーク、グリーンヒル郷原、公園など（公園施設）	本庁舎・市民センター（窓口）	ごみ・し尿処理施設	上下水道施設	その他	不明
20歳代以下 (n=129)	16.0	16.2	38.8	35.4	25.6	34.7	34.7	4.1	2.4
30歳代 (n=130)	24.1	21.0	41.0	47.6	40.6	50.8	51.2	0.8	2.6
40歳代 (n=222)	17.6	21.9	36.5	40.8	38.1	47.3	44.0	0.5	3.8
50歳代 (n=244)	19.7	19.1	34.0	28.2	38.7	51.4	43.1	0.8	4.7
60～64歳 (n=136)	14.2	14.7	31.2	19.4	34.9	44.8	39.7	3.1	4.1
65～74歳 (n=313)	15.1	18.7	30.5	21.7	36.6	50.5	46.8	1.2	7.1
75歳以上 (n=483)	12.1	14.5	18.3	15.3	34.7	37.3	34.0	2.2	13.7

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

問51 今後、公共施設の維持が難しくなる可能性があります。公共施設をどのようにしたいですか。（〇はいくつでも）

今後の公共施設の維持・管理の考え方は、「『同じ目的』の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する（37.8%）」が最も多く、次いで「ニーズが低下した施設を廃止する（34.3%）」「市役所と民間事業者が連携して、少ない経費で施設を運営する（33.4%）」となっており、「廃止」に関する意向が多くなっている。

図表 今後の公共施設の維持・管理の考え方

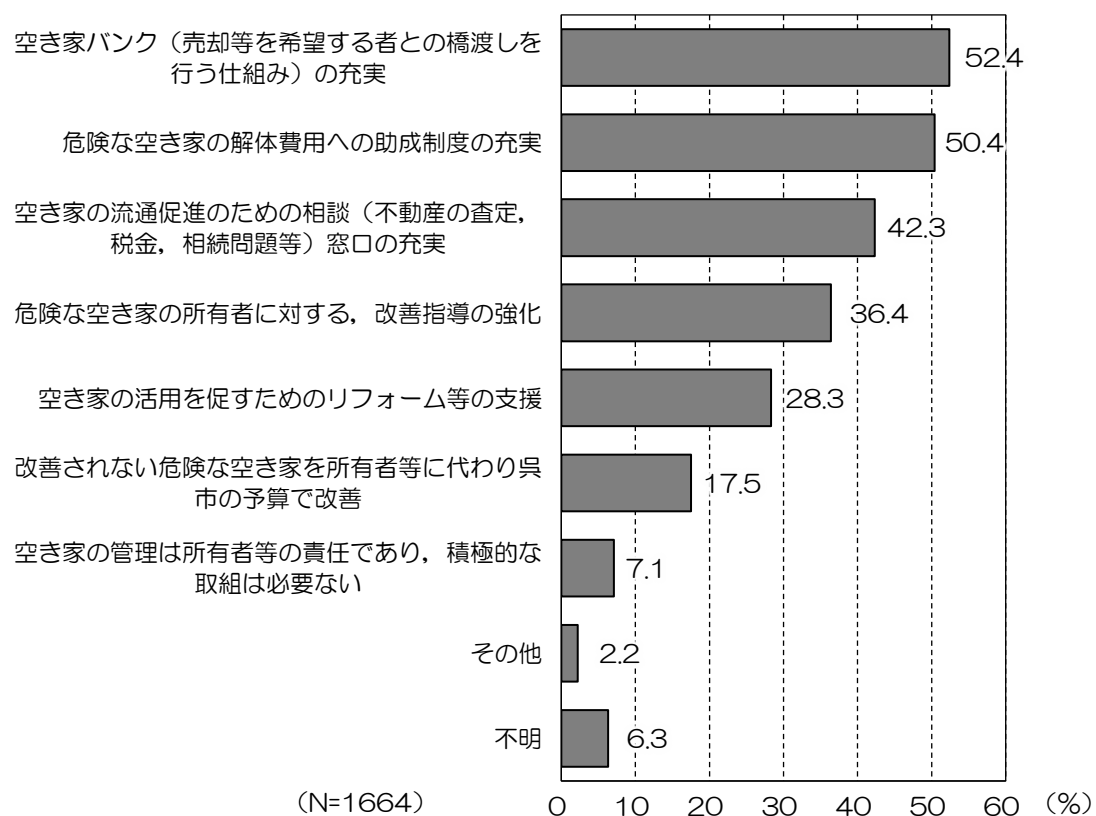


(13) 空き家対策

問52 空き家の増加に対応するため、どのような取組が必要ですか。（〇はいくつでも）

空き家の増加に対応するために必要な取組は、「空き家バンク（売却等を希望する者との橋渡しを行う仕組み）の充実（52.4%）」が最も多く、次いで「危険な空き家の解体費用への助成制度の充実（50.4%）」「空き家の流通促進のための相談（不動産の査定，税金，相続問題等）窓口の充実（42.3%）」「危険な空き家の所有者に対する，改善指導の強化（36.4%）」の順となっている。令和元年度調査とほぼ同様の傾向となっている。

図表 空き家の増加に対応するために必要な取組

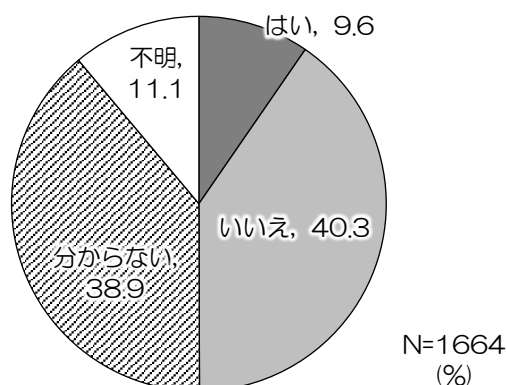


(14) 高次都市機能

問53 呉市には、広島県の主要都市としてふさわしい施設や設備（高い水準の都市機能）が十分に備わっていると感じていますか。（〇は1つ）

主要都市としてふさわしい施設や設備の充足感は、「はい（9.6%）」が1割程度となっており、「いいえ（40.3%）」が大きく上回っている。令和元年度調査に比べて大きな変化はない。

図表 高次都市機能の充足感

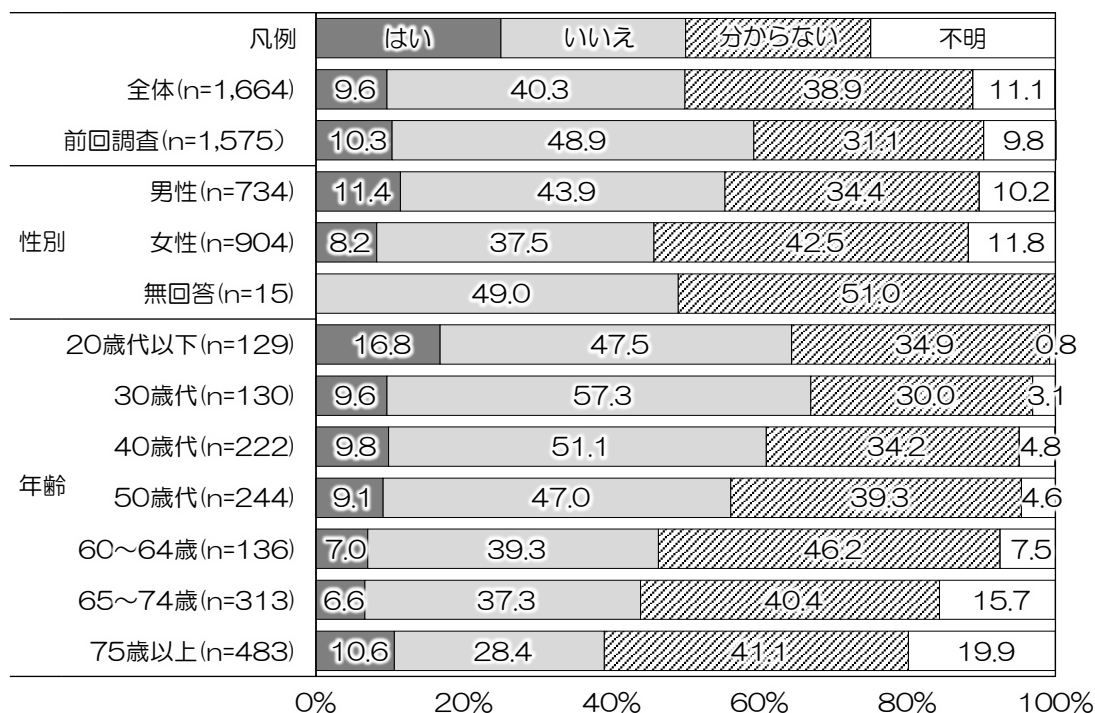


〈性別、年齢別〉

性別でみると、女性で「分からない」が、男性を8.1ポイント上回っている。

年齢別でみると、年齢が上がるほど「分からない」が多くなり、その分、「いいえ」が少なくなっている。

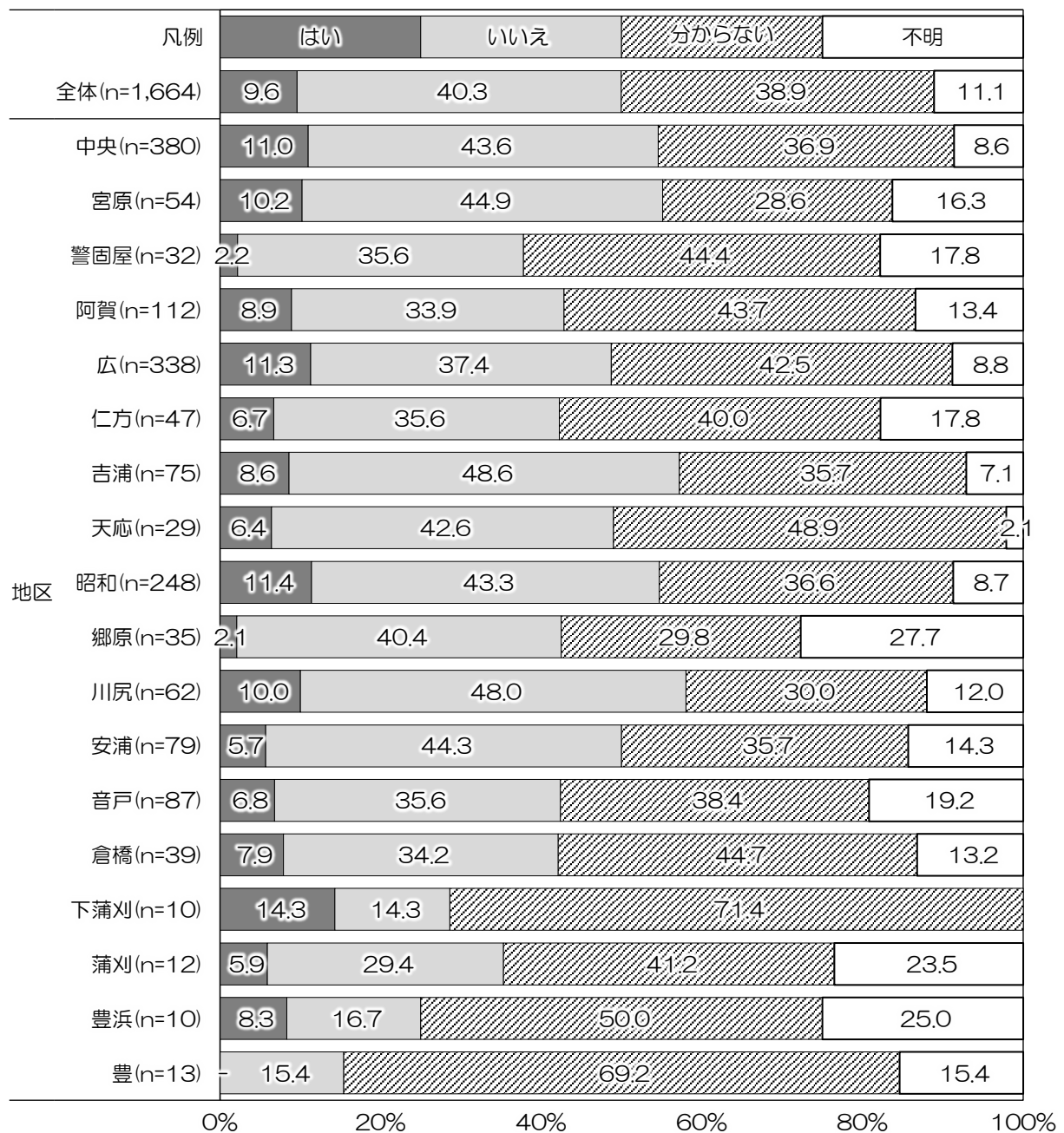
図表 高次都市機能の充足感〈性別、年齢別〉



〈地区別〉

「いいえ」が多いのは、吉浦地区、川尻地区、宮原地区等となっている。

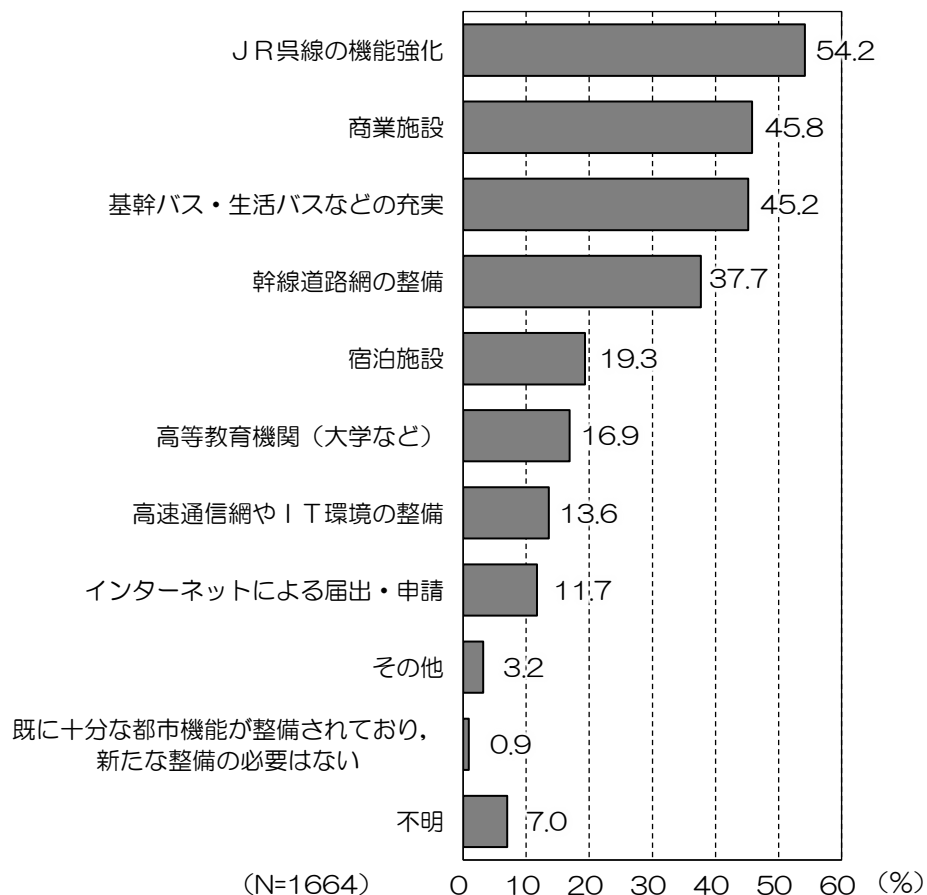
図表 高次都市機能の充足感〈地区別〉



問54 今後、こういった部分に力を入れて、都市機能を整備していくべきですか。（〇はいくつでも）

今後、整備していくべき都市機能は、「ＪＲ呉線の機能強化（54.2%）」が最も多く、次いで「商業施設（45.8%）」「基幹バス・生活バスなどの充実（45.2%）」「幹線道路網の整備（37.7%）」となっている。令和元年度調査に比べて「商業施設」が順位、割合とも上昇している。

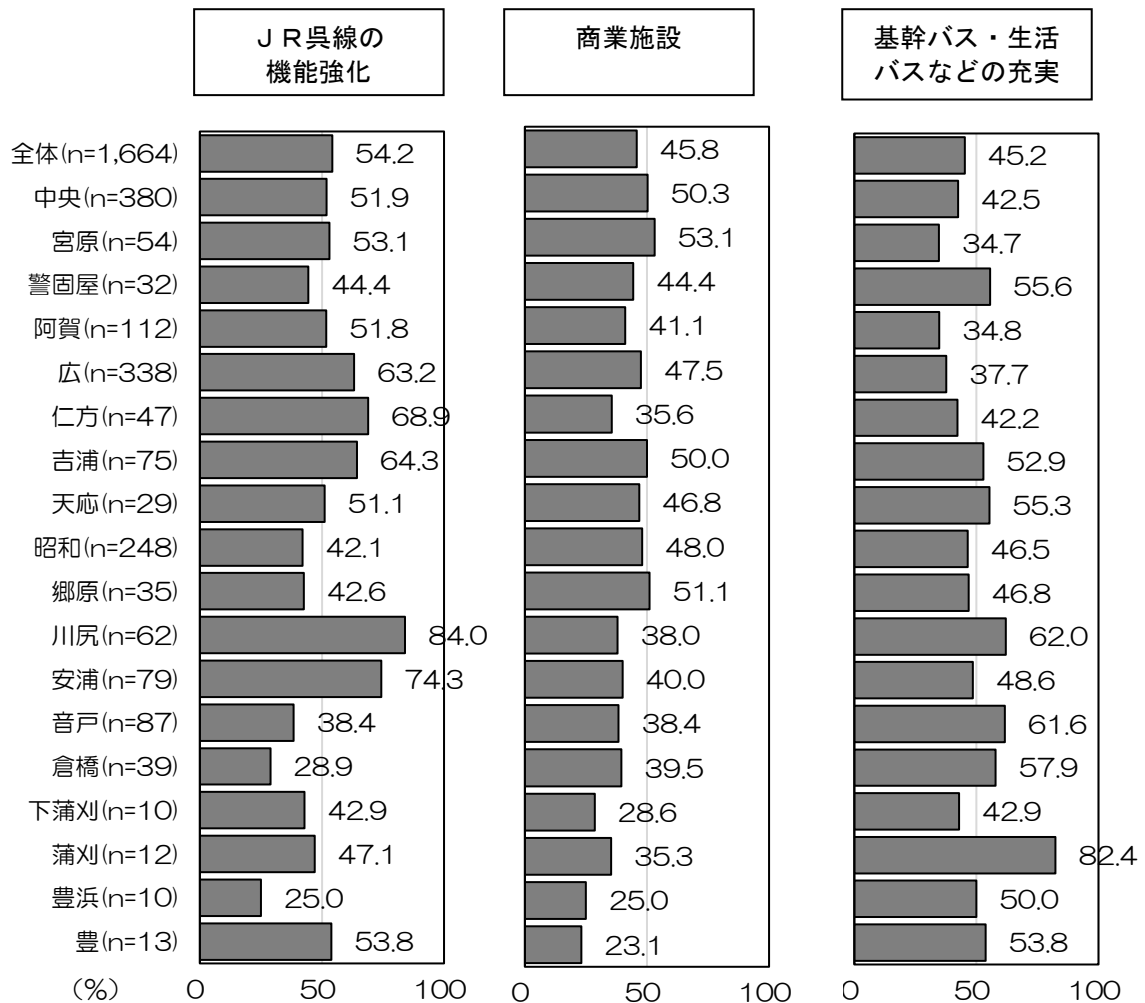
図表 今後、整備していくべき都市機能



〈地区別〉

地区別でみると、「ＪＲ呉線の機能強化」が多いのは、川尻地区、安浦地区、仁方地区、「商業施設」が多いのは、宮原地区、郷原地区、中央地区、宮原地区、「基幹バス・生活バスなどの充実」が多いのは、蒲刈地区、川尻地区、警固屋地区等となっている。

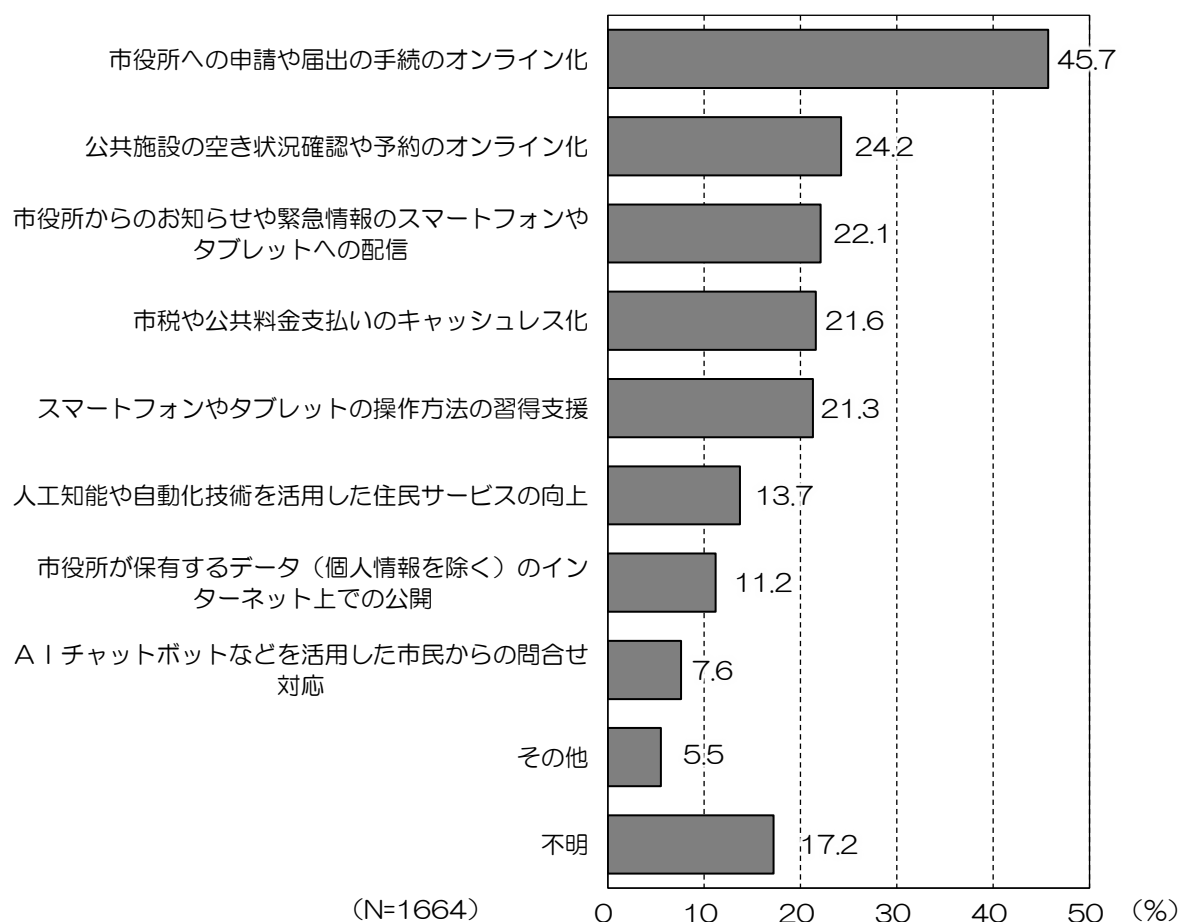
図表 今後、整備していきべき都市機能（上位３項目）〈地区別〉



【新規】問55 デジタル化の取組として、どのようなことに力を入れてほしいですか。
(〇はいくつでも)

今後、力を入れてほしいデジタル化の取組として、「市役所への申請や届出の手續のオンライン化（45.7%）」が最も多く、次いで「公共施設の空き状況確認や予約のオンライン化（24.2%）」「市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信（22.1%）」「市税や公共料金支払のキャッシュレス化（21.6%）」「スマートフォンやタブレットの操作方法の習得支援（21.3%）」の順となっている。

図表 力を入れてほしいデジタル化の取組



〈性別，年齢別〉

性別でみると，男性で「市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信」「市税や公共料金支払いのキャッシュレス化」が，女性に比べてやや多くなっている。

年齢別でみると，年齢が上がるほど「市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信」「市税や公共料金支払いのキャッシュレス化」など，多くの取組で少なくなるが，「スマートフォンやタブレットの操作方法の習得支援」は多くなる傾向がみられる。

図表 力を入れてほしいデジタル化の取組〈性別・年齢別〉

(%)

	市役所への申請や届出の手續のオンライン化	公共施設の空き状況確認や予約のオンライン化	市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信	市税や公共料金支払いのキャッシュレス化	スマートフォンやタブレットの操作方法の習得支援	人工知能や自動化技術を活用した住民サービスの向上	市役所が保有するデータ（個人情報を除く）のインターネット上での公開	AIチャットボットなどを活用した市民からの問合せ対応	その他	不明
男性	47.4	25.2	24.3	24.2	21.4	16.6	14.7	10.0	5.2	15.5
女性	44.8	23.6	20.7	19.4	21.3	11.6	8.4	5.8	5.5	18.6
無回答	43.0	20.7	15.3	43.3	14.0	7.2	7.2	-	13.8	6.9
20歳代以下 (n=129)	58.8	45.6	24.6	44.1	21.1	13.3	17.1	15.8	4.0	4.1
30歳代 (n=130)	68.3	40.5	27.7	34.7	14.5	18.5	13.4	13.8	5.0	7.1
40歳代 (n=222)	61.9	32.3	28.5	35.0	10.2	19.2	10.9	11.5	1.8	5.5
50歳代 (n=244)	65.9	30.1	23.6	23.6	14.7	16.2	11.9	9.0	2.0	6.6
60～64歳 (n=136)	54.0	28.9	26.5	24.3	23.1	14.0	20.1	8.1	4.3	12.3
65～74歳 (n=313)	34.5	20.9	22.1	14.8	30.7	12.3	11.5	3.6	7.7	17.3
75歳以上 (n=483)	24.0	8.7	15.4	8.8	25.0	9.8	6.3	3.7	8.6	35.0

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

〈地区別〉

地区別でみると、件数は少ないが、下蒲刈地区、蒲刈地区、豊浜地区、豊地区で、「市役所への申請や届出の手續のオンライン化」以外の項目が多くなっている。

図表 力を入れてほしいデジタル化の取組〈地区別〉

(%)

	市役所への申請や届出の手續のオンライン化	公共施設の空き状況確認や予約のオンライン化	市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信	市税や公共料金支払いのキャッシュレス化	スマートフォンやタブレットの操作方法の習得支援	人工知能や自動化技術を活用した住民サービスの向上	市役所が保有するデータ（個人情報を除く）のインターネット上での公開	AIチャットボットなどを活用した市民からの問合せ対応	その他	不明
中央地区 (n=380)	49.5	24.6	27.8	24.1	23.3	14.2	13.1	11	2.7	13.9
宮原地区 (n=54)	42.9	30.6	16.3	16.3	24.5	22.4	16.3	8.2	4.1	18.4
警固屋地区 (n=32)	35.6	20.0	20.0	8.9	28.9	13.3	11.1	2.2	11.1	20.0
阿賀地区 (n=112)	40.2	23.2	29.5	18.7	22.3	13.4	7.1	5.4	5.4	16.1
広地区 (n=338)	51.9	25.2	21.7	25.8	18.9	14.2	11.6	7.5	4.1	13.2
仁方地区 (n=47)	35.6	20.0	11.1	15.6	24.4	4.4	8.9	-	6.7	26.7
吉浦地区 (n=75)	60.0	34.3	20.0	30.0	20.0	14.3	10.0	7.1	5.7	11.4
天応地区 (n=29)	38.3	23.4	25.5	23.4	17.0	14.9	8.5	10.6	2.1	21.3
昭和地区 (n=248)	48.0	26.8	21.3	24.8	18.9	16.9	10.2	8.7	7.5	16.1
郷原地区 (n=35)	44.7	21.3	14.9	19.1	14.9	10.6	4.3	4.3	2.1	17
川尻地区 (n=62)	36.0	30.0	18.0	8.0	30.0	12.0	16.0	4.0	10.0	20.0
安浦地区 (n=79)	44.3	14.3	17.1	18.6	24.3	14.3	14.3	8.6	8.6	21.4
音戸地区 (n=87)	38.4	19.2	20.5	12.3	20.5	6.8	9.6	2.7	5.5	26
倉橋地区 (n=39)	36.8	21.1	13.2	21.1	13.2	7.9	7.9	2.6	13.2	34.2
下蒲刈地区 (n=10)	-	-	28.6	14.3	42.9	-	-	-	-	28.6
蒲刈地区 (n=12)	23.5	23.5	29.4	11.8	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9	35.3
豊浜地区 (n=10)	8.3	-	-	-	-	8.3	-	-	25.0	58.3
豊地区 (n=13)	7.7	15.4	7.7	7.7	30.8	15.4	7.7	15.4	23.1	23.1

※網掛けは属性ごとに最も多い項目。

Ⅲ 呉市の政策全般に対する満足度・重要度

問56 次表は、行政サービスの項目を示しています。それぞれの項目について、「満足度」・「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

※呉市の政策全般に対する満足度・重要度 分野別質問項目

分野・項目	連番
子育て・教育分野	
1 子育て支援（保育所等，子育て支援センター，ファミリーサポートセンターなど）	1
2 学校教育（小学校，中学校，義務教育学校，高等学校の施設管理，小中一貫教育など）	2
福祉保健分野	
1 健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）	3
2 高齢者支援（介護保険サービス，介護予防教室，生きがい活動など）	4
3 障がい者支援（障がい者の社会参加・自立の支援，交通費の助成など）	5
4 社会保障（生活保護，国民健康保険，介護保険など）	6
市民生活分野・防災分野	
1 市民主体のまちづくり（地域まちづくり委員会・協議会，地域行事（祭り，運動会，町内清掃）など）	7
2 人権啓発，男女共同参画（人権尊重，男女共同参画に関する講演会など）	8
3 消防・救急（救急・消防活動など）	9
4 防災，災害対応（浸水対策，急傾斜地の崩壊対策工事など）	10
5 消費生活，防犯，交通安全（消費生活センター，防犯活動，交通安全運動など）	11
6 国際交流・多文化共生（国際交流センターなど）	12
7 広報（市政だより，市ホームページ，テレビ・ラジオ広報など）	13
文化・スポーツ・生涯学習分野	
1 青少年育成（講座の開催，青少年の非行防止啓発活動など）	14
2 文化活動（文化ホール，美術館，博物館の管理・運営，イベントの実施など）	15
3 スポーツ・レクリエーション（スポーツ施設の整備，スポーツイベントの実施など）	16
産業分野	
【分割追加】1 企業誘致（企業誘致・留置）	17
【分割追加】2 企業の新技術の研究開発（新技術・新商品の開発支援など）	18
3 農業，漁業（遊休農地対策，新規参入者や後継者の育成，特産品のブランド化など）	19

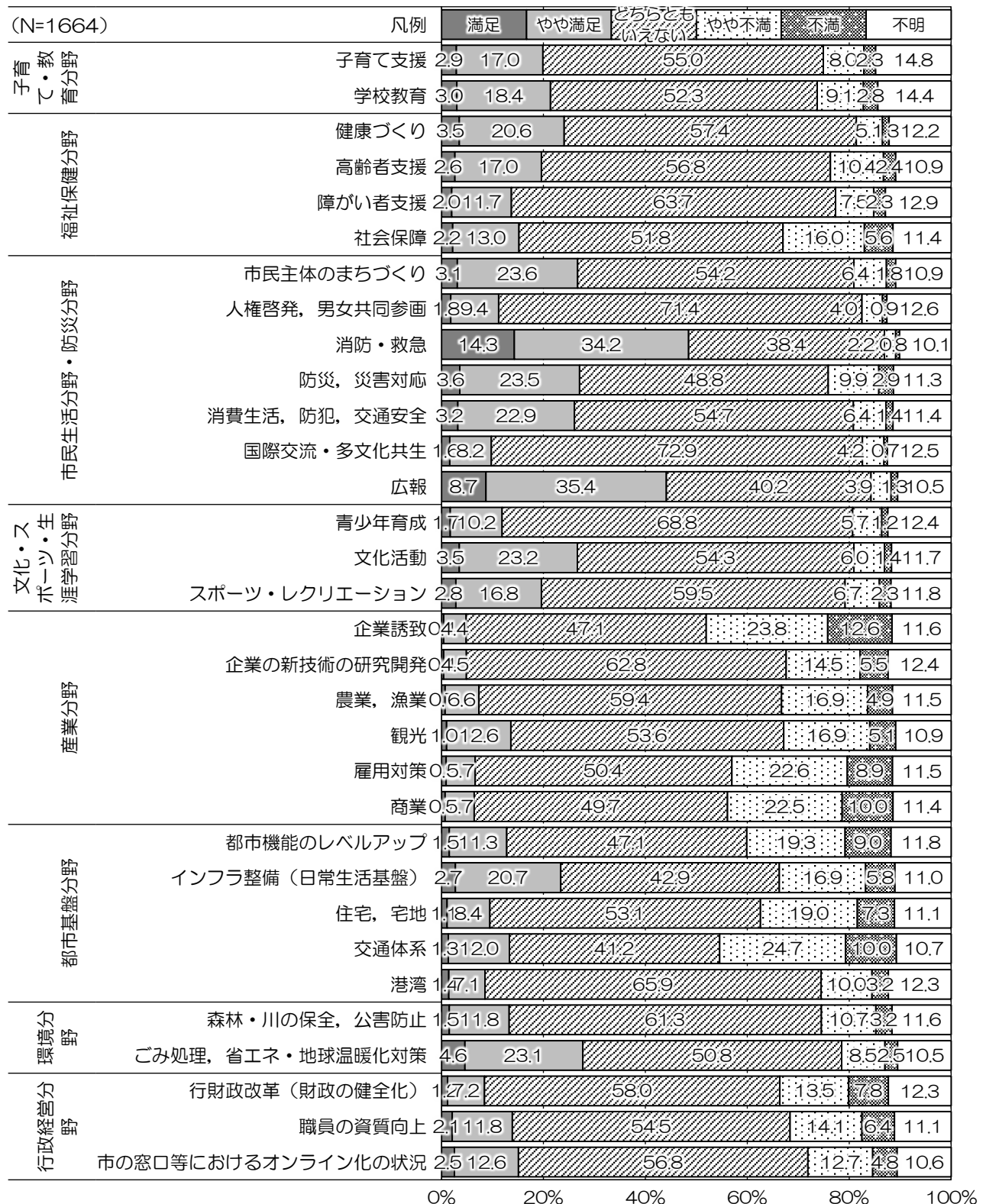
4	観光（インバウンド・観光客誘致，観光案内・PR，イベント開催など）	20
5	雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）	21
6	商業（商店街の活性化，小売業，流通業，起業・創業への支援など）	22
都市基盤分野		
1	都市機能のレベルアップ（幹線道路網の整備，高速通信網やIT環境の整備など）	23
2	インフラ整備（日常生活基盤）（上下水道，身近な生活道路，公園の維持管理など）	24
3	住宅，宅地（居住環境の整備，区画整理による宅地開発，空き家対策など）	25
4	交通体系（交通渋滞の緩和，バスなどの公共交通機関の運行，ライドシェア，スクールバスなど）	26
5	港湾（高潮対策，呉港へのクルーズ誘致など）	27
環境分野		
1	森林・川の保全，公害防止（河川の浄化活動，騒音や水質・大気汚染濃度の測定など）	28
2	ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策（ごみ処理，資源物回収，家庭用燃料電池（エネファーム）設置助成など）	29
行政経営分野		
1	行財政改革（財政の健全化）	30
2	職員の資質向上（職員の意識改革，能力開発など）	31
【新規追加】3 市の窓口等におけるオンライン化（申請，交付，許可，予約，支払いなど）の状況		32

■満足度

「消防・救急」「広報」等を含む「市民生活分野・防災分野」で「満足」と「やや満足」を合わせた割合が高い項目が多く、「福祉保健分野」「子育て・教育分野」等でも「満足」「やや満足」を合わせた割合が高い項目がやや多くなっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合が高い項目が多いのは、「産業分野」「都市基盤分野」となっている。

図表 呉市の政策全般に対する満足度（32 項目ごと）



■重要度

全体的にいずれの分野においても、「重要」と「やや重要」を合わせた割合が高い項目が多く、満足度以上に重要と考える市民が多くなっている。

表 呉市の政策全般に対する満足度（32 項目ごと）

(N=1664)		凡例	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	不明
子育て・教育分野	子育て支援		32.8	25.2	23.2	1.1	0.2	17.5
	学校教育		35.9	23.0	22.6	1.0	0.2	17.3
福祉保健分野	健康づくり		14.6	30.9	33.8	3.7	1.1	15.9
	高齢者支援		25.8	30.7	25.7	1.9	0.9	15.1
	障がい者支援		24.5	28.7	28.9	1.2	0.6	16.0
	社会保障		29.7	28.1	24.3	1.5	0.9	15.6
市民生活分野・防災分野	市民主体のまちづくり		12.1	29.8	35.9	4.7	1.7	15.9
	人権啓発、男女共同参画		8.7	21.4	45.5	5.7	2.3	16.4
	消防・救急		45.5	22.0	16.7	0.5	0.1	15.2
	防災、災害対応		45.0	22.0	17.1	0.4	0.1	15.5
	消費生活、防犯、交通安全		28.8	28.6	24.9	1.6	0.3	15.7
	国際交流・多文化共生		6.8	18.9	48.7	6.6	2.8	16.2
	広報		19.8	31.7	29.5	3.0	1.0	15.1
文化・スポーツ・生涯学習分野	青少年育成		16.8	27.3	36.1	2.7	1.0	16.0
	文化活動		14.6	28.0	37.4	3.5	0.9	15.7
	スポーツ・レクリエーション		12.4	29.0	37.5	3.9	1.2	15.8
産業分野	企業誘致		38.2	24.6	21.1	1.2	0.3	14.7
	企業の新技術の研究開発		25.9	27.7	29.6	1.4	0.2	15.2
	農業、漁業		29.4	30.0	24.8	0.9	0.2	14.7
	観光		26.3	31.2	25.3	2.0	0.7	14.5
	雇用対策		40.2	26.7	17.9	0.6	0.2	14.3
	商業		34.4	30.2	20.0	0.7	0.4	14.4
都市基盤分野	都市機能のレベルアップ		32.5	29.2	21.2	1.3	0.4	15.5
	インフラ整備（日常生活基盤）		37.1	28.8	18.4	0.7	0.2	14.8
	住宅、宅地		23.7	33.5	26.1	1.7	0.2	14.8
	交通体系		31.7	31.3	20.6	1.1	0.3	15.0
	港湾		16.4	26.0	37.9	3.2	0.9	15.7
環境分野	森林・川の保全、公害防止		28.8	28.5	26.0	1.4	0.5	14.9
	ごみ処理、省エネ・地球温暖化対策		35.6	28.9	19.8	0.9	0.4	14.4
行政経営分野	行財政改革（財政の健全化）		40.6	20.8	22.3	0.4	0.4	15.5
	職員の資質向上		34.2	26.5	23.5	0.8	0.3	14.7
	市の窓口等におけるオンライン化の状況		25.1	28.0	28.6	2.4	1.4	14.5

0% 20% 40% 60% 80% 100%

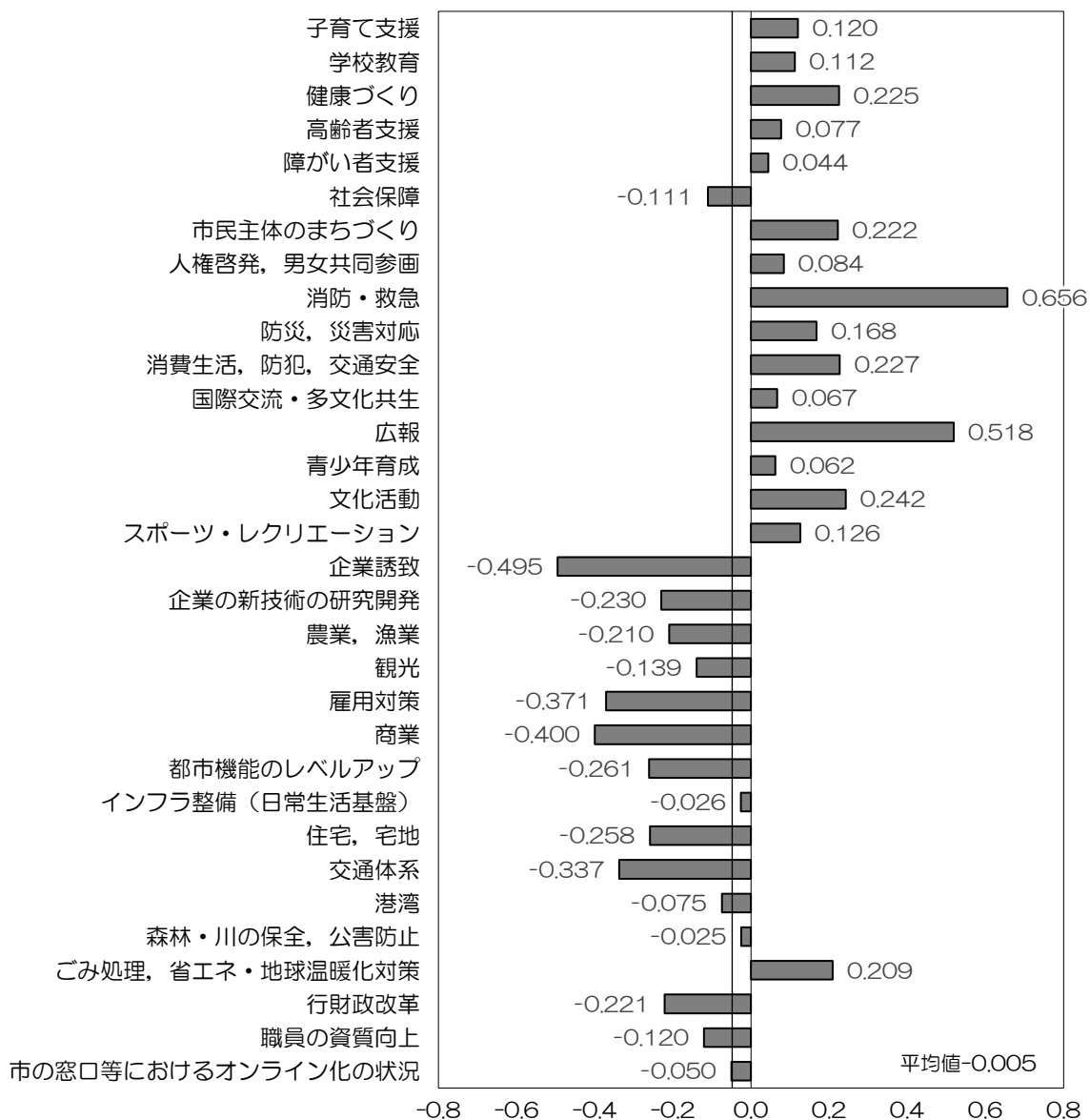
呉市が行っている行政サービスの満足度と重要度について、『子育て・教育分野』『福祉保健分野』『市民生活分野・防災分野』『文化・スポーツ・生涯学習分野』『産業分野』『都市基盤分野』『環境分野』『行政経営分野』の8分野 32 項目（前回令和元年度に比較して、1 項目が 2 分割、1 項目新規追加である）に対し、下記のとおり評価点を算出した。

※「満足」2点、「やや満足」1点、「どちらともいえない」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点
 ※「重要」2点、「やや重要」1点、「どちらともいえない」0点、「あまり重要でない」-1点、「重要でない」-2点

その結果、全項目の満足度の平均値は-0.005、重要度の平均値は 0.929 となった。令和元年度調査と比べ、満足度、重要度とも、平均値がやや低下している。

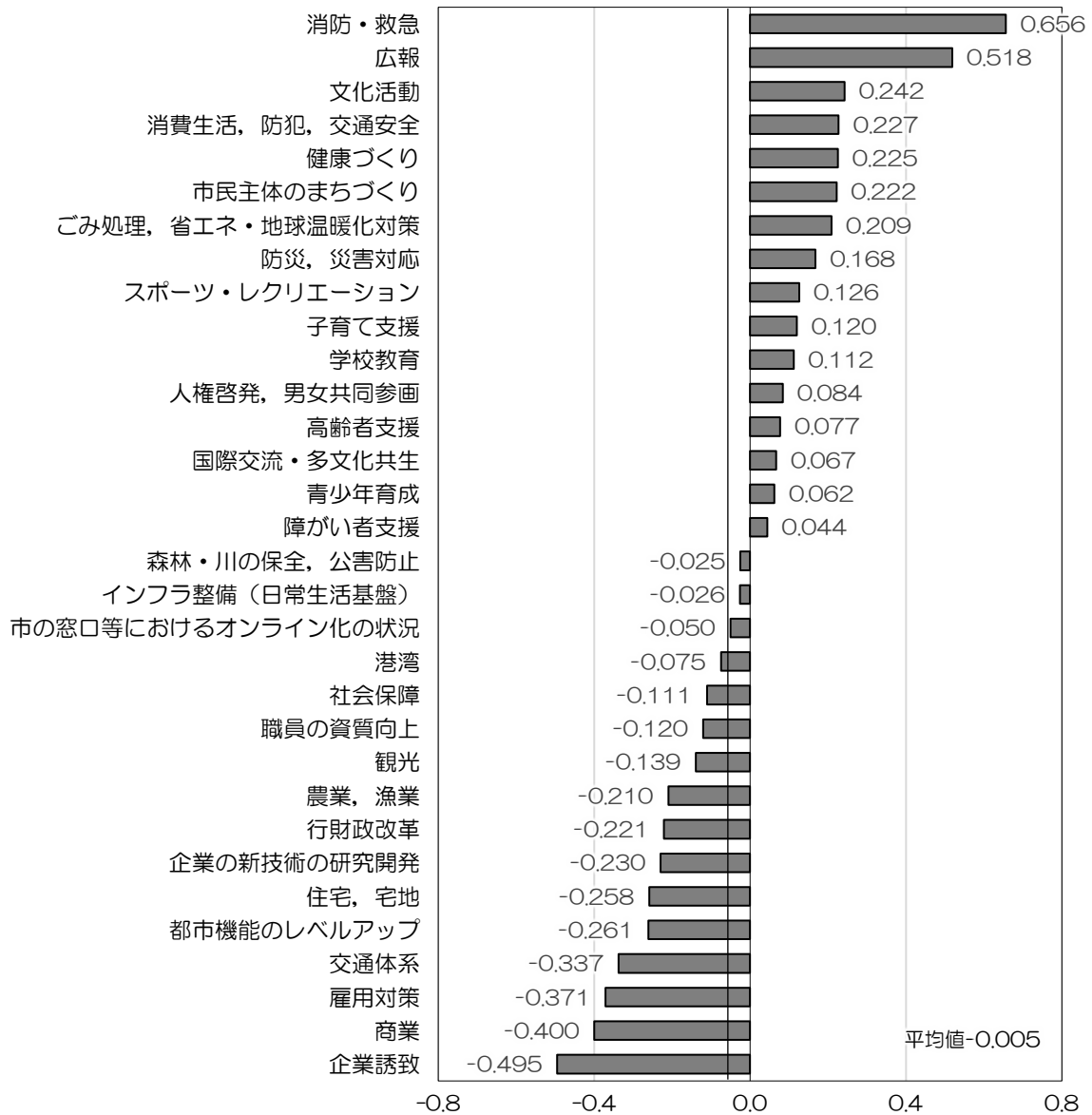
32 項目別には、満足度が高いのは、「消防・救急」「広報」等となっている。逆に、満足度が低いのは、「企業誘致」「商業」「雇用対策」「交通体系」等となっている。

図表 行政サービスの満足度＜全体＞（今年度）（現状の8分野別の連番順）



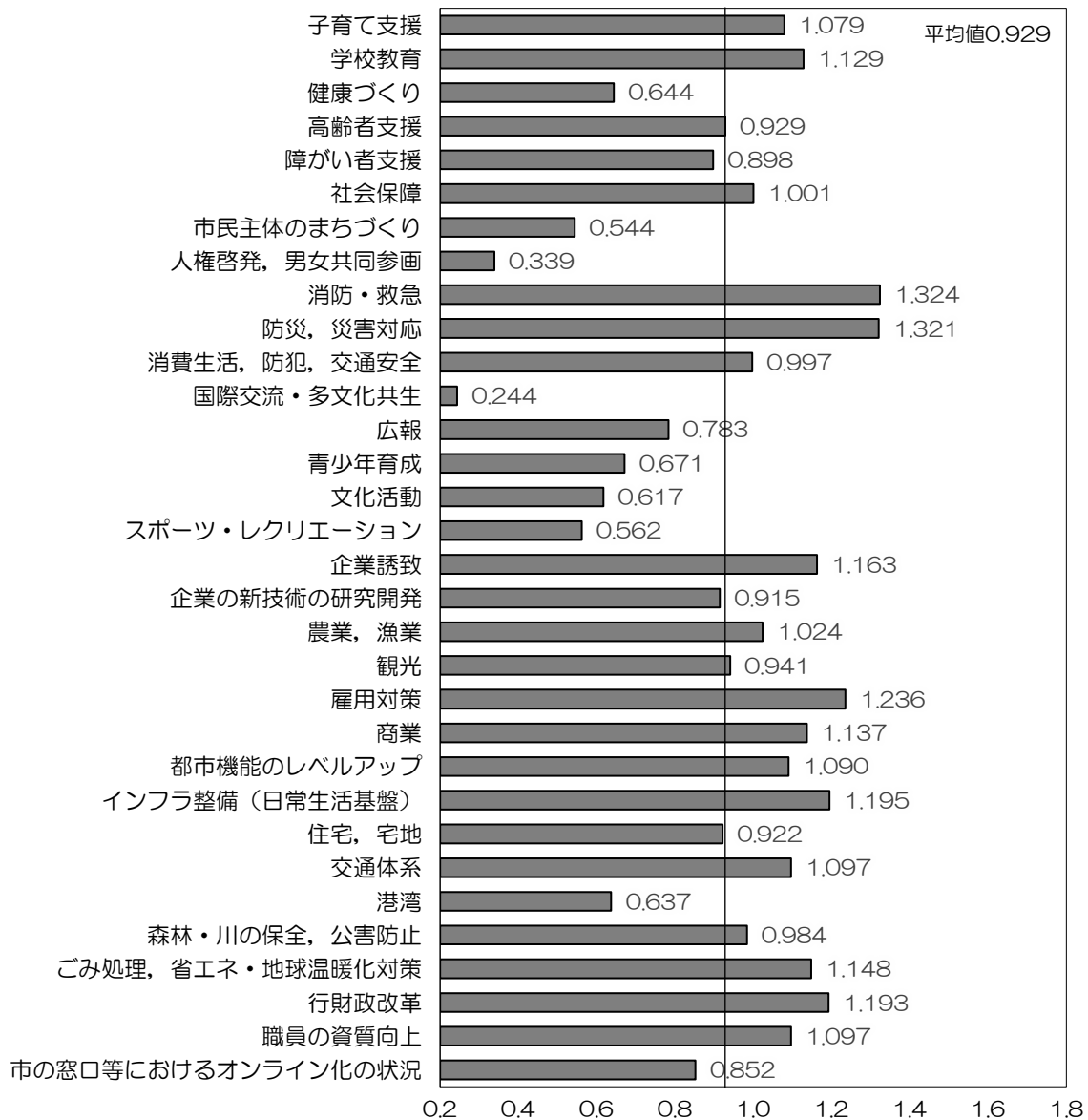
評価点が高い順に並べると、「消防・救急」「広報」の満足度が特に高くなっている。一方で、満足度が低い項目では、「企業誘致」「商業」「雇用対策」「交通体系」「都市機能のレベルアップ」「住宅、宅地」等の順となっている。

図表 行政サービスの満足度＜全体＞（今年度）（評価点が高い順）



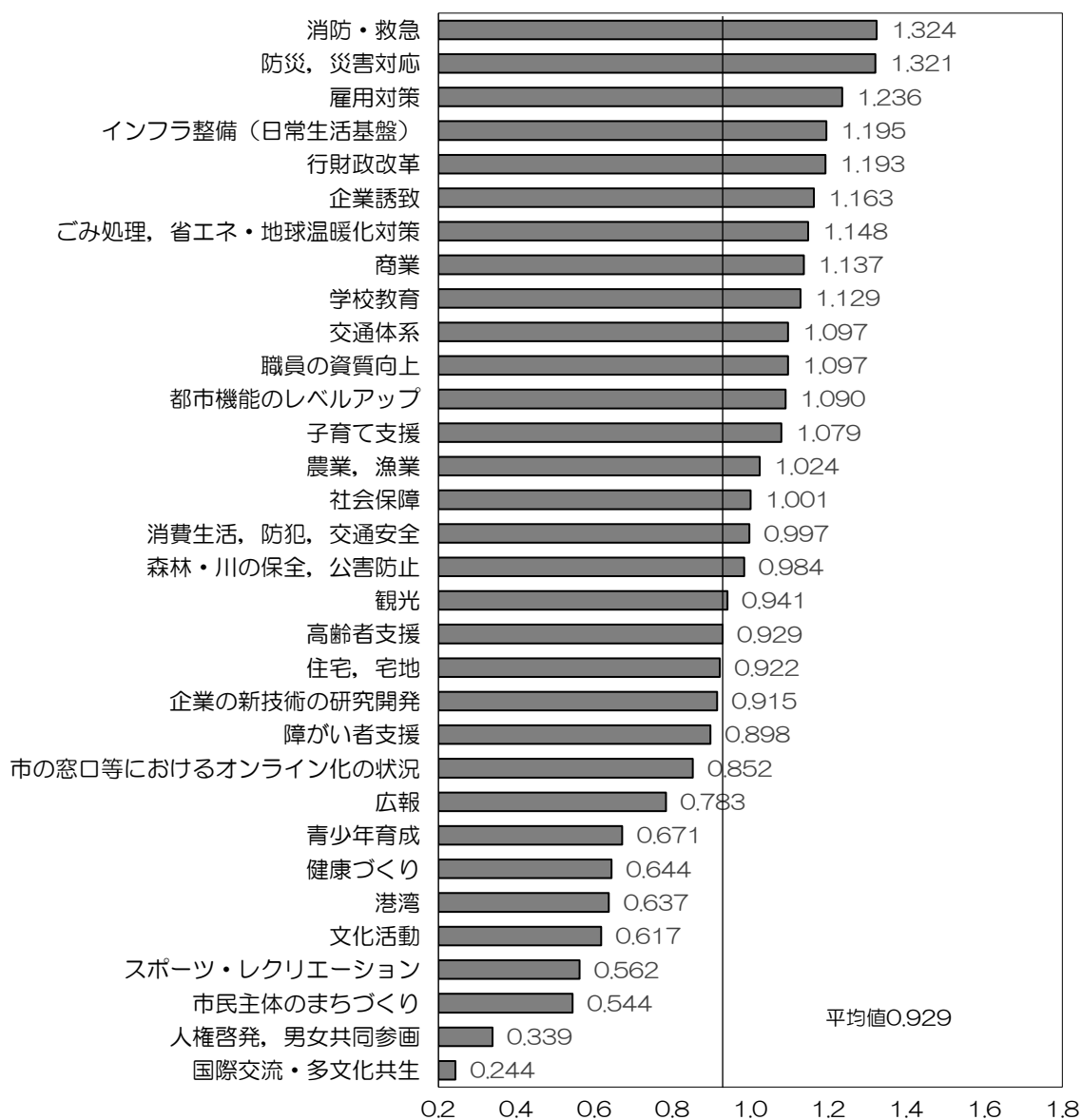
32項目別には、重要度が高いのは、「消防・救急」「防災、災害対応」「雇用対策」「インフラ整備（日常生活基盤）」「行財政改革」等となっている。逆に、重要度が低いのは、「国際交流・多文化共生」「人権啓発，男女共同参画」「市民主体のまちづくり」「スポーツ・レクリエーション」等となっている。

図表 行政サービスの重要度＜全体＞（今年度）（現状の8分野の連番順）



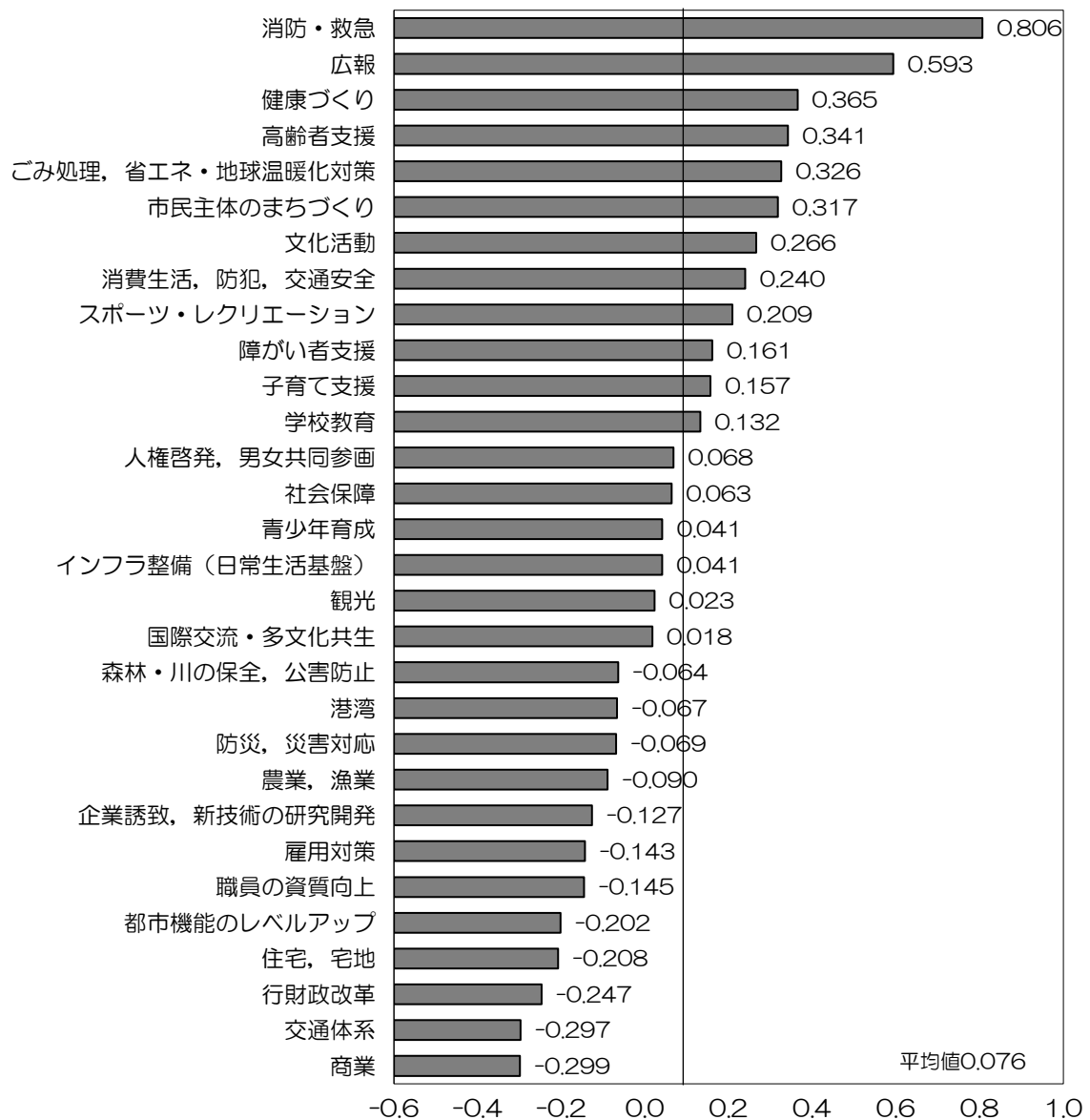
評価点が高い順に並べると、「消防・救急」「防災、災害対応」がやや多くなっている。

図表 行政サービスの重要度＜全体＞（今年度）（評価点が高い順）



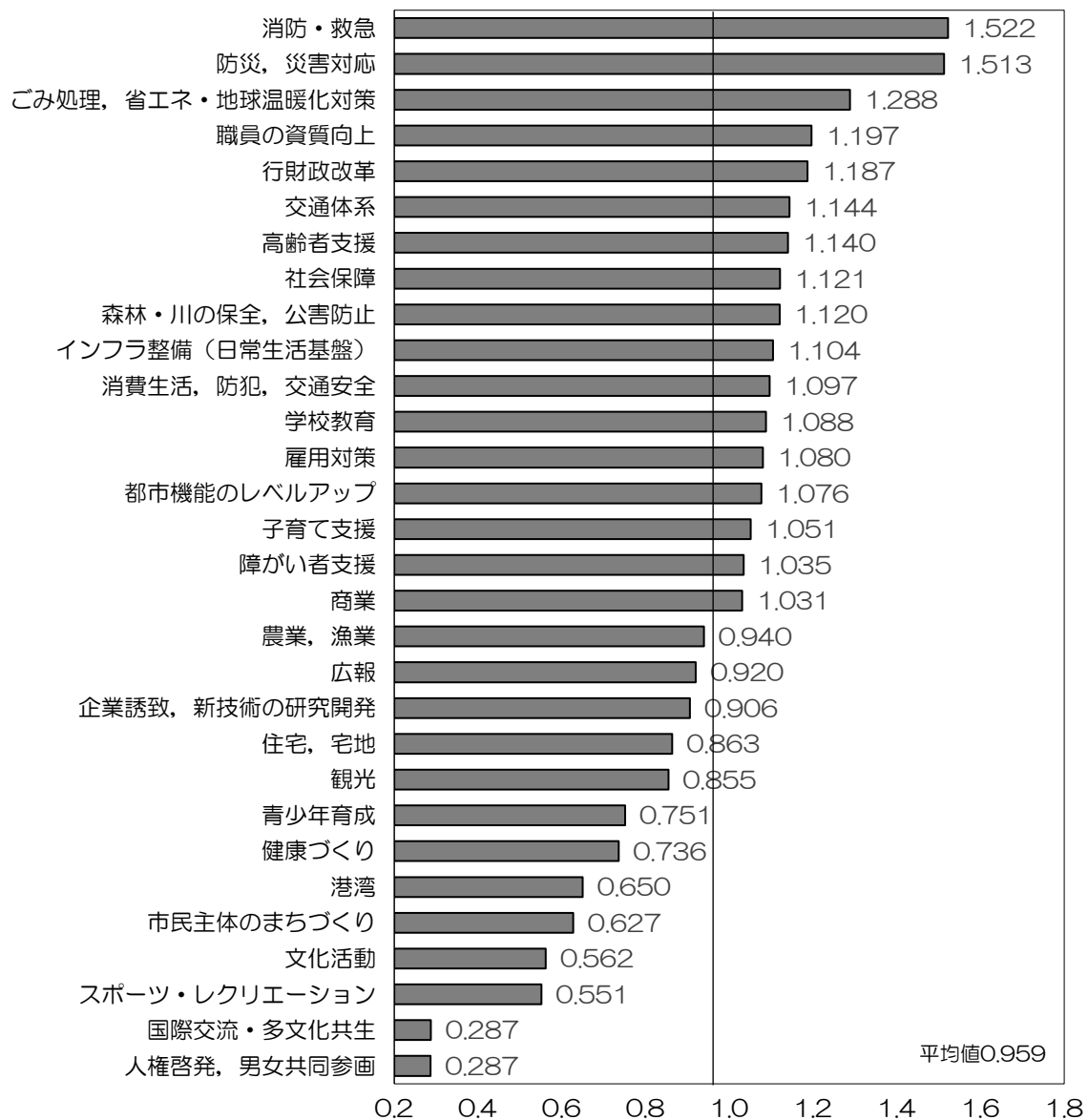
【参考】（前回調査の満足度）

図表 行政サービスの満足度＜全体＞（令和元年度）



【参考】（前回調査の重要度）

図表 行政サービスの重要度＜全体＞（令和元年度）



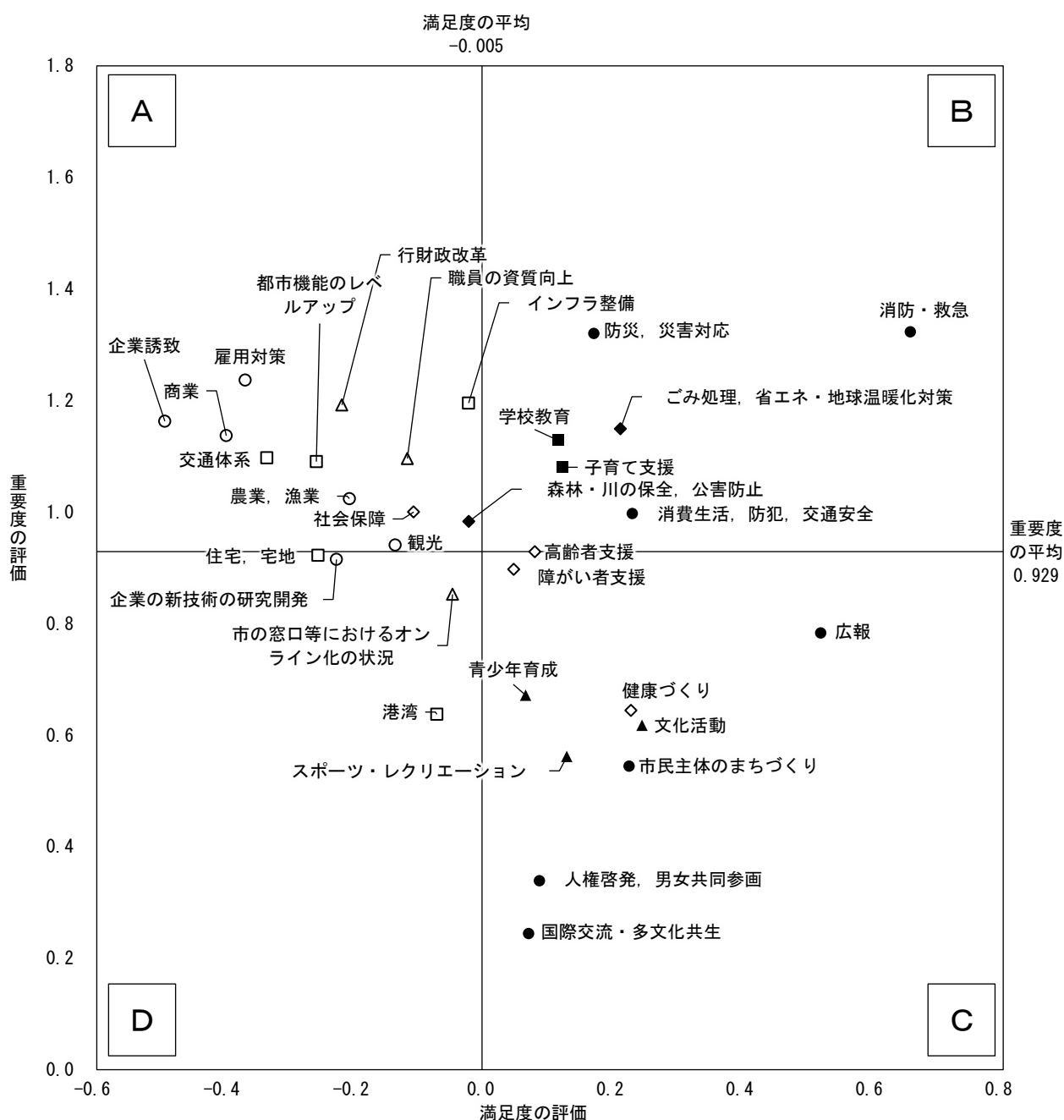
■重要度・満足度の関係

※図中の記号は、8分野を示している。子育て・教育分野（■），福祉保健分野（◇），市民生活分野・防災分野（●），文化・スポーツ・生涯学習分野（▲），産業分野（○），都市基盤分野（□），環境分野（◇），行政経営分野（△）。

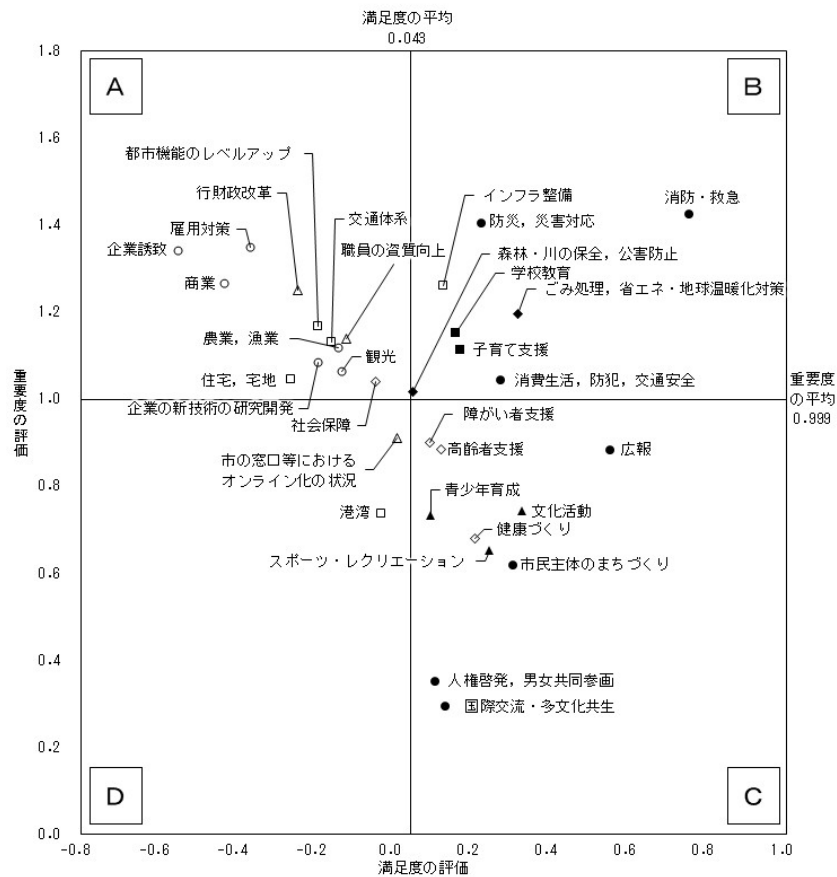
全体では，**A**（満足度が低く，重要度が高い）に該当する項目は，「企業誘致」「雇用対策」「商業」「交通体系」「都市機能のレベルアップ」等となっている。

また，**B**（満足度が高く，重要度が高い）に該当する項目は，「消防・救急」「ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策」「防災，災害対応」「防災，災害対策」等となっている。

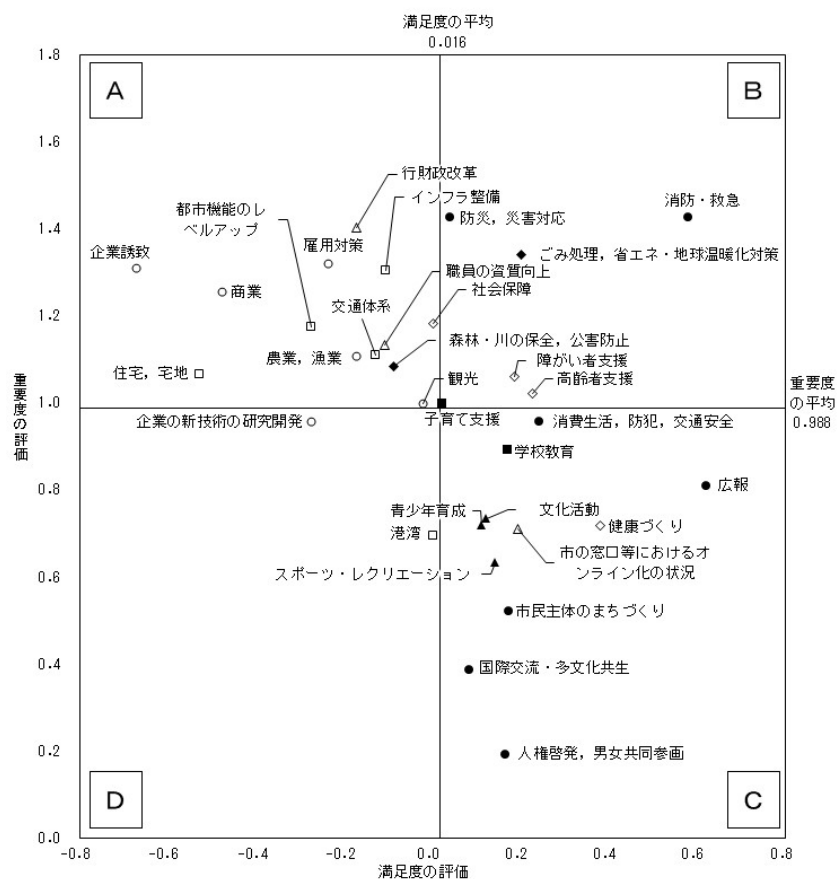
○市全体



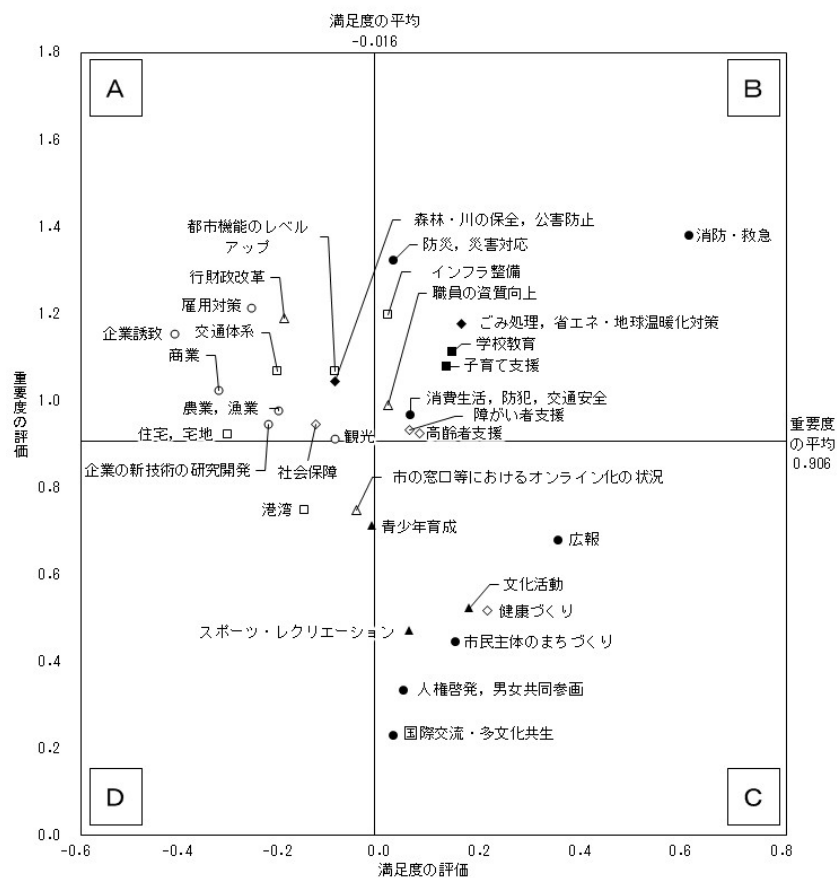
○中央地区



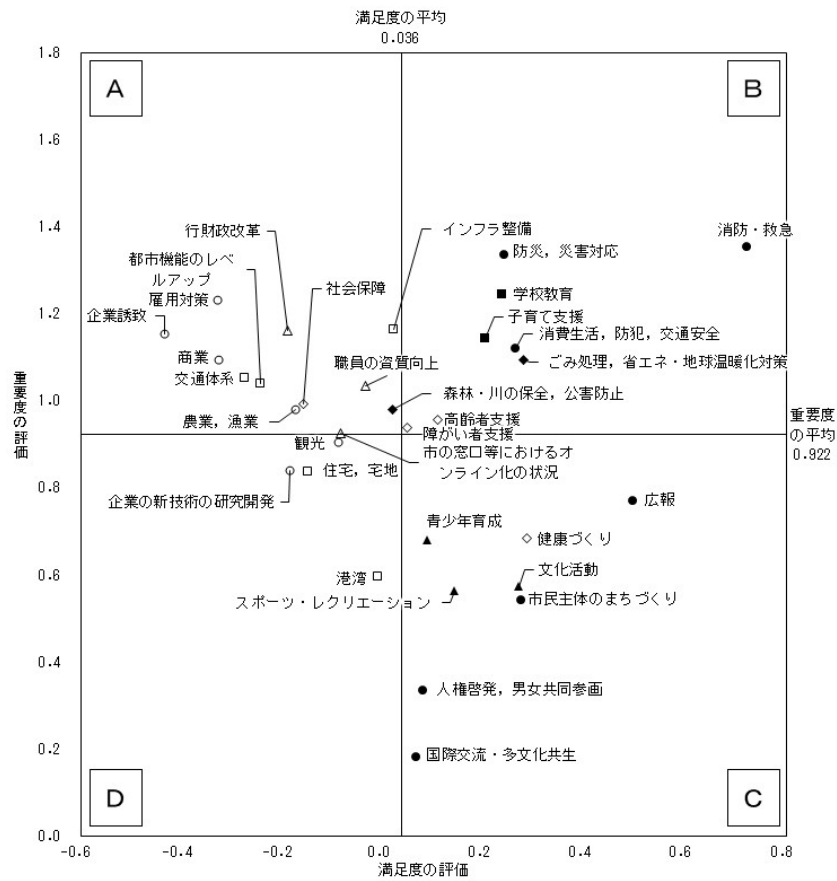
○宮原地区



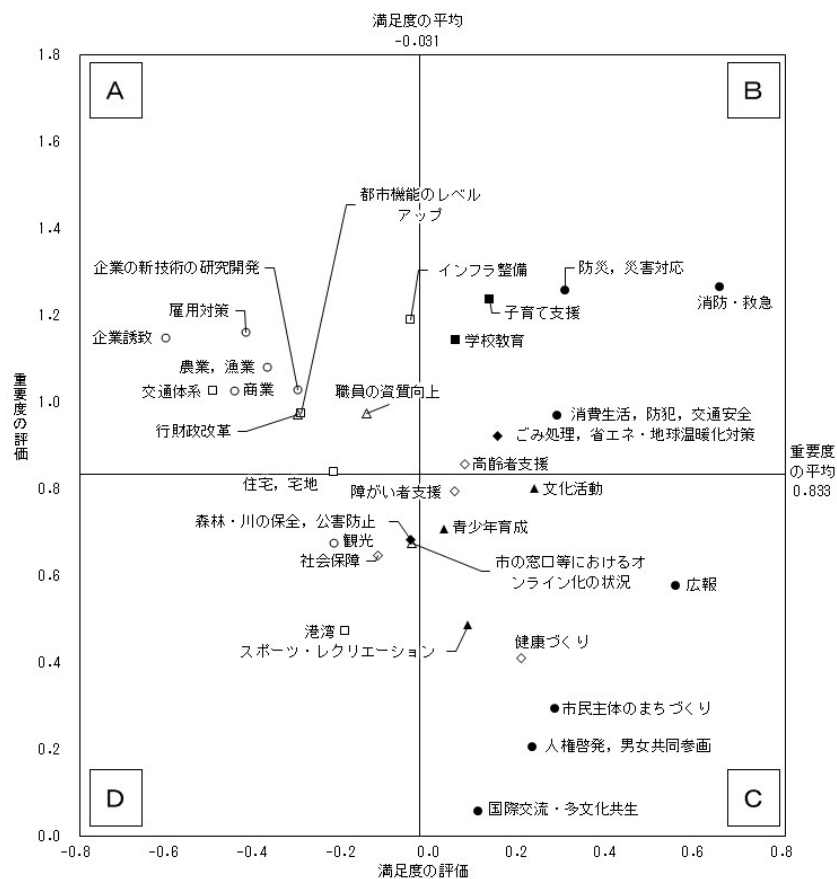
○阿賀地区



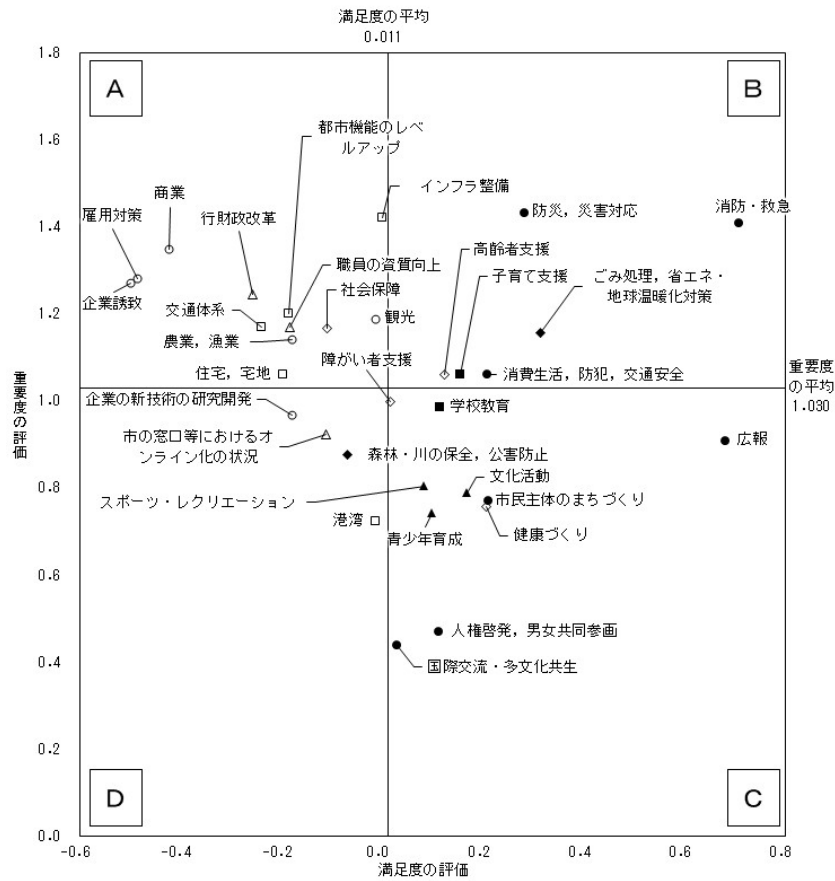
○広地区



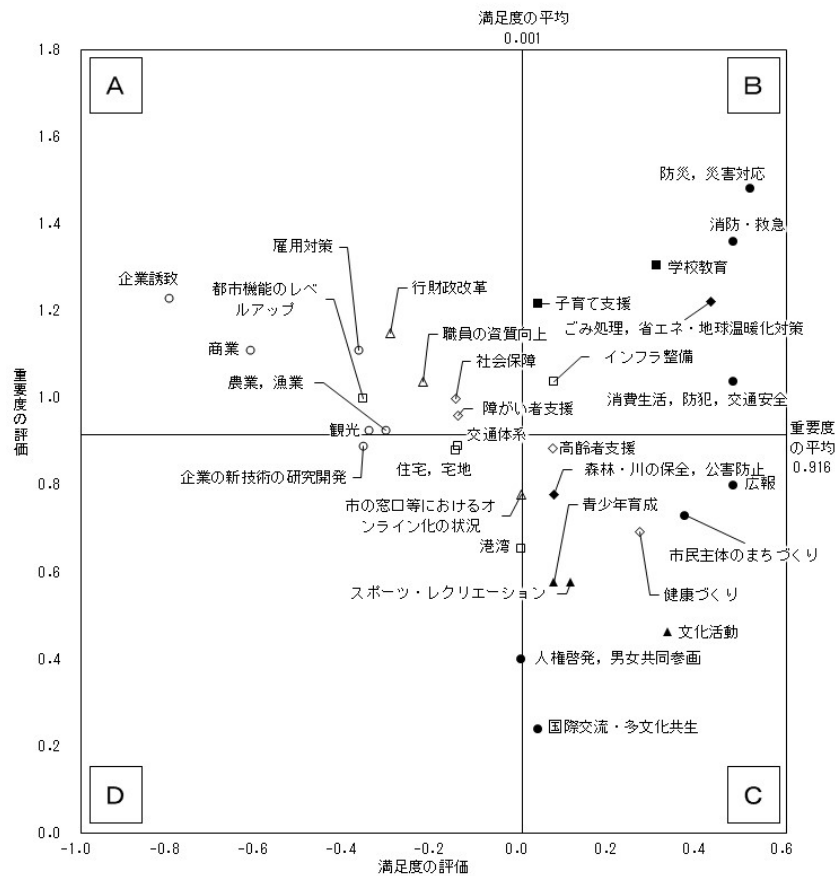
○仁方地区



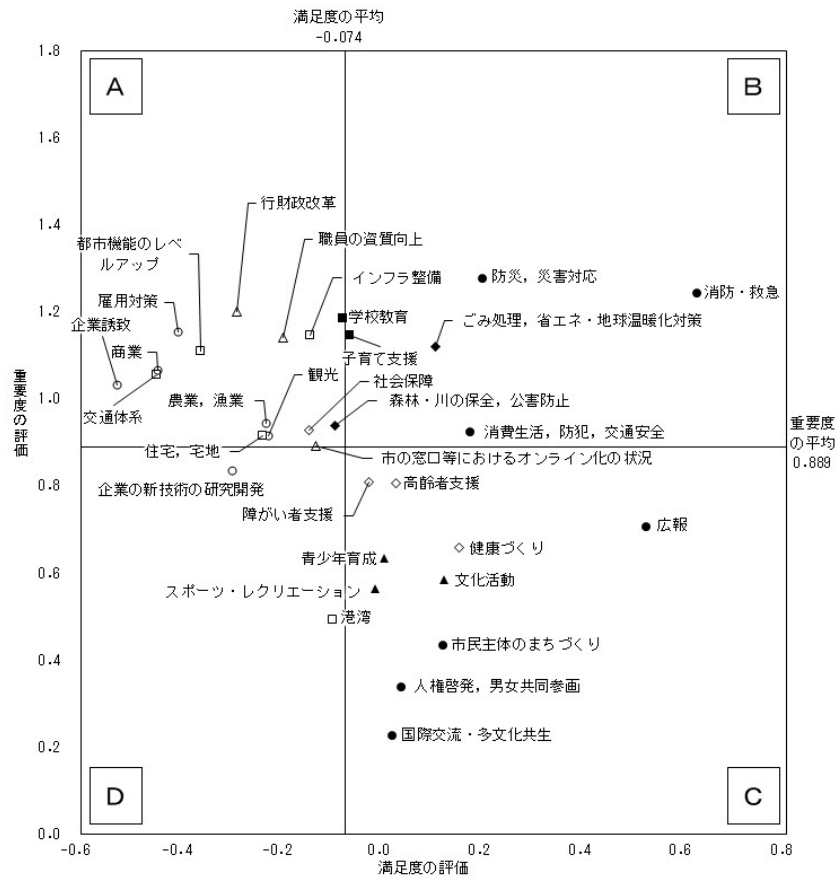
○吉浦地区



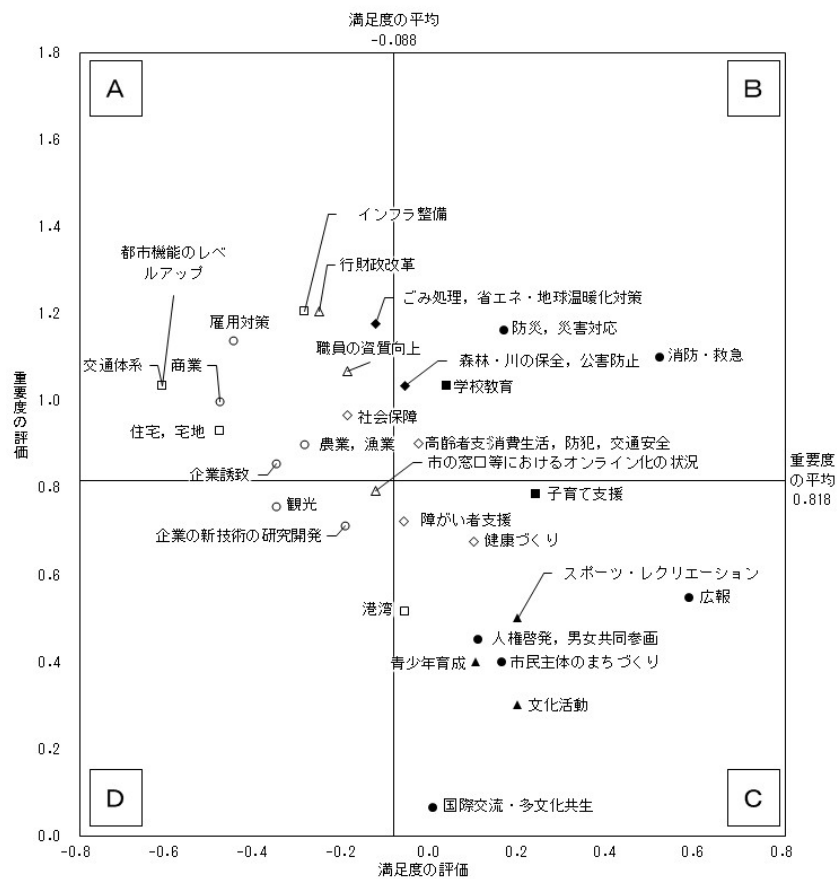
○天応地区



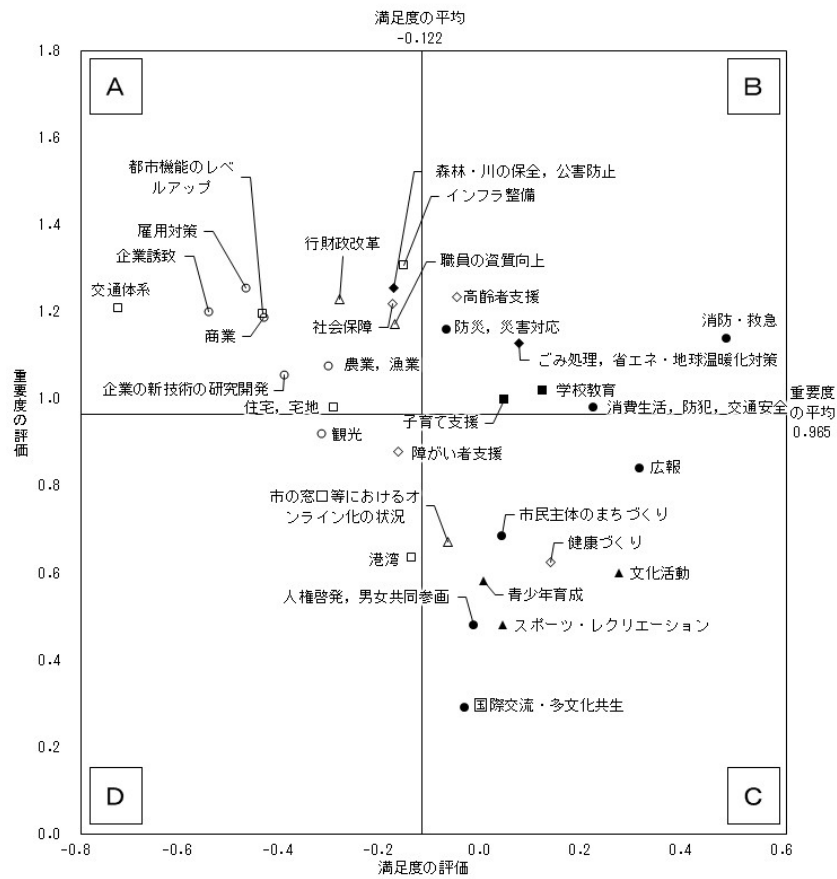
○昭和地区



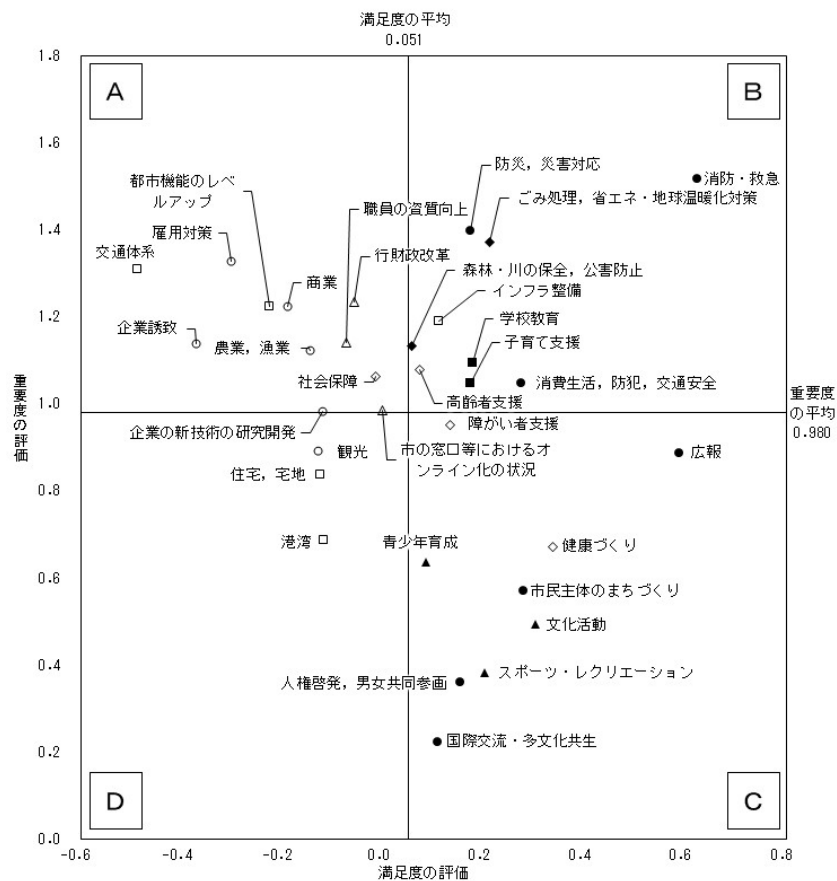
○郷原地区



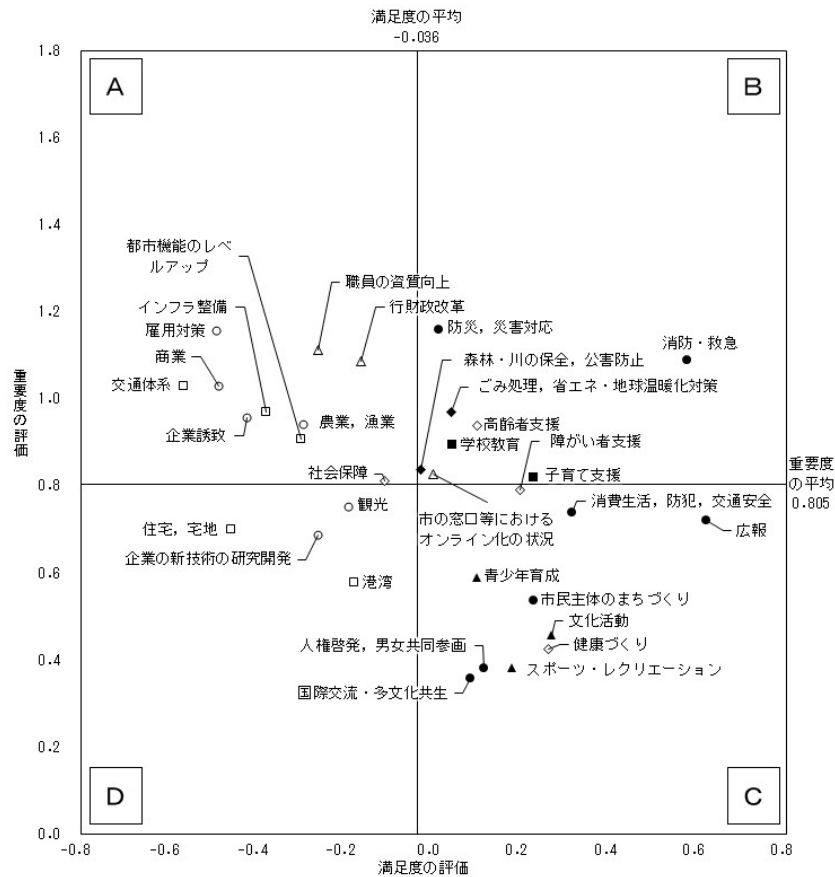
○川尻地区



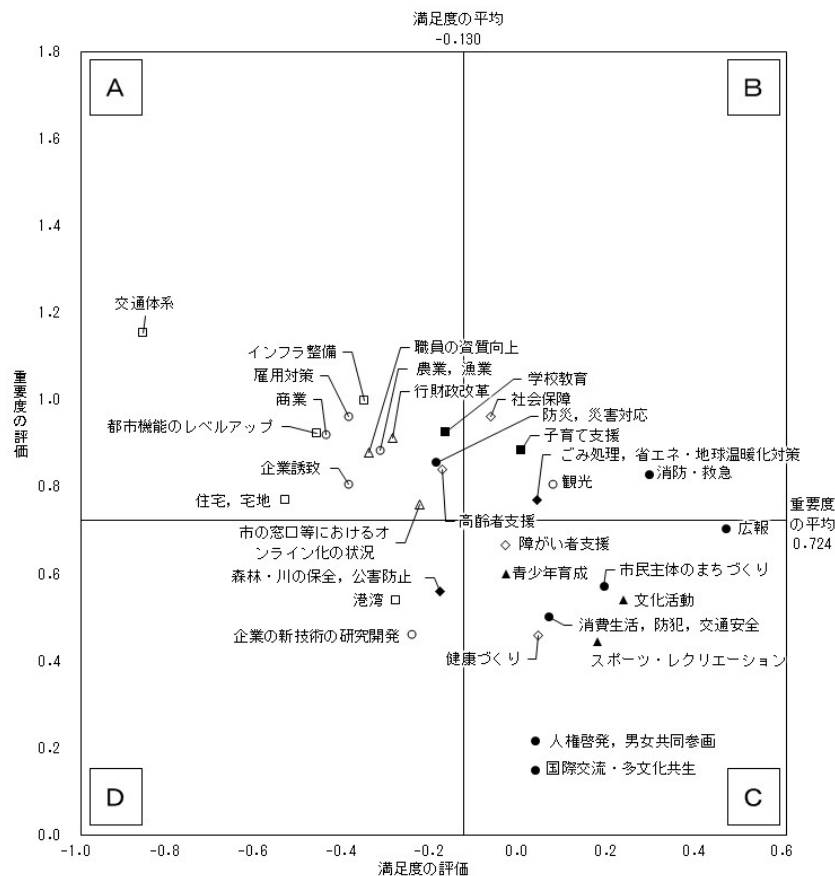
○安浦地区



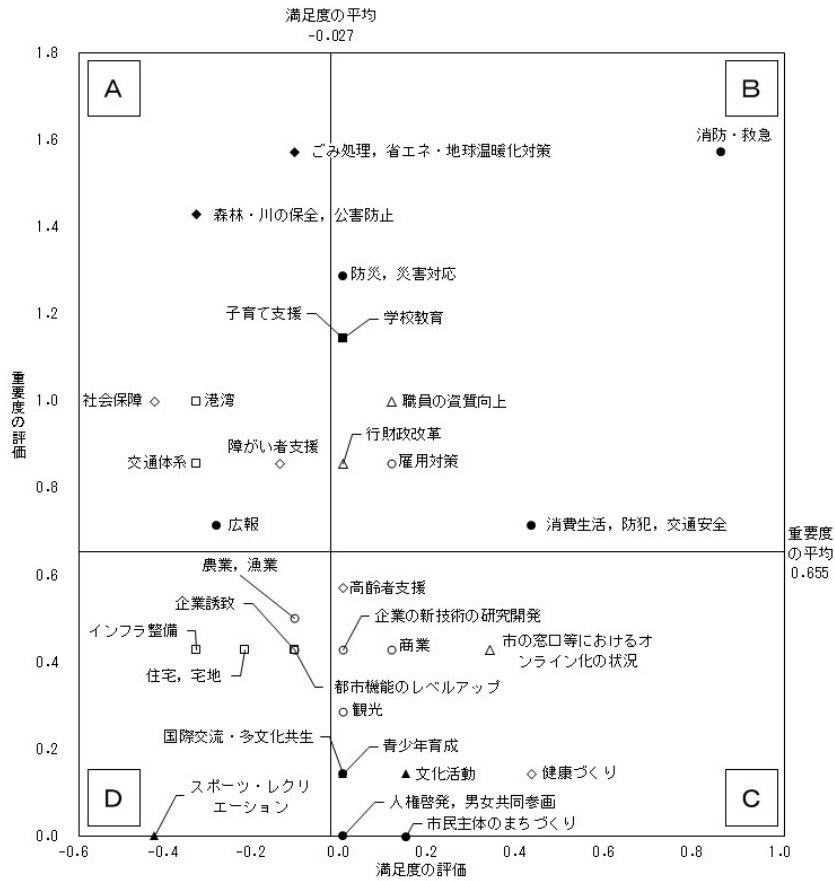
○音戸地区



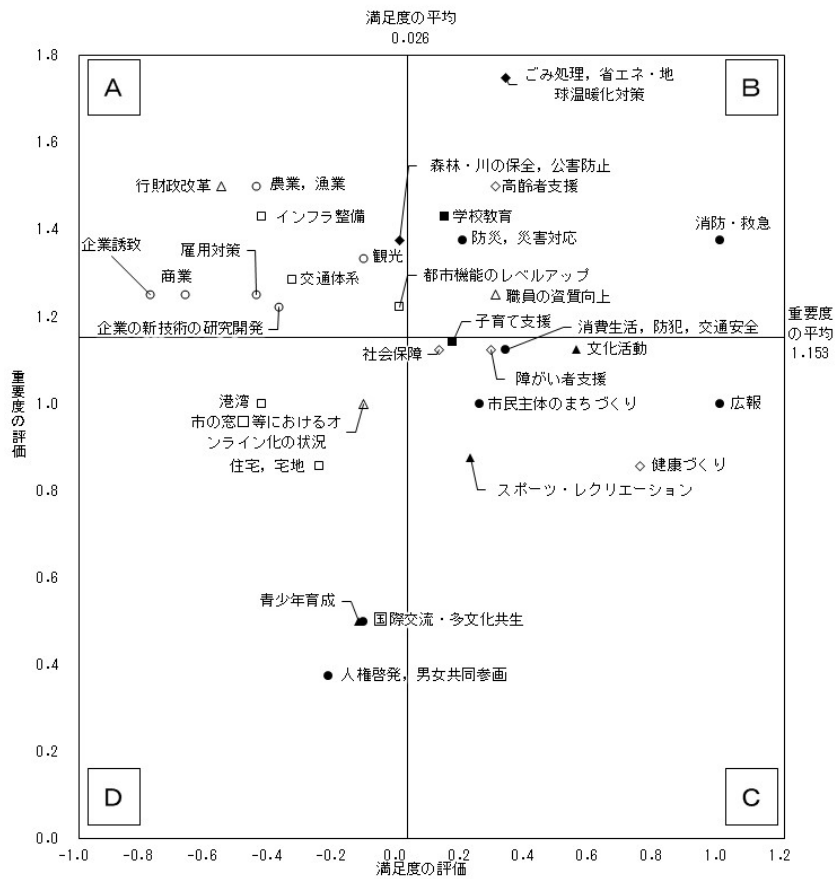
○倉橋地区



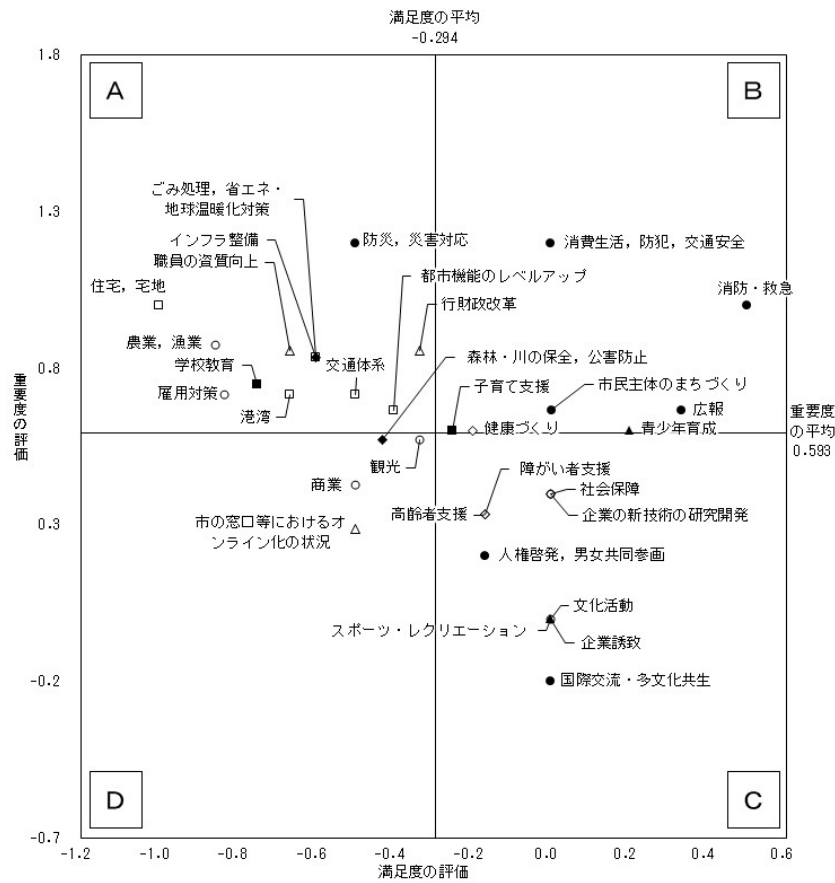
○下蒲刈地区



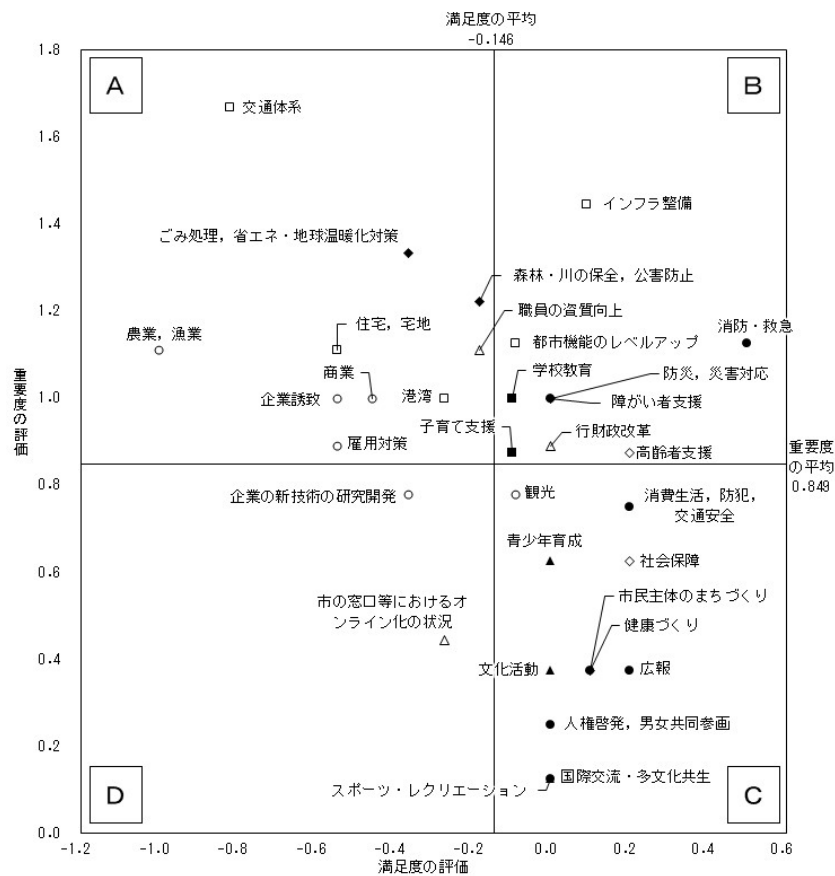
○蒲刈地区



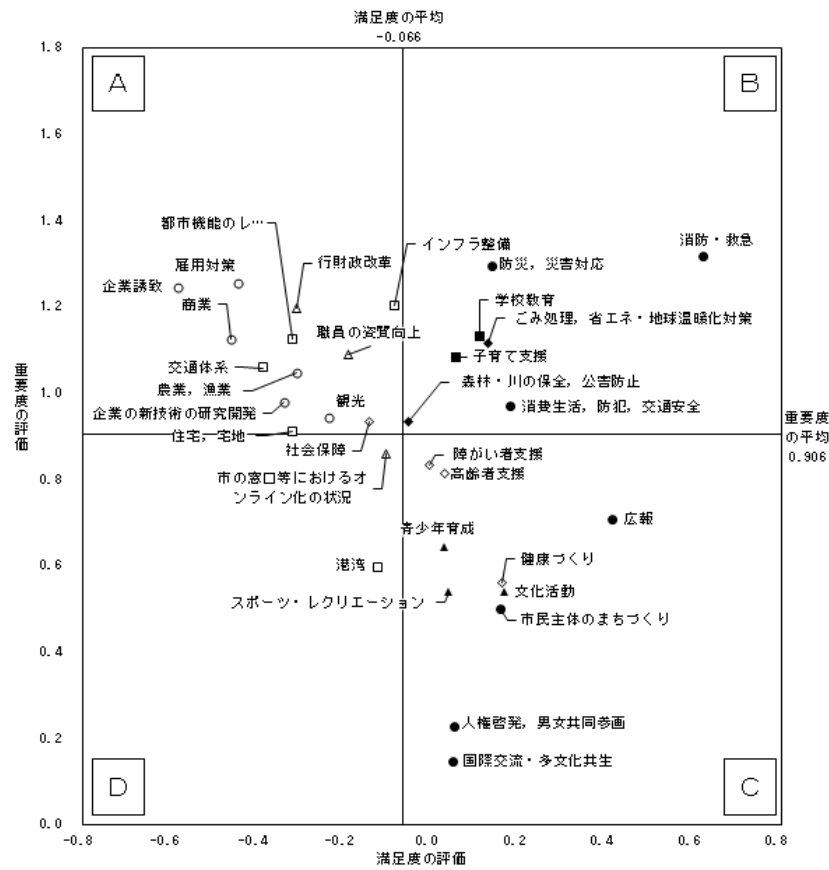
○豊浜地区



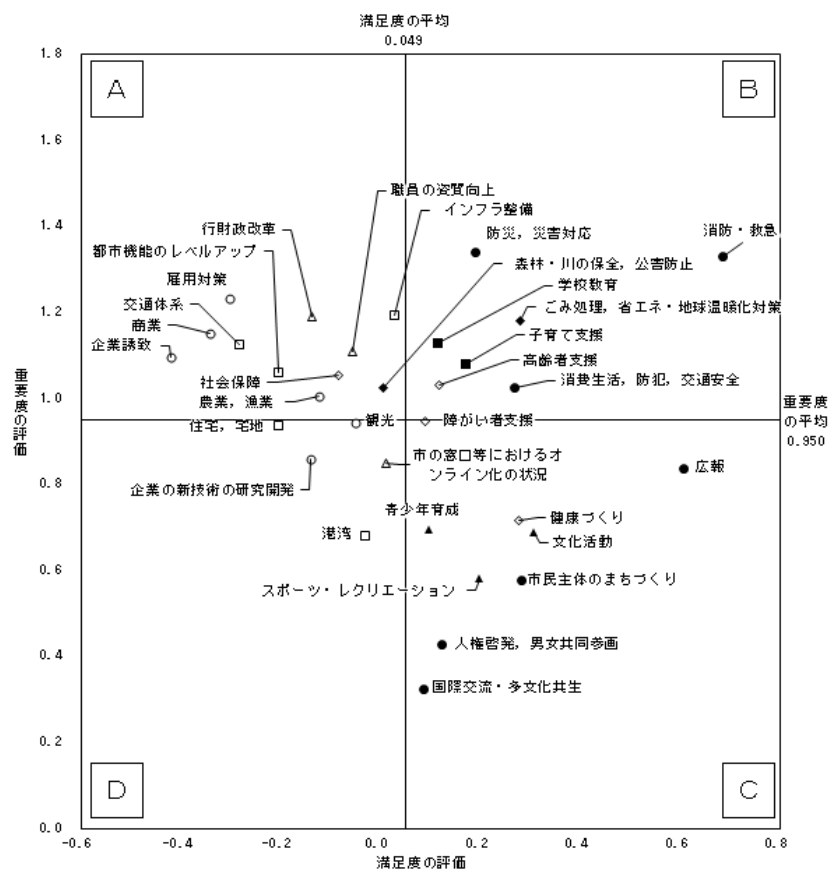
○豊地区



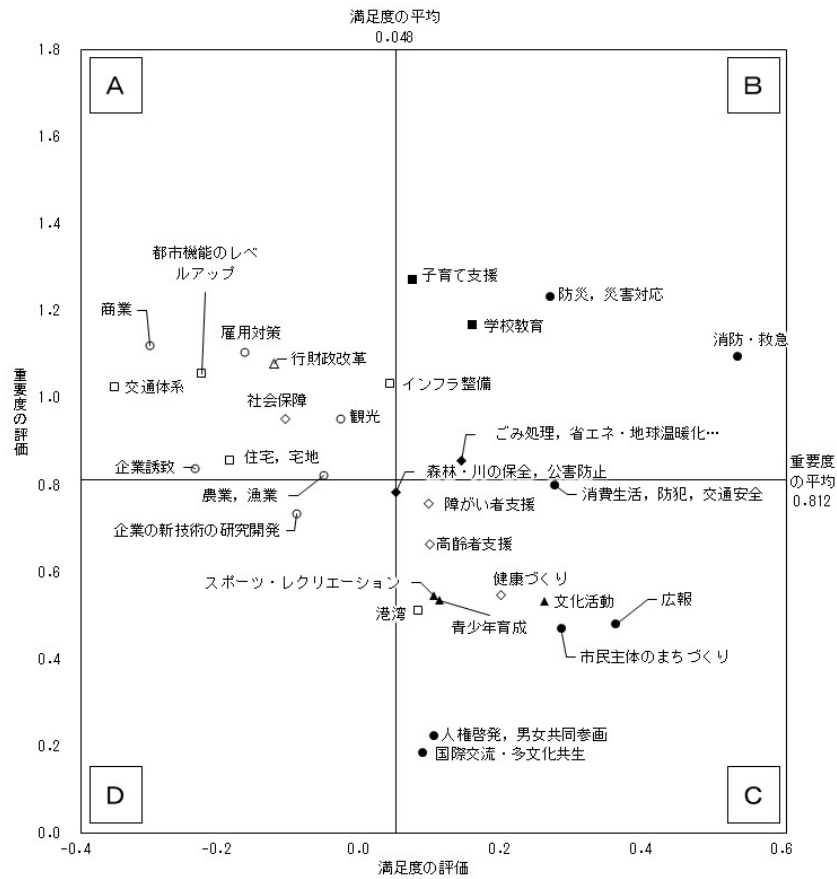
○男性



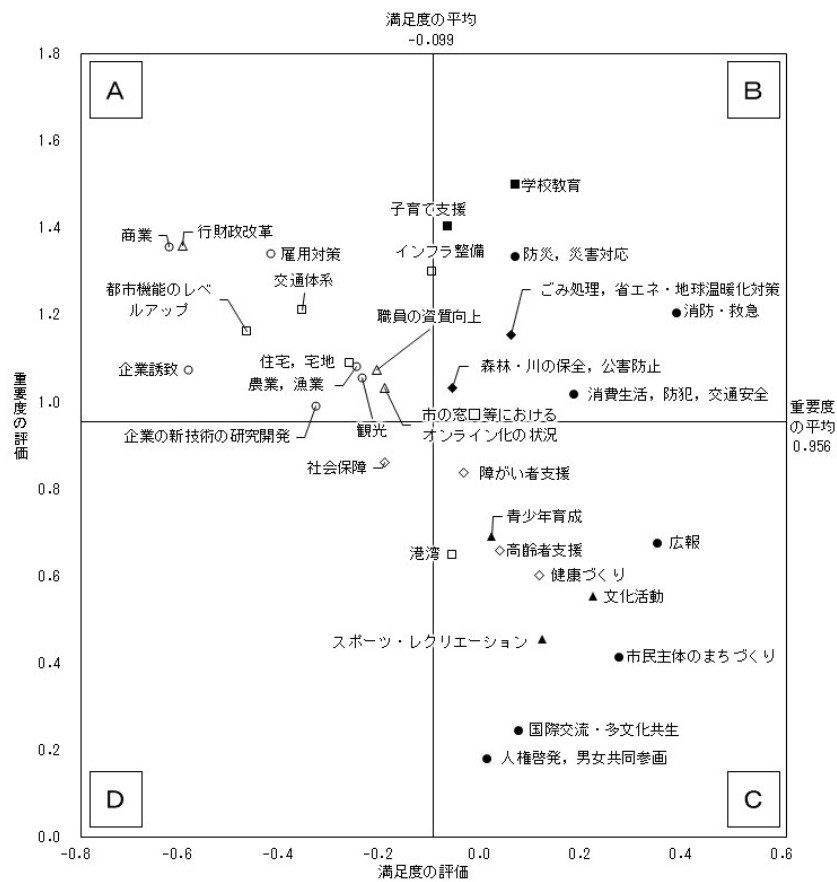
○女性



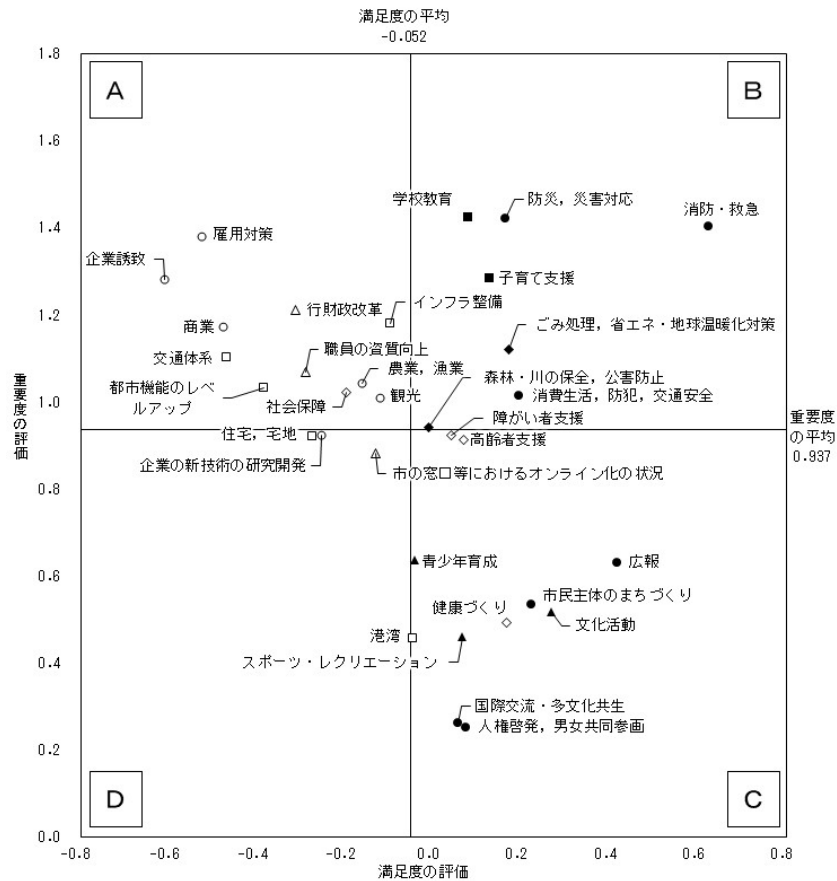
〇20 歳代



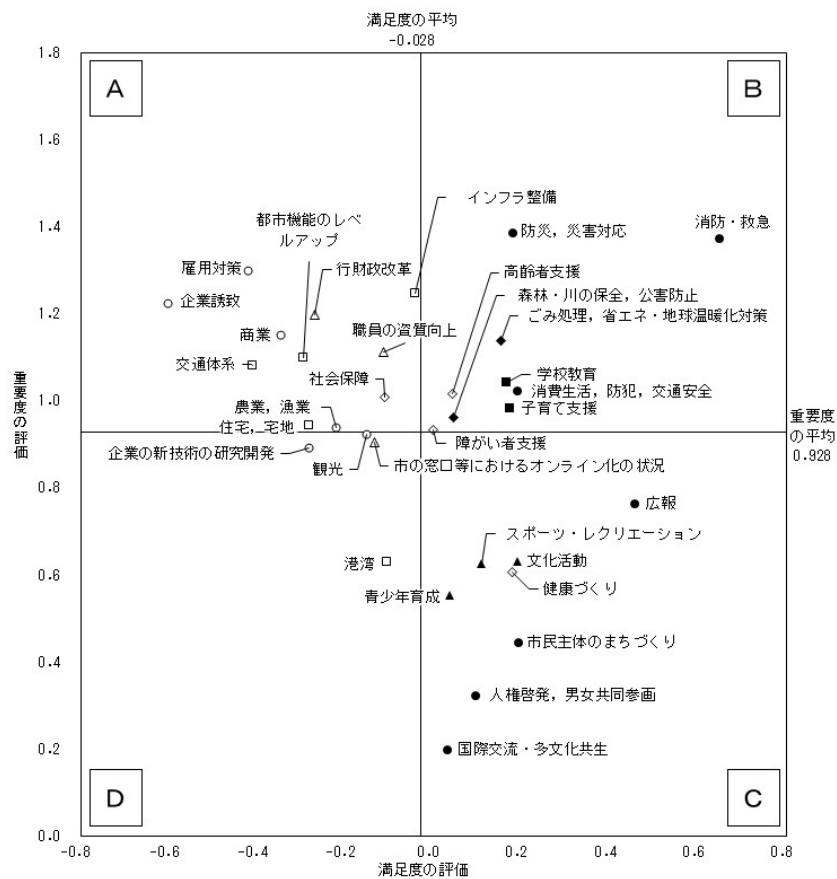
〇30 歳代



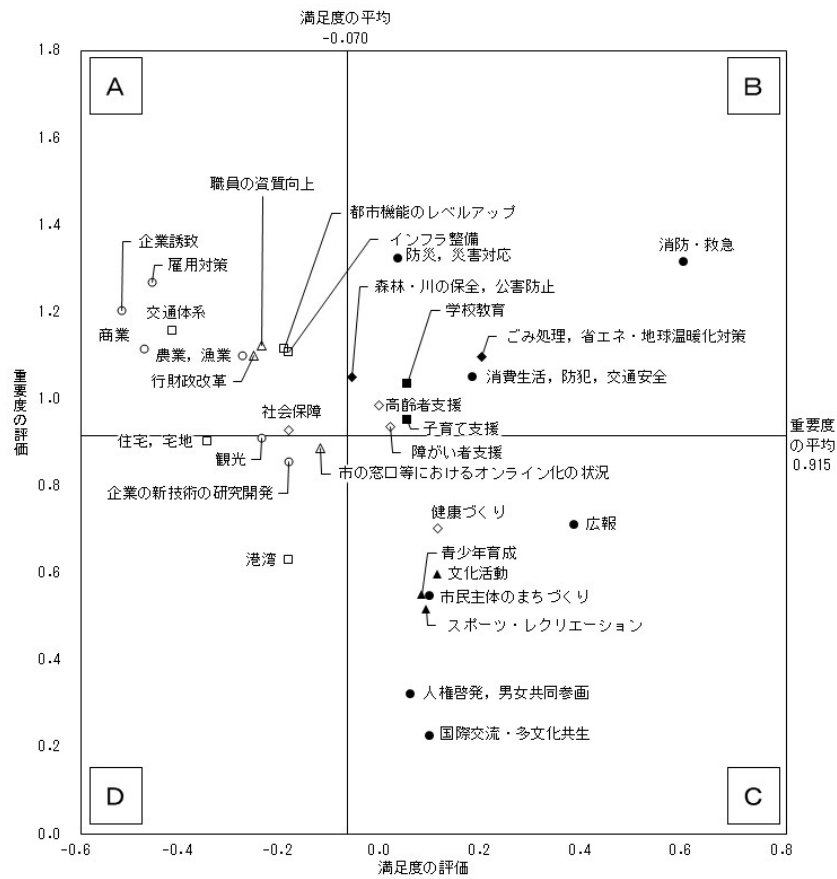
○40 歳代



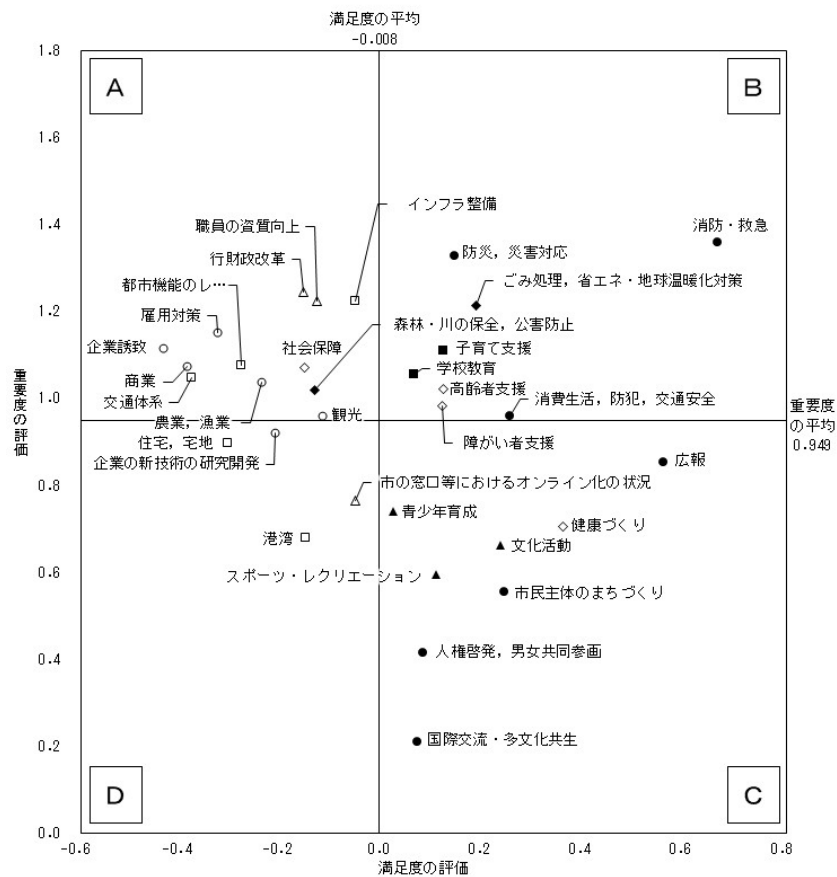
○50 歳代



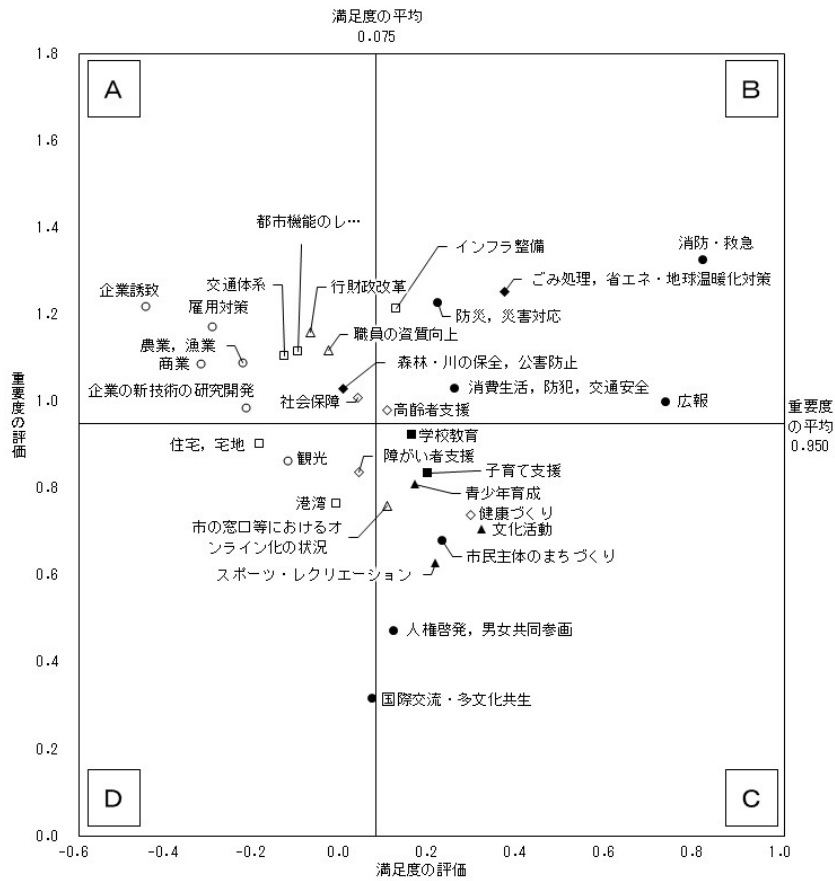
〇60～64 歳



〇65～74 歳



○75 歳以上



呉市民意識調査 調査項目

お答えいただいたことを統計的に分析するため、あなたご自身やご家族のことについて、お聞かせください。

性別	1 男性	2 女性	3 無回答
年齢	1 20 歳代以下 4 50 歳代 7 75 歳以上	2 30 歳代 5 60～64 歳	3 40 歳代 6 65～74 歳
お住まいの地区	1 中央 6 仁方 11 川尻 16 蒲刈	2 宮原 7 吉浦 12 安浦 17 豊浜	3 警固屋 8 天応 13 音戸 18 豊 4 阿賀 9 昭和 14 倉橋 5 広 10 郷原 15 下蒲刈
職業	1 農林水産業の自営・家族従業者 2 商工，販売，サービス業の自営・家族従業者 3 開業医，弁護士，薬剤師等の個人事業者 4 会社員・団体職員 5 会社役員・団体役員 6 国家公務員 7 地方公務員 8 学生 9 家事専業 10 パート・アルバイト 11 無職 12 その他（ ）		
家族構成	1 1人世帯 2 1世代家族（夫婦やパートナーのみ） 3 2世代家族（親と子） 4 3世代家族（親と子と孫） 5 その他（ ）		
家族（同居）について（該当するすべてに○）	1 0～2 歳児 2 3～5 歳児 3 小学生 4 中学生 5 高校生 6 大学生 7 社会人 8 家事専業 9 パート・アルバイト 10 無職 11 高齢者（65～74 歳） 12 高齢者（75 歳以上） 13 1～12 の該当者はいない		
呉市（合併前の旧町を含む。）に通算して何年、住んでいますか。	1 2 年未満 4 10 年以上	2 2 年以上 5 20 年以上	3 5 年以上
通勤（職場），通学（学校）先	1 呉市内 4 その他呉市外（ ）	2 広島市	3 東広島市 5 なし
お住まいの居住形態	1 1 戸建て持ち家 3 分譲マンション 5 社宅・官舎・寮 7 その他（ ）	2 1 戸建て借家 4 賃貸マンション・アパート 6 公営住宅	

I. 呉市の住みやすさについて

問1 呉市を「住みやすい」まちだと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----|---------------|----|---------------|
| ●1 | 住みやすい | ●2 | どちらかといえば住みやすい |
| ●3 | どちらかといえば住みにくい | ●4 | 住みにくい |
| 5 | 分からない | | |

→ **問 1-1** 上記問 1 で 1 ～ 4 に回答した方のみ

住みやすい又は住みにくいと感じる理由は、何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|-----------|----|--------------|
| 1 | 通勤，通学 | 2 | 買い物環境 |
| 3 | 防犯 | 4 | 防災 |
| 5 | 子育て環境 | 6 | 教育環境 |
| 7 | 近所付き合い | 8 | 地域との交流 |
| 9 | スポーツ環境 | 10 | 文化環境 |
| 11 | 医療環境 | 12 | 福祉環境 |
| 13 | 就業などの雇用環境 | 14 | 家賃・住宅価格等 |
| 15 | 自然環境 | 16 | 移動環境（公共交通機関） |
| 17 | その他（ ） | | |

問2 主に利用する交通機関は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1 徒歩 | 2 自転車 |
| 3 JR | 4 バス |
| 5 タクシー | 6 定期航路 |
| 7 自家用車 | 8 自家用バイク |
| 9 その他 () | |

問 2-1 上記問 2 で回答した交通機関をどのくらい使っていますか。(○は 1 つ)

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1 | ほとんど毎日 | 2 | 週に数回 |
| 3 | 月に数回 | 4 | その他（ ） |

問3 呉市に「愛着」を感じますか。(○は1つ)

- 1 感じる 2 どちらかといえば感じる
3 どちらかといえば感じない 4 感じない 5 分からない

→ 問 3-1 上記問 3 で 1, 2 に回答した方のみ

どんなところに「愛着」を感じますか。(〇はいいくつでも)

- 1 自然（山，川，海など）
- 2 風景（田んぼ，畑，公園，街並み，建物など）
- 3 歴史・文化（名所・旧跡，神社仏閣，文化財，日本遺産など）
- 4 地域活動（祭り，運動会など）
- 5 子どもの頃の思い出（同級生，友人，遊んだ場所など）
- 6 郷土料理，名物
- 7 その他（

問 4 呉市に「誇り」を感じますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|-----|----------------|
| •1 感じる | └─┐ | 3 どちらかといえば感じない |
| •2 どちらかといえば感じる | | 4 感じない |
| | | 5 分からない |

→ **問 4-1** 上記問 4 で 1, 2 に回答した方のみ

どんなところに「誇り」を感じますか。

→ **問 4-2** 上記問 4 で 3, 4, 5 に回答した方のみ

「誇り」を感じるためには、どのような取組が必要だと思いますか。

問 5 お住まいの地域で、人口はどのように変化していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 かなり増えている | 2 やや増えている |
| 3 あまり変わらない | 4 やや減っている |
| 5 かなり減っている | 6 分からない |

問 6 お住まいの地域での人口の変化について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 安心できる | 2 不安に感じる |
| 3 どちらともいえない | 4 分からない |

→ **問 6-1** 上記問 6 で 2 に回答した方のみ 不安を感じるのは、なぜですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 にぎわいがなくなる | 2 普段の話し相手が減り、寂しくなる |
| 3 地域での助け合いが難しくなる | 4 公共サービスが縮小され不便になる |
| 5 近隣の商店等が閉店し不便になる | 6 公共交通機関が維持できなくなり不便になる |
| 7 集落が消滅する恐れがある | 8 その他 () |

問 7 呉市が人口減少対策を行う必要がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 市が行うべきである | 2 市が行うべきではない |
| 3 どちらともいえない | |

問 8 人口減少を抑えるために、どのような取組が必要ですか。(○は3つまで)

- 1 産業の競争力強化 (企業誘致, 農水産品のブランド化など)
- 2 人材の発掘・育成 (起業・創業支援, 新規農業・漁業者への支援など)
- 3 情報発信の強化 (呉の産業PR, 定住・移住情報の発信など)
- 4 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援
(婚活事業への助成, 不妊治療医療費の助成, 妊産婦の健診・保健指導等の充実など)
- 5 教育環境の充実 (小中一貫教育, 企業等と連携した本物体験など)
- 6 定住・移住促進 (新婚・子育て世帯への定住支援, 移住希望者への住宅取得支援など)
- 7 生活環境の充実 (災害に強いまち, 地域ぐるみの健康づくり, 公共共通の運行支援など)
- 8 地域の様々なコミュニティとゆるやかにつながり, 人に優しい寛容なまちづくり
- 9 医療環境の充実 (乳幼児から高齢期までの医療、救急体制など)
- 10 その他 ()

問 9 今住んでいる地域に、これからも「住み続けたい」ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|--------|
| 1 住み続けたい | 2 移りたい |
| 3 分からない | |

→ **問 9-1** 上記問 9 で 2 に回答した方のみ

どの地域へ移りたいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1 広島市 | 2 東広島市 |
| 3 廿日市市 | 4 江田島市 |
| 5 府中町・海田町・坂町 | 6 熊野町 |
| 7 その他県内 () | 8 県外 () |
| 9 呉市内 (地区:) | |

→ **問 9-2** 上記問 9 で 2 に回答した方のみ

他の地域(市内, 市外)へ移りたい理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 通勤, 通学 | 2 買い物環境 |
| 3 防犯 | 4 防災 |
| 5 子育て環境 | 6 教育環境 |
| 7 近所付き合いなど | 8 地域との交流 |
| 9 スポーツ環境 | 10 文化環境 |
| 11 医療環境 | 12 福祉環境 |
| 13 就業などの雇用環境 | 14 家賃・住宅価格等 |
| 15 自然環境 | 16 その他 () |

Ⅱ. 呉市の主要課題に対する意識について

(1) 健康づくり

問 10 健康であると感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 とても健康である | 2 まあまあ健康である |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり健康でない |
| 5 全く健康でない | |

問 11 健康増進に向けて、定期的な運動（1回30分以上の運動を週2回以上）をしていますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問 12 健康増進のための運動を行っていく上で、どのような環境整備が必要ですか。
(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 各種運動教室・講座の充実（まちづくりセンターなど） |
| 2 市民イベント（ウォーキング大会など）の充実 |
| 3 地域でのサークル活動（ウォーキングなど）の充実 |
| 4 ウォーキング・ランニングコースの整備 |
| 5 トレーニングルーム・機器の整備 |
| 6 多目的広場・陸上競技場の整備 |
| 7 体育館の整備 |
| 8 屋内プールの整備 |
| 9 特別，運動を意識しなくても，普段の通勤・通学・日々の活動等で身体を使うようなまちづくり |
| 10 その他（ ） |

問 13 家族等のケア（心や体に不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」など）をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 ケアをしている | 2 ケアをしていない |
|-----------|------------|

問 14 生活習慣病などの早期発見・早期治療に向けて、毎年、健康診査を受診していますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受診している | 2 受診していない |
|----------|-----------|

→ **問 14-1** 上記問 14 で 2 と回答した方のみ

健康診査を受診しない理由は、何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 受ける予定だったが、都合がつかなかった | 2 受診方法がわからなかった |
| 3 特に困ったことがなかった | 4 もし悪い結果がでたら怖い |
| 5 検査や診察が苦痛，恥ずかしい | 6 面倒 |
| 7 お金もったいない | 8 すでに医療機関で治療を受けている |
| 9 その他（ ） | |

(2) 少子化対策・高齢化対策

問 15 少子化対策の取組を、市が行う必要がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 市が行うべきである | 2 市が行うべきではない |
| 3 どちらともいえない | |

問 16 呉市では近年、1年間に生まれる子どもの数が減少しています(H30年度1,280人→R5年度852人)。少子化を抑えるために、どのような取組を充実させたいですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1 総合的な結婚支援(出会いの場の提供、相談・支援体制の整備など) | |
| 2 出産・育児に関する医療体制の整備 | 3 不妊に関する総合的な支援 |
| 4 保育サービス(保育所、一時預かり) | 5 子育てに係る総合的な相談体制の整備 |
| 6 子育て世帯の交流の場(サロン)の設置 | 7 保育料・学費の軽減 |
| 8 児童手当等の支援の拡充 | 9 雇用・収入の安定 |
| 10 教育環境の向上 | 11 出産・育児がしやすい職場の環境づくり |
| 12 出産適齢期の女性が住みたいと思うまちづくり | |
| 13 その他() | |

問 17 高齢化対策の取組を、市が充実していくべきですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 高齢化対策を充実すべき | 2 子育てなど、他の分野に予算を充てるべき |
| 3 今のままでよい | 4 どちらともいえない |

問 18 呉市では高齢化が進展しています(H31年3月末:34.8%→R6年3月末:36.5%)。高齢化社会に対応するため、どのような取組を充実させる必要がありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 高齢者の交流の場(サロン)の設置 | 2 高齢者の活躍の場の創出(再就職、ボランティアなど) |
| 3 介護予防事業(介護予防教室など) | 4 健康づくり活動(ウォーキングなど) |
| 5 高齢者の見守り支援 | 6 認知症対策 |
| 7 移動支援
(コミュニティバスの運行支援など) | 8 生活支援(買い物、食事など) |
| 9 在宅介護サービス
(デイサービス、家事支援など) | 10 施設介護サービス
(特別養護老人ホームなど) |
| 11 家族介護者支援 | 12 その他() |

(3) 人権尊重

問 19 性別・障がいの有無・国籍などを理由にした様々な差別があります。「差別」についての考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 差別はなくさなければならない | 2 差別は出来る限りなくすべきである |
| 3 差別があるのは仕方がない | 4 差別は社会にとって必要なものである |
| 5 分からない | |

問 20 身近な人が差別的なことを言うのを聞いたとき、どうしますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------|
| 1 そのことを注意し、理解が得られるよう話し合う |
| 2 そのことを注意し、人を交えて一緒に考える |
| 3 そんなことを言ってはいけないと注意する |
| 4 何もしないで聞き流す |
| 5 分からない |
| 6 その他() |

問 21 どのような場面で、旧同和地区の人を意識しますか。(○はいくつでも)

- 1 隣近所で生活するとき
- 2 子どもが旧同和地区の子供と遊んだりするとき
- 3 同じ職場で働くとき
- 4 従業員として雇うとき
- 5 結婚するとき
- 6 意識しない

問 22 人権課題の中で、取組が必要であるものは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|---------------|-------|
| 1 女性 | 2 子ども | 3 高齢者 |
| 4 障がいのある人 | 5 部落差別 (同和問題) | 6 外国人 |
| 7 L G B T Q | 8 その他 () | |

※L G B T Q : レズビアン (女性の同性愛者), ゲイ (男性の同性愛者), バイセクシュアル (両性愛者), トランスジェンダー (性同一性障がいを含む, 体の性と心の性が一致しない人), クィア (異性愛者・L G B T 以外の様々な性的指向・性自認の人の総称), クエスチョニング (自分自身の性的指向や性自認がはっきりしていない人, 意図的に決めていない人) の頭文字を取ったことば。

(4) 男女共同参画

問 23 男女の地位が平等になっていると感じますか。それぞれの分野でお答えください。
(それぞれ○は1つ)

	1 男性の方が 優遇されている	2 どちらかといえば 男性の方が 優遇されている	3 平等である	4 どちらかといえば 女性の方が 優遇されている	5 女性の方が 優遇されている	6 分からない
1 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2 子育て	1	2	3	4	5	6
3 就職や職場	1	2	3	4	5	6
4 地域活動	1	2	3	4	5	6
5 学校教育	1	2	3	4	5	6
6 法律や制度	1	2	3	4	5	6
7 社会の慣習やしきたり	1	2	3	4	5	6
8 政治や政策決定の場	1	2	3	4	5	6
9 社会全体	1	2	3	4	5	6

(5) 教育

問 24 更なる教育環境の向上に向けて、どのような取組を進めていく必要がありますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1 教員の増員 | 2 スクールバスの運行 |
| 3 通学費への助成 | 4 学校統合のさらなる推進 |
| 5 小中一貫教育の実施 | 6 学校トイレの洋式化 |
| 7 校舎や体育館の整備 | 8 ICT等を効果的に活用した一人一人の |
| 9 その他 () | 児童・生徒に最適な学びの充実 |

問 25 呉市の子どもが呉市を出て行かず、呉市に住み続けるよう、学校教育の中で取り組んでいく必要がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|--------|-------------|
| 1 必要がある | 2 必要ない | 3 どちらともいえない |
|---------|--------|-------------|

問 26 呉市では、子どもたちの豊かな人間性と自立心を育む「呉の教育」に取り組んでいます。子どもたちの豊かな心を育むために、どのような取組が必要ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 年齢が違う子ども同士が交流する機会を増やすこと |
| 2 高齢者と交流する機会を増やすこと |
| 3 地域のよさ(自然, 歴史, 伝統文化など)を学ぶことができる機会を増やすこと |
| 4 子どもが「本物体験(スポーツ・音楽・芸術など)」できる機会を増やすこと |
| 5 様々な仕事を体験できる機会を増やすこと |
| 6 子どもがのびのびと自由に身体を使って遊ぶ場を増やすこと |
| 7 その他 () |

(6) 市民協働

問 27 地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 参加している | 2 参加していない |
|----------|-----------|

→ **問 27-1** 上記問 27 で 1 に回答した方のみ

どのような地域活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|------------------|
| 1 自治会 | 2 老人会 |
| 3 女性会 | 4 地域まちづくり委員会・協議会 |
| 5 子ども会 | 6 祭り, 運動会などの世話 |
| 7 PTA活動 | 8 ボランティア活動 |
| 9 NPO団体 | 10 その他 () |

問 28 どのような地域活動に参加してみたいですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 自治会 | 2 老人会 |
| 3 女性会 | 4 地域まちづくり委員会・協議会 |
| 5 子ども会 | 6 祭り, 運動会などの世話 |
| 7 PTA活動 | 8 ボランティア活動 |
| 9 NPO団体 | 10 その他 () |
| 11 参加したいとは思わない | |

問 29 どうすれば、地域活動に参加しやすくなりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 活動内容や連絡先などをPRする | 2 活動団体からの声かけを行う |
| 3 世話役の持ち回りなどの負担を減らす | 4 会費の負担を減らす |
| 5 その他 () | |

問 30 地域活動の維持や地域の課題解決に向けて、どのような取組が必要ですか。
(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------------|
| 1 地域活動に参加していない人が参加しやすい環境づくり |
| 2 活動内容の情報発信 |
| 3 将来の担い手の確保 (子どもや学生, 外国人など) |
| 4 地域外からの担い手の確保 |
| 5 地域内外の団体等との連携 |
| 6 活動する場の確保や活動拠点の基盤整備 |
| 7 市役所からの人的・財政的支援の強化 |
| 8 地域活動維持のための自主財源確保への取組の促進 |
| 9 税金が高くなっても, 地域活動や課題解決は, 呉市が直接行うべき |
| 10 その他 () |

(7) 安全・安心

問 31 市が発信している情報を、どのような方法で確認していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1 市政だより | 2 ホームページ | 3 LINE |
| 4 X | 5 Facebook | 6 YouTube |
| 7 市のテレビ広報番組 | 8 その他 () | |

問 32 市政だよりを読んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|---------------|------------|
| 1 毎月読んでいる | 2 必要に応じて読んでいる | 3 読んだことがない |
|-----------|---------------|------------|

問 33 台風や大雨のとき、避難情報を確認するようにしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| • 1 確認するようにしている | 2 確認していない |
|-----------------|-----------|

→ **問 33-1** 上記問 33 で 1 に回答した方のみ

どのような方法で避難情報を確認していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|----------|---------------------|
| 1 携帯アプリ・メール等 | 2 テレビ | 3 テレビのデータ放送 |
| 4 ラジオ | 5 防災行政無線 | 6 SNS (Facebook など) |
| 7 その他 () | | |

問 34 自宅の近くの呉市が指定する避難所 (学校, まちづくりセンターなど) を知っていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------|
| • 1 知っている | 2 知らない |
|-----------|--------|

→ **問 34-1** 上記問 34 で 1 に回答した方のみ

自宅から避難所までの避難経路を確認していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問 35 自分の自宅や職場、学校が災害に対して安全かどうか確認していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------|
| • 1 確認している | 2 確認していない |
|------------|-----------|

→ **問 35-1** 上記問 35 で 1 に回答した方のみ

どのような方法で安全を確認していますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|-----------|-------|------------|
| 1 ハザードマップ | 2 防災情報サイト | 3 街歩き | 4 危険箇所表示看板 |
| 5 その他 () | | | |

問 36 住んでいる地域では、次に掲げる災害について不安がありますか。それぞれについてお答えください。（それぞれ○は1つ）

	1 非常に不安	2 やや不安	3 あまり不安はない	4 全く不安はない	5 分からない
1 河川の氾らん，低地部の浸水	1	2	3	4	5
2 山崩れ，崖崩れ	1	2	3	4	5
3 高潮・津波，沿岸部の浸水	1	2	3	4	5
4 地震	1	2	3	4	5
5 建物火災	1	2	3	4	5
6 林野火災	1	2	3	4	5

問 37 災害に備えて，どのような対策を行っていますか。（○はいくつでも）

1 防災について家族や地域で話し合っている 2 食料や懐中電灯など，非常時に持ち出すものを準備している 3 貴重品をすぐに持ち出せるよう準備している 4 風呂の水をためおきしている 5 家具や冷蔵庫を固定し，転倒を防止している 6 学校や公園など，避難する場所を決めている 7 家族や近所の方との連絡方法を決めている 8 地域での防災訓練などに参加している 9 その他（ ） 10 何もしていない
--

問 38 平成 30 年 7 月豪雨災害から復旧・復興が進んでいると思いますか。（○は1つ）

1 進んでいると思う 2 ある程度進んでいると思う 3 あまり進んでいないと思う 4 進んでいないと思う 5 分からない
--

→ **問 38-1** 上記問 38 で 3，4 と回答した方のみ

復旧・復興が「あまり進んでいない」「進んでいない」と思う分野はどれですか。

（○はいくつでも）

1 被災者の生活再建 4 砂防・治山ダムの整備 7 地域経済の活性化 10 防災教育	2 住まいの再建 5 上下水道設備の復旧 8 観光 11 その他（ ）	3 道路・河川・農地等の復旧 6 幹線道路・JRの機能強化 9 今後の災害への備え
---	---	---

(8) 観光・交流

問 39 多くの観光客に呉市に来てもらいたいですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 来てもらいたい | 2 来てもらう必要はない |
| 3 どちらともいえない | |

問 40 多くの観光客に呉市へ来ていただくために、どのような取組が必要ですか。

(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 日本遺産などを活用した新たな観光メニュー（体験・お土産など）の充実 |
| 2 滞在時間を延長するための体験型観光や夜型観光の充実 |
| 3 映画・ドラマ等のロケ誘致，映画・アニメを活用した観光客誘致 |
| 4 観光客向けのイベント開催 |
| 5 ホームページやSNSなどを活用した情報発信の充実 |
| 6 県内外での観光PRの推進 |
| 7 サイクリストの受入態勢の充実 |
| 8 インバウンド（外国人旅行者）の受入態勢の充実 |
| 9 観光地への公共交通の充実 |
| 10 観光地の駐車場やトイレ，案内表示の整備 |
| 11 新しい観光施設の整備 |
| 12 宿泊施設の誘致 |
| 13 観光ガイドの育成・充実 |
| 14 ホテル，タクシー，飲食店等の接遇の充実 |
| 15 市民の受入意識の変化 |
| 16 その他（ ） |

(9) 農水産業

問 41 食料品を購入するとき，広島県産や呉市産などの「地元産」を意識することがありますか。

(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 42 主にどこで買い物をしていますか。(○は3つまで)

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1 市内の商店街 | 2 地域の商店 | 3 移動販売 |
| 4 宅配サービス | 5 ネットショッピング | 6 市内大型店舗 |
| 7 市外店舗 | | |

問 43 呉市の特産品だと思う農水産物はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1 みかん | 2 レモン | 3 すもも |
| 4 トマト | 5 ねぎ | 6 大根 |
| 7 キャベツ（広カンラン） | 8 オリーブ | 9 タチウオ |
| 10 かき | 11 たこ | 12 マダイ |
| 13 オニオコゼ（呉おこぜ） | 14 ちりめんいりこ | 15 酒米（呉未希米） |
| 16 お酒 | 17 その他（ ） | |

問 44 呉市の農水産業を発展させていくために、どのような取組が必要ですか。(○はいくつでも)

- 1 市民が積極的に地元産を購入する
- 2 農水産業の新規参入者や後継者を育成する
- 3 法人化を進めるなど、農水産業の規模を大きくする
- 4 小規模な農水産事業者を支援する
- 5 農水産物を活用した「特産品」の開発を進める
- 6 農水産物の「ブランド化」を進める
- 7 農水産物の直売施設（朝市、産直市）を設置する
- 8 呉市内での流通を増やす
- 9 農水産物の生産基盤（農業団地、水揚げ施設など）を整備する
- 10 有害鳥獣対策を充実する（イノシシ対策など）
- 11 ドローンによる農薬散布など、先端技術を活用する
- 12 6次産業化
- 13 その他（ ）

※6次産業化：農業を1次産業としてだけでなく、加工などの2次産業、さらにはサービスや販売などの3次産業までを含め、1次から3次まで一体化した産業として農業の可能性を広げようとするもの。

問 45 呉市の農水産業、農漁村に何を期待しますか。(○はいくつでも)

- 1 新鮮な農水産物・食料の供給
- 2 自然環境の保全
- 3 子どもの教育への利用
- 4 美しい景観、やすらぎの空間の創出
- 5 農漁村の伝統文化の保存・継承
- 6 市民農園や遊漁船など、体験・レクリエーションの場の創出
- 7 雇用、就業の場の創出
- 8 稼げる農水産業への転換
- 9 その他（ ）
- 10 期待するものはない

(10) 商工業

問 46 呉市の商工業を発展させていくために、どのような取組が必要ですか。

(○はいくつでも)

- 1 企業誘致・留置による働く場所の確保
- 2 起業・創業のための支援
- 3 起業・創業したい方と、事業を引き継ぎたい方とのマッチング支援
- 4 人材の安定的な確保と人材育成の支援
- 5 経営基盤の強化（安定的な経営）に関する支援
- 6 新技術・新商品の開発支援
- 7 販路の拡大に関する取組支援
- 8 その他（ ）

(11) 環境

問 47 普段の生活の中で、地球環境に配慮した取組を行っていますか。(○は1つ)

- ☒ 1 行っている ☐ 2 行っていない

問 47-1 上記問 47 で 1 に回答した方のみ

具体的には、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

- 1 省エネ家電・自動車の買い換え
- 2 家庭用燃料電池（エネファーム）の設置
- 3 ZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）の導入
- 4 徒歩や自転車による通勤・通学
- 5 公共交通機関の積極的な利用
- 6 再生可能エネルギー（太陽光・太陽熱発電設備等）の導入
- 7 リデュース（マイバッグ持参、詰替商品の利用等）
- 8 リユース（中古品、フリーマーケットの利用等）
- 9 リサイクル（ごみの分別、店頭回収の利用等）
- 10 食品ロスの削減
- 11 環境物品等の購入・利用
- 12 緑化（緑のカーテン等）の推進
- 13 美化（清掃活動等）の推進
- 14 節水、節電
- 15 その他（

問 48 関心を持っている、気になっている環境分野は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 地球温暖化対策
- 2 動植物が生息する自然環境の保全
- 3 公害対策，緑化・美化の推進
- 4 ごみの減量化と適正処理
- 5 自主的な環境保全活動
- 6 その他（

問 48-1 問 48 で選んだ環境分野を改善するために、どのような取組が必要ですか。

(○はいくつでも)

- 1 規制や罰則の強化
- 2 補助や減税などの誘導策（省エネ設備への補助など）
- 3 個人や企業の自主的取組
- 4 情報提供（ホームページ、市政だより、マニュアル配布、マスコミでの取り上げなど）
- 5 環境教育（自然体験、研修）
- 6 その他（

(12) 公共施設

問 49 よく使う公共施設はどれですか。(○はいくつでも)

- 1 図書館
- 2 まちづくりセンター
- 3 ホール，美術館など（芸術文化施設）
- 4 体育館，プール，テニス場など（スポーツ施設）
- 5 コミュニティーセンター，老人集会所など（集会所）
- 6 公立下蒲刈病院，国保診療所
- 7 保育所，放課後児童会
- 8 学校（学校の体育館などを含む）
- 9 斎場
- 10 さざなみ苑，身体障害者福祉センターなど（福祉施設）
- 11 野呂高原ロッジ，くらはし桂浜温泉館など（観光施設）
- 12 大和ミュージアム
- 13 呉ポートピアパーク，グリーンヒル郷原，公園など（公園施設）
- 14 本庁舎・市民センター（窓口）
- 15 ごみ・し尿処理施設
- 16 上下水道施設
- 17 その他（ ）
- 18 この1年くらい利用していない

問 50 重要だと思う公共施設はどれですか。(○はいくつでも)

- 1 図書館
- 2 まちづくりセンター
- 3 ホール，美術館など（芸術文化施設）
- 4 体育館，プール，テニス場など（スポーツ施設）
- 5 コミュニティーセンター，老人集会所など（集会所）
- 6 公立下蒲刈病院，国保診療所
- 7 保育所，放課後児童会
- 8 学校（学校の体育館などを含む）
- 9 斎場
- 10 さざなみ苑，身体障害者福祉センターなど（福祉施設）
- 11 野呂高原ロッジ，くらはし桂浜温泉館など（観光施設）
- 12 大和ミュージアム
- 13 呉ポートピアパーク，グリーンヒル郷原，公園など（公園施設）
- 14 本庁舎・市民センター（窓口）
- 15 ごみ・し尿処理施設
- 16 上下水道施設
- 17 その他（

問 51 今後、公共施設の維持が難しくなる可能性があります。公共施設をどのようにしたらいいですか。(〇はいくつでも)

- 1 「同じ目的」の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する
- 2 「違う目的」の公共施設を1つにまとめ、使わなくなった施設を廃止する
- 3 維持していく公共施設を決めて、その他の公共施設の維持は最小限にする
- 4 市役所と民間事業者が連携して、少ない経費で施設を運営する
- 5 大きな補修や建替えが必要となる前に小さな補修をして、できるだけ公共施設を長持ちさせる
- 6 自治会などに公共施設を引き渡し、地域に運営を委ねる
- 7 開館時間の短縮などにより運営費を削減し、維持補修などの費用に充てる
- 8 イベント等の工夫などにより利用者を増やし、維持補修などの費用に充てる
- 9 利用料金を引き上げて、維持補修などの費用に充てる
- 10 ニーズが低下した施設を廃止する
- 11 その他 ()

(13) 空き家対策

問 52 空き家の増加に対応するため、どのような取組が必要ですか。(〇はいくつでも)

- 1 空き家の流通促進のための相談（不動産の査定、税金、相続問題等）窓口の充実
- 2 空き家バンク（売却等を希望する者との橋渡しを行う仕組み）の充実
- 3 危険な空き家の解体費用への助成制度の充実
- 4 空き家の活用を促すためのリフォーム等の支援
- 5 危険な空き家の所有者に対する、改善指導の強化
- 6 改善されない危険な空き家を所有者等に代わり呉市の予算で改善
- 7 空き家の管理は所有者等の責任であり、積極的な取組は必要ない
- 8 その他 ()

(14) 高次都市機能

問 53 呉市には、広島県の主要都市としてふさわしい施設や設備（高い水準の都市機能）が十分に備わっていると感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 分からない |
|------|-------|---------|

問 54 今後、こういった部分に力を入れて、都市機能を整備していくべきですか。(〇はいくつでも)

- 1 幹線道路網の整備
- 2 J R 呉線の機能強化
- 3 基幹バス・生活バスなどの充実
- 4 高等教育機関（大学など）
- 5 商業施設
- 6 宿泊施設
- 7 高速通信網や I T 環境の整備
- 8 インターネットによる届出・申請
- 9 その他 ()
- 10 既に十分な都市機能が整備されており、新たな整備の必要はない

問 55 デジタル化の取組として、どのようなことに力を入れてほしいですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---|---|
| 1 | 市役所への申請や届出の手續のオンライン化 |
| 2 | 人工知能や自動化技術を活用した住民サービスの向上 |
| 3 | A I チャットボットなどを活用した市民からの問合せ対応 |
| 4 | 公共施設の空き状況確認や予約のオンライン化 |
| 5 | 市税や公共料金支払いのキャッシュレス化 |
| 6 | 市役所からのお知らせや緊急情報のスマートフォンやタブレットへの配信 |
| 7 | スマートフォンやタブレットの操作方法の習得支援 |
| 8 | 市役所が保有するデータ（個人情報を除く）のインターネット上での公開 |
| 9 | その他（ ） |

※次ページにも質問があります→

Ⅲ. 呉市の政策全般に対する満足度・重要度

問 56 次の表は、行政サービスの項目を示しています。それぞれの項目について、「満足度」・「重要度」からそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
【記入例】健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5
子育て・教育分野										
1 子育て支援（保育所等，子育て支援センター，ファミリーサポートセンターなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 学校教育（小学校，中学校，義務教育学校，高等学校の施設管理，小中一貫教育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
福祉保健分野										
1 健康づくり（ウォーキング大会，健診の受診促進，食育など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 高齢者支援（介護保険サービス，介護予防教室，生きがい活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 障がい者支援（障がい者の社会参加・自立の支援，交通費の助成など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 社会保障（生活保護，国民健康保険，介護保険など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民生活分野・防災分野										
1 市民主体のまちづくり（地域まちづくり委員会・協議会，地域行事（祭り，運動会，町内清掃）など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 人権啓発，男女共同参画（人権尊重，男女共同参画に関する講演会など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 消防・救急（救急・消防活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 防災，災害対応（浸水対策，急傾斜地の崩壊対策工事など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 消費生活，防犯，交通安全（消費生活センター，防犯活動，交通安全運動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 国際交流・多文化共生（国際交流センターなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 広報（市政だより，市ホームページ，テレビ・ラジオ広報など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化・スポーツ・生涯学習分野										
1 青少年育成（講座の開催，青少年の非行防止啓発活動など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 文化活動（文化ホール，美術館，博物館の管理・運営，イベントの実施など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 スポーツ・レクリエーション（スポーツ施設の整備，スポーツイベントの実施など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
産業分野										
1 企業誘致（企業誘致・留置）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 企業の新技術の研究開発（新技術・新商品の開発支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 農業、漁業（遊休農地対策，新規参入者や後継者の育成，特産品のブランド化など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 観光（インバウンド・観光客誘致，観光案内・PR，イベント開催など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 雇用対策（就労支援，雇用環境の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 商業（商店街の活性化，小売業，流通業，起業・創業への支援など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤分野										
1 都市機能のレベルアップ（幹線道路網の整備，高速通信網やIT環境の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 インフラ整備（日常生活基盤）（上下水道，身近な生活道路，公園の維持管理など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 住宅、宅地（居住環境の整備，区画整理による宅地開発，空き家対策など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 交通体系（交通渋滞の緩和，バスなどの公共交通機関の運行，ライドシェア，スクールバスなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 港湾（高潮対策，呉港へのクルーズ誘致など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境分野										
1 森林・川の保全，公害防止（河川の浄化活動，騒音や水質・大気の汚染濃度の測定など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 ごみ処理，省エネ・地球温暖化対策（ごみ処理，資源物回収，家庭用燃料電池（エネファーム）設置助成など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行政経営分野										
1 行財政改革（財政の健全化）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 職員の資質向上（職員の意識改革，能力開発など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 市の窓口等におけるオンライン化（申請，交付，許可，予約，支払いなど）の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。